

市川市の図書館

2025



市川市立図書館

はじめに

昭和 25 年に市立市川小学校に設置された小さな図書館から始まった市川市立図書館の歴史は、歳月を重ね令和 7 年 9 月には 75 年を迎えます。

現在は、5 館 1 室の図書館と自動車図書館が設置され、全体では、100 万冊を超える蔵書を有しております。図書だけではなく、視聴覚資料・データベース等多様な情報を提供し、市民の学びを支える施設として日常の中で気軽にご利用いただいております。

また、昭和 29 年の文化講演会開催を皮切りに読書会やボランティア活動が行われるなど、時代に即した様々な形で地域の文化を育み、豊かなまちづくりを支える場として、市民の皆様を支えられながら今日も成長を続けております。

令和 6 年度には、市立図書館のひとつである中央図書館が入った複合施設 市川市生涯学習センター(メディアパーク市川)が開館 30 周年を迎えたことから、「メディアパーク 30 祭」と称した記念行事を実施いたしました。

メディアパーク 30 祭では、各施設の主催イベントだけでなく、市民団体による複数の市民提案型企画イベントも開催され、多くの皆様にご参加いただきました。さらに、寄せ書きコーナーには「友達との大切な思い出が詰まった場所です」「子どものころから通い、今は自分の子どもたちとお世話になっています」「本、大好き。これからはずっと利用します」など 30 年の歴史と未来への期待を感じさせるたくさんのメッセージが寄せられ、生涯に渡る学習を支援する施設として生活に溶け込んだ生涯学習センターや図書館の存在を市民の皆様にご改めてご認識いただく機会となりました。

近年、「住みやすさ」や「住み続けたいまち」の指標のひとつとして図書館の充実が取り上げられています。これは乳幼児から高齢者まで、幅広い世代が長年に渡り、最も利用する身近な公共施設のひとつである図書館に、まちづくりや地域活性化を支える「核」としての役割を担う期待が高まっている表れではないでしょうか。

この期待に応えるためにも、今後も市民の皆様にご愛される、身近な図書館であり続けるよう、これまでの積み重ねを大切にしつつ、これからの時代にふさわしい図書館サービスのあり方を追求し、実践を重ねてまいります。

ここに令和 6 年度の事業の結果をご報告し、今後のご理解とご支援をお願いいたします。

令和 7 年 9 月
教育振興部図書館課
課長 米田有貴子

目次

はじめに

1. 市川市の概要	・・・1	9. 図書館コンピュータシステム	
2. 図書館の基本方針	・・・2	(1) 図書館コンピュータシステムの概要	・・・44
3. 図書館のあゆみ	・・・3	(2) ネットワークの拡充	・・・44
4. 図書館組織図・委員会等		(3) Webメニューの多機能化	・・・44
(1) 図書館組織図	・・・7	(4) 館内インターネット接続サービス等	・・・44
(2) 委員会・会議等	・・・8	(5) IC機器の導入とセルフ化	・・・44
5. 図書館及び関連施設の配置図	・・・9	10. 令和6年度事業概要 概況	・・・47
6. 令和7年度施設概要		(1) 資料収集と利用状況	・・・47
(1) 中央図書館 こどもとしょかん	・・・10	(2) リクエストサービス	・・・48
(2) 自動車図書館「みどり号」	・・・14	(3) レファレンスサービス	・・・49
(3) 平田図書室	・・・15	(4) 関連施設・類縁機関との連携	・・・49
(4) 行徳図書館	・・・16	(5) 対象別サービス	・・・52
(5) 信篤図書館	・・・17	(6) 資料別サービス	・・・55
(6) 南行徳図書館	・・・18	(7) 主催事業	・・・56
(7) 市川駅南口図書館	・・・19	(8) 市川駅南口図書館自主事業(指定管理館)	・・・64
(8) 関連施設	・・・24	(9) 委員会等	・・・66
7. 令和7年度予算		(10) 図書館刊行物	・・・67
(1) 市の予算	・・・25	(11) 図書館作成動画	・・・68
(2) 教育費	・・・25	(12) 市川市立図書館関係記事一覧	・・・69
(3) 図書館費	・・・25	(13) 市川市立図書館関係映画・テレビ番組等一覧	・・・69
(4) 館別資料費	・・・26	(14) 公共デジタルサイネージへの掲載	・・・70
8. 令和6年度統計		(15) 視察・講師派遣、修士論文調査への対応等	・・・70
(1) 蔵書冊数	・・・28	(16) デジタルアーカイブ	・・・71
(1-2) 分野別蔵書冊数内訳	・・・29	(17) 議会の図書館関係質問一覧	・・・72
(1-3) 蔵書冊数の推移	・・・30	11. ボランティアと市民協働	
(2) 分類別貸出冊数	・・・31	(1) 市川図書館友の会	・・・73
(2-2) 分野別貸出冊数内訳	・・・32	(2) 令和6年度 市民提案型図書館推し活企画 決定事業	・・・74
(2-3) 貸出冊数の推移	・・・33	12. 新聞・雑誌一覧	
(3) 蔵書回転率	・・・34	(1) 購入雑誌一覧	・・・76
(4) リクエスト統計	・・・35	(2) 寄贈雑誌一覧	・・・83
(5) 登録者集計表	・・・36	(3) 中央図書館収集地域雑誌・定期刊行物一覧	・・・85
(6) 延べ利用者数の推移	・・・36	(4) 新聞ほか一覧	・・・87
(7) 中央図書館月別利用者数・貸出点数の推移	・・・37	資料編	
(8) 受入・除籍冊数	・・・38	13. 関連法規(条例・規則等)	・・・89
(9) 自動車図書館ステーション別統計	・・・40	14. 計画	・・・115
(10) 市川市の図書館サービス指標	・・・41	15. アンケート・市民要望	・・・153
(11) 開館日数	・・・41		
(12) 関連施設統計	・・・42		

1. 市川市の概要

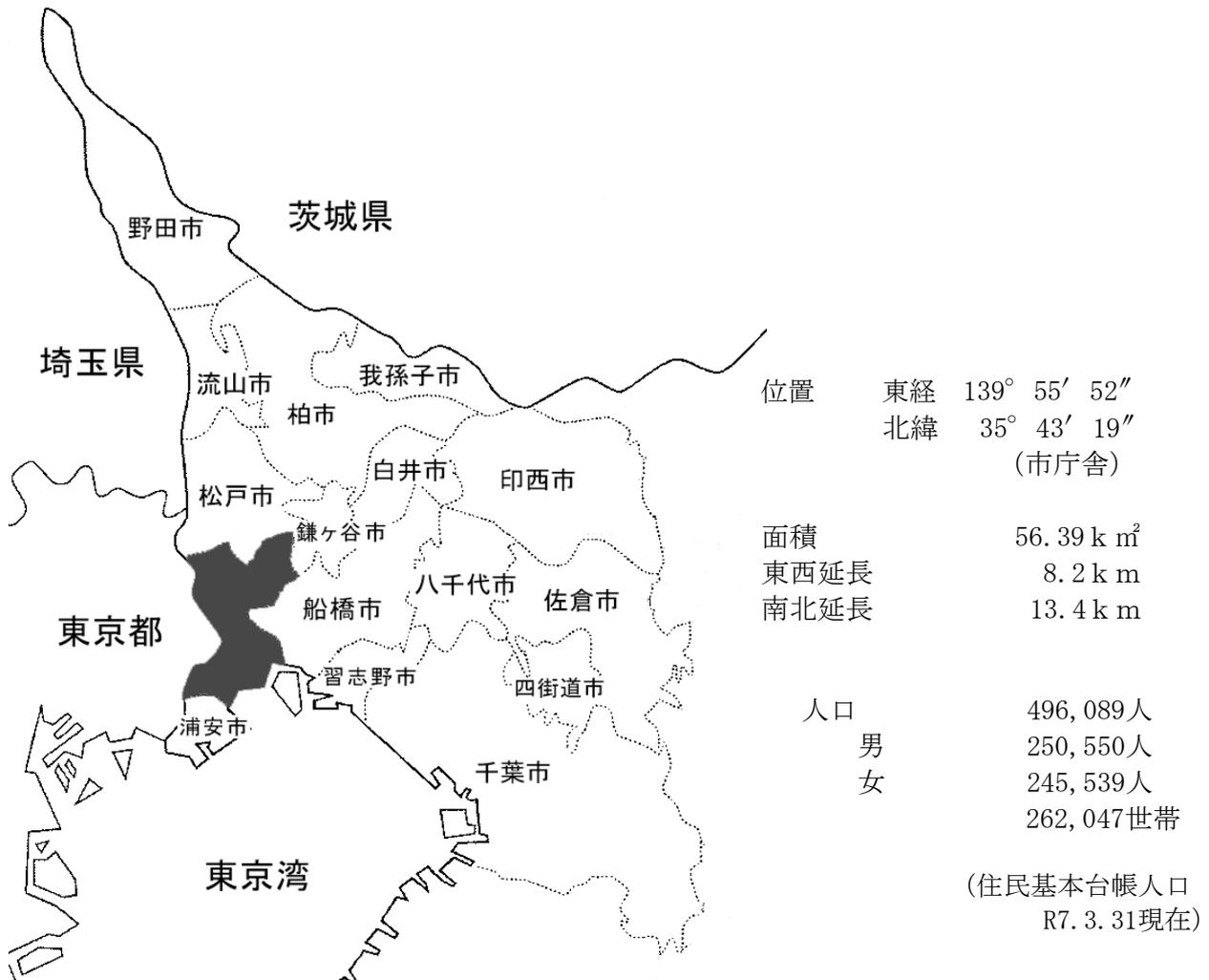
市川市は、千葉県の西部に位置し、北は松戸市、東は船橋市・鎌ヶ谷市、南は浦安市及び東京湾に各々面し、西は江戸川を隔てて東京都江戸川区・葛飾区と対峙している。

市域は南北に細長く、北部の台地上には50か所に上る縄文貝塚、国分寺などがあり、中央には市川砂州上に千葉街道が走り、黒松に囲まれて葛飾八幡宮や中山法華経寺などが建つ。南部の低地には、旧江戸川に沿って、成田街道の面影を残す街並みや、塩田の名残をとどめる地名も多い。昭和9年に市制を施行した。

江戸・東京に近い市川市域は、自然環境にも恵まれ古くから豊かな文化を育んできた。古代には国府が置かれ、万葉時代から「真間の手児奈」伝説や「真間の継橋」が歌い継がれてきた。中世に活躍した日蓮の『立正安国論』（国宝）をはじめとする遺筆は、今も法華経寺に伝わる。近世には、市川の事蹟は『南総里見八犬伝』や『江戸名所図会』などにも記されてきた。

近代以降も、伊藤左千夫・正岡子規・郭沫若らが市川を題材にした作品を遺し、永井荷風・幸田露伴といった文豪の終焉の地となった。また、中野孝次・井上ひさしらが住まい、活動の拠点とした。

市民による読書活動や芸術活動にもめざましいものがあり、良好な「郊外住宅都市」「文化都市」と呼ばれる所以である。



2. 図書館の基本方針

公共図書館は、社会を取り巻く様々な課題や個人の生き方について、市民一人ひとりが興味と関心に従って自由に学び、必要な知識を得て、考え、意見を作り上げるための資料・情報と学習の場を提供する生涯学習機関です。

公共図書館はまた、歴史・芸術・文学などの幅広い優れた著作を収集し提供することによって児童・青少年の人格形成や、心の豊かさを求める成人市民の教養と楽しみに資するためのレクリエーション機関でもあります。

市川市立図書館はこれらの設置趣旨を基本方針として市民のための図書館運営に努め、たゆまぬサービスの向上をとおして、市民がいつでも、どこでも、誰でもが情報を得て学ぶことができ、また学習成果を発揮できるような環境を整備し、住みよい地域社会の形成に、さらには地方自治の基盤である市民の自立を支えることにより、本市の基本目標の一つである「真の豊かさを感じるまち」の実現に貢献します。

令和7年度の目標

(1) 時代に見合った新しいサービスの導入

情報化社会・デジタル社会にふさわしい図書館づくりを推進するための図書館情報システムの更新を図るとともに、読書バリアフリー法の制定やICTの急速な発展等の社会変化を踏まえた図書館サービスを実施するための調査・研究を行う。

子どもたちの豊かな心を育成するための読書教育に関しては、「市川市子どもの読書活動推進計画第二次」を軸に、子どもの読書活動の推進に繋がる施策を実施するとともに、新たな課題を踏まえた第三次計画を策定していく。

(2) 市民満足度の高いサービスの維持・発展

市民の利便性向上に繋がる業務改善や運営体制の見直しも検討し、持続可能な図書館サービスを目指すため、次期「市川市図書館運営基本計画」を策定する。

また、現在の計画及び実施計画に基づき、誰もが利用しやすい図書館づくりを推進するために、蔵書構築やレファレンス等図書館としての基本的な機能を維持、職員の接遇の向上に努める。同時に、図書館の利用促進や利用マナーについてのPRに取り組むとともに、固定館だけでは補いきれない地域へのサービスを発展させるために、特に市北部地域を中心に自動車図書館、返却ポスト等の積極的な活用を図る。

(3) 地域に開かれた図書館づくりの推進

社会全体を通じた読書環境の充実や一層の図書館利用の促進を図るため、地域の小・中・高等学校や大学、企業などとタイアップした事業を展開するとともに、ボランティア団体や地域住民を巻き込みながら、本を媒介とした市民活動の活性化を後押すための仕掛けづくりとして「市民提案型 図書館推し活企画」を募集するなど、地域に開かれた図書館づくりに努める。

3. 図書館のあゆみ

昭和25年	9月	創立開館（1日） 市立市川小学校に併設（2教室） 小暮貞次館長 職員数3名
28年	11月	館外貸出開始
30年	9月	市川市立図書館だより「まつかぜ」創刊（昭和48年3月58号まで刊行）
31年	4月	山岡寛章図書館長に就任
32年	4月	『市川市立図書館蔵書目録 昭和31年12月』発行
	5月	葛飾八幡宮境内に移転し独立館として開館（21日） 1階を使用、2階は教育委員会と市役所の一部が同居 職員数6名
33年	10月	お母さんの本棚開設
34年	7月	教育委員会と市役所の一部が新庁舎完成に伴い移転 図書館独自の建物となる
35年	6月	幼児用、児童用図書を件名配列 母と子の部屋、少年室を設置 全館使用開始
	11月	市川市読書会連絡協議会創立総会
36年	1月	うずしお読書会創立
37年	5月	夜間開館実施（1日）19時30分まで 6名増員し職員数17名
38年	4月	書架室積層式書架に改造
39年	3月	市川市立図書館設置条例公布（31日）
	6月	行徳分館開館（1日） 徳願寺境内 18時まで開館 職員数3名
42年	4月	貸出方式をブラウン方式に切替え 2冊2週間 村岡ゴム会長村岡信一氏より図書館建設のための指定寄付1,000万円
43年	5月	新館を境内本館隣の敷地に開館（11日）
44年	8月	子ども会文庫に対し図書のセット貸出開始（青少年課と共同）（～平成9年度）
47年	10月	田村三雄図書館長に就任
48年	8月	冷暖房設備設置
50年	9月	移動図書館みどり号開設 京成自動車工業製造
51年	11月	移動図書館第2みどり号運行 東京特殊車体製造
53年	4月	石橋賢一図書館長に就任
54年	2月	信篤図書館開館（1日） 行徳分館を行徳図書館に改称
55年	4月	行徳図書館、移動図書館を本行徳公民館図書室に移転
56年	10月	行徳図書館新館開館（1日） 行徳支所4、5階 職員数5名
57年	8月	弘田稔図書館長に就任
58年	10月	南行徳図書館開館（1日） 職員数4名
60年	11月	市内5館をオンラインで結び、コンピュータによる貸出方式に移行（19日）
62年	4月	渡井章三図書館長に就任
	10月	平田図書室開室（11日） 職員数2名
63年	4月	断続的であった司書職の採用を毎年実施（～平成6年度）
	7月	第1みどり号更新 林田製作所製造（28日登録）
	10月	中央図書館等建設準備室仮設置 職員数4名
平成元年	1月	『市川市の図書館』刊行（以降年次報告書として毎年刊行）
	4月	行徳図書館新館開館（15日） 行徳支所隣に単独館5階建て 職員数10名 八幡、行徳でCDの貸出開始
	7月	中央図書館等建設準備室設置（管理部所属）
	9月	第2みどり号更新 京成自動車工業製造（29日登録）
	10月	中央図書館等（仮称メディアパーク市川）のコンペ当選作決まる（山下設計）
2年	7月	小川俊彦図書館長に就任
3年	10月	公共図書館と学校図書館とを結ぶネットワーク事業の実験開始
	11月	女性センター開館 情報資料室と書誌情報を共有しオンライン貸出を実施
4年	11月	中央図書館開館準備プロジェクト（15部会）開始
5年	7月	小学生向けおすすめの本のリーフレット「本のぼけっと」創刊
6年	4月	『市川市図書館資料収集方針』まとめる
	9月	市川図書館友の会創立（18日）
	10月	八幡本館（葛飾八幡宮境内）休館（1日～） コンピュータシステムを更新し、学校図書室とのパソコン通信を導入
	11月	市川市中央図書館、こどもとしょかん 複合施設である市川市生涯学習センター（メディアパーク市川）1階に開館（1日） 職員数39名 一般フロアに無断持ち出し防止ゲートシステム（BDS）を導入 「図書館だより」（40号～「市川図書館だより」）「Young Adult通信」創刊
7年	9月	中央図書館第1回リサイクルブック市開催（10日試行、第2回 同年10月29日）
	10月	公共図書館と学校図書館とを結ぶネットワーク事業を本格実施
8年	3月	市川市読書会連絡協議会解散
	4月	小倉勳図書館長に就任

9年	10月	中央図書館が日本図書館協会建築賞を受賞（第12回）
	1月	館報『まつかぜ 市川市立図書館報』（合本復刻）を刊行
	4月	千葉商科大学付属図書館とのネットワーク事業開始 レファレンス事例集「参考業務月報」を刊行（平成10年度「参考業務季報」平成11年度～「新・参考業務月報」）
	5月	学校、幼稚園への出張サービスを本格的に開始
	9月	市川市ホームページ開設 同時に図書館ホームページ開設（15日）
10年	4月	太刀川寛図書館長に就任
11年	4月	市民図書室の所管を生涯学習課から図書館に移管
	6月	夜間開館の試行（中央図書館：土曜日19時30分まで拡大 行徳図書館：開館を朝10時にし、火曜日から金曜日19時30分まで拡大）
12年	1月	『市川市立図書館利用者アンケート集計結果報告書』まとめる
	8月	第1みどり号廃車
	10月	コンピュータシステムを更新し、インターネットで蔵書公開を開始する 4市民図書室（福栄、塩焼、大柏、稲越）、2公民館図書室（大野、西部）に図書館システムのパソコンを設置し、予約図書の貸出を開始
13年	3月	市川市立図書館開館50周年「市川手児奈文学賞」創刊記念シンポジウムを開催（22日）
	4月	鈴木小夜子図書館長に就任
	10月	楽山市との友好都市締結20周年記念として「楽山市図書コーナー」設立
14年	3月	『市川の文芸風土と図書館の未来 シンポジウム記録集』刊行
	4月	漆原利一図書館長に就任 中央図書館特別コレクションに星野道夫コーナーを開設
	5月	携帯電話からの図書館資料検索サービスを開始 インターネットからのレファレンス受付開始
	9月	うずしお読書会が1000回を迎え、11月には社団法人読書推進運動協議会より2002年度第35回全国優良読書グループとして表彰される
	11月	インターネットからの予約受付開始（図書、雑誌）
15年	3月	第2みどり号廃車 自動車図書館車をCNG（圧縮天然ガス）車に更新
	4月	行徳図書館に責任者を配置 支援サービス担当を新設 職員数58名
	6月	曾谷公民館図書室に図書館システムのパソコンを設置し、予約図書の貸出を開始
	7月	情報プラザに図書館システムのパソコンを設置し、予約図書の貸出を開始 C T I サーバを導入 中央図書館督促業務の自動化開始
	8月	中央図書館予約連絡業務の自動化開始 中央図書館の電話応答案内システム稼働開始
16年	4月	図書館連絡車による市内物流使用務を全面委託
	6月	東部公民館図書室に図書館システムのパソコンを設置し、予約図書の貸出を開始
17年	4月	「子どもの読書活動優秀実践図書館」として、こどもとしょかんが文部科学大臣表彰を受賞
	7月	コンピュータシステムを更新し、所蔵する視聴覚資料のインターネット予約受付開始
	10月	曾谷公民館、東部公民館、情報プラザ以外の各図書館等の端末機器を替え 千葉商科大学と協定締結、予約図書の貸出を同大学付属図書館で開始 教育センター「まなびの広場」を改修し、「文学プラザ」として開館
18年	4月	中央図書館の祝日開館試行開始 自動車図書館の貸出、返却業務を委託
	6月	中央図書館に韓国ソウル市特別区「江南区電子図書館閲覧コーナー」を設置
	7月	韓国原州市からの寄贈図書受入開始 「原州市図書コーナー」を設置
	10月	予約資料の宅配サービス開始
19年	3月	累積版冊子『本のぼけっと1号～20号』刊行（20年3月カラー版刊行）
	4月	行徳図書館の祝日開館試行 生涯学習センターの全館管理業務を図書館に移管
	9月	インターネットからの貸出延長サービスを開始
	11月	住基カードに図書館利用券機能を追加 中央図書館でDVDの貸出開始
20年	4月	露木芳輝図書館長に就任
	6月	「青空文庫」作成電子テキストの書誌データをWebサーバで一括検索開始
	7月	和洋女子大学メディアセンターと相互協力に関する確認書を取り交わし、8月より和洋女子大学と市立図書館資料の相互貸借開始（当面は館内閲覧）
21年	4月	中央、行徳図書館の祝日開館等の本実施（中央：土日祝日の閉館を18時に変更） 市川駅南口図書館開館（30日）、ICタグによる蔵書管理システムを導入 指定管理者株式会社ヴィアックス
	6月	行徳図書館3階にパソコンルーム開設（23年11月～無線LAN接続環境を整備）
22年	2月	国立国会図書館のレファレンス協同データベースへの参加において、礼状受理
	7月	「24時間テレビ愛は地球を救う」から障がい者サービス用機器の寄贈を受ける

23年	2月	中央図書館利用者アンケート実施（以後、満足度調査として毎年実施）
	3月	東日本大震災により書架一部破損（11日） 計画停電に伴う臨時休館（14～18日） 計画停電に伴う閉館時間変更 全館17時閉館（19日～4月17日）
	4月	松本雅貴図書館長に就任、職員数55名 「市川市立図書館中期計画」を策定
	11月	コンピュータシステムをWebアプリケーションである富士通iLisfieraに更新 中央図書館に外部データベース検索結果印刷のコインベンダープリンタを導入
24年	3月	図書館メールマガジンの配信を開始（平成30年10月20日第152号にて配信終了）
	4月	中央図書館長に行徳図書館、信篤図書館、南行徳図書館の館長兼務辞令交付 条例改正により個人の図書貸出冊数を無制限から20冊へ
	10月	BDSの更新
25年	2月	『市川市の図書館 昭和編』を編集、発行 中央図書館特別コレクションに渡邊二郎コーナーを開設
	4月	生涯学習センターの全館管理業務を社会教育課に移管、職員数48名
	7月	宅配サービスがシルバー人材センターを利用して再開（23年4月より休止）
	10月	中央図書館書庫に可動式集密書架設置
26年	2月	市川駅南口図書館のパソコンを更新
	4月	生涯学習センターの全館管理業務を図書館へ再び移管、職員数45名
	6月	国立国会図書館デジタル化資料送信サービス開始 DVDの貸出を2点とする試行を開始
	11月	開館20周年記念事業として、「市川市の図書館ポスター・標語」を募集、記念講演会を開催
27年	3月	「市川市立図書館運営基本計画」を策定
	4月	大里宗行図書館長に就任、職員数46名
	11月	中央図書館に教科書コーナー設置
28年	3月	スマートフォン対応Web-OPACサービス開始
	4月	乳幼児向け利用券発行開始
	7月	行徳図書館資料をIC化し、自動貸出機を設置
	12月	大野公民館図書室資料をバーコード化し、蔵書管理と利用者管理を図書館システムに一元化
29年	11月	次期電算システム更新、IC化を見据えてワーキンググループを設置
30年	4月	富島淳一図書館長に就任 職員数42名
	6月	市川市中央図書館公式Facebook運用開始
	12月	コンピュータシステムを更新し、座席管理システム・デジタルサイネージ・書庫出納管理システム・デジタルアーカイブ等の導入
31年	3月	千葉県博図公連携事業「写真でつづる千葉県と鉄道」巡回展開催（博図公連携） 西部公民館図書室資料をバーコード化し、蔵書管理と利用者登録等を図書館システムに一元化
	4月	大里宗行図書館長に就任 職員数41名
令和元年	11月	中央図書館、こどもとしゃかんをIC化 自動貸出機・自動返却機・予約受取確認機を設置 行徳図書館に予約受取確認機を設置 中央図書館と行徳図書館に予約受取コーナーを新設 中央図書館ブラウジングコーナーを一部レイアウト変更
2年	2月	新型コロナウイルス感染拡大に伴う臨時休館（28日～5月31日）
	4月	臨時窓口を開設（1～7日） 県内に新型インフルエンザ特措法による緊急事態宣言の発出（7日～5月25日）
	5月	臨時窓口を開設（26～31日）
	6月	開館時間短縮による開館（2～14日まで17時、16～28日まで18時、7月1日より通常どおり）
3年	1月	2回目の緊急事態宣言発出（7日～3月21日） 全館臨時休館、臨時窓口の開設（8日～3月21日）
	3月	全館開館のうえ図書館サービスを再開（23日） 稲越市民図書室閉室（31日）
	4月	安永崇図書館長に就任 職員数39名 まん延防止等重点措置開始（20日～8月22日まで延長）に伴い閲覧席使用率4割の制限 生涯学習センター地下駐車場の一面にバイク置場9台を設置
	6月	菅野公民館に返却ポスト設置 大野と西部の公民館図書室で視聴覚資料の予約受付開始
	7月	中央図書館にSDGsコーナー設置（31日）
	8月	3回目の緊急事態宣言発出（23日～9月30日、解除後閲覧席使用率6割に緩和）
	10月	図書館ウェブサイトの全面リニューアル（29日）
	11月	市川東ロータリークラブから大型絵本用書架2台の寄贈を受け、大型絵本と大型紙芝居の個人貸出を開始
4年	1月	大野と西部の公民館図書室で未所蔵リクエスト受付開始
	2月	CNG（圧縮天然ガス）タンクの使用期限終了につき自動車図書館車を廃車
	5月	新・自動車図書館車（4代目）の運行開始

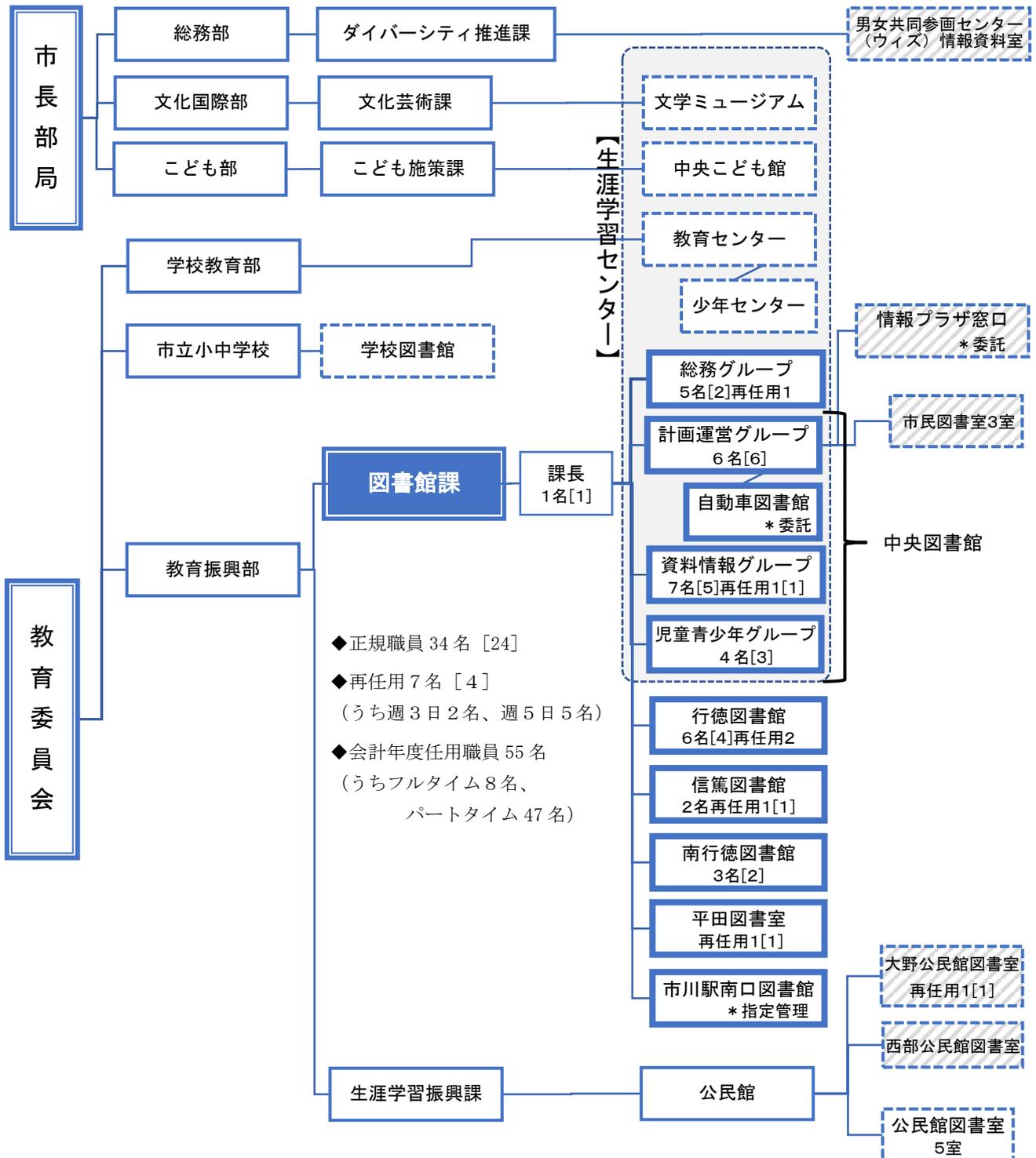
	9月	生涯学習センター駐輪場にシェアサイクルステーション8台を設置
	9月	中央図書館ヤングアダルトルームに寄贈絵画「時の記憶」を設置
	10月	自動車図書館のステーションを北部中心に7か所増設し、25か所に拡大 「市川よみっこ運動」からビブリオバトル募金による児童書の寄贈を受け、中央・行徳・市川 駅南口図書館で紹介文POPを展示
	11月	行徳図書館・市川駅南口図書館のIC機器をリプレース
	12月	全館で座席利用の運用を見直し、一部の座席を学習席に変更したほか、中央図書館ブラウジングに新たにキャレルデスク6席を設置
5年	3月	市民提案型 図書館推し活企画を募集（22日）、令和5年度より順次採択 「市川市子どもの読書活動推進計画 第二次計画（令和5～7年度）」を策定
	4月	市川市中央図書館のSNSでの情報発信として、公式X（旧Twitter）運用開始
	6月	西部公民館・柏井公民館に返却ポスト設置
	8月	千葉商科大学外部利用者の入構再開（21日）に伴い、中央図書館と千葉商科大学との連携協定の内容を変更、予約受取再開は6年4月～
	10月	若宮公民館の児童ルームの本を総入れ替し、文化祭（22日）で読み聞かせを実施
6年	1月	本八幡駅開催のフード&ブックドライブ（14日）から、図書館へ約2,000冊の寄贈を受ける
	3月	寄付金（故・渡邊二郎氏の家族）により、市役所第一庁舎返却ポストを新たにリニューアル 同じく若宮公民館にも新たに返却ポストを設置 市川よみっこ運動からビブリオバトル募金による児童書の寄贈を受ける
	4月	米田有貴子図書館長に就任 職員数35名 司書職の採用を再開（6年度2名、7年度2名）
	6月	環境月間にあわせて、「文庫ぷちリサイクル」を地下集会室で土日4回にわたり開催
	11月	市川市生涯学習センター30周年記念「メディアパーク30祭」を開催 グリーンスタジオでのリサイクルブック市を終了、以後地下集会室での小規模開催
	12月	フード&ブックドライブ（14日、京成本社前）から、二回目の寄贈（約1,500冊）を受ける
7年	4月	組織の名称を教育振興部 図書館課に変更

4. 図書館組織図・委員会等

(1) 図書館組織図

令和7年4月1日現在

- ・ の施設は、図書館と連携して事業を行っている関連施設
- ・ の施設は、図書館費で運営している関連施設
- ・ 人数横の[]内の数字は司書有資格者数



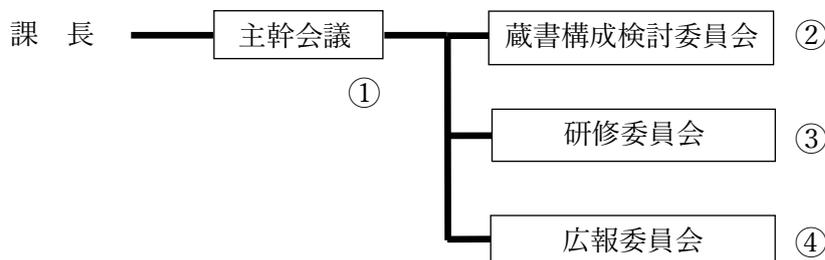
図書館正規職員数

館名	担当	正規職員		再任用		総数		司書率
		司書		司書		司書		
図書館課長		1	1			1	1	
総務グループ		5	2	1	0	6	2	33.3%
中央	計画運営グループ	6	6	1 (大野 1)	1	7	7	100 %
	資料情報グループ	7	5	1	1	8	6	75 %
	児童青少年グループ	4	3	0	0	4	3	75 %
	小 計	17	14	2	2	19	16	84.2%
平田		0	0	1	1	1	1	100 %
行徳		6	4	2	0	8	4	50 %
信篤		2	1	1	1	3	2	66.7%
南行徳		3	2	0	0	3	2	66.7%
合 計		34	24	7	4	41	28	68.3%
			70.6%		57.1 %		68.3%	

【参考】市川駅南口（指定管理者制度を導入）	17	13	76.5%
-----------------------	----	----	-------

(2) 委員会・会議等

令和7年4月1日現在



○各会議・委員会の役割

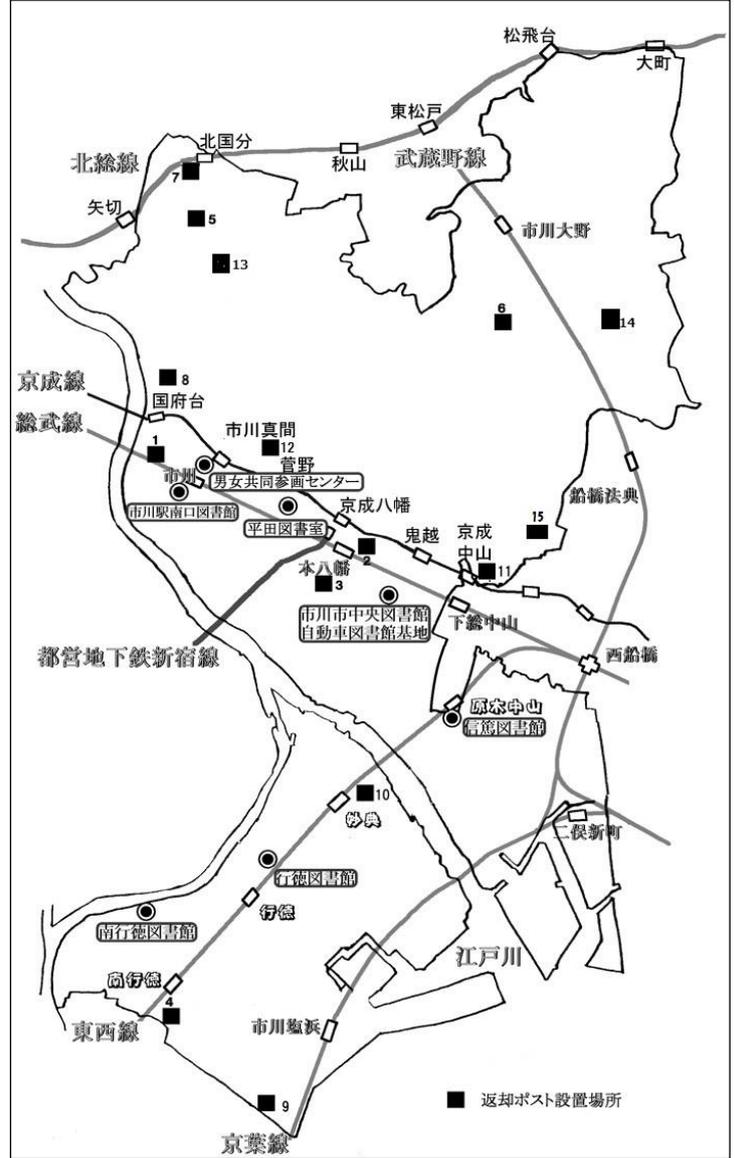
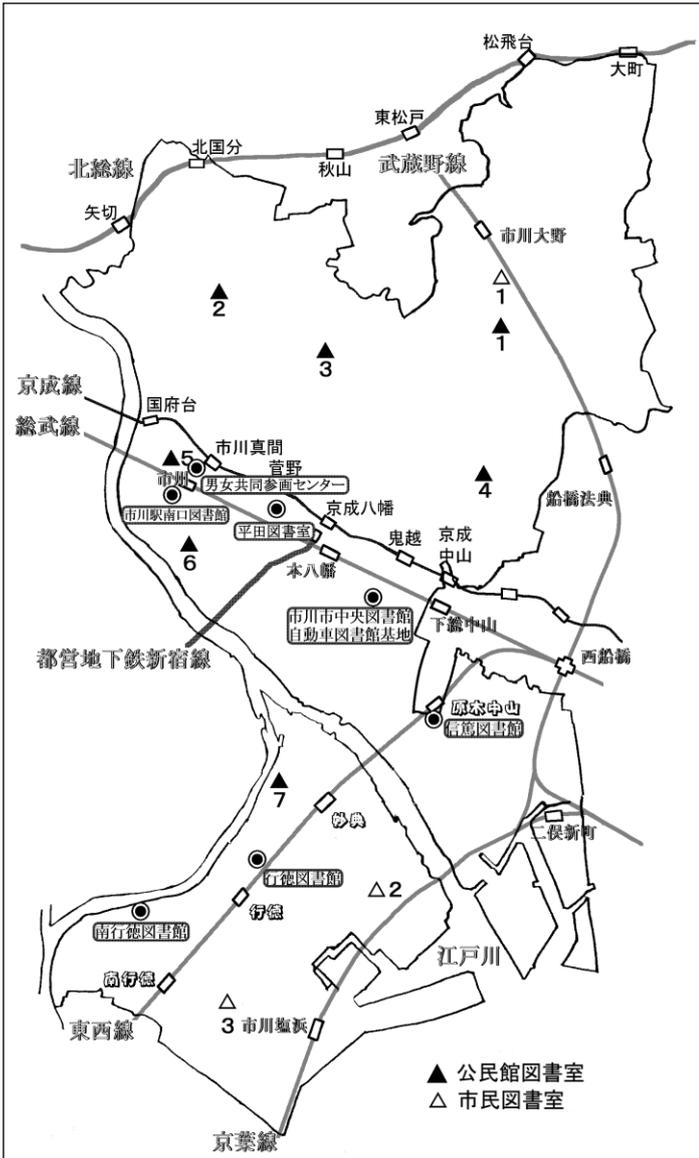
	会 議 名	討 議 内 容
①	主幹会議	中央図書館、及び全館に関わる運営全般について協議・決定を行う。館長・主幹で構成される。
②	蔵書構成検討委員会	収集方針の検討、年度ごとの収集計画の立案、及び選書・蔵書構成や館内整理日の実施事項等について連絡・調整を行う。
③	研修委員会	全館の職員・会計年度任用職員・実習生等に対する研修のプログラムなどの企画・実施及びスタッフマニュアルの管理を行う。
④	広報委員会	「図書館だより」の編集や、「広報いちかわ」への情報提供等、図書館に共通の広報に関する企画・実務を行う。
その他、課題解決及び政策提案等のための対応会議を、プロジェクトを組み随時行っている。		

5. 図書館及び関連施設の配置図

令和7年4月1日現在

図書館と関連施設の配置図

返却ポストの配置図



No.	公民館図書室 (▲)	所在地
1	大野公民館図書室	南大野2丁目
2	西部公民館図書室	中国分2丁目
3	曾谷公民館図書室	曾谷6丁目
4	東部公民館図書室	本北方3丁目
5	市川公民館図書室	市川2丁目
6	市川駅南公民館図書室	大洲4丁目
7	本行徳公民館図書室	本行徳12

No.	市民図書室 (△)	所在地
1	大柏市民図書室	大野町2丁目
2	塩焼市民図書室	塩焼5丁目
3	福栄市民図書室	南行徳2丁目

No.	返却ポスト (■)	所在地	設置年
1	市川公民館	市川2丁目	H14.5
2	市役所第1庁舎[入替R6.3]	八幡1丁目	R2.12
3	情報プラザ2階	南八幡4丁目	H14.5
4	南行徳市民センター[2台]	南行徳1丁目	H14.8
5	歴史博物館	堀之内2丁目	H15.9
6	大野公民館(大柏出張所)	南大野2丁目	H16.8
7	ベルクス市川堀之内店	堀之内3丁目	H21.4
8	千葉商科大学付属図書館	国府台1丁目	H17.10
9	塩浜市民体育館	塩浜4丁目	H18.7
10	イオン市川妙典店[4台]	妙典5丁目	H19.7
11	中山窓口連絡所	中山4丁目	H19.7
12	菅野公民館	菅野3丁目	R3.6
13	西部公民館	中国分2丁目	R5.6
14	柏井公民館	柏井町2丁目	R5.6
15	若宮公民館	若宮2丁目	R6.3

6. 令和7年度施設概要

令和7年4月1日現在

館名	中央	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口
敷地面積	11,012㎡	-----	4,958㎡	-----	410㎡	-----
構造	鉄骨鉄筋 コンクリート造 地上4階 ／地下1階	鉄筋 コンクリート造 地上2階	鉄筋 コンクリート造 地上5階	鉄筋 コンクリート造 地上3階	鉄筋 コンクリート造 地上3階	鉄筋 コンクリート造 地上45階 (3階部分)
建築面積	6,164㎡	-----	674㎡	304㎡	120㎡	-----
延べ床面積	6,411㎡	256㎡	2,223㎡	912㎡	360㎡	573㎡
収容可能冊数	1,000,000冊	40,000冊	155,000冊	55,000冊	36,000冊	43,500冊
うち開架	200,000冊	39,000冊	100,000冊	45,000冊	23,000冊	43,500冊
うち書庫	800,000冊	1,000冊	55,000冊	10,000冊	13,000冊	-----
開館年月日	平成6.11.1	昭和62.10.11	平成元.4.15	昭和54.2.1	昭和58.10.1	平成21.4.30
独立・併設	併設	併設	併設	独立	独立	併設
閲覧席	368席	16席	168席	36席	15席	61席
うち一般	227席	7席	80席	17席	7席	20席
うち児童	62席	9席	68席	6席	8席	11席
その他	79席	-----	20席	13席	-----	30席
駐車場	共有(※1)95台	-----	共有69台	共有20台	-----	-----

※1：バイク置場設置のため減少

(1) 中央図書館 こどもとしゃかん

市川市鬼高1-1-4 TEL 047(320)3333 (機械音声応答)

047(320)3346 (直通)

FAX 047(320)3351

・交通 JR本八幡駅、JR下総中山駅より徒歩15分

京成線鬼越駅より徒歩13分

・地下駐車場(95台)

・開館時間

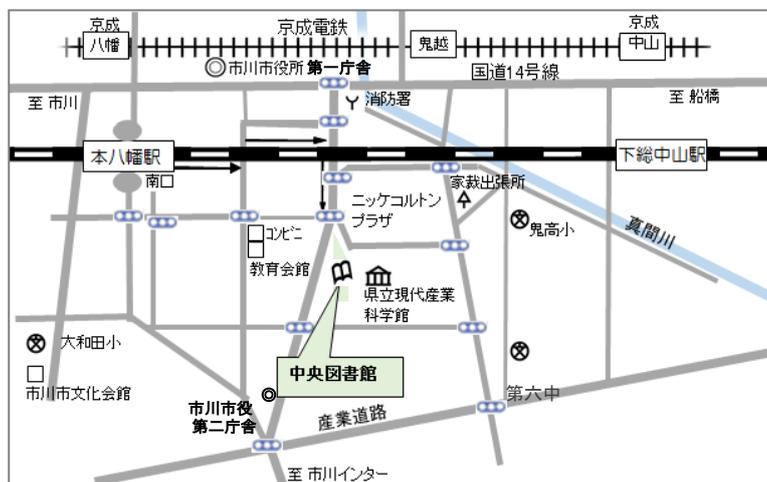
火曜～金曜 10:00～19:30

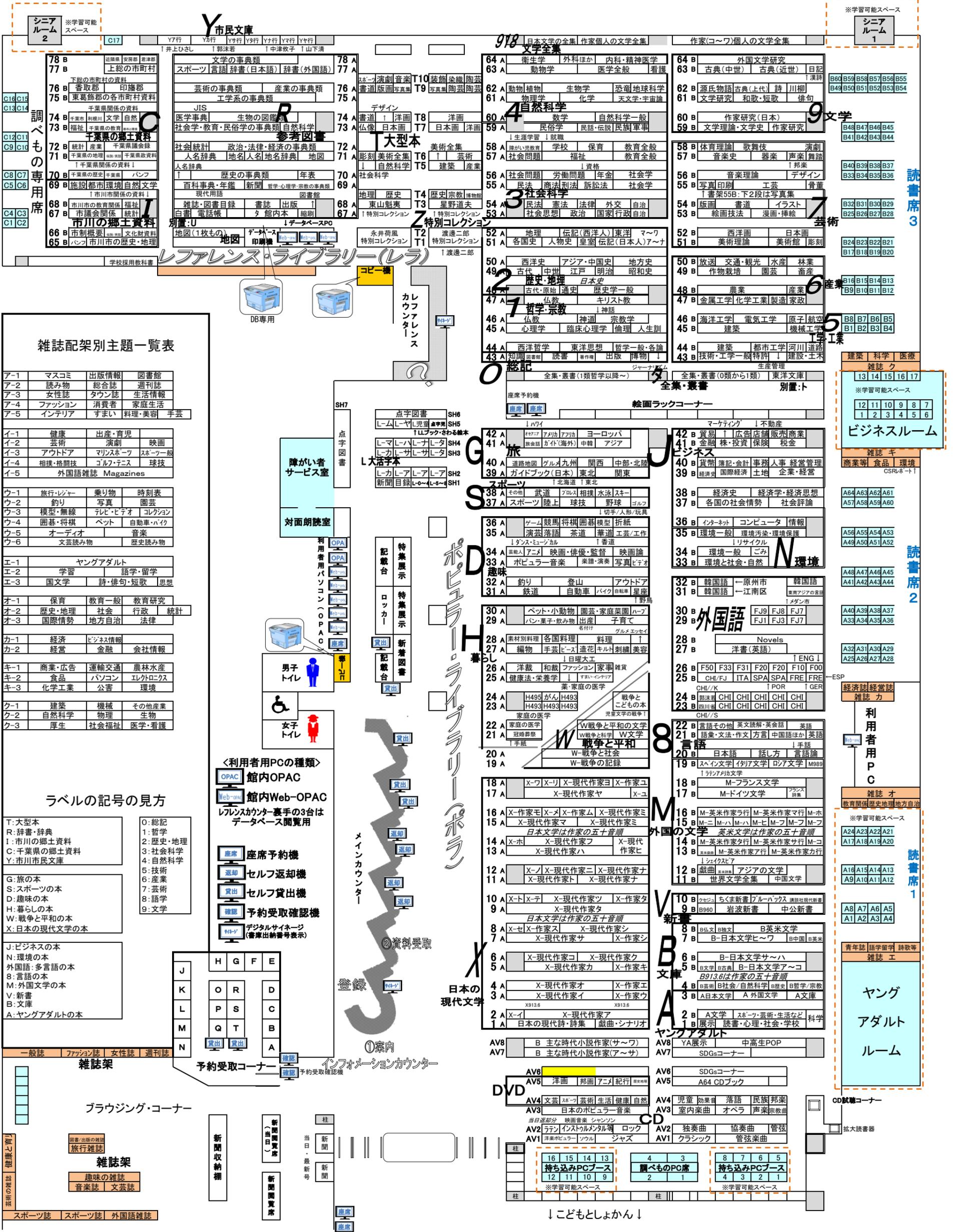
土・日・祝日 10:00～18:00

こどもとしゃかん

火曜～金曜 10:00～18:00

土・日・祝日 10:00～17:00





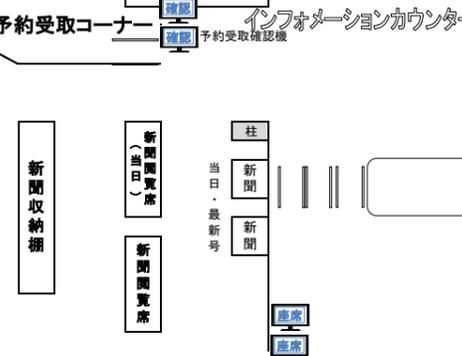
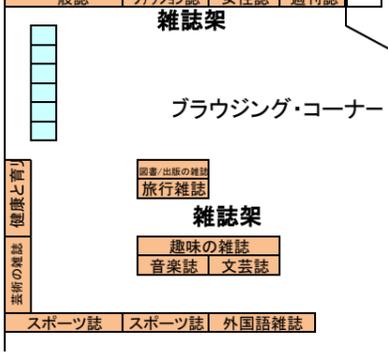
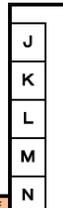
雑誌配架別主題一覧表

ア-1	マスコミ	出版情報	図書館
ア-2	読み物	総合誌	週刊誌
ア-3	女性誌	タウン誌	生活情報
ア-4	ファッション	消費者	家庭生活
ア-5	インテリア	住まい	料理・美容
イ-1	健康	出産・育児	
イ-2	芸術	演劇	映画
イ-3	アウトドア	マリンスポーツ	スポーツ全般
イ-4	相撲・格闘技	ゴルフ・テニス	球技
イ-5			外国語雑誌 Magazines
ウ-1	旅行・レジャー	乗り物	時刻表
ウ-2	釣り	写真	園芸
ウ-3	模型・無線	テレビ・ビデオ	コレクション
ウ-4	囲碁・将棋	ペット	自動車・バイク
ウ-5	オーディオ		音楽
ウ-6	文芸読み物		歴史読み物
エ-1		ヤングアダルト	
エ-2		学習	語学・留学
エ-3		国文学	詩・俳句・短歌
オ-1		保育	教育一般
オ-2		歴史・地理	社会
オ-3		国際情勢	地方自治
カ-1		経済	ビジネス情報
カ-2		経営	金融
キ-1		商業・広告	運輸交通
キ-2		食品	パソコン
キ-3		化学工業	公害
ク-1		建築	機械
ク-2		自然科学	物理
ク-3		厚生	社会福祉

ラベルの記号の見方

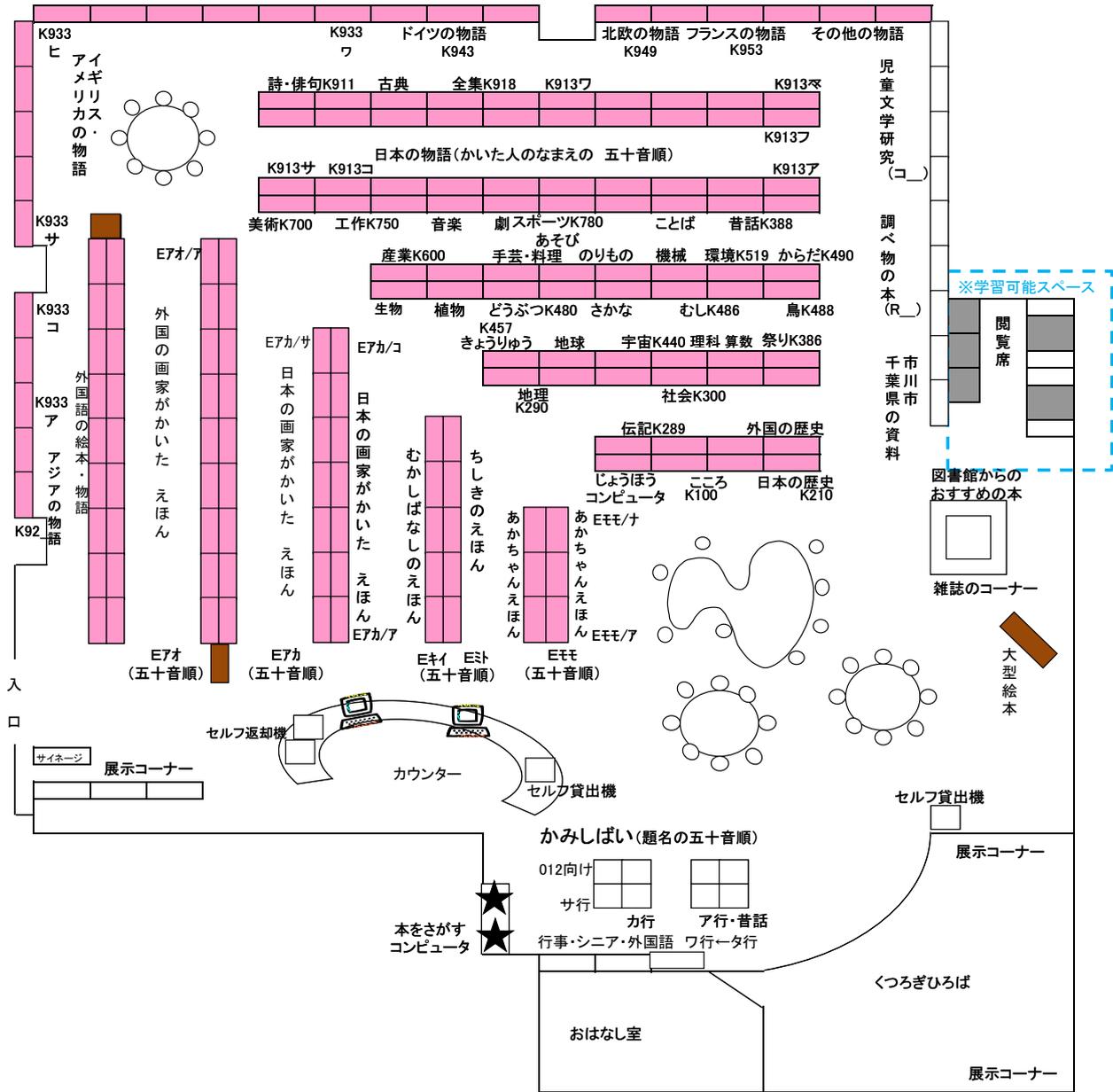
- T: 大型本
- R: 辞書・辞典
- I: 市川の郷土資料
- C: 千葉県の郷土資料
- Y: 市川市民文庫
- G: 旅の本
- S: スポーツの本
- D: 趣味の本
- H: 暮らしの本
- W: 戦争と平和の本
- X: 日本の現代文学の本
- J: ビジネスの本
- N: 環境の本
- 外国語: 多言語の本
- 8: 言語の本
- M: 外国文学の本
- V: 新書
- B: 文庫
- A: ヤングアダルトの本

- <利用者用PCの種類>
- OPAC 館内OPAC
 - Web-OPAC 館内Web-OPAC
 - レファレンスカウンター裏手の3台はデータベース閲覧用
 - 座席予約機
 - セルフ返却機
 - セルフ貸出機
 - 予約受取確認機
 - デジタルサイン機 (書庫出納番号表示)



↓こどもとしゃかん↓

②こどもとしょかんフロア案内図



市川市生涯学習センター
(メディアパーク市川)



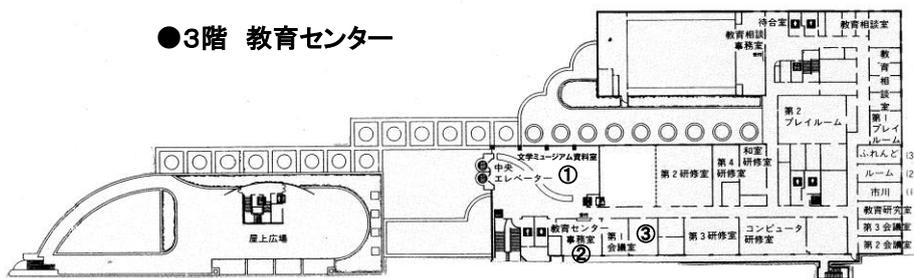
中央図書館



こどもとしょかん

③生涯学習センター(メディアパーク市川)フロア案内図

●3階 教育センター

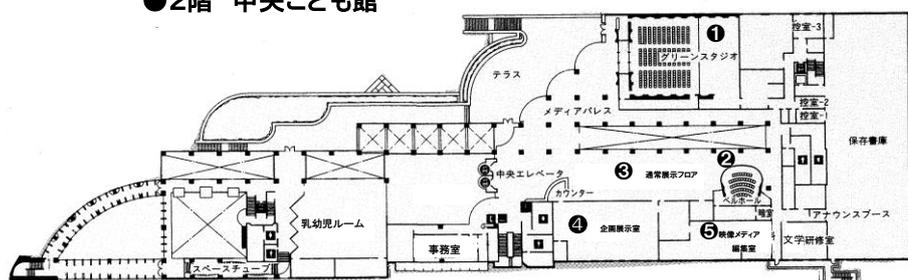


3階

- ①文学ミュージアム資料室：2階文学ミュージアムの資料室。
- ②教育センター：市内小・中・義務教育学校、特別支援学校の教職員の研修と、子どもや保護者からの教育相談を行う施設。
- ③少年センター：青少年の健全育成のための補導活動や少年相談業務を行う施設。

●2階 中央こども館

文学ミュージアム

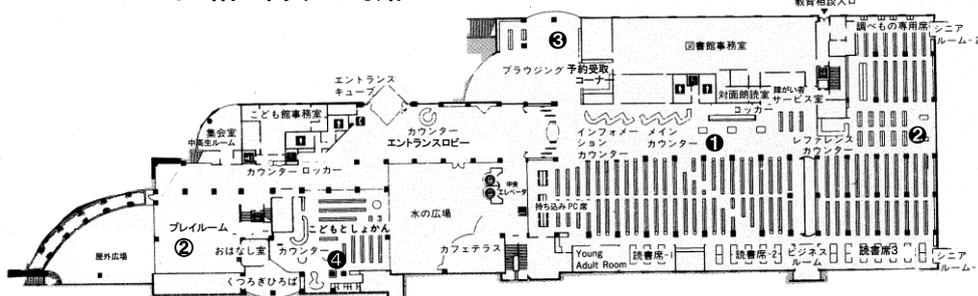


2階

- ①文学ミュージアム：①～⑤
- ①グリーンスタジオ：講演会・演劇公演・コンサート・映画上映・朗読会が行える。最大で260人を収容し、車イスへの対応も可能。
- ②ベルホール：講演会・演劇公演・コンサート・映画上映・朗読会が行える。定員46名。
- ③通常展示フロア：映画・演劇・小説・詩歌・文芸に区分し、文学の街いちかわの魅力を展示品・写真・映像を交え、紹介。
- ④企画展示室：市川ゆかりの文学や映像文化に関する企画展や展覧会などを行う。
- ⑤映像メディア編集室：映像編集機器があり、映像や画像の編集が行える。

●1階 中央こども館

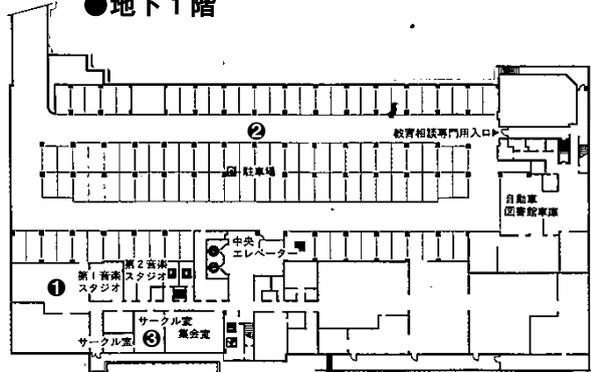
中央図書館



1階

- ①中央図書館：①～④
- ①ポピュラーライブラリー：小説・趣味・ビジネス書など、生活に役立つ資料を備えている。中高生のためのコーナーや、CD・DVDのコーナーも設けている。
- ②レファレンスライブラリー：調べものに役立つ、専門書・辞典・郷土資料などを集めたコーナー。調べものの相談にも対応。
- ③ブラウジングコーナー(軽読書席)：各種新聞や雑誌をくつろいだ雰囲気の中で読める、軽読書コーナー。
- ④こどもとしょかん：紙芝居・絵本を含め、児童書3万点を揃える。定期的に読み聞かせの会を開催。
- ②中央こども館：18歳未満のすべての子どもを対象とし、地域における遊び及び生活の援助と子育て支援を行い、子どもの心身を育成し情操をゆたかにすることを目的とする施設。

●地下1階



地下1階

- ①音楽スタジオ：少人数の音楽練習向き。(担当課：2階①文学ミュージアム)
- ②地下駐車場：95台収容。(担当課：1階①中央図書館)
- ③集会室・サークル室：読書会・図書館ボランティア活動等に使用。(担当課：1階①中央図書館)

構成する施設(スペース)	専有面積	配賦割合	所管課
中央図書館	6,411.㎡	32.63%	中央図書館
文学ミュージアム	2,970.㎡	15.12%	文化施設課
教育センター・少年センター	2,233.㎡	11.37%	教育センター
中央こども館	1,655.㎡	8.42%	こども家庭支援課
機械室・駐車場・共有部分	6,379.㎡	32.47%	中央図書館

(2) 自動車図書館「みどり号」

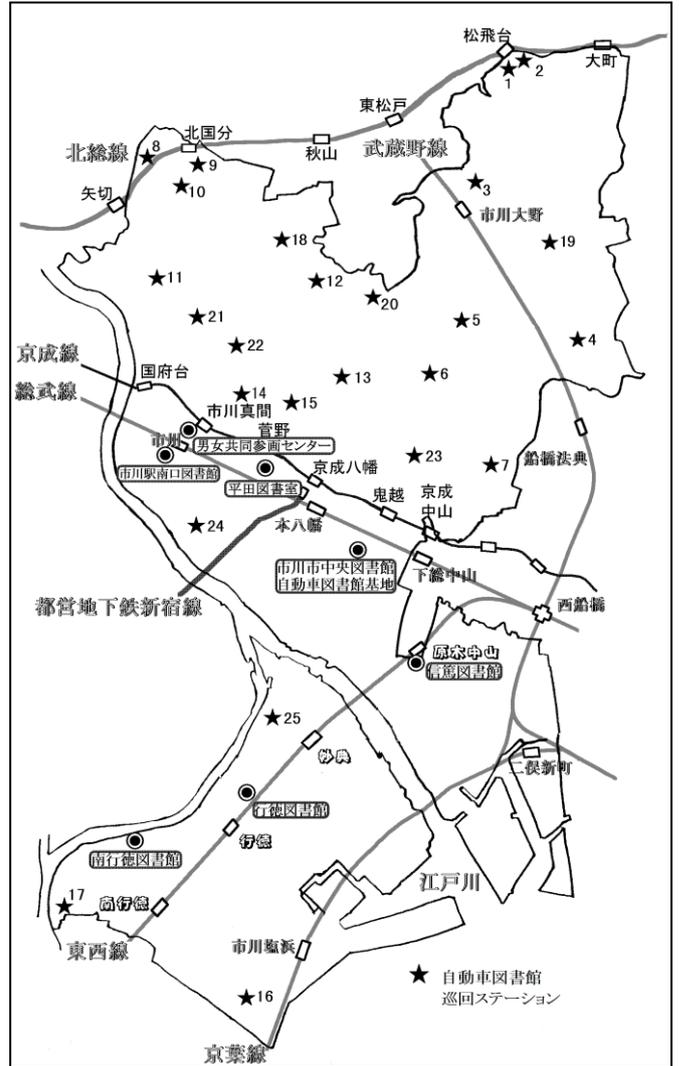
固定館だけでは補いきれない地域の方々のための図書館サービス。身体に障がいのある方、ご高齢の方、または乳幼児のいる家庭、地理的障害のために固定館を利用できない方等に向けて、北部地域を中心に運行している。中央図書館地階を基地とし、駐車場と自動車図書館用書庫を有する。

ステーション数は全25箇所、1ステーション当たり30分から40分滞在し、主に図書の貸出、返却を行う。雨などの悪天候のときには巡回を中止する。

なお、平成18年4月より、運転業務に加え、図書の貸出・返却業務も委託している。

車両仕様

名称	みどり号 (4代目)
登録番号	市川 810 さ 2022
車名・型式	いすゞ 2RG-NHR88AN
定員	3人
サイズ	長さ486cm・幅179cm・高さ260cm
燃料	軽油
総排気量	2.99 k w
登録年月日	令和4年4月20日
製作	株式会社 林田製作所
積載冊数	1,200冊
※令和4年5月より本車両で運行開始。	



みどり号巡回表 (令和7年4月1日現在)

	曜日	午前	午後
第1週	水	★18 稲越小学校 稲越3-21-8 10:20~11:00	★7 若宮児童公園 若宮3-20 1:30~2:00
	木	★16 塩浜団地商店街広場 塩浜4-2 10:20~10:50	★3 みかど公園 大野町3-1649-2 2:30~3:00
	金	★15 榊クボタ菅野ハイツ 菅野5-3-6 10:20~11:00	★9 堀之内公園 堀之内3-2 1:30~2:00
第2週	火		★16 塩浜団地商店街広場 塩浜4-2 1:30~2:00
	水	★9 堀之内公園 堀之内3-2 10:20~10:50	★2 市営大町第2団地 大町124 1:30~2:00
	木	★13 西ノ下公園 宮久保1-8-11 10:20~11:00	★8 北国分2丁目公園 北国分2-27 2:20~2:50
	金	★11 国府台児童公園 国府台5-8 10:20~11:00	★20 市営曾谷第1団地 曾谷2-7-1 1:30~2:00
			★4 柏井小学校 柏井1-1149-1 2:30~3:00
			★23 北方第2公園 北方2-29-19 3:20~4:00
			★12 山王公園 曾谷5-16 3:20~4:00
			★14 菅野小学校 菅野6-14-1 3:20~4:00
			★25 行徳児童公園 本行徳12 3:20~4:00
			★6 宮久保小学校 宮久保5-7-1 2:30~3:00
			★24 大洲防災公園 大洲1-18 3:30~4:00
			★21 市川真間グループホーム 真間5-15-13 3:20~4:00
			★1 市営大町第1団地 大町95 2:30~3:00
			★5 大野小学校 南大野1-42-1 3:20~4:00

(3) 平田図書室

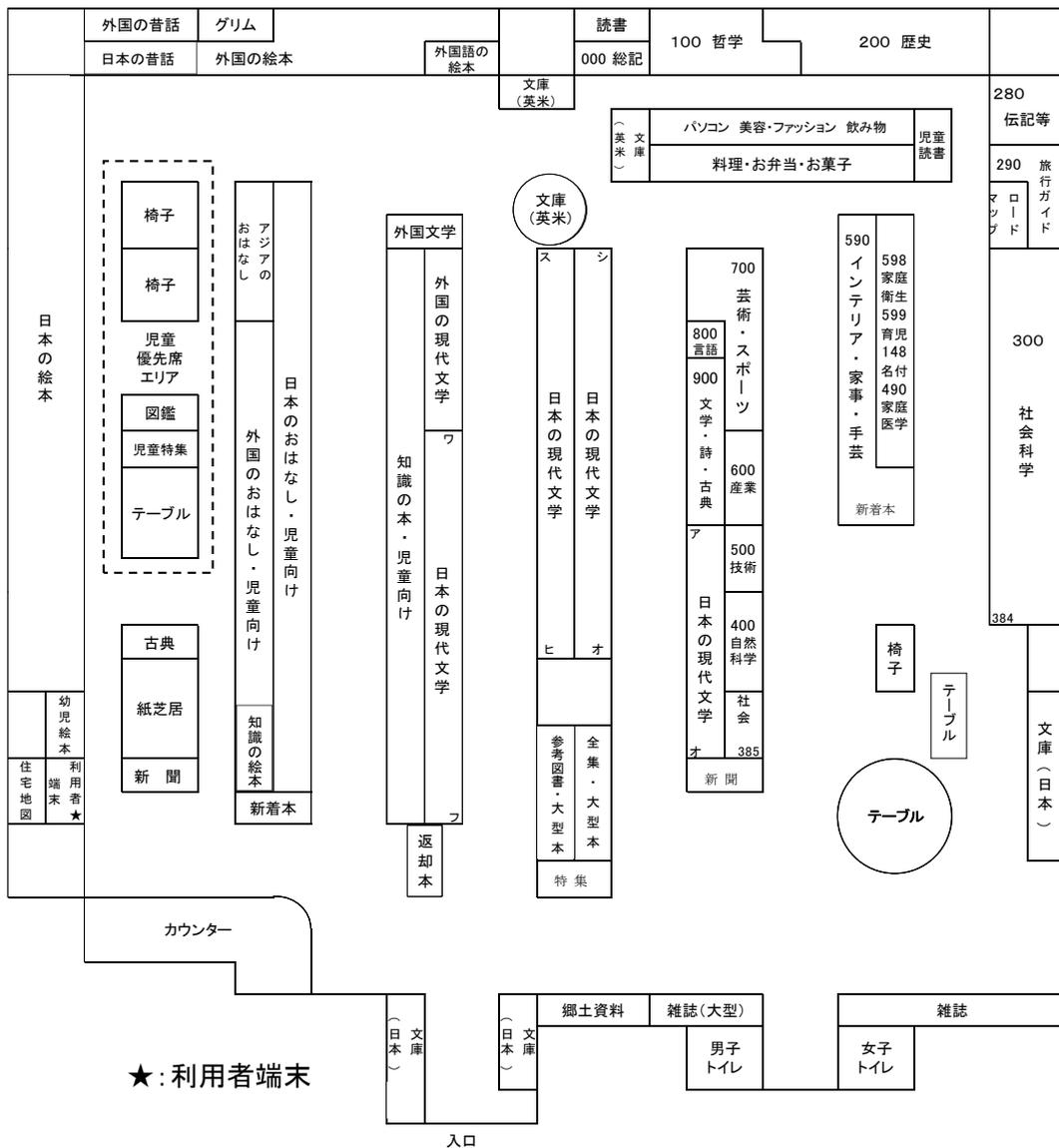
市川市平田 1-20-16

TEL 047 (321) 2243

FAX 047 (321) 2243



- 交通 京成菅野駅より徒歩8分
JR本八幡駅より徒歩10分
- 開館時間 火曜～日曜 9:30～17:00



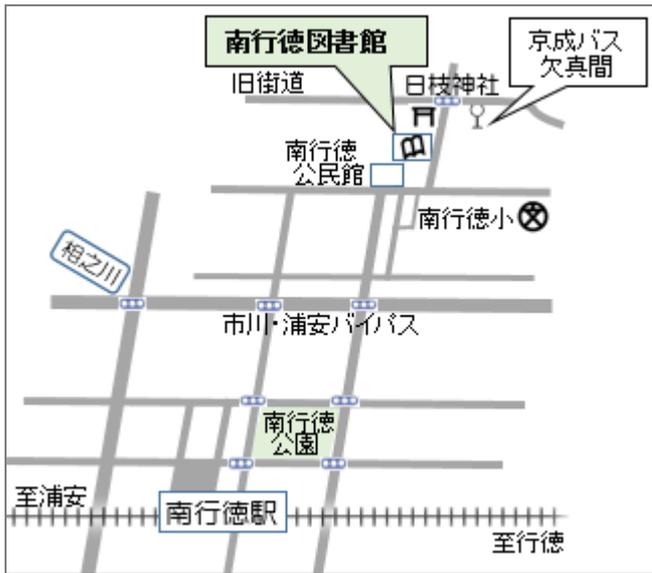
(6) 南行徳図書館

市川市相之川1-2-4

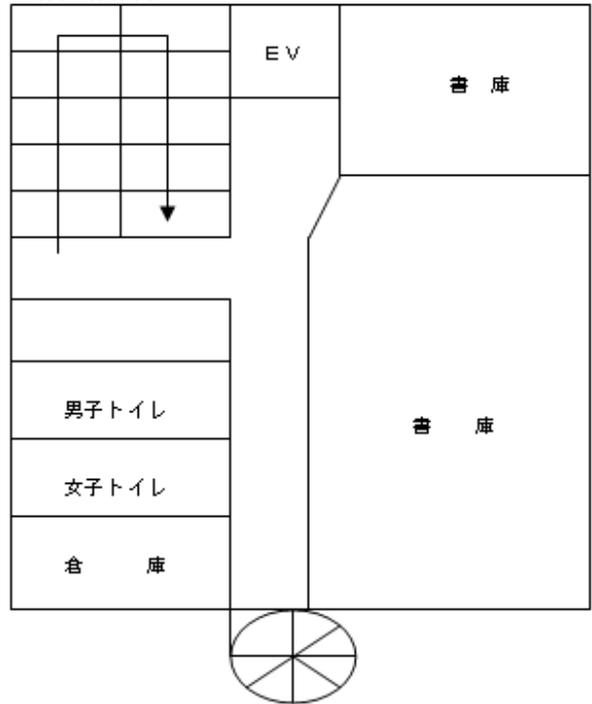
TEL 047 (357) 4188

FAX 047 (357) 4188

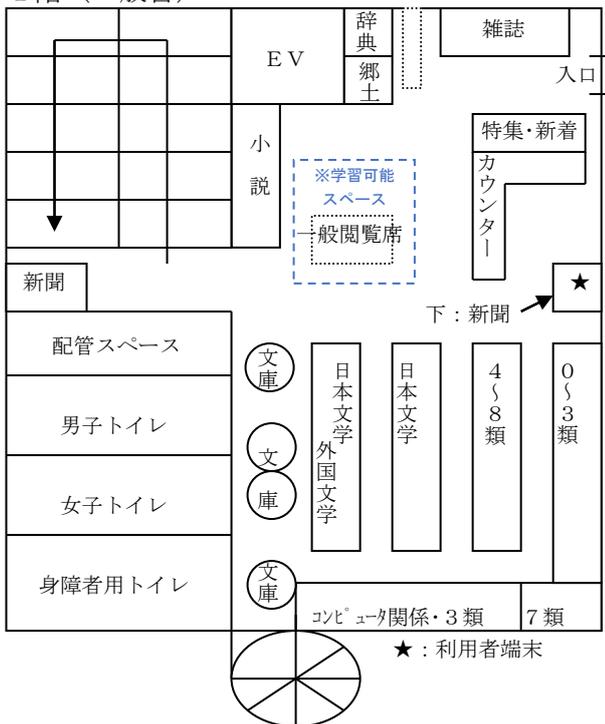
- ・交通 東西線南行徳駅より徒歩15分
JR本八幡駅より浦安駅行きバス
「欠真間」下車徒歩2分
- ・開館時間 火曜～日曜 9:30～17:00



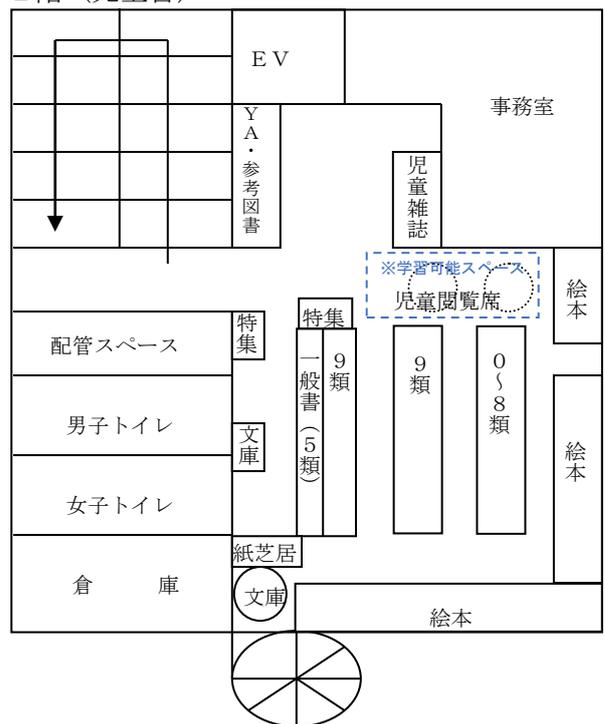
3階 (書庫)



1階 (一般書)



2階 (児童書)



① 指定管理者制度導入の経過

平成19年	4月	南口図書館運営計画策定作業開始
	10月	行政経営会議（3日）において、A棟3階（図書館・保育園）のレイアウト及び図書館運営形態（直営＋一部委託）の報告を行う
20年	9月	行政経営会議（17日）、指定管理者制度導入に関する会議（25日）において、市川駅南口図書館への指定管理者制度導入が正式に決定
	11月	12月議会開催（28日）、市川市生涯学習センターの設置及び管理に関する条例の一部改正についての議案〔市川駅南口図書館の設置及び指定管理者に管理を行わせること、行徳図書館の祝日開館他（第31号）〕、市川市立図書館設置条例の全部改正についての議案〔中央図書館と生涯学習センターの祝日開館（第32号）〕提出
	12月	環境文教委員会（2日）、議案第31号否決、第32号可決 委員長報告・本会議議決（5日）、議案第31号及び第32号可決
21年	1月	指定管理者公募受付（16～23日）に4社応募 選定審査会による1次審査（26・27日）
	2月	選定審査会による2次審査（2日） 定例教育委員会（5日）指定管理者の指定の議案に係る教育委員会の意見聴取 2月議会開会（16日）指定管理者の指定の議案（第84号）提出
	3月	議案第84号継続審議可決（3日） 委員長報告・動議（11日）環境文教委員会審査期限付動議可決 環境文教委員会（12・16・18・19日）選定評価表の見直し、適正なモニタリングの実施、3年後の制度継続を含めた見直し等、条件付きで議案第84号可決（19日） 委員長報告・本会議議決（23日）議案第84号可決 指定管理者の告示及び通知（27日）株式会社ヴィアックス 基本協定書締結（31日）
	4月	指定管理期間の開始（3年間：21/4/1～24/3/31） 開館準備及び指定管理者研修（1～29日） オープニングセレモニー（30日）

② モニタリング

平成22年	11月	平成21年度全期選定審査会（モニタリング結果審査・評価の決定）（8日） 評価項目は、大項目全18項目、評価視点（評価事項）全46項目138点を設定 21年度全期 第1次評価（担当者 7月9日）第2次評価（委員会 7月26日） 21年度上半期 第1次評価（担当者 1月14/15日）第2次評価（委員会 2月3日）
23年	8月	平成22年度全期選定審査会（モニタリング結果審査・評価の決定）（22日） 評価項目を整理し、図書館サービスに直接関連する評価視点を3項目増 22年度全期 第1次評価（担当者 7月5日）第2次評価（委員会 7月29日） 22年度上半期 第1次評価（担当者 1月7日）第2次評価（委員会 2月8日）
24年	8月	平成23年度全期選定審査会（モニタリング結果審査・評価の決定）（7日） 23年度全期 第1次評価（担当者 6月15日）第2次評価（委員会 6月28日） 23年度上半期 第1次評価（担当者 1月6日）第2次評価（委員会 2月17日）
25年	2月	評価委員による評価項目検討審査会（15日）評価項目は、大項目全16項目、評価視点（中項目）全38項目102点とし、図書館サービス部分を重視する傾斜配分に改める
	7月	平成24年度選定審査会（モニタリング結果審査・評価の決定）（7月31日） 24年度全期 第1次評価（担当者 6月14日）第2次評価（委員会 7月2日） 新評価項目による24年度上半期モニタリング第1次評価（担当者 3月8日）
	11月	25年度上半期モニタリング第1次評価（担当者 21日）
26年	8月	平成25年度モニタリング評価の決定 25年度全期第1次評価（担当者 6月13日）第2次評価（評価委員会 6月30日） 「市川市指定管理者のモニタリングに関する実施要領」一部改正により第2次評価を選定審査会会長へ報告（7月）
	12月	26年度上半期モニタリング第1次評価（担当者 5日）
27年	8月	平成26年度モニタリング評価の決定 26年度全期 第1次評価（担当者 6月19日）第2次評価（評価委員会 7月16日）
	12月	新評価項目での27年度上半期モニタリング第1次評価（担当者 18日）

平成28年	8月	平成27年度モニタリング評価の決定 27年度全期 第1次評価（担当者 6月17日）第2次評価（評価委員会7月14日）
	12月	平成28年度上半期モニタリング第1次評価（担当者 22日）
29年	9月	平成28年度モニタリング評価の決定 28年度全期 第1次評価（担当者 6月15日）第2次評価並びに指定期間全体（24年～28年度）の評価（評価委員会 7月13日）
	12月	29年度上半期モニタリング第1次評価（担当者 21日）
30年	10月	平成29年度モニタリング評価の決定 29年度全期 第1次評価（担当者 6月15日）第2次評価（評価委員会 7月12日）
	11月	平成30年度上半期モニタリング第1次評価（担当者 27日）
令和元年	10月	平成30年度モニタリング評価の決定 30年度全期 第1次評価（担当者 6月13日）第2次評価（評価委員会 7月9日）
	11月	令和元年度上半期モニタリング第1次評価（担当者 14日）
2年	10月	令和元年度モニタリング評価の決定 元年度全期 第1次評価（担当者 6月11日）第2次評価（評価委員会 7月9日）
3年	1月	令和2年度上半期モニタリング第1次評価（担当者 14日）
	10月	令和2年度モニタリング評価の決定 2年度全期 第1次評価（担当者 6月18日）第2次評価（評価委員会 7月8日）
	12月	令和3年度上半期モニタリング第1次評価（担当者 22日）
4年	10月	令和3年度モニタリング評価の決定 3年度全期 第1次評価（担当者 6月17日）第2次評価並びに指定期間全体（平成29年～令和3年度）の評価（評価委員会 7月12日）
	12月	新評価項目での令和4年度上半期モニタリング第1次評価（担当者 22日）
5年	4月	「指定管理者のモニタリングに関する実施要領」「生涯学習部が所管する公の施設の指定管理者のモニタリングに係る評価委員会運営要領」全部改正
	10月	令和4年度モニタリング評価の決定 4年度全期 生涯学習部による評価（担当者 6月15日）生涯学習部による評価の手続き及び評価結果に関する意見交換（評価委員会 7月13日）
6年	10月	令和5年度モニタリング評価の決定 5年度全期 生涯学習部による評価（担当者 6月14日）生涯学習部による評価の手続き及び評価結果に関する意見交換（評価委員会 7月11日）

※モニタリングの流れ

<p>指定管理者が前年度の年次報告書を提出（60日以内） 前年度の全期（一年分の）モニタリング 生涯学習部による評価（6月頃） 評価委員会による意見交換（7月頃） 選定審査会会長である副市長への報告で評価の決定（9～10月頃）</p>

③ 更新

平成23年	5月	公の施設の指定管理者候補者選定審査会（18日）
	8月	指定管理者公募受付（7/31～8/11）に3社応募
	10月	選考委員会による1次審査（7日）選定審査会による2次審査（19日）
	11月	定例教育委員会（10日）市川市市川駅南口図書館指定管理者の指定について（議案第37号）
	12月	議会開会（25日）指定管理者の指定の議案（第39号）提出
	12月	委員長報告・本会議議決（2日）、議案第39号可決 指定管理者の告示及び通知（9日）株式会社ヴィアックス
24年	3月	基本協定書締結（31日）
	4月	2期目の指定管理期間の開始（5年間:24/4/1～29/3/31）
26年	3月	（税率8%に伴う）変更基本協定書締結（31日）
28年	4月	（行政不服審査法の改訂に伴う）変更基本協定書締結（1日）

- 5月 公の施設の指定管理者候補者選定審査会（24日）
- 7月 指定管理者公募受付（7/7～14）に2社応募
- 8月 選考委員会による1次審査（9日）
- 10月 選定審査会による2次審査（12日）
- 12月 定例教育委員会報告（1日）（第21号）
- 12月議会開会（2日）指定管理者の指定の議案（第61号）提出
- 委員長報告・本会議議決（9日）、議案第61号可決
- 指定管理者の告示及び通知（21日）株式会社ヴィアックス
- 平成29年 3月 基本協定書締結（31日）
- 4月 3期目の指定管理期間の開始（5年間:29/4/1～34/3/31）
- 令和元年 9月 （税率10%に伴う）変更基本協定書締結（30日）
- 3年 6月 公の施設の指定管理者候補者選定審査会（22日）
- 8月 指定管理者公募受付（8/5～13）に2社応募
- 9月 選考委員会による1次審査（30日）
- 10月 選定審査会による2次審査（14日）
- 11月 12月議会開会（29日）指定管理者の指定の議案（第50号）提出
- 12月 定例教育委員会報告（6日）（第23号）
- 委員長報告・本会議議決（7日）、議案第50号可決
- 指定管理者の告示及び通知（28日）株式会社ヴィアックス
- 4年 3月 基本協定書締結（31日）
- 4月 4期目の指定管理期間の開始（5年間:4/4/1～9/3/31）

No.	大項目	評価視点	全期	
			評価	評価点
1	利用者アンケートの実施等に関する事	利用者アンケート調査を実施し、改善に努めているか。	B	2
2	利用者の要望及び苦情に関する事	利用者の要望及び苦情等の対応は適切に行われているか。	B	2
3		電話での対応を含む職員の接客態度は適切か。	B	2
4	職員の配置・補充体制に関する事	業務遂行に必要な要員配置及び司書有資格者は確保されているか。	B	2
5※		労働関連法令を順守した雇用を行っているか。	B	2
6☆		組織の指揮命令系統・チェック機能が確保されているか。	B	2
7	個人情報の保護に関する事	利用者の個人情報は、市川市個人情報保護条例に従って適正に管理されているか。	A	3
8☆	指定管理者の経理に関する事	会計区分は適正に管理され、決算は適正に行われているか。	B	2
9☆	文書管理に関する事	文書の管理及び保管は適切に行われているか。	B	2
10☆	提出書類に関する事	提出書類は適正なものを期日までに提出しているか。	B	2
11※	施設賠償責任保険の付保に関する事	施設賠償責任保険の加入は適切に行われているか。	B	2
12※	第三者への一括委託に関する事	一括委任、一括委託は行われていないか。	B	2
13※	施設の目的外使用に関する事	市川駅南口図書館の目的外使用は行われていないか。または、適正な目的外利用を行っているか。	B	2
14☆	市の財産の管理に関する事	市の財産の形状、形質等の変更はないか。	B	2
15☆	施設・備品の維持管理・修繕に関する事	仕様書の範囲内で適切に修繕が行われているか。	B	2
16		備品は適正に管理しているか。	B	2
17	施設の状況に関する事	委託業務の適正な履行の確認・管理が行われているか。(清掃・警備・各種保守点検)	B	2
18	事故・緊急事態の対応に関する事	事故防止、安全対策がされているか。	A	3
19		事故等の緊急時、災害発生時の対応は確保されているか。	B	2
20※		防火管理者は適正に配置されているか。	B	2
21	公共性の尊重に関する事	公の施設及び公共図書館であることを認識した管理運営が従事者まで徹底されているか。	B	2
22※	法令等の遵守に関する事	市川駅南口図書館の設置管理条例及び施行規則に定める事項を遵守しているか。	B	2
23	情報の公開に関する事	情報の公開に努めているか。	B	2
24☆	指定管理者の経営状況に関する事	指定管理者の財務状況は安定しているか。	B	2
25	図書館サービス業務に関する事	現場従事者等に対する研修は適切に行われているか。(含. 配置前研修)	B	2
26		市川駅南口図書館の特徴を活かしたサービス(駅前情報拠点、地域との連携)を展開しているか。	A	3
27		市川駅南口図書館の特徴を活かしたサービス(ビジネス支援、健康・医療情報提供)を展開しているか。	A	3
28		ICTを活用したサービスを展開しているか。	A	3
29		非来館・非接触型サービスを展開しているか。	A	3
30		行事は適切に行われているか。	A	3
31		PR活動等の努力が行われているか。	A	3
32☆		利用者登録業務は適切に行われているか。	B	2
33		貸出返却業務は適切に行われているか。	B	2
34		予約業務は適切に行われているか。	B	2
35		レファレンス業務は適切に行われているか。(対応・内容について)	A	3
36		レファレンス業務は適切に行われているか。(記録・報告について)	B	2
37		資料管理業務は適切に行われているか。	A	3
38		書架管理業務は適切に行われているか。(含. 月末館内整理・蔵書点検)	B	2
評価点合計			86	
総合判定			良	

★B・C・Dの3段階で評価→6,8~10,14,15,24,32 ※B・Dの2段階で評価→5,11~13,20,22
 その他の24項目は、A・B・C・Dの4段階で評価

【注】評価方法について

①評価視点ごとの評価点 A:3点 B:2点 C:1点 D:0点

②総合評価の方法 全期(全38項目) 優:90点~100点 良:60点~89点 可: ~59点 改善:D評価がある場合

(8) 関連施設

① 市民図書室 (p. 49)

図書室名	住所・電話番号	開室日・開室時間	床面積	開設年月日
塩焼市民図書室 (塩焼読書センター)	市川市塩焼5-9-8 047 (397) 6823	水・土・日曜 10:00~16:00	135.0㎡	昭和56年10月8日
福栄市民図書室	市川市南行徳2-2-1 047 (395) 5020	水・土・日曜 10:00~16:00	112.5㎡	昭和60年10月5日
大柏市民図書室	市川市大野町2-1877 047 (338) 7897	水・土・日曜 10:00~16:00	315.0㎡	平成3年4月1日

② 公民館図書室 (p. 50)

公民館図書室名	住所・電話番号	貸出日・時間	床面積
大野公民館図書室	市川市南大野2-3-19 047 (339) 3400	火曜~日曜 9:30~17:00	127.0㎡
西部公民館図書室	市川市中国分2-13-8 047 (371) 2777	火曜~日曜 9:30~12:00 13:00~17:00	112.0㎡
曾谷公民館図書室	市川市曾谷6-25-5 047 (372) 2871	水・木・土・日曜 9:30~12:00 13:00~16:30	144.0㎡
東部公民館図書室	市川市本北方3-19-16 047 (337) 8886	火・水・土曜 9:30~12:00 13:00~16:30	81.0㎡
市川公民館図書室	市川市市川2-33-2 047 (321) 1171	水・土曜 9:30~12:00 13:00~16:30	40.5㎡
市川駅南公民館図書室	市川市大洲4-18-3 047 (370) 3564	水・日曜 9:30~12:00 13:00~16:30	31.4㎡
本行徳公民館図書室	市川市本行徳12-8 047 (359) 1351	水・金・土・日曜 9:30~12:00 13:00~16:30	170.0㎡

③ 男女共同参画センター(ウイズ)情報資料室 (p. 50)

住所・電話番号	開室日	交通	床面積
市川市市川1-24-2 市川西消防署4階 047 (322) 6700	水・土・日曜 (祝日は除く) 9:30~17:00	J R市川駅 京成市川真間 駅より徒歩5分	93.0㎡

④ いちかわ情報プラザ (p. 50)

住所・電話番号	利用時間	交通
市川市南八幡4-2-5 いちかわ情報プラザ2階 047 (314) 0811	火曜~金曜 10:00~19:30 土・日・祝日 10:00~18:00 (第4日曜日は除く)	J R本八幡駅南口より徒歩1分

7. 令和7年度予算

(1) 市の予算

(単位：千円)

項 目	令和7年度当初予算額	令和6年度当初予算額	対前年度比
総 額	292,262,000	279,514,000	12,748,000
一般会計	188,600,000	176,800,000	11,800,000
特別会計	80,808,000	79,795,000	1,013,000
公営企業会計	22,854,000	22,919,000	-65,000

(2) 教育費

(単位：千円)

科 目	令和7年度当初予算額	令和6年度当初予算額	対前年度比
一般会計のうち教育費	17,447,000 (一般会計の9.2%)	15,349,000 (一般会計の8.7%)	2,098,000
教育費のうち図書館費	226,246 (教育費の1.3%)	224,594 (教育費の1.5%)	1,652

(3) 図書館費

(単位：千円)

	令和7年度当初予算額	細 節	令和6年度当初予算額
総 計	226,246		224,594
7. 報 償 費	63	◎報償金 47 ◎講師謝礼金 16	63
8. 旅 費	6	◎職員旅費 6	6
10. 需 用 費	86,850	◎消耗品費 69,262 ◎定期刊行物費 9,421 ◎印刷製本費 1,581 ◎燃料費 120 ◎光熱水費 3,881 ◎物品等修繕料 300 ◎自動車修繕料 31 ◎施設修繕料 2,250 ◎医薬材料費 4	86,762
11. 役 務 費	1,516	◎通信運搬費 1,145 ◎手数料 371	1,406
12. 委 託 料	115,555	◎委託料 115,555	114,596
13. 使用料及び 賃借料	8,495	◎使用料 6,051 ◎賃借料 2,444	8,288
17. 備品購入費	1,829	◎事業用機械器具費 456 ◎図書費 1,373	1,516
18. 負担金補助 及び交付金	11,932	◎負担金 11,932	11,932
26. 公 課 費	0	◎自動車重量税 0	25

(4) 館別資料費

○ 図書館

(単位：千円)

館名	図書費			視聴覚資料費	定期刊行物費	合計
	消耗品図書	備品図書	計			
中央	28,355 (28,355)	1,194 (1,194)	29,549 (29,549)	352 (425)	5,416 (5,415)	35,316 (35,389)
行徳	7,747 (7,747)	179 (179)	7,926 (7,926)	233 (304)	1,690 (1,690)	9,849 (9,920)
信篤	2,696 (2,696)	0 (0)	2,696 (2,696)	0 (0)	557 (557)	3,253 (3,253)
南行徳	2,696 (2,696)	0 (0)	2,696 (2,696)	0 (0)	553 (568)	3,249 (3,264)
平田	2,696 (2,696)	0 (0)	2,696 (2,696)	0 (0)	524 (524)	3,220 (3,220)
市川駅南口	2,775 (2,775)	0 (0)	2,775 (2,775)	294 (294)	681 (678)	3,750 (3,747)
図書館 リクエスト	14,094 (14,094)	0 (0)	14,094 (14,094)	0 (0)	0 (0)	14,094 (14,094)
合計	61,059 (61,059)	1,373 (1,373)	62,432 (62,432)	879 (1,023)	9,421 (9,432)	72,732 (72,887)

○ 図書館関連施設

(単位：千円)

	図書費			視聴覚資料費	定期刊行物費	合計
	消耗品図書	備品図書	計			
男女共同 参画センター	56 (56)	0 (0)	56 (56)	0 (0)	0 (17)	56 (73)

○ 公民館図書室（大野・西部・曾谷・東部・市川・市川駅南・本行徳の7図書室）

(単位：千円)

	図書費			視聴覚資料費	定期刊行物費	合計
	消耗品図書	備品図書	計			
公民館 図書室	2,970 (2,970)	0 (0)	2,970 (2,970)	0 (0)	0 (0)	2,970 (2,970)

消耗品図書に、大野・西部図書室のリクエスト予算160千円分を含む。

○ 市民図書室（塩焼・福栄・大柏の3図書室）

(単位：千円)

	図書費			視聴覚資料費	定期刊行物費	合計
	消耗品図書	備品図書	計			
市民 図書室	837 (837)	0 (0)	837 (837)	0 (0)	0 (0)	837 (837)

○ 資料費総計

(単位：千円)

	図書費			視聴覚資料費	定期刊行物費	合計
	消耗品図書	備品図書	計			
総計	64,922 (64,922)	1,373 (1,373)	66,295 (66,295)	879 (1,023)	9,421 (9,449)	76,595 (76,767)

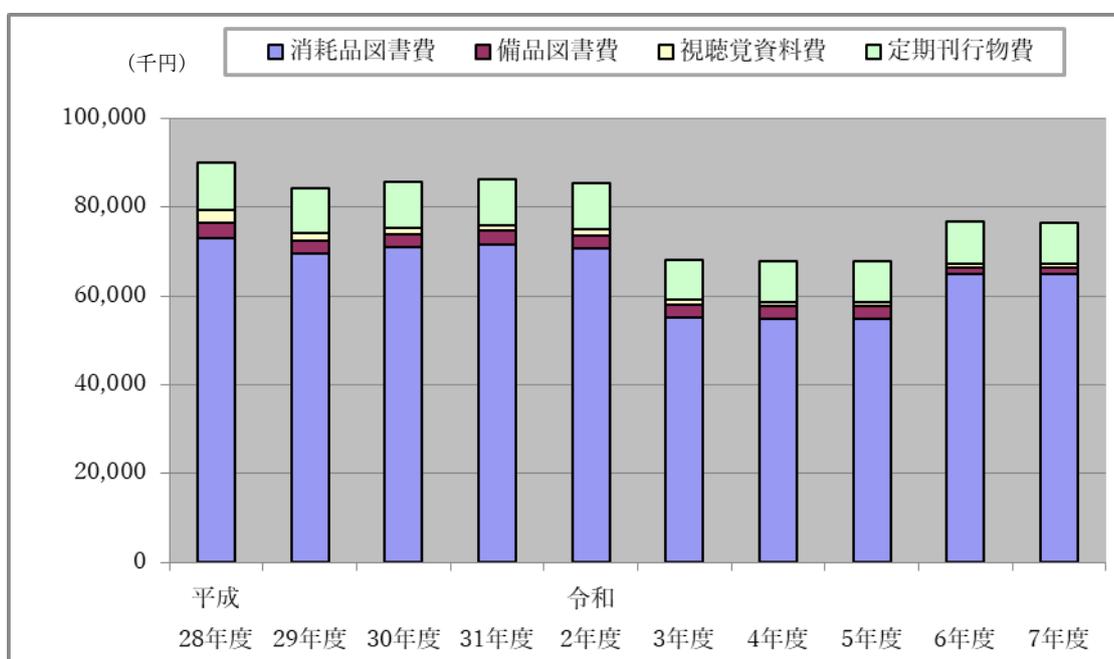
※ () 内は令和6年度当初予算額

※ 定期刊行物費は、新聞、雑誌及び加除式図書追録代の合計額

○資料費当初予算額の推移

(単位：千円)

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
図書費	76,398	72,564	73,937	74,694	73,650	57,959	57,653	57,653	66,295	66,295
消耗品図書費	72,980	69,549	70,922	71,681	70,562	55,026	54,719	54,719	64,922	64,922
備品図書費	3,418	3,015	3,015	3,013	3,088	2,934	2,934	2,934	1,373	1,373
視聴覚資料費	2,911	1,485	1,306	1,308	1,290	1,216	1,023	1,023	1,023	879
消耗品費	2,157	855	793	811	727	496	473	473	880	736
備品購入費	754	630	513	497	563	720	550	550	143	143
定期刊行物費	10,645	10,303	10,343	10,343	10,536	9,032	9,019	9,020	9,449	9,421
合計	89,954	84,352	85,586	86,345	85,476	68,208	67,695	67,696	76,767	76,595



8. 令和6年度統計 (1) 蔵書冊数

(単位：冊)

一般書	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	全館
0総記	11,912	62	274	2,595	416	346	339	15,944
1哲学	24,442	222	534	3,406	1,209	786	670	31,269
2歴史	33,519	296	1,480	8,949	2,003	1,456	2,191	49,894
3社会科学	60,679	496	2,438	15,773	3,029	2,714	1,523	86,652
4自然科学	29,595	419	1,491	6,262	1,966	1,657	955	42,345
5技術	21,972	1,887	2,870	8,501	3,348	2,744	5,426	46,748
6産業	9,420	120	674	3,048	838	593	818	15,511
7芸術	37,391	343	2,005	9,735	2,752	1,651	2,780	56,657
8言語	10,240	44	391	2,010	524	369	471	14,049
9文学	51,976	7,465	8,685	28,691	12,139	8,699	7,327	124,982
郷土行政	59,463	0	386	4,020	685	554	547	65,655
参考資料	28,507	0	130	2,175	334	214	401	31,761
外国語資料	13,715	0	0	745	0	0	0	14,460
障がい者資料	10,182	260	0	726	0	0	0	11,168
コーナー別資料	286,290	0	4,167	21,870	11,809	6,451	46,706	377,293
一般計	689,303	11,614	25,525	118,506	41,052	28,234	70,154	984,388

(単位：冊)

児童書	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	全館
0総記	536	26	99	280	204	86	65	1,296
1哲学	529	18	104	230	88	70	50	1,089
2歴史	4,660	82	501	1,616	448	523	376	8,206
3社会科学	4,280	113	509	1,565	428	527	391	7,813
4自然科学	9,278	503	1,299	2,964	1,118	1,314	1,110	17,586
5技術	3,128	230	470	1,243	409	462	465	6,407
6産業	1,703	84	263	643	183	255	209	3,340
7芸術	3,675	295	569	1,462	715	630	540	7,886
8言語	950	22	165	357	139	158	122	1,913
9文学	27,528	1,913	2,537	10,452	4,080	4,832	2,908	54,250
E絵本	37,852	2,753	4,619	16,843	5,697	6,190	6,071	80,025
P紙芝居	1,275	142	225	567	139	244	312	2,904
児童郷土	1,262	0	4	335	79	16	0	1,696
児童参考	828	0	17	169	47	23	76	1,160
児童研究	2,908	0	0	598	67	135	0	3,708
児童計	100,392	6,181	11,381	39,324	13,841	15,465	12,695	199,279

図書計	789,695	17,795	36,906	157,830	54,893	43,699	82,849	1,183,667
-----	---------	--------	--------	---------	--------	--------	--------	-----------

(単位：点)

図書以外	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	全館
雑誌	47,395	0	1,083	6,442	1,348	1,018	1,135	58,421
ビデオ	301	0	0	7	0	0	0	308
DVD	2,066	0	0	512	0	0	953	3,531
CD	11,588	0	0	7,385	0	0	0	18,973
その他付録等	746	0	6	73	2	3	44	874
図書以外計	62,096	0	1,089	14,419	1,350	1,021	2,132	82,107

総計	851,791	17,795	37,995	172,249	56,243	44,720	84,981	1,265,774
----	---------	--------	--------	---------	--------	--------	--------	-----------

		大野公民館図書室	17,369	市川駅南公民館図書室	7,153	図書館以外 市民図書室 公民館図書室 その他 合計	163,765
塩焼市民図書室	19,425	西部公民館図書室	15,702	本行徳公民館図書室	17,845		
福栄市民図書室	20,729	曾谷公民館図書室	13,822	公民館図書室計	93,274		
大柏市民図書室	15,076	東部公民館図書室	12,012	ウィズ情報資料室	15,261		
市民図書室計	55,230	市川公民館図書室	9,371	その他計	15,261		

他施設含む総計 **1,429,539**

(1-2) 分野別蔵書冊数内訳

(単位：冊)

郷土行政	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	全館
市川市	20,032	0	297	2,517	399	411	400	24,056
千葉県	26,447	0	89	1,503	286	143	147	28,615
市民文庫	6,672	0	0	0	0	0	0	6,672
特別コレクション	6,312	0	0	0	0	0	0	6,312
合計	59,463	0	386	4,020	685	554	547	65,655

外国語資料	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	全館
英語	6,585	0	0	709	0	0	0	7,294
中国語	3,831	0	0	9	0	0	0	3,840
韓国語	1,637	0	0	20	0	0	0	1,657
ドイツ語	127	0	0	1	0	0	0	128
フランス語	361	0	0	1	0	0	0	362
スペイン語	309	0	0	1	0	0	0	310
ポルトガル語	123	0	0	1	0	0	0	124
イタリア語	223	0	0	0	0	0	0	223
西洋の諸言語	52	0	0	3	0	0	0	55
東洋の諸言語	467	0	0	0	0	0	0	467
合計	13,715	0	0	745	0	0	0	14,460

障がい者資料	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	全館
点字図書	3,577	0	0	0	0	0	0	3,577
音訳図書	1,336	0	0	0	0	0	0	1,336
DAISY図書	729	0	0	0	0	0	0	729
大活字本	3,135	260	0	726	0	0	0	4,121
CDブック	1,178	0	0	0	0	0	0	1,178
文芸カセット	13	0	0	0	0	0	0	13
布の絵本	137	0	0	0	0	0	0	137
その他	77	0	0	0	0	0	0	77
合計	10,182	260	0	726	0	0	0	11,168

コーナー別資料	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	全館
Aヤング	20,559	0	0	2,640	31	1,580	0	24,810
B文庫	58,308	0	4,158	18,778	10,045	4,871	12,477	108,637
V新書	13,510	0	9	452	0	0	12,685	26,656
M外国文学	19,133	0	0	0	0	0	0	19,133
N環境	5,015	0	0	0	0	0	0	5,015
Jビジネス	35,457	0	0	0	0	0	12,439	47,896
X日本文学	57,087	0	0	0	1,733	0	0	58,820
W平和	9,289	0	0	0	0	0	0	9,289
H暮らし	30,955	0	0	0	0	0	※ 9,105	40,060
D趣味	21,331	0	0	0	0	0	0	21,331
Sスポーツ	5,735	0	0	0	0	0	0	5,735
G旅行	9,911	0	0	0	0	0	0	9,911
合計	286,290	0	4,167	21,870	11,809	6,451	46,706	377,293

※市川駅南口のHは「健康医療」

(1-3) 蔵書冊数の推移

a) 一般書の推移

(単位：冊)

	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	公民館等図書室	全館
令和元年度	646,925	10,197	25,998	120,091	34,197	27,034	73,967	96,449	1,034,858
令和2年度	654,645	10,597	26,999	121,161	35,217	27,528	73,647	103,933	1,053,727
令和3年度	662,731	10,644	26,632	117,967	35,284	27,650	72,929	90,177	1,044,014
令和4年度	672,331	10,947	26,754	118,428	36,742	27,843	72,196	90,554	1,055,795
令和5年度	680,082	11,267	26,243	118,340	37,943	27,860	70,710	90,996	1,063,441
令和6年度	689,303	11,614	25,525	118,506	41,052	28,234	70,154	90,127	1,074,515

b) 児童書の推移

(単位：冊)

	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	公民館等図書室	全館
令和元年度	93,599	6,444	14,319	36,446	12,586	15,019	14,596	77,817	270,826
令和2年度	96,381	6,701	14,692	37,437	12,868	15,268	13,537	75,683	272,567
令和3年度	96,193	5,839	14,885	37,622	12,898	15,472	13,739	71,679	268,327
令和4年度	98,106	5,783	14,971	38,381	13,196	15,567	13,628	71,720	271,352
令和5年度	99,428	5,940	14,691	38,728	13,432	15,381	13,266	72,382	273,248
令和6年度	100,392	6,181	11,381	39,324	13,841	15,465	12,695	72,589	271,868

c) 全体(図書)の推移

(単位：冊)

	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	公民館等図書室	全館
令和元年度	740,524	16,641	40,317	156,537	46,783	42,053	88,563	174,266	1,305,684
令和2年度	751,026	17,298	41,691	158,598	48,085	42,796	87,184	170,163	1,316,841
令和3年度	758,924	16,483	41,517	155,589	48,182	43,122	86,668	161,856	1,312,341
令和4年度	770,437	16,730	41,725	156,809	49,938	43,410	85,824	162,274	1,327,147
令和5年度	779,510	17,207	40,934	157,068	51,375	43,241	83,976	163,378	1,336,689
令和6年度	789,695	17,795	36,906	157,830	54,893	43,699	82,849	162,716	1,346,383

d) 図書以外の推移

(単位：冊)

	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	公民館等図書室	全館
令和元年度	60,728	0	741	13,568	1,676	1,133	2,289	888	80,135
令和2年度	61,284	0	858	13,255	1,751	1,245	2,326	942	80,719
令和3年度	61,212	0	808	12,530	1,597	1,203	2,117	968	79,467
令和4年度	61,411	0	792	13,203	1,262	1,117	2,081	944	80,860
令和5年度	61,648	0	824	14,648	1,267	1,074	2,038	1,022	82,521
令和6年度	62,096	0	1,089	14,419	1,350	1,021	2,132	1,049	83,156

e) 総計の推移

(単位：冊)

	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	公民館等図書室	全館
令和元年度	801,252	16,641	41,058	170,105	48,459	43,186	90,852	175,154	1,386,707
令和2年度	812,310	17,298	42,549	171,853	49,836	44,041	89,510	171,105	1,398,502
令和3年度	820,136	16,483	42,325	168,119	49,779	44,325	88,785	162,824	1,392,776
令和4年度	831,848	16,730	42,517	170,012	51,200	44,527	87,905	163,268	1,418,007
令和5年度	841,158	17,207	41,758	171,716	52,642	44,315	86,014	164,400	1,419,210
令和6年度	851,791	17,795	37,995	172,249	56,243	44,720	84,981	163,765	1,429,539

(2) 分類別貸出冊数

(単位：冊)

一般書	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	全館
0総記	5,375	93	584	5,029	370	629	1,795	13,875
1哲学	21,769	236	1,182	12,424	1,587	1,998	7,854	47,050
2歴史	17,958	686	2,985	24,634	2,989	2,730	16,105	68,087
3社会科学	32,261	416	2,528	26,786	2,673	3,629	12,743	81,036
4自然科学	16,700	362	1,534	13,013	1,795	2,012	5,972	41,388
5技術	14,188	1,672	3,833	25,390	3,333	4,619	19,743	72,778
6産業	4,180	229	544	5,009	705	924	2,888	14,479
7芸術	16,407	271	1,021	10,878	1,859	1,664	9,152	41,252
8言語	8,755	87	396	4,437	585	514	2,635	17,409
9文学	23,554	6,733	8,587	58,283	10,133	9,647	38,348	155,285
郷土行政	3,457	5	114	688	154	163	792	5,373
参考資料	585	0	2	14	12	1	50	664
外国語資料	2,137	4	25	582	35	44	268	3,095
障がい者資料	3,340	261	13	807	36	19	320	4,796
コーナー別資料	445,741	1,936	15,129	121,850	27,530	20,956	163,242	796,384
一般計	616,407	12,991	38,477	309,824	53,796	49,549	281,907	1,362,951

(単位：冊)

児童書	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	全館
0総記	985	17	118	538	83	170	402	2,313
1哲学	1,287	40	166	619	93	112	340	2,657
2歴史	6,051	68	262	2,047	352	413	1,636	10,829
3社会科学	5,841	71	403	2,729	375	393	2,183	11,995
4自然科学	19,427	496	1,333	9,399	1,164	1,129	5,042	37,990
5技術	8,928	314	1,058	5,016	850	792	3,476	20,434
6産業	2,909	71	494	1,672	263	290	1,172	6,871
7芸術	8,966	461	947	4,443	773	631	3,193	19,414
8言語	1,539	21	124	802	107	157	609	3,359
9文学	66,949	1,873	7,221	31,835	4,693	5,227	23,643	141,441
E絵本	170,318	4,011	13,963	91,206	15,002	13,389	57,613	365,502
P紙芝居	4,870	85	347	2,490	464	410	1,758	10,424
児童郷土	427	0	0	89	7	10	5	538
児童参考	15	0	2	6	1	0	6	30
児童研究	608	2	9	280	12	23	138	1,072
児童計	299,120	7,530	26,447	153,171	24,239	23,146	101,216	634,869

図書計	915,527	20,521	64,924	462,995	78,035	72,695	383,123	1,997,820
-----	---------	--------	--------	---------	--------	--------	---------	-----------

(単位：点)

図書以外	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	全館
雑誌	35,057	289	2,696	19,645	3,044	4,452	9,662	74,845
ビデオ	50	0	0	27	1	0	0	78
DVD	7,352	0	57	1,738	80	222	3,409	12,858
CD	15,868	0	285	10,660	280	401	1,403	28,897
その他付録等	2,643	43	487	6,786	217	207	27,422	37,805
図書以外計	60,970	332	3,525	38,856	3,622	5,282	41,896	154,483

総計	976,497	20,853	68,449	501,851	81,657	77,977	425,019	2,152,303
-----------	----------------	---------------	---------------	----------------	---------------	---------------	----------------	------------------

		大野公民館図書室	78,542	ウイズ情報資料室	2,438	図書館以外	
塩焼市民図書室	4,498	西部公民館図書室	53,022	情報プラザ	49,044	市民図書室	
福栄市民図書室	6,200	曹谷公民館図書室	9,340	千葉商科大学図書館	596	公民館図書室	
大柏市民図書室	1,695	東部公民館図書室	4,963	宅配	189	その他	
市民図書室計	12,393	公民館図書室計	145,867	その他計	52,267	合計	210,527

他施設含む総計 **2,362,830**

(2-2) 分野別貸出冊数内訳

(単位：冊)

郷土行政	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	全館
市川市	1,245	0	56	375	83	109	395	2,263
千葉県	719	3	21	181	54	22	197	1,197
市民文庫	753	0	25	96	12	18	115	1,019
特別コレクション	740	2	12	36	5	14	85	894
合計	3,457	5	114	688	154	163	792	5,373

(単位：冊)

外国語資料	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	全館
英語	1,487	0	25	528	13	43	216	2,312
中国語	549	4	0	26	2	1	38	620
韓国語	40	0	0	14	20	0	8	82
ドイツ語	9	0	0	0	0	0	2	11
フランス語	12	0	0	2	0	0	0	14
スペイン語	30	0	0	11	0	0	2	43
ポルトガル語	0	0	0	0	0	0	0	0
イタリア語	4	0	0	1	0	0	2	7
西洋の諸言語	2	0	0	0	0	0	0	2
東洋の諸言語	4	0	0	0	0	0	0	4
合計	2,137	4	25	582	35	44	268	3,095

(単位：冊)

障がい者資料	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	全館
点字図書	225	0	3	2	2	3	10	245
音訳図書	0	0	0	0	0	0	0	0
DAISY図書	23	0	0	0	0	0	0	23
大活字本	1,835	261	6	754	29	16	212	3,113
CDブック	1,161	0	4	51	5	0	91	1,312
文芸カセット	0	0	0	0	0	0	0	0
布の絵本等	96	0	0	0	0	0	7	103
合計	3,340	261	13	807	36	19	320	4,796

※上記貸出は郵送のうち、電算による貸出手続きをしたものも含む。

※大活字図書・CDブック・文芸カセットの貸出は、健常者への貸出を含む。

(単位：冊)

郵送貸出	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	全館
点字図書郵送	178	0	0	0	0	0	0	178
音訳図書郵送	0	0	0	0	0	0	0	0
DAISY図書郵送	7	0	0	0	0	0	0	7
CDブック郵送	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	185	0	0	0	0	0	0	185

※郵送は相互協力による借用資料を含む。

(単位：冊)

コーナー別資料	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	全館
Aヤング	25,497	76	455	5,157	497	902	2,967	35,551
B文庫	133,419	763	9,310	87,273	21,565	13,717	87,735	353,782
V新書	9,897	53	518	1,772	393	454	15,934	29,021
M外国文学	6,614	33	105	913	141	301	1,341	9,448
N環境	1,144	1	13	72	7	13	143	1,393
Jビジネス	35,623	89	1,226	6,603	919	1,474	21,187	67,121
X日本文学	87,503	364	1,485	9,892	1,677	1,738	8,918	111,577
W平和	1,773	4	24	218	35	38	182	2,274
H暮らし	75,020	453	1,220	5,735	1,147	1,312	19,342	104,229
D趣味	24,829	60	285	1,526	502	438	2,064	29,704
Sスポーツ	7,548	22	49	538	171	59	433	8,820
G旅行	36,873	18	439	2,151	476	510	2,994	43,461
W1ウ行政	1	0	0	0	0	0	2	3
合計	445,741	1,936	15,129	121,850	27,530	20,956	163,242	796,384

(2-3) 貸出冊数の推移

a) 一般書の推移

(単位：冊)

	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	公民館等図書室	全館
令和元年度	669,481	10,546	41,430	327,622	59,911	50,000	325,075	116,816	1,600,881
令和2年度	483,635	10,399	31,726	297,348	40,961	35,305	238,523	91,220	1,229,117
令和3年度	657,140	13,366	44,063	326,250	59,421	52,969	320,704	133,076	1,606,989
令和4年度	656,978	13,444	44,158	324,729	61,405	52,633	305,321	138,028	1,596,696
令和5年度	647,688	14,002	42,858	321,466	59,238	50,874	296,762	139,854	1,572,742
令和6年度	616,407	12,991	38,477	309,824	53,796	49,549	281,907	140,151	1,503,102

b) 児童書の推移

(単位：冊)

	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	公民館等図書室	全館
令和元年度	301,475	11,199	23,916	170,290	22,772	23,014	101,201	58,093	711,960
令和2年度	232,703	10,085	22,177	174,842	13,773	14,950	87,132	40,041	595,703
令和3年度	351,795	12,097	31,252	195,557	23,851	28,184	130,153	66,478	839,367
令和4年度	324,994	9,861	28,945	179,505	25,203	27,699	115,376	69,904	781,487
令和5年度	312,627	8,162	28,975	165,974	24,484	23,461	111,758	66,987	742,428
令和6年度	299,120	7,530	26,447	153,171	24,239	23,146	101,216	64,008	698,877

c) 全体(図書)の推移

(単位：点)

	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	公民館等図書室	全館
令和元年度	970,956	21,745	65,346	497,912	82,683	73,014	426,276	149,331	2,287,263
令和2年度	716,338	20,484	53,903	472,190	54,734	50,255	325,655	174,909	1,868,468
令和3年度	1,008,935	25,463	75,315	521,807	83,272	81,153	450,857	199,554	2,446,356
令和4年度	981,972	23,305	73,103	504,234	86,608	80,332	420,697	207,932	2,378,183
令和5年度	960,315	22,164	71,833	487,440	83,722	74,335	408,520	206,841	2,315,170
令和6年度	915,527	20,521	64,924	462,995	78,035	72,695	383,123	204,159	2,201,979

d) 図書以外の推移

(単位：冊)

	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	公民館等図書室	全館
令和元年度	86,332	90	3,357	42,207	4,263	5,932	43,774	4,293	190,248
令和2年度	60,803	140	3,466	36,493	2,999	4,788	17,454	3,975	130,118
令和3年度	80,503	334	4,224	39,380	4,531	6,704	33,278	5,854	174,808
令和4年度	72,041	247	4,100	39,427	4,065	6,409	40,234	6,670	173,193
令和5年度	67,787	281	3,245	41,435	3,905	5,683	42,680	7,090	172,106
令和6年度	60,970	332	3,525	38,856	3,622	5,282	41,896	6,368	160,851

e) 総計の推移

(単位：点)

	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	公民館等図書室	全館
令和元年度	1,057,288	21,835	68,703	540,119	86,946	78,946	470,050	179,202	2,503,089
令和2年度	777,141	20,624	57,369	508,683	57,733	55,043	343,109	135,236	1,954,938
令和3年度	1,089,438	25,797	79,539	561,187	87,803	87,857	484,135	205,408	2,621,164
令和4年度	1,054,013	23,552	77,203	543,661	90,673	86,741	460,931	214,602	2,551,376
令和5年度	1,028,102	22,445	75,078	528,875	87,627	80,018	451,200	213,931	2,487,276
令和6年度	976,497	20,853	68,449	501,851	81,657	77,977	425,019	210,527	2,362,830

(3) 蔵書回転率＝貸出冊数÷蔵書冊数

(単位：回)

一般書	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	全館
0総記	0.45	1.50	2.13	1.94	0.89	1.82	5.29	0.87
1哲学	0.89	1.06	2.21	3.65	1.31	2.54	11.72	1.50
2歴史	0.54	2.32	2.02	2.75	1.49	1.88	7.35	1.36
3社会科学	0.53	0.84	1.04	1.70	0.88	1.34	8.37	0.94
4自然科学	0.56	0.86	1.03	2.08	0.91	1.21	6.25	0.98
5技術	0.65	0.89	1.34	2.99	1.00	1.68	3.64	1.56
6産業	0.44	1.91	0.81	1.64	0.84	1.56	3.53	0.93
7芸術	0.44	0.79	0.51	1.12	0.68	1.01	3.29	0.73
8言語	0.85	1.98	1.01	2.21	1.12	1.39	5.59	1.24
9文学	0.45	0.90	0.99	2.03	0.83	1.11	5.23	1.24
郷土行政	0.06	---	0.30	0.17	0.22	0.29	1.45	0.08
参考資料	0.02	---	0.02	0.01	0.04	0.00	0.12	0.02
外国語資料	0.16	---	---	0.78	---	---	---	0.21
障がい者資料	0.33	1.00	---	1.11	---	---	---	0.43
ポピュラー	1.56	---	3.63	5.57	2.33	3.25	3.50	2.11
一般計	0.89	1.12	1.51	2.61	1.31	1.75	4.02	1.38

中央	Aヤング	B文庫	V新書	M外国文学	N環境	Jビジネス
ポピュラー	1.24	2.29	0.73	0.35	0.23	1.00
総数	X日本文学	W平和	H暮らし	D趣味	Sスポーツ	G旅行
1.56	1.53	0.19	2.42	1.16	1.32	3.72

市川駅南口	Jビジネス	H健康・医療	B文庫	V新書
コーナー別資料	1.70	2.12	7.03	1.26

児童書	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	全館
0総記	1.84	0.65	1.19	1.92	0.41	1.98	6.18	1.78
1哲学	2.43	2.22	1.60	2.69	1.06	1.60	6.80	2.44
2歴史	1.30	0.83	0.52	1.27	0.79	0.79	4.35	1.32
3社会科学	1.36	0.63	0.79	1.74	0.88	0.75	5.58	1.54
4自然科学	2.09	0.99	1.03	3.17	1.04	0.86	4.54	2.16
5技術	2.85	1.37	2.25	4.04	2.08	1.71	7.48	3.19
6産業	1.71	0.85	1.88	2.60	1.44	1.14	5.61	2.06
7芸術	2.44	1.56	1.66	3.04	1.08	1.00	5.91	2.46
8言語	1.62	0.95	0.75	2.25	0.77	0.99	4.99	1.76
9文学	2.43	0.98	2.85	3.05	1.15	1.08	8.13	2.61
E絵本	4.50	1.46	3.02	5.42	2.63	2.16	9.49	4.57
P紙芝居	3.82	0.60	1.54	4.39	3.34	1.68	5.63	3.59
児童郷土	0.34	---	0.00	0.27	0.09	0.63	---	0.32
児童参考	0.02	---	0.12	0.04	0.02	0.00	0.08	0.03
児童研究	0.21	---	---	0.47	0.18	0.17	---	0.29
児童計	2.98	1.22	2.32	3.90	1.75	1.50	7.97	3.19

図書計	1.16	1.15	1.76	2.93	1.42	1.66	4.62	1.69
-----	------	------	------	------	------	------	------	------

図書以外	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	全館
雑誌	0.74	---	2.49	3.05	2.26	4.37	8.51	1.28
ビデオ	0.17	---	---	3.86	---	---	---	0.25
DVD	3.56	---	---	3.39	---	---	3.58	3.64
CD	1.37	---	---	1.44	---	---	---	1.52

総計	1.15	1.17	1.80	2.91	1.45	1.74	5.00	1.70
----	------	------	------	------	------	------	------	------

市民図書室・公民館図書室・情報プラザ等への市立図書館所蔵資料の貸出数含む総計⇒⇒

1.87

◎年度推移

令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
2.07	1.59	2.13	2.05	1.98	1.87

(4) リクエスト統計

令和6年度リクエスト受付施設別件数

(図書・雑誌 Web上での受付を含む)

受付館	受付件数	構成比	前年比
中央	159,635	24.64%	98.6%
自動車	4,296	0.66%	89.9%
平田	19,733	3.05%	93.5%
行徳	138,425	21.36%	98.0%
信篤	22,643	3.50%	95.7%
南行徳	26,588	4.10%	108.4%
市川駅南口	155,194	23.95%	99.8%
図書館合計	526,514	81.26%	98.9%
ウィズ	1,535	0.24%	87.3%
情報プラザ	48,498	7.48%	103.4%
塩焼市民	4,111	0.63%	102.6%
福栄市民	5,652	0.87%	96.7%
大柏市民	1,755	0.27%	122.6%
大野公民	27,367	4.22%	97.9%
西部公民	18,134	2.81%	105.4%
曾谷公民	9,092	1.40%	103.0%
東部公民	4,472	0.69%	104.7%
千葉商大	629	0.10%	-
宅配	184	0.03%	82.1%
関連施設合計	121,429	18.74%	102.5%
総計	647,943	100%	99.5%

リクエスト資料別総数

	図書・雑誌	視聴覚資料	合計
令和5年度	651,111	10,916	662,027
令和6年度	647,943	10,069	658,012

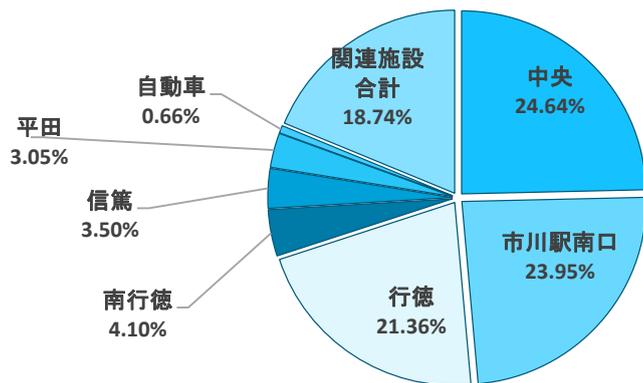
リクエスト処理別件数(図書・雑誌)

	市内所蔵	購入	市外借用	提供不能	合計
令和元年度	493,412	8,217	4,847	388	506,864
令和2年度	574,680	8,217	3,152	282	585,134
令和3年度	675,941	8,315	6,365	384	691,005
令和4年度	643,363	8,232	5,999	366	657,960
令和5年度	636,211	8,420	6,176	304	651,111
令和6年度	632,719	8,789	6,086	349	647,943

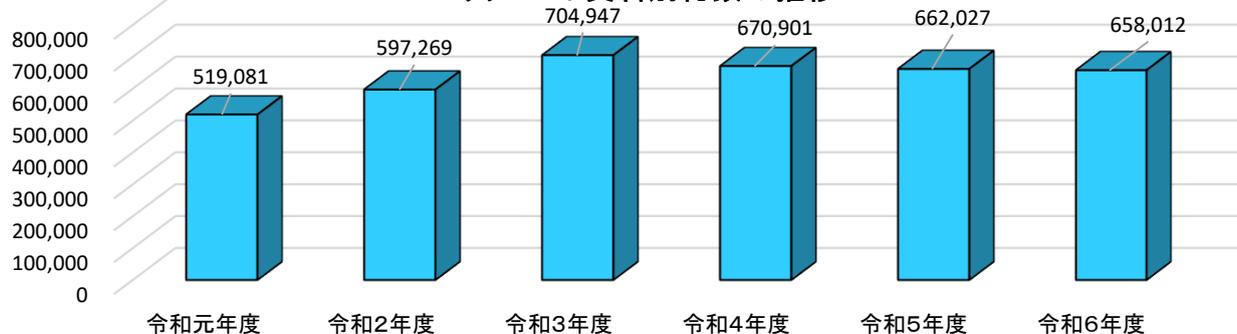
リクエスト資料別件数(視聴覚資料)

	CD	ビデオ	DVD	合計
令和元年度	9,846	77	2,294	12,217
令和2年度	9,063	4	3,068	12,135
令和3年度	10,746	9	3,187	13,942
令和4年度	10,119	6	2,816	12,941
令和5年度	8,240	3	2,673	10,916
令和6年度	7,507	2	2,560	10,069

リクエスト受付施設別件数構成比



リクエスト資料別総数の推移



(5) 登録者集計表

(単位：人)

新規登録者数	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	ウイズ	大野公	西部公	全館
令和3年度	6,059	71	182	2,690	291	356	2,416	4	229	103	12,401
令和4年度	5,737	79	177	2,542	247	341	2,540	4	236	120	12,023
令和5年度	5,552	46	131	2,504	270	321	2,355	4	216	97	11,496
令和6年度	5,547	59	117	2,358	287	295	2,337	1	204	85	11,290
計	22,895	255	607	10,094	1,095	1,313	9,648	13	885	405	47,210

有効登録者数	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	ウイズ	大野公	西部公	全館
令和3年度	40,840	342	1,688	17,075	2,294	2,199	18,751	120	2,136	838	86,283
令和4年度	39,578	321	1,777	17,903	2,194	1,971	18,979	116	2,238	1,006	86,083
令和5年度	39,099	277	1,750	18,127	2,270	1,964	18,908	87	2,280	1,038	85,800
令和6年度	42,196	279	1,694	19,277	2,489	2,100	20,261	72	2,437	1,112	91,917
内12歳以下	4,831	71	246	2,125	262	283	1,362	2	298	177	9,657

実利用者数	25,391	183	1,188	12,395	1,696	1,423	13,050	47	1,658	813	57,844
累積登録者数											667,044
更新者数											13,353

※新規登録者数：一年間に新しい利用券番号の付与を受けた登録者数。

※有効登録者数：有効期限内の登録者数。(有効期限は3年)

※実利用者数：一年間に資料の貸出をした利用者数。

※累積登録者数：電算導入の昭和60年度より登録者の累積件数。二重登録なども含む。(長期未利用者のデータは平成19年度削除)

※更新者数：令和6年度に更新した登録者数。

※数値には団体登録等も含む。

有効期限内隣接地域登録者 (単位：人)

	隣接	在勤	在学	障がい	計
船橋市	3,004	297	157	2	3,460
松戸市	663	102	61	0	826
鎌ヶ谷市	108	30	6	1	145
浦安市	93	24	23	0	140
江戸川区	245	0	0	0	245
計	4,113	453	247	3	4,816

※隣接地域登録者

隣接地域に居住している方は登録可。

図書5冊まで。視聴覚の貸出不可。予約不可。

(6) 延べ利用者数の推移

※令和3年度より公民館等図書室には各施設の蔵書の利用者数も含めている。

(単位：人)

年度	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	公民館等図書室	全館
令和元年度	253,320	4,410	18,813	146,520	26,522	21,396	174,046	61,864	706,891
令和2年度	188,849	4,142	14,821	112,712	17,267	15,257	115,813	47,555	516,416
令和3年度	265,086	5,331	21,263	153,731	26,065	23,110	169,523	114,140	778,249
令和4年度	272,249	4,859	21,442	157,579	26,687	23,507	173,928	116,795	797,046
令和5年度	269,264	4,619	21,010	158,028	26,546	22,675	174,462	125,016	801,620
令和6年度	260,990	4,520	19,378	154,753	26,030	22,506	170,705	126,326	785,208

(7) 中央図書館月別利用者数・貸出点数の推移

※1 地域館では年間の開館日数が違うため、中央図書館のみの統計とした。

※2 令和2年度4月1日～5月31日、1月8日～3月21日 新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う臨時休館。

※3 令和2年度の数值には、臨時休館中に開設した臨時窓口での利用者数、貸出点数を含んでいる。

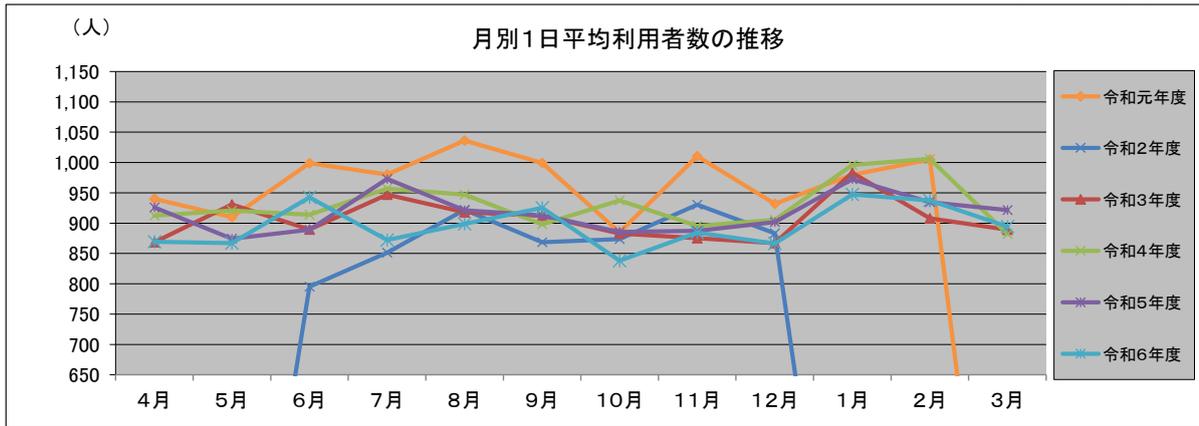
(単位:日) 蔵書点検等

開館日数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	休館月
令和元年度	25	26	25	25	27	23	26	17	22	22	23	0	289	11-12月
令和2年度	0	0	24	26	26	25	26	24	24	3	0	7	261	※2・3
令和3年度	25	25	25	26	26	25	26	24	23	19	23	26	185	1月
令和4年度	25	25	25	26	26	25	25	25	23	22	20	26	293	1-2月
令和5年度	25	25	25	25	27	25	25	25	23	21	22	26	294	1-2月
令和6年度	24	26	25	25	27	24	26	25	23	19	23	25	292	1月

(単位:人)

利用者数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年比
令和元年度	23,499	23,656	24,974	24,506	27,977	22,988	23,006	17,178	20,504	21,557	23,113	362	253,320	
令和2年度	940	910	999	980	1,036	999	885	1,010	932	980	1,005	-	971	86.4%
令和3年度	2,143	1,363	19,090	22,137	23,975	21,716	22,717	22,331	21,199	10,248	8,939	12,991	188,849	74.5%
令和4年度	21,715	23,272	22,239	24,624	23,869	22,796	22,953	20,989	19,942	18,681	20,892	23,114	265,086	140.4%
令和5年度	869	931	890	947	918	912	883	875	867	983	908	889	905	905
令和6年度	22,806	23,025	22,845	24,884	24,618	22,450	23,440	22,388	20,825	21,911	20,122	22,935	272,249	102.7%
令和7年度	912	921	914	957	947	898	938	896	905	996	1,006	882	929	929
令和8年度	23,154	21,857	22,232	24,324	24,875	22,821	22,133	22,181	20,742	20,418	20,562	23,965	269,264	98.9%
令和9年度	926	874	889	973	921	913	885	887	902	972	935	922	916	916
令和10年度	20,860	22,545	23,568	21,807	24,270	22,203	21,789	22,109	19,925	17,997	21,563	22,354	260,990	96.9%
令和11年度	869	867	943	872	899	925	838	884	866	947	938	894	894	894

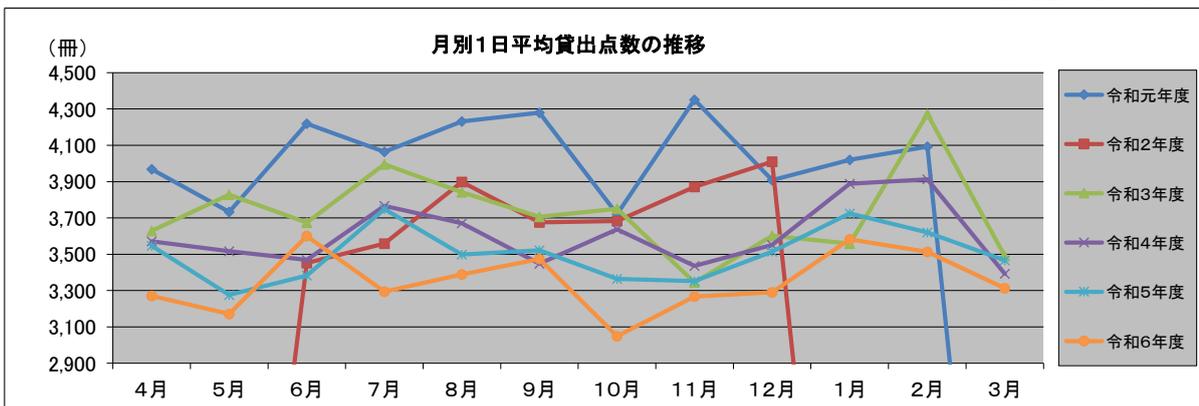
※下段は一日平均



(単位:点)

貸出点数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年比
令和元年度	99,212	97,084	105,480	101,616	114,268	98,423	96,743	73,973	85,979	88,448	94,132	1,930	1,057,288	
令和2年度	3,968	3,734	4,219	4,065	4,232	4,279	3,721	4,351	3,908	4,020	4,093	-	4,051	86.0%
令和3年度	6,778	4,992	86,281	92,518	101,354	91,902	95,747	92,918	92,225	35,205	26,385	50,836	777,141	73.5%
令和4年度	90,723	95,698	91,847	103,897	99,896	92,662	93,759	83,614	82,836	78,305	85,451	90,750	1,089,438	140.2%
令和5年度	3,629	3,828	3,674	3,996	3,842	3,706	3,750	3,345	3,602	3,559	4,273	3,490	3,718	3,718
令和6年度	89,273	87,928	86,716	97,938	95,451	86,186	90,929	85,897	81,688	85,555	78,255	88,197	1,054,013	96.7%
令和7年度	3,571	3,517	3,469	3,767	3,671	3,447	3,637	3,436	3,552	3,889	3,913	3,392	3,597	3,597
令和8年度	88,647	81,905	84,572	93,719	94,447	88,047	84,113	83,798	80,828	78,228	79,659	90,139	1,028,102	97.5%
令和9年度	3,546	3,276	3,383	3,749	3,498	3,522	3,365	3,352	3,514	3,725	3,621	3,467	3,497	3,497
令和10年度	78,489	82,447	90,001	82,371	91,494	83,368	79,264	81,691	75,687	68,065	80,797	82,823	976,497	95.0%
令和11年度	3,270	3,171	3,600	3,295	3,389	3,474	3,049	3,268	3,291	3,582	3,513	3,313	3,344	3,344

※下段は一日平均



(8) 受入・除籍冊数

一般書	中央					自動車					平田					行徳				
	購入	寄贈他	除籍	保転等	増減	購入	寄贈他	除籍	保転等	増減	購入	寄贈他	除籍	保転等	増減	購入	寄贈他	除籍	保転等	増減
0総記	175	8	30	35	188	5	1	0	0	6	27	0	90	25	-38	143	3	106	-5	35
1哲学	405	16	48	159	532	6	0	0	0	6	34	5	280	52	-189	169	13	71	-3	108
2歴史	507	12	68	313	764	22	0	2	0	20	142	5	252	72	-33	533	13	492	-5	49
3社会科学	1,157	29	104	115	1,197	19	2	2	2	21	193	6	135	12	76	672	23	528	-13	154
4自然科学	492	49	65	35	511	11	0	0	0	11	119	4	124	22	21	276	5	192	-11	78
5技術	288	12	44	46	302	62	0	3	1	60	160	1	166	22	17	371	12	345	-15	23
6産業	150	6	25	11	142	5	0	0	0	5	29	2	55	7	-17	146	5	36	-5	110
7芸術	422	29	129	45	367	1	0	1	0	0	51	3	142	-1	-89	234	11	128	-6	111
8言語	163	3	119	8	55	0	0	0	0	0	12	1	10	-1	2	46	3	66	2	-15
9文学	252	18	221	626	675	215	25	14	5	231	384	9	529	-24	-160	1,052	27	1,654	-29	-604
郷土行政	213	895	8	72	1,172	0	0	0	-1	-1	2	14	3	-14	-1	8	114	155	0	-33
参考資料	296	25	1	24	344	0	0	0	0	0	3	0	11	-11	-19	53	2	24	-5	26
外国語資料	123	6	261	-2	-134	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	1	1	1	6
障がい者資料	123	118	8	1	234	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	17	0	5	0	12
ポピュラー	8,522	916	4,180	-2,386	2,872	0	0	0	-12	-12	104	43	544	109	-288	1,042	250	1,153	-33	106
一般計	13,288	2,142	5,311	-898	9,221	346	28	22	-5	347	1,260	93	2,341	270	-718	4,767	482	4,956	-127	166

中央 ポピュラー内訳	Aヤング					B文庫				V新書									
	購入	寄贈他	除籍	保転等	増減	購入	寄贈他	除籍	保転等	増減	購入	寄贈他	除籍						
	403	26	89	-3	337	2,057	748	1,230	298	1,873	279	4	690						
X日本文学	W平和					H暮らし				D趣味									
1,809	60	816	-1,799	-746	23	6	4	1	26	1,126	16	478	-6	658	492	7	126	-12	361

児童書	中央					自動車					平田					行徳				
	購入	寄贈他	除籍	保転等	増減	購入	寄贈他	除籍	保転等	増減	購入	寄贈他	除籍	保転等	増減	購入	寄贈他	除籍	保転等	増減
0総記	28	1	22	-13	-6	0	0	0	0	0	5	1	4	2	4	5	3	13	0	-5
1哲学	10	1	17	2	-4	1	0	0	0	1	4	1	11	2	-4	3	0	2	-2	-1
2歴史	45	22	73	17	11	4	0	0	0	4	12	0	17	1	-4	33	1	8	0	26
3社会科学	92	6	177	3	-76	8	0	0	-1	7	22	1	23	2	2	46	4	83	-3	-36
4自然科学	202	47	82	6	173	21	0	0	0	21	62	3	160	47	-48	115	15	88	-2	40
5技術	116	15	70	4	65	9	0	0	-1	8	15	5	27	5	-2	34	7	13	-3	25
6産業	31	7	94	5	-51	2	0	0	0	2	14	5	10	0	9	29	2	21	-3	7
7芸術	130	19	185	0	-36	6	0	0	0	6	20	2	81	17	-42	36	10	12	-1	33
8言語	29	1	68	1	-37	0	0	0	0	0	3	0	13	3	-7	11	1	5	0	7
9文学	847	171	905	189	302	85	0	0	-8	77	120	6	1,935	500	-1,309	216	117	210	21	144
E絵本	1,605	127	1,200	105	637	126	1	9	-3	115	216	5	2,733	616	-1,896	654	99	429	1	325
F紙芝居	21	0	91	0	-70	0	0	0	0	0	2	0	15	0	-13	20	0	0	0	20
児童郷土	5	2	2	-1	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	5
児童参考	15	0	3	-2	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2
児童研究	38	6	3	1	42	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0	1	4
児童計	3,214	425	2,992	317	964	262	1	9	-13	241	495	29	5,029	1,195	-3,310	1,206	265	884	9	596

図書計	16,502	2,567	8,303	-581	10,185	608	29	31	-18	588	1,755	122	7,370	1,465	-4,028	5,973	747	5,840	-118	762
-----	--------	-------	-------	------	--------	-----	----	----	-----	-----	-------	-----	-------	-------	--------	-------	-----	-------	------	-----

図書以外	中央					自動車					平田					行徳				
	購入	寄贈他	除籍	保転等	増減	購入	寄贈他	除籍	保転等	増減	購入	寄贈他	除籍	保転等	増減	購入	寄贈他	除籍	保転等	増減
雑誌	3,560	382	3,481	58	519	0	0	0	0	0	439	0	174	0	265	1,398	5	1,688	12	-273
ビデオ	0	0	21	0	-21	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
DVD	25	0	43	47	29	0	0	0	0	0	0	0	0	0	15	2	7	0	0	10
CD	19	0	97	1	-77	0	0	0	0	0	0	0	0	0	23	23	16	0	0	30
その他付録等	0	0	2	0	-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	4
図書以外計	3,604	382	3,644	106	448	0	0	0	0	0	439	0	174	0	265	1,436	34	1,711	12	-229

総計	20,106	2,949	11,947	-475	10,633	608	29	31	-18	588	2,194	122	7,544	1,465	-3,763	7,409	781	7,551	-106	533
----	--------	-------	--------	------	--------	-----	----	----	-----	-----	-------	-----	-------	-------	--------	-------	-----	-------	------	-----

	大野公民館図書室					西部公民館図書室					市川公民館図書室					市川駅南公民館図書室				
	購入	寄贈他	除籍	保転等	増減	購入	寄贈他	除籍	保転等	増減	購入	寄贈他	除籍	保転等	増減	購入	寄贈他	除籍	保転等	増減
一般	300	678	1168	-397	-587	305	178	538	-117	-172	125	97	50	0	172	86	28	50	0	64
児童	245	80	222	-168	-65	172	66	138	-3	97	1	119	8	0	112	67	13	40	0	40
計	545	758	1390	-565	-652	477	244	676	-120	-75	126	216	58	0	284	153	41	90	0	104

	塩浜市民図書室					福栄市民図書室					大柏市民図書室					ウイズ情報資料室				
	購入	寄贈他	除籍	保転等	増減	購入	寄贈他	除籍	保転等	増減	購入	寄贈他	除籍	保転等	増減	購入	寄贈他	除籍	保転等	増減
一般	47	225	794	0	-522	80	188	281	0	-13	89	32	569	0	-448	49	14	2	-1	60
児童	132	200	184	0	148	80	181	196	0	65	86	104	599	0	-409	1	0	0	-1	0
計	179	425	978	0	-374	160	369	477	0	52	175	136	1168	0	-857	50	14	2	-2	60

(単位:冊)

一般書	信箋					南行徳					市川駅南口					全館				
	購入	寄贈他	除籍	保転等	増減	購入	寄贈他	除籍	保転等	増減	購入	寄贈他	除籍	保転等	増減	購入	寄贈他	除籍	保転等	増減
0総記	23	2	0	0	25	51	2	31	-1	21	6	0	1	-2	3	430	16	258	52	240
1哲学	38	6	5	0	39	59	8	32	-3	32	26	1	33	-22	-28	737	49	469	183	500
2歴史	107	1	6	-1	101	114	4	113	-39	-34	216	1	166	-27	24	1,641	36	1,099	313	891
3社会科学	183	9	8	-2	182	188	9	58	8	147	42	2	47	6	3	2,454	80	882	128	1,780
4自然科学	95	5	5	-2	93	89	3	55	-2	35	16	0	17	-7	-8	1,098	66	458	35	741
5技術	166	6	6	-3	163	150	3	148	-2	3	94	0	100	-24	-30	1,291	34	812	25	538
6産業	34	7	0	0	41	28	4	35	-2	-5	12	0	30	-3	-21	404	24	181	8	255
7芸術	103	6	11	-1	97	42	4	29	-1	16	34	2	57	-1	-22	887	55	497	35	480
8言語	33	1	2	-1	31	13	1	6	0	8	7	0	12	-1	-6	274	9	215	7	75
9文学	357	24	21	27	387	411	23	310	-12	112	288	8	284	-82	-70	2,959	134	3,033	511	571
郷土行政	2	10	0	0	12	4	15	10	0	9	4	34	5	-8	25	233	1,082	181	49	1,183
参考資料	6	0	1	-2	3	9	0	3	-11	-5	8	0	0	-13	-5	375	27	40	-18	344
外国語資料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	128	7	262	-1	-128
障がい者資料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	140	118	13	1	246
ポピュラー	196	136	122	1,725	1,935	194	160	326	7	35	892	57	1,159	-211	-421	10,950	1,562	7,484	-801	4,227
一般計	1,343	213	187	1,740	3,109	1,352	236	1,156	-58	374	1,645	105	1,911	-395	-556	24,001	3,299	15,884	527	11,943

M外国文学					N環境					Jビジネス				
361	11	38	-7	327	46	3	7	-6	36	1,095	27	435	43	730
Sスポーツ					G旅行					W1ウ行政				
142	1	84	6	65	689	7	183	-7	506	0	0	0	0	0

(単位:冊)

児童書	信箋					南行徳					市川駅南口					全館				
	購入	寄贈他	除籍	保転等	増減	購入	寄贈他	除籍	保転等	増減	購入	寄贈他	除籍	保転等	増減	購入	寄贈他	除籍	保転等	増減
0総記	16	1	1	-1	15	3	1	6	2	0	0	1	6	1	-4	57	8	52	-9	4
1哲学	1	0	0	0	1	2	0	0	0	2	1	0	4	0	-3	22	2	34	2	-8
2歴史	12	0	0	-1	11	9	0	2	0	7	4	0	20	0	-16	119	23	120	17	39
3社会科学	42	1	0	-1	42	16	0	5	-1	10	5	1	18	-1	-13	231	13	306	-2	-64
4自然科学	25	4	2	1	28	48	4	25	0	27	24	3	54	2	-25	497	76	411	54	216
5技術	14	13	8	-2	17	10	5	21	-2	-8	27	5	67	-4	-39	225	50	206	-3	66
6産業	11	4	0	0	15	9	2	7	0	4	9	3	19	-5	-12	105	23	151	-3	-26
7芸術	35	2	2	0	35	49	2	8	0	43	5	2	67	-1	-61	281	37	355	15	-22
8言語	1	0	0	0	1	2	0	1	0	1	0	0	9	0	-9	46	2	96	4	-44
9文学	103	4	17	-11	79	94	4	108	-9	-19	116	2	239	7	-114	1,581	304	3,414	689	-840
E絵本	236	5	70	-6	165	231	3	219	-4	11	231	4	509	-3	-277	3,299	244	5,169	706	-920
P紙芝居	0	0	1	0	-1	13	0	7	0	6	2	0	0	0	2	58	0	114	0	-56
児童郷土	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	8	2	-1	10	
児童参考	0	0	0	0	0	2	0	0	-2	0	4	0	2	0	23	0	5	-6	12	
児童研究	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	40	7	3	2	46	
児童計	496	35	101	-21	409	488	21	409	-16	84	428	21	1,014	-6	-571	6,589	797	10,438	1,465	-1,587

図書計	1,839	248	288	1,719	3,518	1,840	257	1,565	-74	458	2,073	126	2,925	-401	-1,127	30,590	4,096	26,322	1,992	10,356
-----	-------	-----	-----	-------	-------	-------	-----	-------	-----	-----	-------	-----	-------	------	--------	--------	-------	--------	-------	--------

(単位:点)

図書以外	信箋					南行徳					市川駅南口					全館				
	購入	寄贈他	除籍	保転等	増減	購入	寄贈他	除籍	保転等	増減	購入	寄贈他	除籍	保転等	増減	購入	寄贈他	除籍	保転等	増減
雑誌	451	0	367	-1	83	440	0	494	1	-53	547	0	354	-64	129	6,835	387	6,558	6	670
ビデオ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	21	0	-21
DVD	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	28	0	10	-47	-29	68	2	60	0	10
CD	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	42	23	113	1	-47
その他付録等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0	-6	0	4	8	0	-4
図書以外計	451	0	367	-1	83	440	0	494	1	-53	575	0	370	-111	94	6,945	416	6,760	7	608

総計	2,290	248	655	1,718	3,601	2,280	257	2,059	-73	405	2,648	126	3,295	-512	-1,033	37,535	4,512	33,082	1,999	10,964
----	-------	-----	-----	-------	-------	-------	-----	-------	-----	-----	-------	-----	-------	------	--------	--------	-------	--------	-------	--------

	曾谷公民館図書室					東部公民館図書室					本行徳公民館図書室				
	購入	寄贈他	除籍	保転等	増減	購入	寄贈他	除籍	保転等	増減	購入	寄贈他	除籍	保転等	増減
一般	220	170	85	0	305	142	136	29	0	249	87	13	50	0	50
児童	103	99	190	0	12	114	37	4	0	147	57	3	0	0	60
計	323	269	275	0	317	256	173	33	0	396	144	16	50	0	110

	他施設計				
	購入	寄贈他	除籍	保転等	増減
一般	1,530	1,759	3,616	-515	-842
児童	1,058	902	1,581	-172	207
計	2,588	2,661	5,197	-687	-635

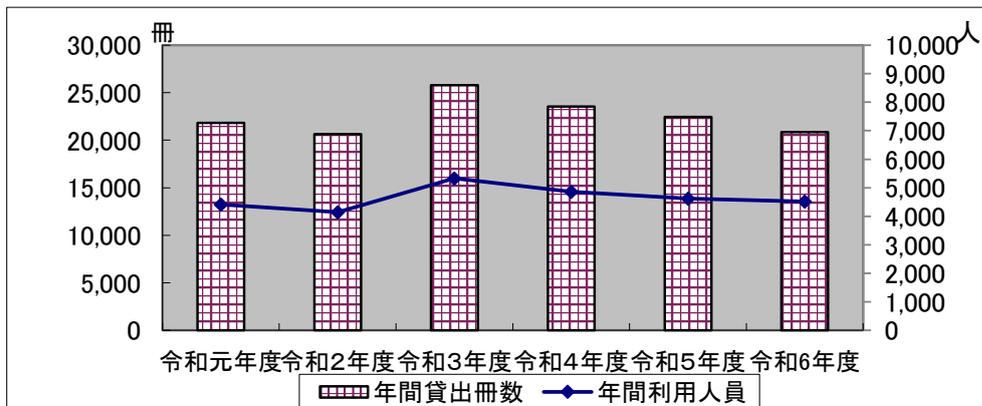
	他施設含む総計				
	購入	寄贈他	除籍	保転等	増減
一般	25,531	5,058	19,500	12	11,101
児童	7,647	1,699	12,019	1,293	-1,380
図書以外	6,945	416	6,760	7	608
計	40,123	7,173	38,279	1,312	10,329

(9) 自動車図書館ステーション別統計

	ステーション名	巡回数	貸出冊数		利用人員			
			一日平均	前年度比(%)	一日平均	前年度比(%)		
1	市営大町第1団地	22	868	39.5	135.8	154	7.0	120.3
2	市営大町第2団地	24	579	24.1	82.7	155	6.5	107.6
3	柏井小学校	21	676	32.2	81.4	125	6.0	98.4
4	大野小学校	20	287	14.4	91.7	50	2.5	64.1
5	宮久保小学校	24	2,537	105.7	72.2	410	17.1	96.5
6	若宮児童公園	20	420	21.0	75.5	75	3.8	84.3
7	北国分2丁目公園	25	1,967	78.7	113.3	383	15.3	149.6
8	堀之内公園	42	2,119	50.5	76.9	491	11.7	75.9
9	歴史博物館	24	833	34.7	164.0	146	6.1	136.4
10	国府台児童公園	23	1,052	45.7	105.6	176	7.7	98.3
11	山王公園	23	697	30.3	85.4	120	5.2	85.7
12	菅野小学校	20	479	24.0	113.0	86	4.3	111.7
13	㈱クボタ菅野ハイツ	19	447	23.5	77.2	99	5.2	76.7
14	塩浜団地商店街広場	45	4,133	91.8	106.3	1,164	25.9	98.1
15	島尻西公園	19	142	7.5	163.2	38	2.0	122.6
16	稲越小学校	16	332	20.8	75.3	67	4.2	62.6
17	タムス市川リハビリテーション病院	4	8	2.0	88.9	4	1.0	200.0
18	市営曾谷第1団地	16	140	8.8	152.2	31	1.9	147.6
19	市川真間グループホーム	14	55	3.9	64.0	14	1.0	60.9
20	石橋下公園	20	1,011	50.6	76.0	192	9.6	82.4
21	北方第2公園	22	696	31.6	110.7	179	8.1	129.7
22	大洲防災公園	23	351	15.3	141.5	101	4.4	157.8
23	行徳児童公園	3	12	4.0	171.4	3	1.0	100.0
24	みかど公園	20	127	6.4	-	38	1.9	-
25	西ノ下公園	26	487	18.7	-	115	4.4	-
	ステーション外利用	-	398	-	110.9	104	-	196.2
	合計	535	20,853	39.0	92.9	4,520	8.4	97.9

※24、25: 令和5年10月以降の新規ステーション

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
年間巡回日数	139	141	150	160	150	161
年間ステーション巡回数	376	367	417	525	527	535
年間貸出冊数	21,835	20,624	25,797	23,552	22,445	20,853
一日平均	157.1	146.3	172.0	147.2	149.6	129.5
一ステーション平均	58.1	56.2	58.4	44.9	42.6	39.0
年間利用人員	4,410	4,142	5,331	4,859	4,619	4,520
一日平均	31.7	29.4	35.5	30.4	30.8	28.1
一ステーション平均	11.7	11.3	12.1	9.3	8.8	8.4



(10) 市川市の図書館サービス指標

		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	貸出点数	2,505,997	1,954,938	2,621,164	2,551,376	2,487,276	2,362,830
	人口	497,268	497,731	496,104	497,048	498,654	500,648
人口1人当たりの貸出点数(点)		5.04	3.93	5.28	5.13	4.99	4.72
	登録者数	103,907	92,192	86,283	86,083	85,800	91,917
	人口	497,268	497,731	496,104	497,048	498,654	500,648
登録率(単位:%)		20.9	18.5	17.4	17.3	17.2	18.4
	貸出点数	2,505,997	1,954,938	2,621,164	2,551,376	2,487,276	2,362,830
	登録者数	103,907	92,192	86,283	86,083	85,800	91,917
実質貸出密度(点)		24.12	21.21	30.38	29.6	29.0	25.7
	貸出点数	2,505,997	1,954,938	2,621,164	2,551,376	2,487,276	2,362,830
	資料点数	1,211,553	1,227,397	1,229,952	1,244,739	1,254,810	1,265,774
蔵書回転率(単位:回)		2.07	1.59	2.13	2.05	1.98	1.87
	年間購入点数	44,952	43,157	35,731	35,472	33,992	37,535
	人口	497,268	497,731	496,104	497,048	498,654	500,648
人口1人当たりの年間購入点数(点)		0.09	0.09	0.07	0.07	0.07	0.07
	資料点数	1,211,553	1,227,397	1,229,952	1,244,739	1,254,810	1,265,774
	人口	497,268	497,731	496,104	497,048	498,654	500,648
人口1人当たりの資料点数(点)		2.44	2.47	2.48	2.50	2.52	2.53
	資料購入費:A	85,019,418	84,091,182	65,897,561	66,827,253	66,798,131	75,721,217
	人口	497,268	497,731	496,104	497,048	498,654	500,648
人口1人当たりの資料費(円)		171	169	133	134	134	151
	資料購入費:B	81,659,337	80,710,694	63,564,766	64,419,724	64,193,526	73,107,516
	÷購入点数	44,952	43,157	35,731	35,472	33,992	37,535
	×貸出点数	2,505,997	1,954,938	2,621,164	2,551,376	2,487,276	2,362,830
	-総経費	823,080,224	717,559,221	571,919,293	592,550,650	534,589,160	542,010,509
行政効果(単位:円)		3,729,287,936	2,938,496,638	4,091,081,359	4,040,933,161	4,162,604,785	4,060,111,032
	総経費	823,080,224	717,559,221	571,919,293	592,550,650	534,589,160	542,010,509
	貸出点数	2,505,997	1,954,938	2,621,164	2,551,376	2,487,276	2,362,830
貸出コスト(単位:円)		328.4	367	218.2	232.2	214.9	229.4

※資料購入費:Bは、資料購入費:Aより新聞費を除いたもの。

※資料点数・貸出点数・購入点数は視聴覚資料・雑誌を含む。

※総経費は、図書館費と人件費(職員)を足したもの。

※登録者数は、有効登録者数(有効期限3年内の登録者)とした。

※令和3年度から、諸経費のなかの図書館電算システムに関する経費は情報部門に移管されている。

(11) 開館日数

1	中央図書館	292日
2	行徳図書館	290日
3	信徳図書館	281日
4	南行徳図書館	281日
5	平田図書室	281日
6	市川駅南口図書館	294日

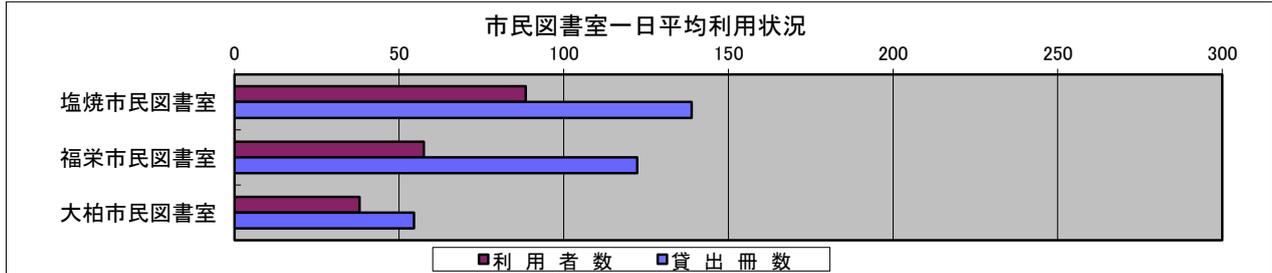
※市民図書室・公民館図書室等は(12)関連施設統計の各々を参照。

(12) 関連施設統計

①市民図書室

	開室 日数	利用者数		貸出冊数		受入 冊数	除籍 冊数	蔵書冊数	
		一日平均	日数	一日平均	日数				
塩焼市民図書室	152	13,448	88.5	152	21,098	138.8	604	978	19,425
福栄市民図書室	152	8,744	57.5	152	18,593	122.3	529	477	20,729
大柏市民図書室	150	5,698	38.0	150	8,177	54.5	311	1,168	15,076
計	454	27,890	61.4	454	47,868	105.4	1,444	2,623	55,230

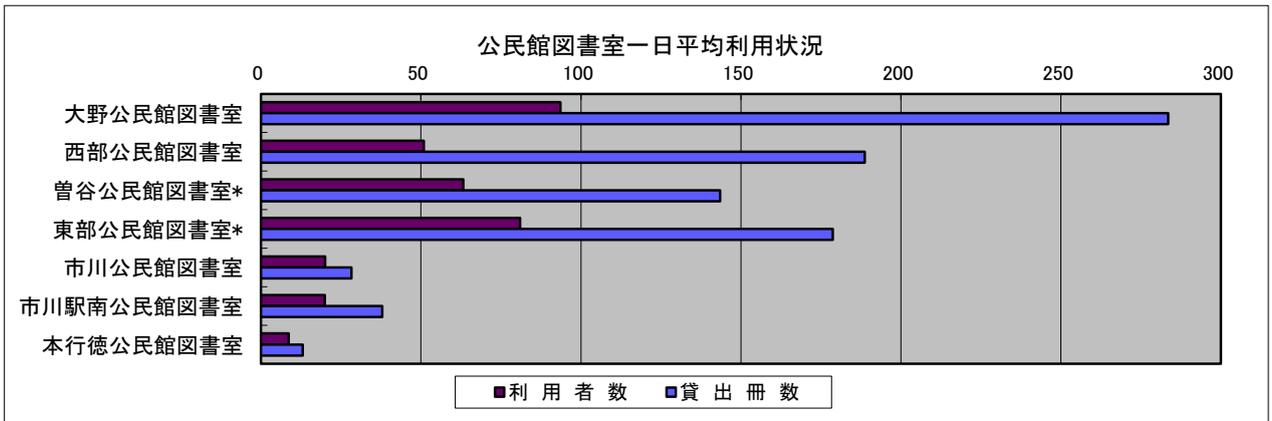
※貸出冊数は各施設の蔵書利用と図書館資料利用の合算



②公民館図書室

	開室 日数	利用者数		貸出冊数		受入 冊数	除籍 冊数	蔵書冊数	
		一日平均	日数	一日平均	日数				
大野公民館図書室	277	25,924	93.6	277	78,542	283.5	1,303	1,955	17,369
西部公民館図書室	281	14,297	50.9	281	53,022	188.7	721	796	15,702
曾谷公民館図書室*	202	12,768	63.2	202	28,985	143.5	592	275	13,822
東部公民館図書室*	151	12,223	80.9	151	26,983	178.7	429	33	12,012
市川公民館図書室	101	2,023	20.0	101	2,859	28.3	342	58	9,371
市川駅南公民館図書室	102	2,033	19.9	102	3,864	37.9	194	90	7,153
本行徳公民館図書室	202	1,744	8.6	202	2,636	13.0	160	50	17,845
計	1,316	71,012	54.0	1,316	196,891	149.6	3,741	3,257	93,274

※ *印の施設の貸出冊数は各施設の蔵書利用と図書館資料利用の合算



③返却ポスト

(上記のうち、市民図書室・公民館図書室での図書館資料の利用統計)

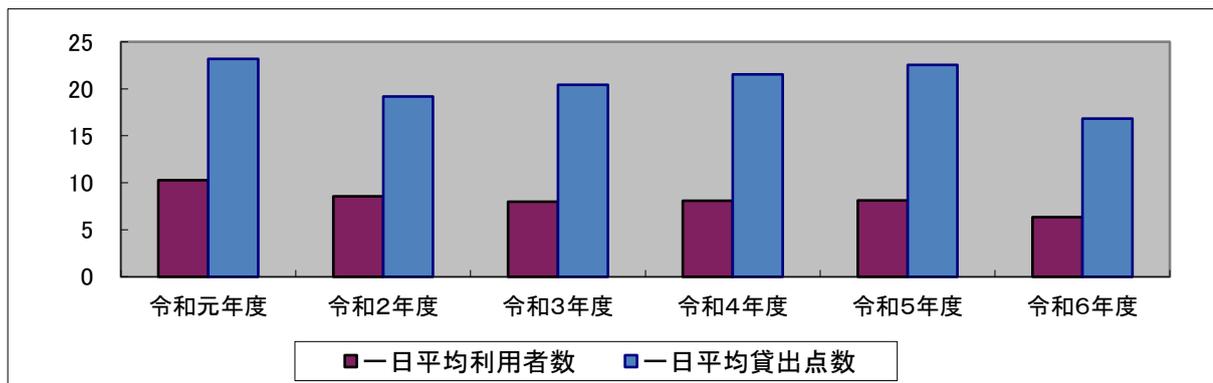
	利用者数	貸出	返却	予約
塩焼市民図書室	1,900	4,498	4,682	4,113
福栄市民図書室	2,576	6,200	5,606	5,710
大柏市民図書室	899	1,695	9,662	1,756
市民図書室小計	5,375	12,393	19,950	11,579
大野公民館図書室	25,924	78,542	87,644	27,864
西部公民館図書室	14,297	53,022	51,025	18,357
曾谷公民館図書室	4,247	9,340	13,700	9,092
東部公民館図書室	2,391	4,963	9,034	4,472
公民館図書室小計	46,859	145,867	161,403	59,785
合計	52,234	158,260	181,353	71,364

設置場所	受付件数	構成比
情報プラザ	59,670	27.4%
市川公民館	7,274	3.3%
歴史博物館	1,098	0.5%
ベルクス市川堀之内	14,395	6.6%
中山窓口連絡所	4,138	1.9%
市役所本庁舎	19,945	9.2%
イオン市川妙典	63,794	29.3%
南行徳市民センター	33,635	15.4%
塩浜市民体育館	3,287	1.5%
菅野公民館	7,867	3.6%
若宮公民館	1,336	0.6%
柏井公民館	705	0.3%
千葉商大	928	0.4%
合計	218,072	100.0%

④男女共同参画センター(ウイズ)情報資料室

※令和2年度より週3日(水・土・日)の開室

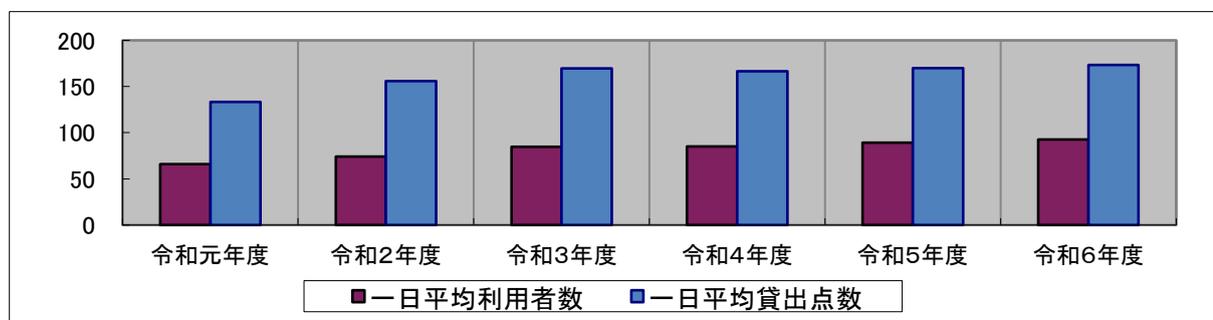
	開館日数	利用者数		貸出点数		受入冊数	除籍冊数	蔵書冊数
		一日平均	一日平均					
令和元年度	242	2,483	10.3	8,061	23.2	776	1,112	14,907
令和2年度	167	1,428	8.6	5,614	19.2	208	32	15,083
令和3年度	157	1,255	8.0	3,205	20.4	75	54	15,104
令和4年度	149	1,205	8.1	3,209	21.5	61	11	15,154
令和5年度	150	1,217	8.1	3,382	22.5	62	15	15,201
令和6年度	145	920	6.3	2,438	16.8	64	4	15,261



⑤情報プラザ

	開館日数	利用者数		貸出点数	
		一日平均	一日平均		
令和元年度	261	17,244	66.1	34,853	133.5
令和2年度	248	18,392	74.2	38,649	155.8
令和3年度	284	24,075	84.8	48,130	169.5
令和4年度	284	24,189	85.2	47,282	166.5
令和5年度	285	25,433	89.2	48,439	170.0
令和6年度	283	26,225	92.7	49,044	173.3

※平成15年7月より市立図書館資料の貸出サービス開始



⑥千葉商科大学付属図書館(市立図書館所蔵資料の貸出数)

	開館日数	利用者数		貸出点数	
		一日平均	一日平均		
令和元年度	236	316	1.3	971	4.1
令和2年度	0	0	-	0	-
令和3年度	0	0	-	0	-
令和4年度	0	0	-	0	-
令和5年度	0	0	-	0	-
令和6年度	253	248	1.0	596	2.4

※平成17年10月より市立図書館資料の貸出サービス開始

※令和2年度～5年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため休止

⑦宅配

	利用者数	貸出点数
令和元年度	41	266
令和2年度	39	177
令和3年度	65	445
令和4年度	46	288
令和5年度	41	241
令和6年度	31	189

※平成18年10月より宅配サービス開始

※一時休止後、平成25年7月より再開

9. 図書館コンピュータシステム

(1) 図書館コンピュータシステムの概要

市川市立図書館では昭和 60 年にコンピュータシステムを導入。その後の更新により、平成 12 年に市内全域へのネットワーク拡大、Web メニューの多機能化に加え、平成 30 年には、中央図書館での座席管理システム、デジタルサイネージ、書庫出納管理システムの導入を実施した。

現在は、富士通社製の大規模図書館システムパッケージ iLisfiera V3 を導入している。

また、IC タグによる蔵書管理システムを市川駅南口図書館の開館を皮切りに、令和元年 12 月に中央図書館ほか市内全図書館で導入をしている。

(2) ネットワークの拡充

平成 12 年からの市内ケーブル回線網の敷設及び全庁的なイントラネット構築に伴い、業務端末は全館全端末が本庁イントラ経由でインターネット常時接続が可能になった。以降、図書館未設置地区へネットワーク拠点を増設している。

現在、図書館 5 館 1 室のほか、関連施設として、男女共同参画センター（ウイズ）情報資料室、公民館図書室 2 室（大野・西部）では、蔵書情報を図書館コンピュータシステムに組入れ、書誌情報と蔵書の一元管理を行っている。

また、いちかわ情報プラザ、公民館図書室 2 室（曾谷・東部）、市立小学校に併設の市民図書室 3 室（塩焼・福栄・大柏）、千葉商科大学附属図書館では、図書館の予約資料受渡し拠点として、図書館 PC を設置している。

平成 29 年全庁的に情報セキュリティ強化対策が実施され、図書館システムは「三層分離」のうち、インターネット接続系となった。

(3) Web メニューの多機能化

平成 12 年 10 月よりインターネットで蔵書情報を公開（Web-OPAC）し、ID とパスワードにより貸出状況・予約状況の照会を可能とし、所蔵予約の受付を 2 年後に開始した。

その後もメールでのレファレンス受付、ウェブでの貸出延長、貸出履歴の保存、Web 上の My 本棚

の作成、スマートフォンでの図書館利用券の表示等のサービスを拡大した。

また、図書検索結果への書影表示、国立国会図書館等との横断検索、デジタルアーカイブの公開、「青空文庫」等の電子テキストと所蔵資料との一括検索等、Web サービスの多機能化を進めている。

(4) 館内インターネット接続サービス等

図書館内には、利用者用の蔵書検索 PC として、タッチパネル式を各館に設置し、その後キーボード式、館内 Web-OPAC と多様化している。

中央及び行徳、市川駅南口図書館には、新聞社等のデータベースを導入し、データベース専用 PC で閲覧及びプリントアウトができる。また、中央及び行徳図書館では、同じ PC で、国立国会図書館の「デジタル化資料送信サービス」の利用を可能とし、中央図書館ではその複写サービスや「歴史的音源」の利用もできる。

中央図書館では、他の図書館や類縁機関、新聞社等のインターネットでの情報源を調べることが可能な「調べもの用 PC」が設置されている。

利用者の持ち込みパソコンのインターネット接続環境の整備として、別途回線を申込、中央図書館ビジネスルームに有線 LAN と無線の POPCHAT、行徳図書館パソコンルームに無線のフリースポット、市川駅南口図書館閲覧席は有線 LAN と無線のフリースポットを導入している。

また、市内の公共施設への公衆無線 LAN 設置の一環として、図書館にも通信会社の Wi-Fi スポットが設置され、各キャリアの回線契約をしている機器を持ち込めば、Wi-Fi スポットを利用できる。

令和 4 年 6 月に中央図書館に市川フリー Wi-Fi を設置。館内でインターネット接続できるエリアが広がった。

(5) IC 機器の導入とセルフ化

平成 21 年に開館した市川駅南口図書館は、IC タグによる蔵書管理を導入し、IC セキュリティゲートやセルフ貸出機を設置した。但し、全館蔵書に IC タグが貼付されていない状況では、セルフ貸出機の利用率は 3 割程度に留まった。

平成 28 年に行徳図書館にセキュリティゲートやセルフ貸出機を先行導入し、その後 3 年かけて全館蔵書に I C タグを貼付した。

令和元年に中央図書館、行徳図書館にセルフ返却機と予約受取棚等を設置し、窓口業務の効率化を推進し、コロナ禍もあり非接触サービスとしてセルフ利用が浸透した。

令和 4 年度には、市川駅南口図書館及び行徳図書館の I C タグ関連機器を更新し、行徳図書館には自動貸出機を 1 台増設し更なる利便性の向上を図つ

① 図書館情報システム機器台数内訳

- サーバ 中央 15 台 市川駅南口 1 台
- レーザープリンタ 30 台。他にレシートプリンタが各パソコンに付随する
- 利用者用コインバンダー複合機 中央 1 台 行徳 1 台

※機器台数は令和 7 年 4 月 1 日現在

館名・施設名	業務用		利用者用				
	デスク トップ	ノート パソコン	館内 OPAC	Web-OPAC	データベース等 閲覧用 PC	デジタル サイネージ	その他
中央	23	11	2	6	8 ※1	2	6 ※2
(こども)	3	2	2			1	
(BM)	1	2					
(宅配用)		1					
行徳	7	8	3	3	1		
市川駅南口	8	1	3	1	3	1	
信篤	1	2	1		※1 レファレンス横 3台 レファレンス窓口 ノート1台 調べものPC 4台		
南行徳	1	2	1				
平田	1	2	1				
ウィズ	1			1			
大野	1	1					
西部	1	1	1		※2 座席管理パソコン 5台 障がい者用パソコン 1台		
受取 拠点	曾谷・東部	2					
市民図書室 3 室	3						
情報プラザ	1						
千葉商大	1						
合計	55	33	14	11	12	4	6

パソコン合計 135 台

② I C タグ関連機器

館名	自動 貸出機	自動 返却機	ゲート	予約棚コーナー				ゲート 監視 PC	蔵書点検用機器	
				予約棚	予約 確認機	自動 貸出機	ゲート		点検用 PC	無線型
中央	5	4	2	19	2	2	1	1	6	8
(こども)	2	2	1							
行徳	5	2	2	10	1	2	1	3		
市川駅南口	3		2					2		
合計	19	8	9	29	3	左記の同一機器に含める		7	6	8

※他に蔵書管理館のパソコンに付随する I C リーダライタ及びアンテナが 77 台

③オンラインサービス・データベース導入一覧

令和7年4月1日現在

	データベースタイトル	中央			行徳			駅南		
		業務	閲覧	視聴	業務	閲覧	視聴	業務	閲覧	視聴
①	朝日新聞クロスサーチ：朝日新聞記事データベース	○	○		○	○		○	○	
②	ヨミダス歴史館：読売新聞記事データベース	○	○		○	○		○	○	
③	毎索：毎日新聞記事データベース	○	○		○	○		○	○	
④	日経テレコン 21 [図書館向け]	○	○		○	○		○	○	
⑤	D1-Law.com:第一法規 法情報総合データベース	○	○		○	○		○	○	
⑥	官報情報検索サービス	○	○		○	○				
⑦	国立国会図書館「デジタル化資料送信サービス」	○	○		○	○				
⑧	国立国会図書館「歴史的音源」	○		○						
☆	ナクソス・ミュージック・ライブラリー									○
☆	MagazinePlus ※R7年2月～							○	○	
☆	BookPlus ※R7年2月～							○	○	
☆	レファコレ日本文学 ※R7年2月～							○	○	

☆指定管理者の事業提案によるもの

④データベース・プリント枚数(令和6年度)

館	枚数	国立国会図書館デジタル化資料送信サービス複写枚数
中央	757 枚	280 枚
行徳	137 枚	—
駅南	165 枚	—

⑤Webサービス統計(令和6年度)

回数/手段	WWW	館内OPAC	携帯電話	スマートフォン	計
資料検索回数	3,389,551	374,267	3,612	1,104,178	4,871,608
マイページ ログイン回数	977,686	209,357	10,120	1,514,354	2,711,517
貸出延長回数	67,115	3,569	822	102,953	174,459

10. 令和6年度事業概要

概況

令和6年度は、課題となっている北部地域への図書館サービスの充実に努めるとともに、生涯学習センターで開館30周年の各種イベント等を実施し、図書館の活性化を図った。

・生涯学習センター30周年記念イベントの実施

生涯学習センターが平成6年11月3日のオープン以来、今年度で30周年を迎えたことに合わせ、中央図書館およびセンター内各施設で、「メディアパーク30祭」と称した記念イベントを実施した。

・地域連携

千葉県立現代産業科学館、ニッケコルトンプラザ、市川市生涯学習センターとの三者連携事業「おにたかとらい」では、令和6年度は中央図書館が幹事館となり、現代産業科学館と生涯学習センターの開館30周年にあわせた連携イベント等、11件の連携事業を実施した。

・司書職採用の再開

司書職の採用は、平成6年度以降実施されていなかったため図書館業務に関する経験や知識の継承が課題になっていたが、30年ぶりに司書職の採用を再開し、令和6年度には2名の司書資格を持つ職員が配置された。

・市民協働

市民協働の取り組みとして、本を題材として施設の間を提供する「市民提案型 図書館推し活企画」の公募を行ったところ市民から16件の応募があった。なかでも、昨年度から引き続き開催した「いちかわのほほん古本市」は、出店者が本を持ち寄る“一箱古本市”に加え、参加者が推している本について紹介する集い等も開催し、人が集まることで地域やコミュニティに新たな活気を与える「にぎわい創出」という市民協働のあり方を示した。

また、地元の店主の方のおすすめの本を紹介した「店主の本棚」、お気に入りの本をしたためた手紙の交換「お手紙読書会」のほか、各種展示や読み聞かせ会等、多彩な内容の企画が提案され、図書館が地域の交流の場としての一端を担った。

・北部地域におけるサービス

大野公民館図書室の昼休み時間帯の休室を廃止し1週間を通して9時から17時の開室としたことで、利用者の利便性の向上につなげることができた。

また、「千葉商科大学附属図書館と市川市立図書館との連携に関する覚書」を新たに締結し、千葉商科大学での市立図書館資料の予約受取サービスや、市立図書館利用者の千葉商科大学附属図書館での利用登録を4月から再開した。

(1) 資料収集と利用状況

①図書館の利用状況

令和6年度の図書館及び図書館関連施設（市民図書室・公民館図書室・情報プラザ・ウィズ情報資料室・宅配）の貸出点数は、2,362,830点、延べ利用者数は785,208人であった。

図書館及び図書館関連施設の図書・雑誌・視聴覚資料のリクエスト総数は658,012件であった。

②資料収集

図書費（装備費を含む）については、864万円増額し6,629万円となった。しかし、平成3年度の大規模な減額により、コロナ禍以前の水準にまでは回復していない現状がある。増額分を市民ニーズに対応した資料の購入に充てつつ、新刊書の購入を厳選し、寄贈図書の活用や予約の多い資料の複本数を抑える等の対策をしながら、必要な資料の収集に努めた。

中央図書館では蔵書構成検討委員会を設置し、年度ごとの収集計画の立案、選定会議の運営、逐次刊行物の選定等を協議している。資料の収集については、「市川市立図書館の蔵書の構築に関する指針」に基づき「市川市図書館分野別資料収集基準」、年度ごとの「資料収集計画」という体系のもとで行っている。また、書架担当制度を設け、各担当で破損本の買い替えや書架整理等、棚揃えの管理を行っている。

選定会議はリクエスト選定会議と新刊図書の選書会議をそれぞれ毎週開催し、未所蔵のリクエスト資料の選定と、購入資料の選定及び全館分の最終的な選書確認を行っている。

年に一度行う蔵書点検は、全館でIC機器を用いて実施している。令和6年度の中央図書館の蔵書点検は1月28日から31日に実施した。

(2) リクエストサービス

①リクエストサービス

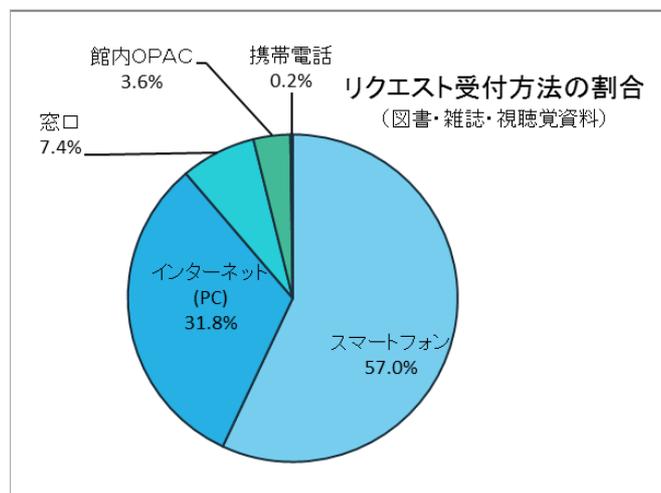
令和6年度のリクエスト受付件数は、前年度比99.4%と、ほぼ同程度で推移している。

受付方法別では、スマートフォン、携帯電話の予約割合が増えており、モバイルからの予約へ移行が進んでいることが分かる。

リクエスト受付方法別総数

(図書・雑誌・視聴覚資料)

受付方法	件数	前年度比
窓口	48,595	96.8%
インターネット(PC)	209,152	93.2%
スマートフォン	374,974	103.8%
館内OPAC	23,815	96.7%
携帯電話	1,476	102.9%
合計	658,012	99.4%



②国・県・市町村図書館との相互協力

相互協力の貸出冊数は前年度比104.3%、借用冊数は前年度比98.5%となった。貸出と借用の比は1:1.4となっており、借受超過の状態が続いているものの、コロナ禍で減額されていた資料費が増額となったことは、わずかながらも借用冊数の減少につながったことが考えられる。

他自治体への貸出冊数

	令和5年度	令和6年度
千葉県立図書館	106	106
県内 市町村立図書館	4,040	4,212
その他(県外含)	20	28
合計	4,166	4,346

借受け先別の借用冊数

	令和5年度	令和6年度
国立国会図書館	10	2
千葉県立図書館	1,296	1,148
県内 市町村立図書館	4,828	4,883
その他	42	53
合計	6,176	6,086

借用冊数館別内訳

	令和5年度	令和6年度
中央図書館	2,047	1,817
自動車図書館	32	43
平田図書室	256	481
行徳図書館	1,227	1,213
信篤図書館	195	199
南行徳図書館	239	198
市川駅南口図書館	1,640	1,624
大野公民館図書室	420	422
西部公民館図書室	120	89
合計	6,176	6,086

(3) レファレンスサービス

令和6年度は、42,740件の質問が寄せられた。昨年度と同様にメールレファレンスが活用されており、内容的には詳細な調査を要する質問が多くあった。

電話やメールレファレンスも含めて、利用者から受けた質問及びその調査過程・回答は「レファレンス記録票」に記録している。この記録票を基に、実際のレファレンス回答の情報を「あれこれふぁ（新・参考業務月報）」として編集し、「レファレンス事例集」としてWebサイトに掲載するとともに、同じ事例データを、国立国会図書館のレファレンス協同データベースにも提供している。市川市立図書館からのレファレンス事例提供数が多かったことから、令和7年3月に、国立国会図書館より市川市中央図書館へ16度目の礼状が贈られた。さらに1年分をまとめて冊子「あれこれふぁ（新・参考業務年報）」として市役所内部はじめ関係機関へ配布している。

また、「パスファインダー」の作成を継続し、令和6年度には6点のパスファインダーを作成し配布した。

一般	文学賞について調べるには	改訂
	日本の法令について調べるには	改訂
	日本の伝統行事・祭りについて調べるには	改訂
	SDGsについて調べるには	改訂
こども	お米についてしらべよう	新規
	伝統工芸についてしらべよう	新規

レファレンスに供するため、10種類のオンライン・データベースを導入している。新聞記事検索、官報検索がよく利用され、平成26年度から開始した国立国会図書館デジタル化資料の公衆送信サービスの利用も定着している。

デジタル化資料複写枚数（5年間の推移）

年度	令和2	令和3	令和4	令和5	令和6
件数	566	879	92	220	280

※令和4年度よりデジタル化資料の複写が、一部個人登録者でも可能となったため減少傾向にある。

地域館におけるレファレンスについては、中央図書館がバックアップするなどし、市民の様々な資料相談に応えられる体制を整えている。

レファレンス受付館別件数

中央図書館	22,174	信篤図書館	2,776
行徳図書館	8,688	平田図書室	913
南行徳図書館	2,021	市川駅南口図書館	6,168
合計			42,740

(4) 関連施設・類縁機関との連携

① 市民図書室

市民図書室は、コミュニティスクールの一環として市内小学校に設置され、併設されている学校図書室と読書教育の推進を担ってきた。

平成11年度より図書館へ所管変更され、現在は中央図書館所管の会計年度任用職員が市民ボランティア（ブラウン方式の貸出返却、本の整理等）の協力を得て図書室の運営を行っている。

また、ボランティアが主体となって、おはなし会、絵本の読み聞かせ会、人形劇、古本市を行うなど、それぞれ地域住民の活動の場として機能している。

なお、稲越市民図書室は須和田の丘支援学校の児童増加に伴う教室不足のため、令和3年度で閉室となった。

- ・市立図書館とは別に、それぞれの図書室で（ブラウン方式）貸出の利用登録が必要。その返却は、借りた図書室に限定。
- ・図書館システムの端末が設置されており、市立図書館の蔵書検索、市立図書館の図書・雑誌の返却や予約の受付・受取ができ、その手続きは会計年度任用職員が行っている。
- ・市立図書館の物流便は毎週水・土曜日に巡回。
- ・令和3年11月1日より図書館利用券の更新サービスを開始した。
- ・令和4年11月18日より視聴覚資料の貸出・返却・予約受け渡し等の取り扱いサービスを開始した。

②公民館図書室

市内16の公民館のうち、大野・西部・曾谷・東部・市川・市川駅南・本行徳の7館に公民館図書室が設置されている。公民館図書室の運営については、公民館を所管する生涯学習振興課が社会教育指導員を配置している。

但し、市北部地域の図書館サービス拡充のため、大野・西部公民館図書室は図書館課が所管し、会計年度任用職員が運営している（令和6年度も引き続き大野に再任用1名を配置）。

なお、公民館図書室7室の図書費は図書館が予算化し、選書の審議を行っている。

ア. 大野・西部公民館図書室…図書館システムによる蔵書管理

大野公民館図書室は平成28年12月から、西部公民館図書室は平成31年3月から、蔵書管理と利用者管理を図書館システムに一元化しており、市立図書館の利用券で共通に利用できることとし、図書の貸出点数は、市立図書館と同じ20冊までとなった。市立図書館の物流便は、ほぼ毎日巡回。

- ・平成31年4月からの視聴覚資料の返却可能に続いて、令和3年6月から、大野・西部公民館図書室は、視聴覚資料の予約受付を開始した。
- ・令和3年10月から、西部公民館図書室は火曜日を開室し、貸出を週6日に拡大した。
- ・令和4年1月5日から、大野・西部公民館図書室は、リクエスト（所蔵しない図書の予約）受付を開始した。
- ・令和5年6月に返却ポストを西部公民館入口に設置した。
- ・令和6年10月から、大野公民館図書室の昼休みの休室時間を全日廃止した。

イ. 曾谷・東部公民館図書室…受取拠点

貸出方法は、ブラウン方式（1人2冊）を採用しており、それぞれの図書室で利用登録が必要。その返却は、借りた図書室に限定。

市立図書館システムの端末が設置されており、市立図書館の蔵書検索、市立図書館の図書・雑誌の返却と予約の受付・受取ができる。

市立図書館の物流便は週2回巡回。

令和4年8月から開室と貸出時間を変更。

	午前	午後
開室時間	9:00～12:00	13:00～17:00
貸出時間	9:30～12:00	13:00～16:30

ウ. 市川・市川駅南・本行徳公民館図書室

貸出方法は、曾谷・東部公民館図書室と同様。市立図書館システムの端末は設置しておらず、市立図書館資料の貸出返却はできない。

市川・市川駅南公民館図書室は、集会室の不足を補うため、規模が縮小されている。

また令和4年8月から、市川・市川駅南・本行徳公民館図書室は、開室時間と貸出時間を曾谷・東部公民館図書室と同様に変更した。

③男女共同参画センター（ウィズ）情報資料室

男女共同参画についての資料の収集と提供を行っている。蔵書と利用者管理を図書館システムに一元化しており、市立図書館利用券で利用できる。また、市立図書館の蔵書を予約・受取も可能。

水・土・日曜日の週3日のみを貸出日として開室。

施設の所管は総務部ダイバーシティ推進課だが、図書購入費及び会計年度任用職員の人件費は図書館費。

市立図書館の物流便は、毎週水・日曜日に巡回。

④いちかわ情報プラザ2階

市立図書館システムの端末が設置されており、市立図書館の資料の予約貸出のみを委託業者が行っている。なお、窓口横には返却ポストを設置。

市立図書館の物流便は、ほぼ毎日巡回。

⑤「学校図書館支援センター事業」に参加

公共と学校、また学校間が相互に連携し、図書資料や情報を流通させる事業で、各図書館の所蔵資料を広く有効に活用している。学校での「調べ学習」や読書等の諸活動を活発に展開させることで、「自ら学ぶ力」を養い、生涯にわたって学び続ける児童・生徒の育成をめざしている。

ア. 参加校数

市川市立の義務教育課程の学校55校（小学校38校、中学校15校、義務教育学校1校、特別支援学校1校）及び幼稚園6園。

イ. ネットワーク用資料の整備

中央図書館や市内図書館所蔵の資料のほかに、複数の学校からの要望にも対応するため、ネットワーク専用資料10,838冊（令和7年3月末現在）を中央図書館で所蔵している。令和6年度は購入、寄贈等により134冊の受入れを行った。

ウ. 資料提供

参加校（園）の教職員からの依頼により、各校の学校司書（常勤）・学校図書館員（非常勤）が取りまとめ、公共図書館及び参加校（園）に対してメールで貸出依頼を行う。依頼を受けた側は自校（館）の資料の中から依頼内容に沿った資料を選び、当該校に貸出をする。配送は、委託業者による週2回・各2台の運搬車が学校図書館支援センターと公共図書館と全校とを結んでいる。

物流回数	70回		
貸出冊数	4,759冊		
依頼件数 423件	内訳	小学校	298件
		中学校	88件
		義務教育学校	0件
		幼稚園	16件
		特別支援学校	21件

エ. 指導研究・調整事務

毎年行われる教育センター・指導課共催の公共図書館・学校図書館双方の実務担当者による学校図書館研修会では、年度初めに図書館の担当者が確認事項の説明を行った。

⑥大学図書館及び他機関とのネットワーク事業

ア. 千葉商科大学付属図書館

令和6年4月1日に「千葉商科大学付属図書館と市川市立図書館との連携に関する覚書」を締結し、平成17年10月12日付けで締結した「千葉商科大学付属図書館と市川市立図書館との連携に関する協定書」を廃止した。

大学付属図書館の窓口には、市立図書館システムの端末が設置されており、市川市図書館の図書・雑誌の予約・受取ができる。コロナ禍の入構制限により令和2年度から休止していたが、4月から再開し、CUCライブラリーカードの交付を

受けなくても受取が可能となった。また、図書館入口には返却ポストが設置されている。

千葉商科大学付属図書館の利用も再開され、18歳以上の市内在住・在勤・在学の市立図書館利用者は、市立図書館窓口で紹介状の発行を申し込むことで、CUCライブラリーカードを作成することができる。

（利用登録料及び更新手数料が必要）

令和6年度に発行した紹介状は84件であった。

イ. 和洋女子大学図書館

市川市在住・在勤・在学の市立図書館利用者は、和洋女子大学図書館所蔵の図書を市立図書館の館内で閲覧することができる。市立図書館に所蔵がない図書が対象で、市立図書館のカウンターで申し込む。閲覧期間は2週間以内である。なお、雑誌・視聴覚資料・貴重書・館内閲覧資料は除く。相互の物流は、搬送する図書・文書等があるときのみ、金曜日に中央図書館の物流便で行っている。

令和6年度の図書の貸出・借受けは0件であった。

ウ. その他

市川市民（在勤含む）が前記以外の大学図書館等を利用する場合、1回（1日）の閲覧ごとに紹介状が必要である。学生の場合は基本的に所属する大学の図書館からの紹介状による。

令和6年度に発行した紹介状は4件であった。

⑦三者連携「おにたかとらい」

千葉県立現代産業科学館、ニッケコルトンプラザ、市川市生涯学習センターの三者での連携として、以前は「さんしゃまつり」を実施していたが、新たに地域教育活動の拠点として連携する事業「おにたかとらい」を令和5年度から実施した。鬼高地区に新たな価値を生むべく、挑戦し、地域の活性化と発展のために寄与することを目的とする。

令和6年度（幹事館：生涯学習センター・中央図書館）は、11事業を展開。6月には現代産業科学館、11月には生涯学習センターがそれぞれ開館30周年記念事業を行い、三者でイベント協力を行った。2月には「おにたかとらいからの挑戦状2025～隠された文字とスタンプを探せ」と称し、3施設をめぐる謎解きスタンプラリーのイベントを実施した。

→（7）〈参考〉令和6年度 三者連携事業
「おにたかとらい」実施記録 を参照

⑧市の包括協定等での連携

ア. 和洋女子大学

包括協定大学である和洋女子大学からの依頼に応じ、8月～9月の3日間インターンシップで和洋女子大学3年生1人を受け入れた。

また、9月には司書課程を履修している学生を対象とした中央図書館見学会を実施し、学生9人の参加があった。

イ. 昭和学院短期大学

夏休み期間中に、昭和学院短期大学人間生活学科子ども発達専攻の学生たちがスペシャルおはなし会を実施した。絵本や紙芝居、歌遊びなどプログラムを変え3回開催。参加者は計57人。

(5) 対象別サービス

①児童サービス

「市川市子どもの読書活動推進計画」の第二次計画が令和5年度より施行されたことに基づき、子どもの発達に応じて豊かな読書体験ができるように、推薦図書リストの継続的な作成やイベントの開催等、教育センター、こども館ほか行政各部門と連携して、子どもの読書活動を推進している。

ア. 推薦図書リストなどの発行

子どもの年齢や学年ごとにお薦めの本のリストやリーフレットを作成し、配布している。

小学生向けおすすめの本リストである「本のぼけっと」は、2024年版を新たに作成、基本版2号を増刷し、学校等に配布した。

保護者を対象に絵本の選び方を解説した「本のほかほかだより」0～13号と付録（読み聞かせの本リスト1号・2号）、「新一年生の保護者の方へ」は継続して配布している。

イ. 本の紹介展示による読書啓発

こどもとしょかんや地域館の児童コーナーで、季節やテーマに沿った本の展示を行っている。

令和6年度は、子どもが参加できる企画として、「塗り絵でこどもとしょかんを飾ろう！」を実施し、30周年記念ロゴの塗り絵237枚をこどもとしょかんに掲示した。

ウ. 定例の読み聞かせ会

各図書館では、絵本の読み聞かせ会などを定例で行っている。

市川駅南口図書館では、隣接するキッズステーションでの読み聞かせ12回に加え、市川駅北口にあるMIRATZ市川保育園で在園児を対象として5回開催した。

館	イベント名	対象年齢	回数	人数
中央	えほんの会	4歳～小学生親子	20	353
	らっこの会	0～3歳親子	19	248
	わらべうたであそぼう	0～3歳親子	31	266
	おはなし会	4歳～小学生	9	108
行徳	えほんの会	4歳～小学生親子	12	103
	小さい子のためのえほんの会	0～3歳親子	22	366
信篤	えほんの会	3歳～小学生親子	3	13
南行	えほんの会	3歳～小学生親子	12	28
駅南	えほんの会	0～3歳親子	17	302

エ. 本に親しむイベントの実施

定例の読み聞かせの会のほかに、子どもたちが本に親しみをもち、新たな本との出会いを創出するイベントを実施した。

夏休みの企画として、中央図書館で「あなたの「調べたい!」を応援します」を開催した。

行徳図書館では、昨年度に引き続き「ぬいぐるみおとまり会」を実施し、好評だった。

外部講師に依頼した企画として、宮本えつよしワークショップ「おばけファッションショー」を中央図書館で開催した。

→ (7) ⑤館内行事/児童・ヤングアダルト を参照

オ. 乳幼児サービス

中央図書館では、「わらべうたであそぼう」（0歳から3歳までの親子対象）を実施した。また、11月には乳幼児の保護者対象の講座「はじめまして赤ちゃん絵本」を開催した。

市川駅南口図書館では、4月に「親子でうたであそぼう 手あそびわらべうた」を実施した。

カ. 読書環境の整備

令和6年度も市内の認定こども園、小規模保育事業所の読書環境の整備を目的に、リサイクルブック市で優先的に絵本を選んでもらえるように招待した。

大柏川ビジターセンターでは、学校司書で構成される「てんとうむしの会」が、図書館推し活企画として、定期的に読み聞かせを行っている。

キ. 大型絵本・大型紙芝居

大型絵本・大型紙芝居は団体への貸出利用に限定していたが、令和3年11月から市内在住・在勤・在学の個人の利用者への貸出を開始した。

所蔵タイトル数：大型絵本120冊、大型紙芝居19点

ク. 出張サービス

市内の小学校・保育園・幼稚園を対象に、出張おはなし会「おはなしバスケット」を行っている。

日時	館名	校名・園名	対象	人数
6/19	中央	デイジー保育園	3～5才	30人
6/19	行徳	塩焼幼稚園	年少・年長	70人
10/8	中央	鶴指小学校	1年生	80人
11/22	中央	南新浜小学校	5・6年生	約200人
11/22	信篤	信篤幼稚園	年少・年長	28人
11/29	中央	新浜幼稚園	4～5才	36人
1/22	中央	大洲幼稚園	年少・年長	21人

そのほか、現代産業科学館や八幡親子つどいの広場にも読み聞かせに赴いた。

ケ. 学級招待

クラスや学年単位で図書館に来館した子どもたちに対して読み聞かせ等を行っている。中央図書館では2回、20名の子どもたちに読み聞かせ等を行った。

コ. まちたんけん・地域学習

小学生が地域への意識を高める授業の一環であり、訪問先として近くの図書館を選択しており、各館で受入れを行った。

日時	館名	学校名	回	人数
10/3	駅南	市川小学校2年	1	12
10/17	駅南	宮田小学校2年	1	3
10/22	中央	鬼高小学校2年	1	5
10/29	南行徳	南行徳小学校2年	1	21

サ. 職場体験

児童生徒が「働くこと」への関心をもち意欲を高めるとともに、図書館の担う役割や読書の大切さを理解してもらうために、学校の職場体験学習に協力している。

日時	館名	学校名	人数
7/3～4	中央	福栄中学校2年	3
	行徳	福栄中学校2年	2
10/18	駅南	宮田小学校6年	2
10/17～18	中央	第三中学校2年	3
10/25	駅南	日の出学園小4年 (職場訪問)	3
1/29～30	行徳	県立行徳高校1年	1
1/30	行徳	高谷中学校2年	2
2/5～6	中央	筑波大学附属聴覚特別支援 学校 中学部2年	3

シ. 学級文庫

市内公立小中学校等に、対象年齢に応じたセット貸出を行った(学校ネットワーク物流便利用)。

学校種別	貸出冊数	(内特別支援)
小学校	2,100冊	(420冊)
中学校	120冊	(120冊)

②ヤングアダルトサービス

中学生以上19歳までの世代を、Young Adult (若い大人) としてとらえサービスを行っている。

中央図書館では、児童と一般の枠にとらわれず、対象資料を集めたYoung Adultコーナーを、一般フロアの一面に設けている。コーナーでは、3か月ごとにテーマを決めて特集展示を行い、展示ポスターは市内の中学生から募集している。

行徳と南行徳図書館においては、児童フロアの一面に書棚を設けている。行徳図書館は、年に4、5回程度テーマを決め特集展示を行っている。資料は、中学生以上向けの児童書である。南行徳図書館では中高生向けの文庫が中心である。

ア. 発行物「Young Adult通信」

中高生向けのブックリストとして、年1回作成。令和6年度は第85号を発行し、市内公立中学校の全生徒に学校ネットワーク物流便を通じて配布し、図書館Webサイトにも掲載している。

「入門編」は、中高生向けの利用案内として、図書館内で配布するほかに、市内公立中学校1年生を対象に5月頃に配布。

「てっばんせれくと号」は、10代のうちに出会ってほしいおすすめの本のリストであり、市内公立中学校2年生を対象に夏休み前に配布。

「号外 新生活応援号」は、卒業する市内公立中学校3年生を対象に春休み前に配布。

イ. イベント

・いちなんえほんの会

7月27日、28日、8月3日、4日に千葉県立市川南高等学校保育コースの生徒17名が来館し、こどもとしょかんで読み聞かせの会を行った。会には延べ140名が参加し好評だった。

・Yサポ（YAサポーター）募集

Young Adultコーナーや図書館をPRする活動をするボランティアとして随時募集。本の紹介文POPの作成や、配架、在架作業等の活動を延べ17人、5回行った。

・YAイメージキャラクター募集

Young Adultコーナーをイメージしたキャラクターを募集し、17点の応募があった。大賞は、令和8年3月末まで使用する。

ウ. 学習参考書の棚設置

ヤングアダルト世代への学習支援の一環として、大学、高校入試のための学習参考書、問題集の寄贈を募集した。集まった資料はYoung Adultルームに設置し、館内で自由に活用できるようにした。

エ. 学校との連携

市内の中学校及び県立高等学校から校内で作成した本の紹介文POP等を借用し、各校約2～3か月の期間でYoung Adultコーナーや、一般の新着本コーナー横等に展示し、紹介本は、常に貸出され好評だった。

→(7) ③特集展示/中高生本の紹介文POPの展示 を参照

③障がい者サービス

図書館を利用する上で心身等に何らかの障がいがある方を対象として、それぞれの状況に応じ、図書館を利用しやすいように配慮したサービスを提供することを目的とする。

一般の図書の形態（墨字資料）での読書が困難な方に対して、点字図書、DAISY図書、大活字図書、CDブック、布の絵本・布のおもちゃ、LLブック等を、購入やボランティア団体の製作によって蔵書として提供している。

中央図書館障がい者サービス室にはインターネット閲覧用パソコン、DAISY図書再生機、拡大読書器、音声読書器などの機器類を、中央図書館案内カウンター・レファレンスカウンターには聞こえをサポートする対話支援機器 comuoon（コミュニケーション）を、中央図書館フロア・行徳図書館には拡大読書器をそれぞれ備えている。

来館困難者へのサービスは、郵送貸出や代理人貸出による資料の提供を行っている。

布の絵本・布のおもちゃ及びマルチメディアDAISY図書の利用の促進を図るため、市内公立小・中学校の特別支援学級並びに須和田の丘支援学校、県立市川特別支援学校を対象に案内パンフレットを配布し、学校ネットワークを通して貸出を行っている。

障がい者サービス登録者数(年度新規と累積)

状況種別	視覚	聴覚	内部疾患 肢体不自由	外来困難者 その他	合計
新規	2	0	3	4	9
累積	105	146	173	121	545

④外国人利用者へのサービス

国際化社会に対応した多文化サービスの実現を目的とする。市川市に居住する外国人を図書館サービスの対象者として明確にとらえ、日本での生活・学習・娯楽等に役立つ図書や行政機関による外国人向けの資料を重点的に収集している。

令和6年度は英語図書82冊、中国語図書44冊、その他の言語2冊、児童書洋書33冊の新規購入を行った。

ア. 楽山市寄贈中国語資料

平成13年、友好都市締結20周年にあたり、楽山市から中国語図書約300冊の贈呈を受けて楽山市図書コーナーを設置したが、経年による本の劣化等により、平成18年にコーナーを終了し、従来の中国語資料の中に収めた。

イ. 原州市寄贈韓国語資料

市川市と同じく健康都市連合に加盟している大韓民国江原道原州（ウォンジュ）市から寄贈された韓国語資料のコーナーを設置している。

ウ. 逐次刊行物（市内全館所蔵タイトル数）

洋雑誌：9 新聞：英語3／中国語1／韓国語1

⑤団体へのサービス

ア. 団体としての利用

読書活動に関わる団体及び市内福祉施設・学校等で図書館資料を利用する団体へのサービス。

- ・登録・貸出

市川市在住・在勤・在学者を主な構成者とし、継続的に利用し、図書館資料を営利目的として利用しないことを登録要件としている。更新は年度ごと。

貸出期間	図書：31日	CD：15日
貸出点数	図書：無制限	CD：3点
予約（窓口のみ）	1日5タイトル、累計20点まで 新規資料の購入はしない	

- ・活動場所の提供

中央図書館では、図書館関連5団体に活動場所として地下集会室・サークル室を提供している。

イ. 読書会サポート

- ・資料の提供

読書会で同タイトルの資料が複数必要となる場合は、図書館の所蔵冊数内で希望冊数を用意し、受取希望日の3週間前から予約を受付けている。

読書会向けに同タイトルの本を揃えた県立図書館の「十冊文庫」の依頼は0件であった。

年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
登録団体数	43	48	54
貸出冊(点)数	4,624	6,317	7,177

(6) 資料別サービス

①地域資料

ア. 地域行政資料

地域行政資料（市川市、千葉県に関する資料）を収集し、独自の分類を付与し、地域の歴史を後世に伝えるため永年保存としている。

イ. 市民文庫と特別コレクション

市民文庫（市川市に関連する文学者の著作、市民が書いた著作）を受入れ、特別コレクション（永井荷風・東山魁夷・星野道夫・渡邊二郎の著作及び関連著作）は論文や記事、新刊書から古書まで積極的に収集し、整理を行った。

ウ. 展示

中央図書館では絵画ラックやガラスケースを利用して、地域に関連する展示を実施している。

4～5月にガラスケースで、市川市動植物園の動物たちのイラストで市川の名所や施設を紹介している「いちかわかるた」を展示した。10～11月の特集展示では、文学ミュージアムで行われた企画展「幸田文展一千年の藤のように生きる」（10月26日～12月22日）に併せた特集展示「幸田文とその世界」で、幸田文の作品とともに、その家族（幸田露伴・青木玉・青木奈緒）の作品を紹介した。

絵画ラックでは、10～11月にメディアパーク30周年記念イベントに合わせて「写真と記事で綴る中央図書館30年」と題し、30年の歴史を写真や新聞記事等で紹介した。同時に、ガラスケースで「メディアパーク関連グッズ紹介」として、建設時に出土した貝殻や開館当時に配布したグッズ等を紹介した。

12～1月の特集展示では、文化会館で市川市名誉市民である宗左近の「炎（も）える母」を題材とした公演（12月15日）に合わせた「宗左近×コンテンポラリーダンス」をテーマに関係書籍を紹介した。

ガラスケースでは12～1月に、令和6年11月3日に市川市指定無形民俗文化財に指定された「行徳の神輿文化と祭礼」に合わせて図書館で所蔵する行徳神輿に関する資料の一部を紹介した。

エ. 電子化とWebサイトによる情報発信

中央図書館開館30周年記念の一環として「市川市立図書館の30年」を図書館Webサイトに公開した。

中央図書館開館前1989～1993年、中央図書館1994年、1995年～1999年、2000年代、2010年代、2020年代の年代別に各年代のトピックスを、写真を中心に紹介した。

②視聴覚資料

中央図書館ではCD・ビデオ（市の広報のみ）・DVD、行徳図書館ではCD・DVD、市川駅南口図書館ではDVDを所蔵している。

ア. 視聴覚資料（CD・広報ビデオ・DVD）の提供に関すること

貸出点数は、1人CD3点、DVD2点（試行）。貸出期間は、貸出日を含む15日間。視聴覚資料の貸出対象及び試聴コーナーの利用対象は、中学生以上の市内在住・在勤・在学者。

イ. 試聴コーナーに関すること

[設置台数] 中央図書館：CD用（1台）

③その他

中央図書館の視聴覚資料の棚に、健康都市推進課の協力で「SDGsってなんだろう？ SDGsブックコーナー」を令和3年8月から設置している。

同じく令和2年6月から設置した、人気時代小説作家のコーナーは、好評につき作家数を15名に増やして継続している。

（7）主催事業

①30周年記念事業（メディアパーク30祭）

「つなげよう、いちかわ学びの輪」をテーマに令和6年11月2日を中心として生涯学習センター内の4施設（中央図書館・中央こども館・文学ミュージアム・教育センター）で、生涯学習センター開館30周年記念イベント（メディアパーク30祭）を実施した。

期間中には、市民提案型企画イベント5つを併せて開催した。11月2日には、来場者やスタンプリーパー参加者に市政90周年記念缶バッジなどの記念品の配布を行った。→右表参照

②リサイクルブック市

図書館の不用図書、雑誌など（除籍資料及び寄贈資料のうち既に所蔵があるものや資料収集方針に沿わない等の理由で受け入れないもの）を有効活用するため、「市川図書館友の会」と共催してきた大規模なリサイクルブック市の開催は、令和6年度第29回（10/25～26）で終了とした。

なお、小規模な形式で「文庫ぷちリサイクル」と称して、6月の環境月間（土日4週8日間）に併せて文庫のみで試行実施、また3月（金土2日間）に事前申込制で開催した。

そのほか、10月20日に環境フェアがコルトンプラザで開催され「SDGsぷちリサイクル」としてテントブースで二回目の出展で、480人が訪れた。

JR・都営・京成鉄道三社の八幡駅「フードドライブ&ブックドライブ」は12月14日に開催され、寄せられた約1,500冊の本が、図書館に寄贈された。

→下表参照

館	実施日・場所	対象及び参加数	備考
中央 (第29回)	10月25日(金) グリーンスタジオ	保育園等 99団体	市川図書館友の会 協力
	10月26日(土) グリーンスタジオ	一般市民 479人	
環境フェア	10月20日(日) コルトンプラザ	テント出展 約480人	一般書・雑誌等を提供
文庫ぷち6月	1日(土)2日(日)8日(土)9日(日) 15日(土)16日(日)29日(土)30日(日) 地下集会室	8日間計 1,765人	出入り自由
文庫ぷち3月	7日(金)8日(土) 地下集会室	2日間計 399人	午前枠事前申込のみ
行徳	12月7日(土)～22日(日)	集計なし	期間限定コーナー
信篤	10月19日(土)～29日(火)		
平田	11月1日(金)～28日(木)		
南行徳	11月30日(土)・12月1日(日)		

30周年記念事業（メディアパーク30祭）

開催日	館名・団体名	行事名	人数 ・貸出数
9月28日（金）～10月20日（日） 掲示は～11月28日（木）	生涯学習センター内 全施設	みんなで祝おう！メディアパーク30祭	527人
10月1日（火）～11月30日（土）	中央図書館	塗り絵でこどもとしょかんを飾ろう！	237人
10月1日（火）～12月27日（金）	文学ミュージアム	写真パネル展示	—
10月12日（土）	ニッケ コルトンプラザ	BM車参上	12人
10月19日（日）	中央図書館	秋空えほんの会拡大版「見る」っているいろいろ」読み聞かせ会 [現代産業科学館共催]	220人
10月26日（土）	中央こども館	木育ワークショップ「市川の森のめぐみでクリスマスオーナメント作り」	22人
11月2日（土）	中央図書館	30周年記念品配布	200人
		生涯学習センタースタンプラリー	200人
		トワイライトバックヤードツアー	20人
		星野道夫DVD上映会に行こう！	87人
		本の交換会「本でわらしべ長者」	44人
	こどもとしょかんラッキーバッグ	100人	
	中央こども館	木育ワークショップ「市川の森のめぐみでクリスマスオーナメント作り」	31人
11月13日（金）～22日（金）	中央こども館	こども館ミニミニミュージアム	2,157人
11月24日（日）	中央図書館	宮本えつよしワークショップ 「おばけファッションショー」	74人

市民提案型図書館推し活事業30周年企画

10月12日（土）	すがのリーディング サークル	えいごえほんよみきかせ	22人
10月26日（土）	市本・ みんなの読書会	お手紙読書会ふみばこ・簡易ノート作り体験	手紙3人 ノート35人
11月2日（土）	いちかわのほほん 古本市実行委員会	いちかわのほほん古本市・推し本語り・民話の会	—
	音楽絵本三角ぼうし	三角ぼうしのおはなし会（午前・午後）	92人
11月1日（金）～12月27日（金）	うずしお読書会	うずしお読書会の歩みとおすすめの本	—

30周年記念動画作成

YouTube「市川市公式チャンネル」で配信

- ①感動 メディアパークからの大切なお知らせです。
- ②メディアパークを全力で走ってみた！



③特集展示

中央図書館特集展示 一般フロア []は連携先

展示月	展示1	展示2	小展示・臨時展示	ヤングアダルト展示	ガラス展示1	ガラス展示2	絵画ラック
4月	環境問題を考える ～レイチェルカーソン没後60年	コンピュータと私たちの暮らし	嘘にまつわる本	何処かへ…	いちかわかるた	竹久夢二の世界	18世紀フランス 絵画 ルーブル名作選
5月		帽子と傘の季節	アンリ・ルソー 生産180周年				
6月			新紙幣				
7月	夏!	大人のための 図鑑の世界	見上げてみよう星空を [現代産業科学館]	スポーツを アツク!!	夢見る女性誌展 [文学ミュージアム]	地球温暖化で北上する タイワンウチヤンマ 標本展示	YAイラスト展
8月					星座の世界		
9月					健康寿命 [健康都市推進課]		
10月	幸田文とその世界 [文学ミュージアム]	おくりもの [農業振興課 花の展示]	見る [現代産業科学館]	カゾクノカタチ	メディアパーク 関連グッズ 紹介	能楽	写真と記事で綴る 中央図書館30年
11月			うずしお読書会からの おすすめ本				
12月	宗左近× コンテンポラリーダンス [文化会館]	江戸の文化 蔦屋重三郎の 生きた時代	備える	仕事 憧れの職業はなんですか?	行徳神輿	edonobunka 黄表紙・狂歌 絵本	写楽・歌麿 蔦屋重三郎に見 いだされた才能
1月	春を呼ぶ節分	三島由紀夫 生誕100年	雅楽 [文化振興課]				
2月			さくら				
3月					「本が泣いています…」 利用上のマナー を考えよう	清少納言没後 千年	

「SDGsってなんだろう? SDGsブックコーナー」

SDGs (Sustainable Development Goals: 持続可能な開発目標)は、2016年から2030年までの15年間で、社会分野、経済分野、環境分野の問題を解決することを目指した世界共通の目標。

健康都市推進課との連携で、各分類、児童書から本を選び、元視聴覚資料の棚(展示10)で令和3年8月から開設。



中高生本の紹介文POPの展示

Young Adultコーナーでの展示以外に、吹き抜け下の特集展示前を使用

展示期間	学校名	冊数
3/30(土)～6/27(木)	千葉商科大学附属高等学校	34
6/29(土)～9/1(日) 9/3(火)～10/30(木)	市川学園(市川学園主催POPコンテスト優秀作品)	104
6/29(土)～9/1(日)	市川第七中学校	8
9/3(火)～10/30(木)	市川第一中学校	10
11/1(金)～12/27(金)	千葉県立市川昂高等学校	40
	千葉県立国府台高等学校	43
1/5(日)～3/27(木)	千葉県立市川南高等学校	21
2/1(土)～3/16(日)	妙典中学校	17
3/1(金)～5/29(木)	千葉県立市川東高等学校	34

中央図書館特集展示 こどもとしょかん []は連携先

展示月	メイン展示	ガラスケース (フロア側)	ガラスケース (メイン展示側)	ロビー側	小展示	一般 展示塔	
4月	はなとみどりいっぱい	早野たづ子 [文化芸術課]	大草原のちいさな家	本がすき図書館 がすき	新一年生/さとうわ きこ/こどもの日	エリック・ カール	
5月	ぼうけんしよう		ねずみくんの チョッキ	本がすき図書館 がすき/おかあ さん・おとうさ んの本/あめ/ たんじょうび	こどもの日		七夕
6月							
7月	本のぼけっと		むし	むし	絵本作家のふらもら	虫虫あつまれ	
8月				虫/星と宇宙 [現代産業科学館]			
9月				おつきさま/おじい ちゃんおぼあちゃん			
10月	こどもとしょかん 本のレストラン		宮本えつよし	見る[現代産業科学館]	ハロウィン/ 中川李枝子	ロングセラー作家	
11月	クリスマス			30周年ロゴ	見る[現代産業科学 館]/せなけいこ		
12月			クリスマス	クリスマス	—	ゆき	
1月	のりものいろいろ べんりなきかい		十二支/ふゆ	お正月/鬼・節分	—		
2月			ふゆ	鬼・節分/ゆき /ひなまつり	—		
3月	さあ!しゅっぱ〜つ!!		やなせたかしの 世界	はるがきた/本が すき図書館がすき	ひなまつり/ 新一年生	やなせたかしの 世界	

行徳図書館特集展示 3階 一般フロア []は連携先

展示月	メイン展示	小展示
4月	運ぶ・届く	環境問題の先駆者 レイチェル・カーソン没後60年
5月	雨を楽しむ	—
6月		—
7月	オリンピックで知るフランス	女性科学者のパイオニア マリー・キュリー 没後90 年
8月		—
9月	祭	生誕140年 竹久夢二と大正浪漫/ 知らせてほしい 心のSOS (自殺予防週間) [健康支援課]
10月		千葉が舞台!江戸時代の超大作ファンタジー 南総里見八犬伝
11月	「キホン」の本	追悼 谷川俊太郎
12月		市川ゆかりの作家 井上ひさし 生誕90年
1月	江戸の出版(メディア)王 蔦屋重三郎	三島由紀夫 生誕100年
2月		追悼 森永卓郎
3月	未来社会をデザインする	ラジオ100年

行徳図書館特集展示 2階 児童・ヤングアダルト

展示月	メイン展示	サブ展示	小展示	季節の展示	ヤングアダルト	
4月	春だよぼかぼか	本がでてくる本	絵本作家 ありがとう さとうわきこさん	こいのぼり	おいでよ図書館	
5月	水って？			おかあさん		
6月		もっととおくへ	数 かぞえる はかる	行徳に図書館60年 おいわいしよう！ おたんじょうび	おとうさん	つくる
7月	たなばた					
8月	平和への願い					
9月	からだ	おひさま おつきさま おほしさま	フランスの絵本作家	—	大きくなっても 読みたい絵本	
10月				ハロウィン		
11月	クリスマスのえほん	秋のいいもの さがしてみよう	家族で絵本作家	家族/ ありがとう中川季枝子さん/ ありがとうせなけいこさん	和を感じる本	
12月				お正月		
1月	はしる	ながーいもの どんなもの？	江戸にワープ	節分/ありがとう いわむらかずおさん	100年たったら	
2月				おくりもの		ひなまつり
3月				鳥		—

信篤図書館 特集展示

展示月	一般	児童	
4月	春から始めよう	おともだち	—
5月	本屋大賞	いぬとねこどちらがすき？	—
6月			あめ
7月	夜空を見上げて・・・	やま・うみ・かわ/本のぼけっと /課題図書	—
8月			—
9月	気象と防災	たべもの	—
10月	市川市市制90年		かぞく
11月		年末年始	クリスマス
12月	昭和100年	ふゆのはなし	おに
1月			別れと出会い

南行徳図書館 特集展示

展示月	一般	児童	
4月	はじめまして！	幼稚園・保育園・小学校 新一年生	春
5月	本屋大賞		課題図書（6・7・8月）
6月		お金（新お札）	
7月	健康		かぞくっていいね
8月		家族	
9月	年末年始		お正月・干支（へび）（1月） 冬（1・2月）
10月		芥川賞直木賞	
11月	はじめよう！		

平田図書室 特集展示

展示月	一般	児童
4月	随筆・エッセイ	入園入学
5月	おしゃれ	育ててみよう野菜・花
6月		あめ
7月	夏がテーマの小説	課題図書
8月		
9月	ペット	くだもの
10月		
11月	家族	かぞく
12月		
1月	和を見直す	へび・おしょうがつ・ふゆのあそび
2月		
3月	映画・ドラマ原作本	ありがとう

④その他イベント

講座

開催日	館名	講座名・内容	人数	講師	場所
11/8 (金)	中央	はじめまして赤ちゃん絵本	34人	図書館職員	こどもとしょかん

おすすめの本のイベント 本を包み、何の本かわからない状態で貸出

館名	対象	イベントタイトル	開催期間	貸出数
中央	子ども向け	こどもとしょかん ラッキーバッグ	11/2 (土)	100
行徳	一般向け	『書き出し』で見つける夏の一冊	8/1 (木)～8/15(木)	50
行徳	YA向け	ナツノイチオシ19	8/1 (木)～8/23(金)	19

福袋 (新年のイベント 1月5日～) おすすめの本を袋に詰めて貸出

館名	一般向け	子ども向け	YA向け	備考 (タイトル、期間など)
中央	180	100	—	一般向け「本の福袋」～13日(月) 子ども向け「わくわくいっぱいふくぶくろ」～5日(日)
行徳	47	58	2	「福袋」一般向け～5日(日)、子ども・YA向け～8日(水)
南行徳	10	19	—	「福壺」一般向け～12日(月)、「福袋」子ども向け～12日(月)
信篤	10	14	—	「福いち」～11日(土)

⑤館内行事／児童・ヤングアダルト

開催日	館名	児童行事名	人数・貸出数
4/21 (日)	中央	はるかぜえほんの会	25人
4/27 (土)～5/12 (日)	行徳	ラッキー図書くじ	293人
6/29 (土)～7/7 (日)	行徳	たなばた笹飾り みんなで天の川をつくろう	延べ240人
7/24 (水)	中央	生きている虫が図書館にやってくる！ [自然博物館共催]	220人
7/25 (木)	中央	昭和学院短期大学 スペシャルおはなし会	57人
7/27 (土) 28 (日) 8/3 (土) 4 (日)	中央	いちなんえほんの会 (市川南高校生徒による読み聞かせ)	17人 (参加140人)
8/6 (火)	中央	あなたの「調べたい」を応援します！	5人
8/15 (水)	中央	小学生のためのこわいおはなし会	14人
8/18 (日)	行徳	図書館で生きている虫を観察しよう [自然博物館共催]	220人
8/22 (木)	行徳	ちょっぴりこわいえほんの会	6人
8/25 (日)	中央	のふらもら えほんワークショップ「ミニミニぞうじきそうちゃん」	33人
9月29日 (日)	中央	CHINTAIえほんとパントマイムLIVE [CHINTAI共催]	91人
10/19 (土)	中央	秋空えほんの会拡大版「見る」っていろいろ」読み聞かせ会 [現代産業科学館共催]	27人
10/27 (日)	行徳	「図書館の宝物を探そう！」(行徳図書館子ども向けツアー)	20人
11/1 (金)～17 (日)	行徳	行徳クイズ	161人
11/24 (日)	中央	宮本えつよしワークショップ「おばけファッションショー」	74人
12/14 (土)～12/21 (土)	行徳	ぬいぐるみおとまり会	50人
12/14 (土)～12/25 (水)	行徳	みんなでクリスマスツリーをかざろう	100人
12/22 (日)	中央	冬のおたのしみ会	37人
1/25 (土)	中央	カガクへのとびら [現代産業科学館共催]	51人
2/9 (日)	行徳	とびだすカードをつくろう	10人

⑥館外への出張サービス／児童・ヤングアダルト

開催日	館名	講座名・内容	人数	場所
6/23 (日)	中央	「おたんじょう会・ハッピーバースデー」 (現代産業科学館30周年記念イベント)	33人	現代産業科学館
8/8 (木)	中央	現代産業科学館での読み聞かせ (おにたかとらい) 「宇宙と星の世界を楽しもう」	13人	現代産業科学館
12/5 (木)	中央	八幡親子つどいの広場	28人	八幡親子つどいの広場
12/15 (日)	中央	現代産業科学館での読み聞かせ (おにたかとらい) 「ふゆの世界を楽しもう」	30人	現代産業科学館

No.	実施日	事業名(主催)	実施内容【会場】	状況(参加者数等)	備考
1 ★	6月14日(金) ～30日(日)	現代産業科学館開館 30周年記念イベント (現代産業科学館)	コルトンプラザ総合案内でポスター掲示し、現代産業科学館開館30周年を周知。あわせてスタンプラリー用のスタンプ台を設置【コルトンプラザ総合案内】 関連絵本の展示・紹介 「たんじょうび」のテーマの絵本等を展示、お祝いのムードを高める 【こどもとしょかん】	周知 周知	 
2 ★	6月22日(土) ～23日(日)	現代産業科学館開館 30周年記念イベント (現代産業科学館) *三者連携事業として実施したもののみ記載	スタンプラリー(巨大カプセルトイ) 市川市生涯学習センター、コルトンプラザ、現代産業科学館の3か所を巡って各所でスタンプを押すと巨大カプセルトイを回転させ、オリジナル缶バッチをプレゼント 【コルトンプラザ・現代産業科学館・中央図書館】 こどもとしょかん職員が誕生日に関する読み聞かせを実施 【現代産業科学館図書室】 自動車図書館車展示 【現代産業科学館サイエンス広場】	来場者数 約2,000人 参加者数 33名 ・未就学児15名 ・小学生2名 ・大人16名	  
3	7月14日(日)	出張わくわく工作教室 (コルトンプラザ ・現代産業科学館共催)	現代産業科学館の職員による色付きスライムを作る工作教室 【コルトンプラザ タワーコート】	参加者数 150名 (各回30名 ×5回開催)	
4	7月17日(水) ～31日(水)	「星と宇宙」の関連書籍 特設コーナー設置 (コルトンプラザ ・現代産業科学館共催)	プラネタリウム関連書籍ポスター・チラシ掲示 【コルトンプラザ内有隣堂書店】		
5	8月8日(木)	「宇宙と星の世界を たのしもう」 (現代産業科学館 ・中央図書館共催)	こどもとしょかん職員が宇宙や星に関する読み聞かせを実施 【現代産業科学館図書室】	参加者数 13名 ・未就学児4名 ・小学生5名 ・大人4名	
6 ※	10月12日(土)	自動車図書館車展示 (コルトンプラザ ・中央図書館共催)	自動車図書館車をコルトンプラザ水の広場に設置し、貸出・登録等を実施、自動車図書館車の周知を図る 【コルトンプラザ水の広場】	新規登録 12名 貸出 212冊 返却 42冊	
7 ※	10月12日(土) ～12月1日(日)	企画展示「見る」に伴う POP作成等のコラボ (中央図書館 ・現代産業科学館共催)	現代産業科学館の企画展示「見る」の開催に合わせて、中央図書館内に企画展示「見る」コーナーを設置、現代産業科学館職員がPOP作成し、科学に関心を持つきっかけにする 【中央図書館】	企画展示	
8 ※	10月19日(土)	秋空えほんの会 「見るっていろいろ」 (中央図書館 ・現代産業科学館共催)	宇宙や星に関する読み聞かせの後に現代産業科学館の職員による工作教室(ビー玉顕微鏡)実施 【中央図書館】	参加者数 27名 ・子ども16名 ・大人11名	
9	12月15日(日)	冬のせかいを楽しもう (現代産業科学館 ・中央図書館共催)	こどもとしょかん職員によるクリスマスの絵本・パネルシアターなどの読み聞かせを実施 【現代産業科学館図書室】	参加者数 30名 ・子ども16名 ・大人14名	
10	1月25日(土)	カガクへのとびら -タネを作って飛ばそう- (中央図書館 ・現代産業科学館共催)	現代産業科学館による空気砲の実演、タネ3種(アルソミトラ・ラワンのたね・飛ぶ筒)の作成の後、飛ばす体験を実施 【市川市生涯学習センター第二研修室】	参加者数 51名 ・子ども28名 ・大人23名	
11	2月22日(土)	おにたかとらいからの 挑戦状 2025～隠された 文字とスタンプを探せ (三者連携)	スタンプラリーと「おにたかとらい」のひらがな文字探しのイベントを開催、正解者にはノベルティ(星型反射板)を進呈 【台紙配付コルトンプラザ⇒現代産業科学館スタンプ押し⇒こどもとしょかんノベルティ配付】	参加者数 279名 ノベルティ 150個	 

(8) 市川駅南口図書館自主事業 (指定管理館)

① 展示

展示月	ギャラリー展示	一般展示	ビジネス展示	健康医療展示	児童展示
4月	国府台丸山遺跡～よみがえる記憶～ 千葉県最初の旧石器発見の地 千葉県の旧石器	新書のススメ	リーダーの心得	貴方の隣に！ タンパク質ッ！	入園入学 おめでとう！
5月	ビバ！じゅん菜池！！ ～じゅん菜池の生きもの～	純喫茶えきなん	雑談のすすめ	ゆるめよう 心と体	たのしい おもちゃ
6月	放浪のお絵描きおじさん 百田稔作品展 ～懐かしい2014年のアーカイブ編～	川は物語る	時間管理	歩こう♪	はみがき しよう！
7月	プレーパーク写真展 ～子どもたちにもっと外遊びを！～	選手物語 #2	新紙幣 新しい顔から学ぶ	危険な幸せ スパイラル！？	かいじゅう だー！！
8月	行徳保護区の仲間たち ～虫～	こんなに面白い！ 古典文学の世界	SNS活用法	ネバネバ健康術	すいか！
9月	あちこちぶらぶら アーバンスケッチ展 作品展	ファンタジー	転職のあれこれ	備えあれば 憂いなし	わくわく おかいもの
10月	エドロック・カワミューの足跡 ～アートの世界にとびこもう～	エキナン美術展	知りたい！ お金のあれこれ	「闘病記」を 読む	おしゃれ しよう★
11月	赤レンガから展望する国府台の まちづくり2 ～みんなで紡ぐ「国府台物語」～ まちかどの近代建築写真展 ～全国の郵便局建築～	「私のおすすめの 一冊」	大局観	身近な介護	ふっくら やけました！
12月	日出席園小学校「私たちがおすすめ する“本のポップを作ろう！”展」	冬のたのしみ	やる気、育てます	酒は呑んでも 呑まれるな	メリー クリスマス
1月	世代をこえて読み継がれる 絵本パネル展	伝統に触れる	サステイナビリティ 経営ってなんだらう？	免疫を働かせる	今年は へび年！
2月	和洋女子大学 服飾造形学科 卒業制作写真展	駅南ロードショー スクリーンの向こう側	ブラッシュ アップ！	姿勢、良く！	雪あそび
3月	筑波大学附属聴覚特別支援学校 高等部専攻科造形芸術科生徒作品展	WORKERS はたらくひとたち	開業への道	子どもとそだつ	世界中の こどもたち

② 講座

開催日時	講座名	人数	講師	場所
5/18(土) 10:00～11:30	LINE の便利な使い方基本講座	26人	かもめ IT 教室代表 岩間麻帆氏	I-link ルーム
6/30(日) 10:30～12:00	美文字講座 ～筆ペンで描くグリーティングカード～	30人	書道教室かなで組 北村多加氏	I-link ホール
2/20(木) 13:30～15:00	巡る体づくりで健康長寿！	37人	五関雅子氏	I-link ルーム

③ イベント

開催日時	イベント名	人数	講師等	場所
4/21(日) 10:00~10:30 11:00~11:30	親子でうたってあそぼう 手あそびわらべうた♪	親子6組 親子1組	神保和子氏	I-link ホール
6/21(金)~23(日) 10:00~16:00	市川で育ったオオムラサキ観察会	672人	NPO 法人 市川にオオムラサキを を生息させる会	市川駅南口図書館
6/29(土)~7/7(日)	七夕飾り	—	利用者記入の短冊飾りの展示	市川駅南口図書館
7/23(火) 14:00~16:30 7/26(金) 9:00~11:30 14:00~16:30	夏休み一日図書館員	小学生6人 小学生6人 中学生3人	市川駅南口図書館職員	市川駅南口図書館
8/19(月) 9:30~12:30	植物標本をつくろう ～道ばたの草を調べてみよう～	親子5組	NPO 行徳自然ほごくらぶ 市川駅南口図書館職員	市川駅南口図書館
9/15(日) 10:00~11:30	お話のかごがひらく時 ～古市真由 美さんと紐解くアンニ・スヴェン『夏のサ ンタクローズ』とフィンランドの物語～	35人	古市真由美氏	I-link ルーム
9/28(土) 14:00~16:30	日常記憶地図 和洋女子大学日本 文学文化学科プロジェクト共催	12人	サトウアヤコ氏 和洋女子大学教員・学生 市川駅南口図書館職員	I-link ルーム
10/6(日) 10:00~11:30	長浜奈津子ひとり語り朗読会 幸田文「すがの」 青木玉「納豆餅」	30人	長浜奈津子氏	アイ・リンクタウ ン展望施設 交流ラウンジ
11/1(金)~30(土)	私のおすすめの一冊(冊子配布)	—	利用者投稿	市川駅南口図書館
12/15(日) 11:00~11:50	えきなん冬のおたのしみ会	39人	人形劇 パペットシアターま〜る	アイ・リンクタウ ン展望施設 交流ラウンジ
1/26(日) 10:30~12:00	新春えきなん寄席	51人	桂小すみ氏、立川幸之進氏、 桂しゅう治氏	アイ・リンクタウ ン展望施設 交流ラウンジ
3/31(月) 10:30~12:00	天井プラネタリウム 春の星座と2025年天文イベント	26人	(株)アストロコネクト 荒井大作氏	I-link ホール

④ 刊行物

タイトル	形態	刊行頻度
駅南だより Vol.83~86	A4両面色刷・二つ折り1枚(A5サイズ)	4回/年
きらきらつうしん 子ども向け No.59~62	A4両面色刷・二つ折り1枚(A5サイズ)	4回/年
えきなん音楽だより Vol.13~16	A4片面色刷・1枚	4回/年
市川駅南口図書館パスファインダー(調べ案内) ・「植物」について調べる ・「子どもの本」について調べる 改訂 ・「健康医療」について調べる 改訂 ・「災害情報」について調べる 改訂 ・「市川市」について調べる 改訂 ・「就職に役立つ情報」を調べる 改訂 ・「世界の国々の情報」について調べる 改訂 ・「相続」について調べる 改訂	A3両面印刷・二つ折り1枚(A4サイズ)	随時
私のおすすめの一冊	A5版 製本冊子 32p	1回/年

(9) 委員会等

① 研修委員会

ア. 図書館サービス外部研修

千葉県公共図書館協会、その他外部機関等が主催する図書館サービス関連の研修には、職員・会計年度任用職員（フルタイム）が参加している。

現地へ参集しての研修は6件、オンライン・遠隔研修は5件、延べ16人が参加し、研鑽に努めた。

イ. 異動者・新規採用職員対象研修

図書館業務の基本と市川市の図書館についての研修を、異動してきた職員7人には4月2日に、新規採用職員2人には4月5日にそれぞれ実施した。

ウ. 会計年度任用職員対象研修

今年度採用された会計年度任用職員を対象に、4月2日にフルタイム2人、4月3日にパートタイム2人、6月14日にパートタイム1人、11月19日にパートタイム4人の新任研修を行った。

エ. 図書館実習・インターンシップ

令和6年度は図書館実習の依頼がなかった。

インターンシップは、8月14日～15日および9月6日の3日間、和洋女子大学1人を受け入れた。

オ. 職場体験学習

中央図書館で3校9人、行徳図書館で3校5人、駅南図書館で1校2人の職場体験学習を受け入れた。

→10(5)①児童サービス サ.職場体験 を参照

② 広報委員会

ア. 図書館刊行物

「図書館だより」については、文字情報だけでなくテーマを決めて写真や書影の画像を入れて魅力ある紙面にするため、発行頻度を年2回とし色刷りで発行。115号より紙版での発行からWeb版に移行。

イ. インターネット、SNSでの情報掲載

図書館Webサイトのほか、YouTubeやFacebook、X（旧Twitter）を利用して情報発信している。Facebookのフォロワーは約320名、X（旧Twitter）のフォロワーは約670名。

ウ. コミュニティ誌への情報掲載

令和4年度より明光企画が発行するコミュニティ紙「いちかわ新聞」「行徳新聞」に「図書館スタッフさんのオススメ本」と題して、職員による本の紹

介記事を連載しており、令和6年度は、11回連載。

エ. 市刊行物及びオリジナルグッズの販売

市川市の各課、施設等と連携してその刊行物と、図書館オリジナルエコバッグ・クリアファイル等を販売している。

オ. イベントの開催

令和6年度は市川市生涯学習センター（メディアパークいちかわ）が11月に30周年を迎えるのにあわせて、「メディアパーク30祭」と題した記念イベントを開催した。

また、令和5年度より「市民提案型 図書館推し活企画事業」を実施しており、市民から図書館の活性化に繋がる本を題材としたイベントの企画を広く公募した結果、令和6年度は16件実施された。

→11(2) 令和6年度 市民提案型図書館推し活企画決定事業を参照

③ 蔵書構成検討委員会

ア. 資料収集・蔵書構成に関する検討

- ・「令和6年度市川市図書館資料収集計画」を策定し、収集計画に基づいた資料収集を行った。
- ・中央図書館では書架担当制とし、担当による資料の更新（買い替え、除籍等）を行った。
- ・個別検討が必要な資料についての対応。
- ・雑誌の休廃刊に対する対応。
- ・新刊書の購入に関する選書会議の実施（毎週）。

イ. 資料費の配分と調整

- ・全館の資料費の配分計画を作成・執行。
- ・資料費の執行庶務。

ウ. 蔵書点検・館内整理の計画と実行

中央図書館では、毎月末の館内整理日のほか、1月28日から1月31日に特別休館期間を設け、蔵書点検や図書整理を行った。

エ. 特集展示の計画の立案と実施

- ・特集展示は年間計画を立てて実施。
- ・市役所内部をはじめ関係機関との連携による展示や時節に応じた展示を実施。

④ その他 千葉県公共図書館協会

- ・経営研究会委員 主査1名（小川健太郎）

(10) 図書館刊行物

タイトル	形態	刊行頻度
市川市の図書館 2024	A 4・製本冊子164p	年1回
市川図書館だより 第114号 Ichikawa Central Library 30th Anniversary 第115号 特集：本が泣いています…利用上のマナーを 考えよう	A 3両面色刷印刷・二つ折り1枚 (A 4サイズ) A 4両面印刷・1枚	随時
あれこれふぁ (参考業務月報2024年4月号～2025年3月号)	A 4両面印刷・1枚	毎月
新・参考業務年報 2023	A 4・20枚ホチキス綴じ冊子	年1回
市川市中央図書館調べ方案内 3. 日本の法令について調べるには 改訂 8. 文学賞について調べるには 改訂 24. 日本の伝統行事・祭りについて調べるには 改訂 27. SDG sについて調べるには 改訂	A 4両面印刷・1枚 A 4両面印刷・1枚 A 3両面印刷・二つ折り1枚 (A 4サイズ) A 3両面印刷・二つ折り1枚 (A 4サイズ)	随時
各種利用案内 2. 本を返せる場所のご案内 改訂 3. 関連施設のご案内 改訂	A 4両面印刷・1枚	随時
Young Adult通信 第85号「2024年度 YA特集展示 イラスト展」 号外 (入門編) 号外 (てっぱん・せれくと号) 号外 (新生活応援号)	A 4両面印刷・1枚 A 4両面印刷・1枚 A 4両面印刷・三つ折り リーフレット A 4両面印刷・三つ折り リーフレット	年1回
本のぼけっと 1・2年生におすすめする本 2024 3・4年生におすすめする本 2024 5・6年生におすすめする本 2024	A 4両面印刷・1枚	年1回
市川市こどもとしょかんパスファインダー 10. お米についてしらべよう 11. 伝統工芸についてしらべよう	A 3両面印刷・二つ折り1枚 (A 4サイズ)	随時

(11) 図書館作成動画

①読み聞かせ動画の原典があるもの

タイトル	原典	年度
絵本「曾谷の百合姫」	中津攸子／文, 唐沢静／え (すがの会 2007. 11)	R3
絵本「真間の手児奈」	中津攸子／文, 唐沢静／絵 (すがの会 2008. 8)	R3
絵本「奉免の常盤井姫」	中津攸子／作, 唐沢静／絵 (すがの会 2009. 7)	R3
絵本「なし作りのぜんろくさん」	唐沢静／え (すがの会 2019. 1)	R4
絵本「かあさんの庭 水木洋子と熊太郎」	宮下公子／絵, 水木洋子市民サポーターの会絵本チーム／文・編集 (市川市文学ミュージアム 2018. 3)	R4
絵本「ぼくのスカイライナー」	京成電鉄株式会社／さく, いろりこ／え (ポプラ社 2018. 12)	R4
紙芝居「塩じいさん」	南崎晶子／作, 茜之介／絵 (オフィス坂井 2019. 4)	R3
紙芝居「大波百人」	南崎晶子／作, 山口加奈子／絵 (オフィス坂井 2017. 3)	R3
環境紙芝居「りゅうた君のクリスマス」	市川市環境政策課／作・絵 (市川市環境政策課 2016. 12)	R3
環境紙芝居「りゅうた君の豆まき」	市川市環境政策課／作・絵 (市川市環境政策課 2017. 2)	R3
環境紙芝居「りゅうた君のお花見」	市川市環境政策課／作・絵 (市川市環境政策課 2017. 4)	R3
環境紙芝居「りゅうたくんと緑のカーテン」	市川市環境政策課／作・絵 (市川市環境政策課 2017. 5)	R4
環境紙芝居「りゅうたくんのぼうけん ハロウィンの巻」	市川市環境政策課／作・絵 (市川市環境政策課 2017. 10)	R4

②くま館長が〇〇してみた！

タイトル	参考資料	年度
チョコケーキ作ってみた！	「マグカップでまぜるだけふわふわケーキ」 宮沢うらら／著 (汐文社 2021. 8)	R3
いちご大福作ってみた！	「30分でできる伝統おやつ 1. 春のおやつ」 伝統おやつ研究クラブ／編 (偕成社 2016. 7)	R4
お花を観察してみた！	「花のつくりとしくみ観察図鑑 4. 公園・花だんの花」 松原巖樹／著 (小峰書店 2010. 4)	R4
サイダーで作るダイヤモンドゼリー作ってみた！	「ルルとララの手作りSweets 夏のお菓子」 あんびるやすこ／監修 (岩崎書店 2015. 11) 「ルルとララのきらきらゼリー」 あんびるやすこ／作・絵 (岩崎書店 2006. 4)	R4
自然博物館で虫を観察してみた！	「昆虫 (講談社の動く図鑑MOVE)」養老孟司／監修 (講談社 2018. 6)	R4
『実験』でアイスクリーム作ってみた！	「すごい！うちでもこんな実験ができるんだ！！」 米村でんじろう／監修 (主婦と生活社 2006. 10)	R4
はりねずみスイートポテト作ってみた！	「かんたん☆かわいい♥ だいすきクッキング 1. ときどき！プレゼントスイーツ」Goma／作 (あかね書房 2016. 3)	R4
エアインチョコ作ってみた！	「おいしい！ふしぎ！理科実験スイーツ とける・ふくらむギフト&デコスーツ」WILLこども知育研究所／編著, ダンノマリコ／料理 尾嶋好美／科学監修 (金の星社 2021. 3)	R4
目覚まし時計を分解してみた！	「分解する図鑑 (小学館の図鑑NEO+)」 森下信・石井克枝／監修・指導 (小学館 2020. 12)	R5
絵本「ぴょーん」でとびはねてみた！	「ぴょーん (はじめてのぼうけん)」 まつおかたつひで／作・絵 (ポプラ社 2000. 6)	R5

③利用案内等

タイトル	内容	年度
中央図書館イメージ映像 (本編)	ドローン撮影による紹介動画 (2021. 11. 29撮影 2021. 12. 16～公開中)	R3
くま館長のこどもとしょかん案内	こどもとしょかんの紹介動画 (2022. 2～4 撮影)	R4
OPACを使った本の検索方法 基礎編	パワーポイントによるスライド動画。①簡単な検索方法 (簡易検索) とは ②細かい検索方法 (詳細検索) とは ③タイトルで本を探す方法	R4
OPACを使った本の検索方法 初級編	パワーポイントによるスライド動画。①細かい検索方法 (詳細検索) の使い方 ②テーマ (一般件名) で探す方法 ③分野 (分類) で探す方法	R4

(12) 市川市立図書館関係記事一覧

図書館紹介記事（Web 掲載記事を含む）

記事見出しタイトル 【コラム名】 『掲載紙』（出版社）掲載年月日 巻号 掲載面またはページ
市川駅南口図書館との連携による図書 POP 展示（PBL、官学連携、地域社会参画）等 文学と芸術を通じた地域社会参画型表現教育プログラム（SEREAL）和洋女子大学教育振興支援助成報告 『和洋女子大学紀要 第 65 集』 p317-334（2024.03）
『行徳カタログ 2024-2025』（明光企画）2024 年 6 月 25 日発行 229-231 ページ 図書館と関連施設の紹介
『市川カタログ 2024-2025』（明光企画）2024 年 9 月 25 日発行 124-126 ページ 図書館と関連施設の紹介
市川市中央図書館 読み聞かせ出張サービス再開 『教育いちかわ』2024 年 7 月 11 日号 214 号 2 面
たくさんの物語と出会いに こども図書館へ行こう！（巻頭特集：絵本に夢中） 『まま・こことと ちば（中部版）2024 秋』2024 年 10 月 1 日発行 08 ページ
市川市生涯学習センター30 周年記念「メディアパーク 30 祭」開催 『教育いちかわ』2024 年 10 月 15 日号 Web 版
人をつなぐ未来へつなぐ（市川市教育委員会）その 163 「メディアパーク 30 祭 開催中」 『市川浦安よみうり』2024 年 10 月 26 日（土） 2239 号 2 面
〈見学会〉ユネスコ無形文化遺産「細川紙」の魅力に迫る（小川健太郎） 『ネットワーク資料保存』第 137 号（2024 年 12 月号）日本図書館協会資料保存委員会
市川市中央図書館・こどもとしょかんの一日 知りたい！気になる司書のお仕事 『ちいき新聞 市川版』2025 年 2 月 14 日 1123 号 4 面 『ちいき新聞 船橋西版』2025 年 2 月 14 日 1131 号 4 面 『チイコミ』（地域新聞社による運営サイト）2025 年 3 月 1 日 Web 公開ちいき新聞ライター（取材・執筆/平田涼）
特集 図書館の広報 座談会～図書館の広報について～〈市川市の図書館スマホサイトで本日は開館日が明確に〉 『らいぶらりあん』No.66 2025 年 3 月発行 12 ページ

職員による本の紹介記事（令和 6 年度）

【コラム名】「紹介本のタイトル」著者等 《職員》	『掲載紙』掲載年月日 号数 掲載面
【図書館スタッフさんのおすすめ本】連載	『ポイントペーパーいちかわ新聞』 『ポイントペーパー行徳新聞』
↓令和 4-5 年度よりの通し番号	
22. 「東京バンドワゴン」 小路幸也/著《比田井》	2024 年 6 月 7 日 1035 号 1 面 5 月 31 日 2254 号 3 面
23. 「旅するモヤモヤ相談室」 木谷百花/編《小久保》	2024 年 7 月 5 日 1039 号 2 面 6 月 28 日 2258 号 8 面
24. 「現実入門」 穂村弘/著《田中宏美》	2024 年 8 月 2 日 1043 号 1 面 8 月 2 日 2263 号 8 面
25. 「ハーモニー」 伊藤計劃/著《堀》	2024 年 9 月 6 日 1047 号 4 面 8 月 30 日 2266 号 8 面
26. 「おばあちゃんは猫でテーブルを拭きながら言った」 金井真紀/著《斎藤知》	2024 年 9 月 27 日 1050 号 4 面 9 月 27 日 2270 号 4 面
27. 「カラフル」 森絵都/著《松波》	2024 年 12 月 6 日 1060 号 2 面 11 月 1 日 2275 号 8 面
28. 「明治維新とは何だったのか」 一坂太郎/著《小川》	2024 年 12 月 20 日 1062 号 2 面 11 月 29 日 2279 号 3 面
29. 「セカンドキャリア」 片野ゆか/著《森谷》	2025 年 3 月 28 日 1075 号 4 面 3 月 21 日 2294 号 4 面
30. 「9 歳の人生」 ウィ・ギョル/著《小室》	2025 年 4 月 11 日 1077 号 3 面 —

(13) 市川市立図書館関係映画・テレビ番組等一覧

映画・テレビ番組一覧

公開日	放送内容	撮影日	撮影地
2025 年 5 月 30 日	『か「」く「」し「」ご「」と「」』 住野よる原作の同名小説の映画化。 中央図書館および生涯学習センターで撮影が行われた。	2024 年 8 月 26 日 ～27 日	生涯学習センター および中央図書館
2026 年公開予定	劇場公開用映画撮影	2024 年 12 月 18 日	中央図書館

(14) 公共デジタルサイネージへの掲載

2024年7月	2024年8月	2024年10月・11月
 <p>こどもとしゃかん 7月のイベント</p> <p>夏休みはイベントがいっぱい。詳しくは、図書館のWebサイトにアクセスしてね！</p> <ul style="list-style-type: none"> 生きてる虫がやってくる！ (自然博物館の学芸員さん) 保育生が読み聞かせしてくれるよ！ (昭和学院短期大学の学生さん) いちなんえほんの会 (県立市川南高等学校の生徒さん) <p>24(水) 25(木) 27・28(土・日)</p> <p>【お問い合わせ】市川市中央図書館 こどもとしゃかん 市川市電高1-1-4 ☎320-3346</p>	 <p>こどもとしゃかん 8月のイベント</p> <ul style="list-style-type: none"> いちなんえほんの会 3日(土) 4日(日) あなたの「調べたい」を応援します！ 6日(火) 小学生のためのこわいおはなし会 15日(木) <p>【お問い合わせ】市川市中央図書館 こどもとしゃかん 市川市電高1-1-4 ☎320-3346 図書館のWebサイトにアクセスしてね！</p>	 <p>生涯学習センター開館30周年記念 メディアパーク30祭</p> <p>市民の皆さまに支えられて市川市生涯学習センター(メディアパーク市川)は、11月に30周年を迎えます。10月から11月にかけては、様々な記念イベントを開催しています。</p> <p>詳しくはこちらから 中央図書館</p>
こどもとしゃかん7月のイベント	こどもとしゃかん8月のイベント	メディアパーク30祭
2024年12月	公共デジタルサイネージとは…	
 <p>図書館本の福袋2025</p> <p>新しい知識の扉を開けてみませんか？ 素敵な本との出会いが待っています。 市川市中央図書館・こどもとしゃかん 047-320-3346</p> <p>1月5日(日)開始</p>	<p>駅前など通行者の多い街頭に立つ電子看板。放映時間は、電車の始発から終電まで。1回あたり10秒間の静止画放映。</p> <p>また、公共デジタルサイネージとは別に、第1庁舎2階デジタルサイネージ(デジタルコンテンツシステム)もあり、こちらはチラシ等PDFでのデータ提供が可能。</p>	
図書館 本の福袋 2025		

(15) 視察・講師派遣、修士論文調査への対応等

① 視察

日	時	視察者・視察団体(視察人数)	視察目的・視察場所
2024年5月25日(土)		図書館ボランティア草加(15名)	中央図書館及び市川図書館友の会との交流
2024年7月4日(木)		台東区立中央図書館(3名)	学校との連携強化
2024年8月21日(木)		旭市立図書館(3名)	館内設備や書架レイアウト等を参考
2025年2月28日(金)		広島市立図書館(2名)	セルフ予約棚コーナーの運用等

② 講師派遣

日	時	テーマ(講師)	集会・講座名、主催団体等(講演場所)
2024年7月5日(金)		絵本について (主幹：高柳 公香)	いちかわ子育て支援ボランティア フォローアップ研修(中央こども館)
2024年8月28日(水)		市川市立図書館の学校連携事業 (主幹：高柳 公香)	令和6年度 読書バリアフリー講座 (千葉県立中央図書館)
2024年12月17日(火)		脱スマホ 活字のススメ (主幹：高柳 公香)	令和6年度秋のサポート講座 (学校地域連携推進課)
2024年12月6日(金)		職業学習(キャリア教育)第6学年 (主幹：高柳 公香)	市川市立鬼高小学校

学校・幼稚園等、市内の施設への読み聞かせ出張サービスは除く

③ 卒論・修士論文調査への対応等

日	時	学校・研究機関等	研究テーマ
2024年6月7日(日)		慶應義塾大学及び実践女子大学	健康医療に関わるコレクション・マネジメント
2024年6月		京都橘大学 文学部 歴史遺産学科	公共図書館における住民協働
2024年6月		東京大学大学院 工学系研究科 都市工学専攻	公共図書館における地域の課題やニーズに基づくサービス
2024年9月		千葉大学工学部 総合工学科 建築学コース	図書館に求められる機能や空間計画

(16) デジタルアーカイブ

① 館内パソコン公開資料

DB-PC…データベース専用端末 Musetheque V4…キーボード使用のWeb-OPAC

タイトル	出版社・出版年	書誌番号	DB-PC	Musetheque V4
市川市全地図	市川市役所 1954	1102420761	○	
市川市全図	大日本学生連盟 1935	1102249236	○	
市川市教育要覧 市川市教育要覧図	市川毎日新聞社 1953	1102249237	○	
市川驛 東京近傍第三号 (第一軍管地方迅速測図)	参謀本部陸軍部測量局 1897	1101410569	○	○
国府台 正式二万分の一地形図	大日本帝国陸地測量部 1907	1101410570	○	○
船橋 二万分の一地形図	大日本帝国陸地測量部 1907	1101410568	○	
市川市動態図鑑 昭和 32 年度改訂版	日本都市協会 1957	1100862393	○	
市川市動態図鑑 昭和 36 年度版	日本都市協会市川事務局 1961	1100024561	○	
市川市住宅詳細図 1965 (昭和 40) 年版	三洋堂 1965	1101943198	○	
市川市動態図鑑 1966 (昭和 41) 年版	日本広飾企画研究所 1966	1101289194	○	
京成電車 沿線案内 [昭和 5~10]	京成電気軌道株式会社旅客係	1101732706	○	○
京成電車御案内(東京・成田間・沿線名所図)	京成電気軌道株式会社 1926	1101726411	○	○
京成電車 御案内(東京・成田・千葉間沿線名所圖)	京成電気軌道 1929	1102491818		○
京成電車沿線案内(東京・成田・千葉)	京成電気軌道株式会社 1930	1102604930	○	○
京成電車沿線案内	[京成電鉄 1935 頃]	1102359423		○
京成沿線案内	[京成電鉄 1945 頃]	1102491821		○
沿線案内	京成電鉄 1953	1102491819		○
沿線案内	京成電鉄 1955	1102491820		○
観光市川ハイキング	京成電鉄 [1955 頃]	1102522219		○
京成沿線案内	[京成電鉄 1960 頃]	1102420753		○
観光の市川	市川市観光協会 [195-頃]	1101803572	○	
いちかわ [観光リーフレット]	市川市役所商工課 出版年不明	1101803571	○	
いちかわ [観光リーフレット]	市川市 出版年不明	1101803573	○	
手児奈マーチ オーケストラ版 [楽譜]	Rudolf Dittrichi/作曲 早川正昭/編曲	—	○	
手児奈マーチ 吹奏楽版 [楽譜]	Rudolf Dittrichi/作曲 早川正昭/編曲	—	○	
トンボ通信 創刊号~179 (欠 No.16)	房総蜻蛉研究所、行徳トンボ研究室	1102872902	○	
広報いちかわ (市川市広報) 創刊号~800 号	市川市	—		○
大柏川第一調整池緑地だより 1号~77号 (欠あり)	大柏川第一調整池緑地自然誌研究会	1102903784		R5○

書誌事項の[]内は、曖昧事項

② 音声・映像資料

◎…Web 公開

タイトル	サブタイトル・内容・著者・他	出版社・出版年	書誌番号	DB-PC	Musetheque V4
市川市歌	斉唱・合唱/南行徳中合唱部 吹奏/市消防楽団	市川市 1994	1100792269	○	
行徳音頭	日本民謡全集五巻 関東 日本郷土民謡芸術保存会/唄・お囃子	TOYO SOUND LTD	1102336455	○	
新中山音頭	浄光寺 千町/他	市川市	1100974197	○	
新・市川音頭	市民の歌だよ踊ろじゃないか 小野文雄/他	市川市	1101201992	○	
市川讃歌	「透明の蕊の蕊」 宗左近/他	1999	1100794092	○	
マイタウンいちかわ 2003年~2017年 (欠あり)		市川市	—		◎

(17) 議会の図書館関係質問一覧（過去五年間）

※代表質問のみ党派を記載

議会	質問事項
令和2年12月 一般	公用車や公共施設、駐車場の管理・運営について（稲葉健二議員） →メディアパークのバイク置き場はいつまで暫定なのか
令和3年2月 創生市川 代表一般	コロナ禍における図書館サービスについて（稲葉健二議員） ① 図書の貸出、返却の今後の方向性 ② 図書館と図書室の今後の考え方
令和3年2月 日本共産党 代表一般	子どもの読書推進について（金子貞作議員） →子どもの読書推進計画の策定
令和4年9月 公明党 代表	公共施設の学習スペースについて（西村議員・堀越議員） （1）本市の現状、課題について （2）今後の図書館のあり方について
令和4年12月 一般	公共施設の学習スペースについて（宮本均議員）
令和4年12月 一般	図書館運営について（中町けい議員） （1）返却ポストの増設について （2）貸出窓口の増設について （3）北部地域への図書館の設置について
令和4年12月 一般	図書館利用券のセキュリティ対策について（清水みな子議員） （1）現状と課題について （2）対策について
令和4年12月 一般	大柏川第一調節池緑地のビジターセンターについて（秋本のり子議員） （2）「えほんコーナー」の利用状況及び管理について
令和5年6月 市民クラブ 代表	柏井町1丁目社宅団地跡地の今後の活用に対する市の認識について （中町けい議員） →北部地域の図書館施設候補地としての検討
令和5年6月 一般	（2）学生や市民向けのフリースペースの提供について（西村敦議員） →行徳図書館の学習席
令和5年9月 創生市川 代表	就学前幼児の読書について（石原たかゆき議員） （1）保育、幼児教育施設における絵本の整備環境について （2）ブックスタート事業、セカンドブック事業の現状について （3）今後の取組みについて →子どもの読書推進
令和5年9月 一般	市立図書館について（ほどだゆうな議員） （1）利用現状について （2）市民提案型イベント・企画の実施について （3）本市が目指す文教都市としての図書館の在り方について
令和5年12月 一般	今後の図書館について（宮本均議員） これからの図書館像、図書館サービス、取り組みについて
令和5年12月 一般	小塚山公園について（清水みな子議員） （3）自動車図書館の巡回先に小塚山公園を加えることはできないか
令和6年6月 一般	本市の図書館・自動車図書館（みどり号）について（廣田徳子議員） （2）本市にない書籍を取り寄せることについて （3）自動車図書館（みどり号）の利用拡大に向けた取組について
令和6年6月 一般	図書館を通じた市民サービスの向上について（中町けい議員） （1）学習参考書の蔵書について （2）図書館資料の取り扱いに関するマナーの向上について
令和6年9月 一般	キャラクターなどを使用した本市の広報活動について（つかこしたかのり議員） ①台帳に登録されていないYAイメージキャラクター「読書チュー」活用について ②YAイメージキャラクター募集休止の理由とその周知、今後の募集について
令和7年2月 一般	心を育てる読書教育の充実について（石原みさ子議員） （3）市民図書室について

11. ボランティアと市民協働

(1) 市川図書館友の会 FIL(Friends of Ichikawa Library)

①発足

平成6年9月18日

②目的

市川市中央図書館でのボランティア活動を通じて図書館と図書館員を応援し、人と人との触れ合いを目的とする。

③会員数

79人(令和7年4月1日現在)

④役員(令和7年度)

会 長：椎名昭洋
会 計：櫻井香澄 庄司絵美子
監 事：埴清美 平原俊材

⑤入会手続

会員資格 会の目的に賛同する人
会 費 ・個人会員 年額 1,000円
・賛助会員 年額 5,000円
特 典 なし

⑥活動内容(令和6年度)

活動再開後、コロナ以前の活動状態に戻ってきた。

(ア) 生涯学習センター開館30周年の記念品寄贈(バナー・のぼり)

・45cm×150cm スリムショートサイズ台座なし 15本

・60cm×180cm スリムサイズ 7本

・60cm×180cm 図書館内吹き抜け下、ぶら下がりの穴付き6本

9月26日に贈呈式実施。

(イ) 第29回リサイクルブック市

図書館と共同開催した。

2024年10月26日(土) グリーンスタジオ

入場者 550人 寄附金 82,532円

寄附金の一部で、図書館の要望によりダイニングチェアを8脚贈呈。

(ウ) 文庫ぷちリサイクル

会場で各回会員4人が本の補充等の手伝いを行った。

2024年6月8日(土)・9日(日)・15日(土)・

16日(日)、2025年3月7日(土)・8日(日)

地下集会室

(エ) 夏休み体験図書館ボランティア

図書館推し活事業として企画提案、実施

2024年7月26日(金)・27日(土)

(オ) 本でわらしべ長者

生涯学習センター30周年記念イベントで、会員3名が本の補充等の手伝いを行った。

2024年11月2日

地下集会室

(カ) トワイライトバックヤードツアー

生涯学習センター30周年記念イベントで会員5名が協力した。

2024年11月2日

(キ) 図書館講座

2025年1月19日(水) 13時30分~14時30分

「配架活動に必要な知識を学びましょう」

講師：高柳主幹 22名参加

(ク) 図書館見学会

2025年2月19日(水) 図書館見学会

荒川区立図書館・ゆいの森あらかわ 15名参加

⑦日常活動

実践活動を円滑に運営するため、活動内容ごとに5つの部で構成されている。

1. アレンジ部

返却された本の配架と書棚の整理作業。

こどもとしょかんの配架も手伝いを開始。

2. レファ・サポート部

レファレンスカウンター等からの書庫出納と本の修理他。

3. インフォメーション部

新入会員への館内案内。

総会司会、リサイクルブック市アナウンス。

図書館見学会の企画と実施。

毎月第3水曜日に学習会開催。

4. 広報部

会報「FIL通信」年4回106号まで発行。

コミュニケーションツールとしてLINEワークスの導入、ホームページの適切なリニューアルを実施した。

5. 総務部

入会申込みと継続会費の受付を毎月第1・第3日

曜日。第2・第4水曜日に図書館入り口で開催。

(2) 令和6年度 市民提案型図書館推し活企画 決定事業

募集期間：令和6年3月22日～令和7年1月31日

★…生涯学習センター開館30周年記念企画

No.	チラシ等	名称・時期・提案者	主な内容・反響など
1 ★		いちかわのほほん古本市 11/2 いちかわのほほん古本市実行委員会（代表：田邊保徳） M&M Table に改称	出店者が決められた区画の中にお気に入りの本を持ち寄って行うフリーマーケット。「一箱古本市」と呼ばれ、出店者と客との交流が深まる地域活性化の取り組みとして注目されている。キッチンカーや雑貨等のマルシェ、参加者が推し本を語る集いも併せて開催。
2		てんとうむしの会 (継続) 4/20～(毎月第3土曜) 絵本といきものの会 (代表：湯浅止子)	大柏川ビジターセンター内のえほんコーナーを活用し、学校司書等による絵本の読み聞かせ、おはなし、手遊び、人形劇等を開催。 8月には同ビジターセンターを活動拠点とする環境団体と連携し、環境学習の促進にも寄与。 10月は人形劇団ふわふわを招聘。
3		メゾン・イチボン (継続) 4/1～ 市本・みんなの読書会 (代表：なかざわあおば)	令和5年3月に廃止された「学習交流施設 市本」で生まれた読書会「市本みんなの読書会」で紹介された本を、中央図書館の書棚を家(メゾン)に見立てて紹介する展示企画。
4		店主の本棚 (継続) 4/1～12/27 天田卓良	市内で个性的なお店を営む店主のおすすめ本を紹介するコーナーを中央図書館内に設置し、月替わりで展示を行う。1店主2ヵ月展示で7店主を紹介。
5 ★		お手紙読書会ふみばこ (継続) 4/25～(毎月第4土曜) 市本・みんなの読書会 (代表：なかざわあおば)	本を紹介し「〇〇なあなたへ」手紙を書いて、他の人の手紙と交換することを通じて、新しい本との出会いを創出する。本を通じたゆるやかな繋がりの創出を目指す試み。10月の30周年企画では簡易ノート作り体験も実施。
6		地球温暖化で北上するタイワンウチワヤンマ 7/2～9/2 展示 7/14・7/25・8/11・8/22 解説 互井賢二	台湾から日本へ、地球温暖化で北上・東進するタイワンウチワヤンマ。千葉県に侵入し生育確認されるも、市川市では未確認。その特徴と見分け方を標本展示で解説。展示期間中、提案者による展示解説を4回実施。
7		よみっこひろば (継続) 5/19～(毎月第3日曜) よみっこ広場 (代表：加藤可代子)	2007年から展開されている「市川よみっこ運動」の一環として、同運動実行委員会が企画した定期イベント。小学生を対象に、本の紹介など多様な形で参加者同士の交流が図れる場の創出を目指す。
8		「沈黙の春」出版60年記念パネル展示～これからの私たち～ ①5/1～5/9 ②6/1～6/30 レイチェル・カーソン日本協会いちかわ	レイチェル・カーソンの著作『沈黙の春』『センス・オブ・ワンダー』から、著者の思い、自然の大切さ、次世代へ地球の自然を繋ぐことで語り継いでいく。中央図書館フロアで実施している「環境問題を考える～カーソン没後60年～」の本の特集展示とタイアップ。

No.	チラシ等	名称・時期・提案者	主な内容・反響など
9		夏休み体験図書館ボランティア 7/26・27 市川図書館友の会 (会長：押樋良樹)	高校生以上を対象に、夏休みの間に図書館の仕事体験。本を戻す配架作業、書庫の本を取りだす出納作業を手伝う「市川図書館友の会」が、そのノウハウを伝える。
10 ★		えいごえほんよみきかせ 7/30, 10/12 すがのリーディングサークル (代表：塚本順子)	すがのリーディングサークルによる、英語の絵本の読み聞かせ会。ほかに、英語のわらべうた、童謡であそび、英語のリズムで楽しんで文化の違いなどを学ぶ。
11 ★		三角ぼうしのおはなし会 11/2 午前と午後の2コマ 音楽絵本三角ぼうし (会長：須々田恵子)	今年で30年目を迎える「音楽絵本三角ぼうし」は、普段は中央こども館で活動。今回は、同じ30周年を迎える生涯学習センターのベルホールで、音楽とおはなしのハーモニーを企画。
12 ★		うずしお読書会の歩みとおすすめの本 11/1～12/27 うずしお読書会 (会長：久保美禰子)	昭和36年から葛飾八幡宮の境内にあった市立図書館で活動をはじめた歴史のある読書会。長年にわたるこれまでの歩みと、普段の読書会のテーマとした本などを広く紹介
13		きらきら星のふゆじたく 12/1 午後2コマ きらきら星 (代表：鈴木順子)	設立37周年をむかえる保護者による読み聞かせサークル「きらきら星」は、普段は大和田小学校内で活動。絵本をとおして子どもたちが成長していく姿と一緒に楽しみ、支え合うことを目的に活動する。
14		脳トレ脳活シナプソロジー 12/7 インストラクター やすいともこ	普段と慣れない動きで脳を適度に混乱させ、さらに効果的な刺激を与えることで、脳の機能が高められると考えられているシナプソロジー。そのエクササイズを絵本や遊びを交えて行う。
15		図書館で本を虫干ししよう 2/9 M&M Table (代表：三ツ森菜央子)	昔は経文や和漢籍等の和紙の書物が、虫に食われたりカビたりするのを防ぐために、日に曝し風を通した「虫干し」を水の広場で体験。図書館のマナーキャンペーンとタイアップし、本のカバーかけ講座も行う
16		春をよぶおはなし会 3/8 朗読指導者やまね&Co. (代表：中島浩子)	山根基世の朗読指導者養成講座の修了生が絵本や紙芝居、わらべ歌を使って読み聞かせを行う。

12. 新聞・雑誌一覧 (1) 購入雑誌一覧

令和7年4月1日現在

ヨミ	雑誌タイトル	出版社名	刊行頻度	中央	平田	行徳	信篤	南行	駅南	ウイズ	配架	発売日	備考(年は西暦下2桁)
アイ	アイデア	誠文堂新光社	季刊	⑤							キ-1	3・6・9・12月10日	
アエ	AERA	朝日新聞出版	週刊	③		①					ア-2	毎週月曜日	
アエ	AERA with Kids	朝日新聞出版	季刊	③	②	③			③		イ-1	3・6・9・12月5日	
アカ	Akachanと!	赤ちゃん和妈妈社	月刊	③							イ-1	毎月25日	
アカ	赤ちゃん和妈妈	赤ちゃん和妈妈社	月刊	③							イ-1	毎月25日	22年5月号より「Akachanと!」へ変更
アク	アクアライフ	エムピージェー	月刊	①							ウ-4	毎月11日	
アサ	アサヒカメラ	朝日新聞出版	月刊	◎		③					ウ-2	毎月20日	20年7月号で休刊
アサ	朝日ジャーナル	朝日新聞社	週刊	◎							書庫		92年5月29日号で休刊
アス	明日の友	婦人之友社	隔月刊		②				③			偶月 5日	
アニ	アニメージュ	徳間書店	月刊	③							イ-1	毎月10日	
アン	an・an	マガジンハウス	週刊	①		①					ア-3	毎週水曜日	
アン	&Premium	マガジンハウス	月刊	①					②		ア-3	毎月20日	
イコ	NHK囲碁講座	NHK出版	月刊		①							毎月16日	
イツ	一個人	ベストセラーズ	季刊					①				1・4・7・10月3日	
イナ	田舎暮らしの本	宝島社	月刊	⑤							ア-5	毎月3日	
イン	Interface	CQ出版	月刊						③			毎月25日	
ウア	25' ans	ハースト婦人画報社/講談社(発売)	月刊	①							ア-4	毎月28日	
ウィ	We	フェミックス	隔月刊							◎		偶月 10日	25年2・3月号で購入中止
ウィ	We learn	日本女性学習財団	月刊							◎		毎月 1日	25年3月号で購入中止
ウィ	WiLL(月刊ウィル)	ワック	月刊	③							ア-2	毎月26日	
ウエ	WEDGE(ウェッジ)	ウェッジ	月刊						③			毎月20日	
ウエ	Web designing	マイナビ出版	隔月刊	①							キ-2	偶月 18日	
ウエ	VERY(ヴェリイ)	光文社	月刊	①		①		①			ア-3	毎月7日	
ウオ	Voice	PHP研究所	月刊	①							ア-2	毎月10日	
ウオ	VoCE(ヴォーチェ)	講談社	月刊	①							ア-3	毎月23日	
ウシ	潮	潮出版社	月刊	③							ア-2	毎月5日	
ウツ	美しいキモノ	ハースト婦人画報社/講談社(発売)	季刊	③		③					ア-4	2・5・8・11月20日	
ウマ	UMA LIFE馬ライフ	メトロポリタンプレス	月刊	③							イ-3	毎月10日	
エイ	栄養と料理	女子栄養大学出版部	月刊	③		①			②		ア-5	毎月9日	
エキ	Expert Nurse	照林社	月刊						⑤			毎月20日	
イク	eclat(エクラ)	集英社	月刊						②			毎月1日	
エコ	The Economist [英語]	輸入元:OCS	週刊	③							イ-5	毎週土曜日	
エコ	エコノミスト	毎日新聞出版	週刊	③			①				カ-1	毎週月曜日	
エス	SFマガジン	早川書房	隔月刊	◎							ウ-6	偶月25日	
エス	Esquire [英語]	輸入元:OCS	月刊	③							イ-5	毎月28日	21年3月号で購入中止
エッ	ESSE	フジテレビジョン	月刊	①			①	①			ア-4	毎月7日	
エム	MJ無線と実験	誠文堂新光社	季刊	①							ウ-3	毎月10日	
エル	ELLE DÉCOR	ハースト婦人画報社/講談社(発売)	隔月刊			③			②			奇月 7日	行徳21年4月号で購入中止
エン	園芸ガイド	主婦の友社	季刊	⑤							ウ-2	3・5・9・12月8日	
エン	演劇界	演劇出版社	月刊	◎							イ-2	毎月5日	22年4月号で休刊
オズ	OZ magazine TRIP	スターツ出版	季刊	③							ウ-1	不定期	24年SPRINGで休刊
オズ	oz magazine	スターツ出版	隔月刊	①		①	①				ア-3	奇月 12日	
オソ	おそい・はやい・ひくい・たかい	ジャパนมジニスト社	年2回	◎		⑤					オ-1	4・10月25日	21年110号で購入中止
オト	男の隠れ家	三栄	月刊	①							ア-4	毎月27日	
オト	おとなの週末	講談社	月刊		①	①						毎月15日	
オム	OHM	オーム社	月刊	③							キ-3	毎月5日	24年3月号で休刊
オル	オール讀物	文藝春秋	隔月刊	◎		①		①			ウ-6	偶月22日	
オレ	オレンジページ	オレンジページ	月2回	①	①	①		①			ア-5	毎月2・17日	
オン	音楽の友	音楽之友社	月刊	③		③					ウ-5	毎月18日	
カク	科学	岩波書店	月刊	③							ウ-2	毎月28日	
カク	化学	化学同人	月刊	③							キ-3	毎月18日	
カク	かがくのとも	福音館書店	月刊	◎		⑤	⑤	⑤			子供	毎月3日	
カク	岳人	ネイチュアエンタープライズ	月刊	③							イ-3	毎月15日	
カサ	Casa BRUTUS	マガジンハウス	月刊	③							ア-5	毎月10日	
カキ	かぞくのじかん	婦人之友社	季刊	③		③					イ-1	3・6・9・12月5日	22年夏号で休刊
カク	学校図書館	全国学校図書館協議会	月刊	◎							ア-1	毎月7日	
カク	CUT(カット)	ロッキング・オン	月刊				①					毎月19日	
カキ	家庭画報	世界文化社	月刊	③		①					ア-3	毎月1日	
カハ	ガバナンス	ぎょうせい	月刊	③							オ-3	毎月1日	

ヨミ	雑誌タイトル	出版社名	刊行頻度	中央	平田	行徳	信篤	南行	駅南	ウイズ	配架	発売日	備考(年は西暦下2桁)
カン	環境と公害	岩波書店	季刊	◎							キ-3	1・4・7・10月25日	
カン	関東東北じゃらん	リクルートホールディングス	隔月刊	①							ウ-1	奇月 1日	
キカ	機械技術	日刊工業新聞社	月刊	③							ク-1	毎月 25日	
キキ	企業診断	同友館	月刊							⑤		毎月 27日	
キネ	キネマ旬報	キネマ旬報社	月刊	◎		③					イ-2	毎月 20日	
キャ	CAPA	学研プラス	月刊	①							ウ-2	毎月 20日	
キャ	GALAC	放送批評懇談会	月刊	③							キ-1	毎月 6日	
キャ	Cancam	小学館	月刊			①						毎月 23日	
キョ	教育	かがわ出版	月刊	◎							オ-1	毎月 10日	
キョ	教育ジャーナル	学研マーケティング	月刊	◎							オ-1	毎月 1日	20年3月で休刊
キョ	NHKきょうの健康	NHK出版	月刊	①	①	①	①	①	②		イ-1	毎月 21日	
キョ	NHKきょうの料理	NHK出版	月刊	③	①	③	①	①			ア-5	毎月 21日	
キル	キルトジャパン	日本ヴォーグ社	季刊	③							ア-5	3,6,9,12月の4日	
キン	銀花	文化出版局	季刊	◎							イ-2	2・5・8・11月25日	10年春号で休刊
キン	近代柔道	ベースボール・マガジン社	月刊	③							イ-4	毎月 22日	22年8月号で休刊
クウ	ku:nel	マガジンハウス	隔月刊	③	②						ア-4	奇月 20日	
クウ	Good Housekeeping [英語]	輸入元:OCS	月刊	③							イ-5	不定期	
クヨ	月刊クエヨン	クレヨンハウス	月刊	③							イ-1	毎月 3日	
クワ	暮しの手帖	暮しの手帖社	隔月刊	◎	②	⑤	②	②			ア-4	奇月 25日	
クワ	別冊暮しの手帖	暮しの手帖社	不定期	◎							ア-4	不定期	
クル	月刊ぐるっと千葉	ちばマガジン	月刊	◎		①					ア-3	毎月 21日	
クレ	CREA	文藝春秋	季刊	①		①					ア-4	3,6,9,12月の7日	
クレ	CREA TRAVELLER	文藝春秋	季刊	③			②				ウ-1	4・7・10・1月15日	
クロ	クロワッサン	マガジンハウス	月2回	①	①	①	①	①			ア-3	毎月10・25日	
クン	群像	講談社	月刊	◎							ウ-6	毎月 7日	
クエ	クエアマネジャー	中央法規出版	月刊	③							ク-3	毎月 27日	
ケイ	経済界	経済界	月刊							③		毎月 22日	
ケイ	経済セミナー	日本評論社	隔月刊							③		奇月 27日	
ケイ	芸術新潮	新潮社	月刊	◎		③					イ-2	毎月 25日	
ケイ	毛糸だま	日本ヴォーグ社	季刊	③		③					ア-5	2・5・8・11月5日	
ケテ	GOETHE(ゲーテ)	幻冬舎	月刊							②		毎月 24日	
ケン	現代思想	青土社	月刊	◎							イ-3	毎月 27日	
ケン	現代詩手帖	思潮社	月刊	◎							イ-3	毎月 28日	
ケン	現代の図書館	日本図書館協会	季刊	◎							ア-1	3・6・9・12月15日	
ケン	建築知識	エクスナレッジ	月刊	⑤							ク-1	毎月 20日	
ケン	建築文化	彰国社	隔月刊	◎							ク-1	隔月 25日	04年12月号で休刊
ケン	剣道時代	体育とスポーツ出版社	月刊	③							イ-4	毎月 25日	
コウ	工業材料	日刊工業出版プロダクション/日刊工業新聞社(発売)	季刊	③							ク-1	毎月 15日	23年夏号で休刊
コウ	航空情報	せきれい社	月刊	③							ウ-1	毎月 21日	23年12月号で休刊
コウ	公募ガイド	公募ガイド社	季刊	①							ア-3	1・4・7・10月9日	
コク	國語と國文學	明治書院	月刊	◎							イ-3	毎月 12日	
コク	国文学解釈と鑑賞	ぎょうせい	月刊	◎							イ-3	毎月 12日	11年10月号で休刊
コク	國文學 解釈と教材の研究	學燈社	月刊	◎							イ-3	毎月 10日	09年7月号で休刊
ココ	こころの科学	日本評論社	隔月刊							③		偶月 25日	
コス	COSMOPOLITAN [英語]	輸入元:OCS	季刊	③							イ-5	不定期	
コト	月刊子どもの本棚	日本子どもの本研究会	月刊	◎							子供	毎月 15日	
コト	kotoba	集英社	季刊	⑤							ア-2	3・6・9・12月の6日	
コト	ことばの翼 詩歌句	北溟社	不定期	◎							イ-3	不定期	17年VOL.48以降刊行なし
コト	子どもと科学よみもの	科学読物研究会	月刊	◎							子供	毎月 1日	
コト	こどもとしょかん	東京子ども図書館	季刊	◎		⑤					子供	1・4・7・10月20日	行徳21年冬号で購入中止
コト	子どもと昔話	小澤昔ばなし研究所	季刊	◎							子供	1・4・7・10月20日	20年冬号で休刊
コト	子供の科学	誠文堂新光社	月刊	③		③					子供	毎月 10日	
コト	こどもの図書館	児童図書館研究会	月刊	◎							子供	毎月 25日	
コト	こどものとも	福音館書店	月刊	◎		⑤	⑤	⑤			子供	毎月 3日	
コト	こどものとも (0・1・2)	福音館書店	月刊	◎		⑤	⑤	⑤			子供	毎月 3日	
コト	こどものとも (年少版)	福音館書店	月刊	◎		⑤	⑤				子供	毎月 3日	信篤21年4月号で購入中止
コト	こどものとも (年中向き)	福音館書店	月刊	◎		⑤					子供	毎月 3日	
コト	子どもの館	福音館書店	月刊	◎							子供		83年3月号で休刊
コト	月刊子ども論	クレヨンハウス	月刊	◎							子供	毎月 26日	06年3月号で休刊
コル	ゴルフダイジェスト	ゴルフダイジェスト社	月刊	③		①					イ-4	毎月 21日	
コレ	これからの暮らしby ESSE	フジテレビジョン 扶桑社(発売)	不定期	③							ア-4	不定期	
コワ	碁ワールド	日本棋院	月刊	①		①					ウ-4	毎月 20日	
サイ	CYCLE SPORTS	八重洲出版	月刊							③		毎月 20日	

ヨミ	雑誌タイトル	出版社名	刊行頻度	中央	平田	行徳	信篤	南行	駅南	ウイズ	配架	発売日	備考(年は西暦下2桁)
サツ	サッカーマガジン	ベースボール・マガジン社	隔月刊	③		①					イ-4	偶月 24日	
サニ	THE21	PHP研究所	月刊	①							カ-1	毎月 10日	
サフ	SURFIN' LIFE	DIVER株式会社	隔月刊	③							イ-3	偶月 10日	
サラ	サライ	小学館	月刊	①		①	①				ア-2	毎月 10日	
サラ	サラサーテ	せきれい社	隔月刊	③							ウ-5	奇月 2日	
サン	サンキュ!	ベネッセコーポレーション	月刊	①		①					ア-3	毎月 25日	
サン	サンデー毎日	毎日新聞出版	週刊	③	①						ア-2	毎週火曜日	
サン	3分クッキング	KADOKAWA	月刊	③							ア-5	毎月 16日	
サン	散歩の達人	交通新聞社	月刊	①	①						ウ-1	毎月 21日	
シエ	JR時刻表	交通新聞社	月刊			①						毎月 20日	
シエ	JTB時刻表	JTBパブリッシング	月刊	①			①	①	半年		ウ-1	毎月 20日	
シエ	CNN ENGLISH EXPRESS	朝日出版社	月刊	①							エ-2	毎月 6日	
シエ	JK Fan 空手道マガジン	チャンプ	月刊	③							イ-4	毎月 23日	
シカ	月刊自家用車	内外出版社	月刊	①							ウ-4	毎月 26日	
シキ	CQ ham radio	CQ出版社	月刊	①							ウ-3	毎月 19日	
シシ	CG(CAR GRAPHIC)	カーグラフィック	月刊				①					毎月 1日	
シセ	しぜん	フレーベル館	月刊	◎							子供	毎月 1日	13年3月号で購入中止
シソ	思想	岩波書店	月刊	◎							エ-3	毎月 29日	
シテ	CDジャーナル	シーディージャーナル	季刊	②							ウ-5	3・6・9・12月20日	
シナ	シナリオ	シナリオ作家協会	月刊	◎							イ-2	毎月 3日	
シヤ	月刊社会教育	旬報社	月刊	◎							オ-1	毎月 18日	
シヤ	社会教育	日本青年館「社会教育」編集部	月刊	◎							オ-1	毎月 1日	
シヤ	Jaz. In	Jaz.in シンコーミュージック・エンタテイメント(発売)	月刊	①							ウ-5	毎月 21-27日	
シヤ	JaZZ JAPAN	ジャズジャパン	月刊	①							ウ-5	毎月 23日	23年vol.156より『Jazz in』へ変更
シユ	週刊朝日	朝日新聞出版	週刊	③		①		①			ア-2	毎週火曜日	23年6/9号で休刊
シユ	週刊金曜日	金曜日	週刊	①		①					ア-2	毎週金曜日	
シユ	週刊新潮	新潮社	週刊	③	①	①	①	①	①		ア-2	毎週木曜日	
シユ	週刊ダイヤモンド	ダイヤモンド社	週刊	①		①		①	①		カ-1	毎週月曜日	
シユ	週刊東洋経済	東洋経済新報社	週刊	①		①			①		カ-1	毎週月曜日	
シユ	週刊プロレス	ベースボール・マガジン社	週刊	③							イ-4	毎週水曜日	
シユ	週刊文春	文藝春秋	週刊	③	①	①	①	①	①		ア-2	毎週水曜日	
シユ	週刊ベースボール	ベースボール・マガジン社	週刊	③		①					イ-4	毎週水曜日	
シユ	住宅建築	建築資料研究社	隔月刊	⑤							ク-1	偶月 19日	
シユ	住民と自治	自治体研究社	月刊	③							オ-3	毎月 15日	
シユ	月刊ジュニアエラ	朝日新聞出版	月刊		③							毎月 15日	
シユ	JUNON	主婦と生活社	月刊			①						毎月 23日	
シユ	NHK趣味の園芸	NHK出版	月刊	③	①	①	①	①			ウ-2	毎月 21日	
シユ	NHK趣味の園芸やさいの時間	NHK出版	隔月刊	③	①						ウ-2	奇月 21日	25年4・5月号より『NHKやさいの時間』へ変更
シユ	ジュリスト	有斐閣	月刊	◎							オ-3	毎月 25日	
シヨ	NHK将棋講座	NHK出版	月刊		①							毎月 16日	
シヨ	将棋世界	日本将棋連盟	月刊	①		①					ウ-4	毎月 3日	
シヨ	商業界	商業界	月刊						③			毎月 1日	20年5月号で休刊
シヨ	小説現代	講談社	月刊	◎							ウ-6	毎月 22日	
シヨ	小説新潮	新潮社	月刊	◎	①	①					ウ-6	毎月 22日	
シヨ	小説推理	双葉社	月刊	◎							ウ-6	毎月 27日	
シヨ	小説すばる	集英社	月刊	◎							ウ-6	毎月 17日	
シヨ	小説宝石	光文社	年10回	◎							ウ-6	毎月 22日(12月、8・9月合併号)	
シヨ	情報の科学と技術	情報科学技術協会	月刊	◎							ア-1	毎月 1日	
シヨ	女性展望	市川房枝記念会	隔月刊							◎		奇月 15日	25年3・4月号で購入中止
シシ	新建築	新建築社	月刊	⑤							ク-1	毎月 1日	
シシ	新潮	新潮社	月刊	◎		③			①		ウ-6	毎月 7日	行徳21年4月号で購入中止
シシ	新電気	オーム社	月刊	③							ク-1	毎月 1日	
シシ	新ノーマライゼーション	日本障害者リハビリテーション協会	月刊	③							ク-3	毎月 25日	
シシ	新聞ダイジェスト	新聞ダイジェスト社	月刊	③							カ-1	毎月 15日	
スイ	SWIMMING MAGAZINE	ベースボール・マガジン社	月刊	③							イ-3	毎月 11日	
スウ	数学セミナー	日本評論社	月刊	③							エ-2	毎月 12日	
スウ	数理科学	サイエンス社	月刊	③							エ-2	毎月 20日	
スキ	SKI GRAPHIC	芸文社	月刊	③							イ-3	毎月 10日	
スク	SCREEN	近代映画社/ジャパンプリント(発売)	月刊	①							イ-2	毎月 21日	
ステ	すてきにハンドメイド	NHK出版	月刊	③	①	③	①	①			ア-5	毎月 21日	
ステ	Stereo	音楽之友社	月刊	①							ウ-5	毎月 19日	
スト	STRIKER DX	学研マーケティング	季刊	③							子供	3.6.9.12月12日	19年春号で休刊
スト	STORY	光文社	月刊	①	①	①					ア-3	毎月 1日	

ヨミ	雑誌タイトル	出版社名	刊行頻度	中央	平田	行徳	信篤	南行	駅南	ウイズ	配架	発売日	備考(年は西暦下2桁)
スハ	すばる	集英社	月刊	◎							ウ-6	毎月 6日	
スホ	Sports Graphic Number	文藝春秋	隔週刊	③		①			①		イ-3	隔週木曜日	
スマ	Sumai 住まいの設計	扶桑社	隔月刊	⑤		③					ア-5	奇月 15日	23年6月号で休刊
スマ	smart	宝島社	月刊	①							エ-1	毎月 24日	
シミ	墨	芸術新聞社	隔月刊	◎							イ-2	奇月 1日	
スモ	相撲	ベースボール・マガジン社	月刊	③							イ-4	毎月 28日	
セイ	税理	ぎょうせい	月刊	③							カ-2	毎月 20日	
セイ	清流	清流出版	月刊	②							ア-4	毎月 1日	
セイ	正論	産経新聞社	月刊	③							ア-2	毎月 1日	
セカ	世界	岩波書店	月刊	◎		③					ア-2	毎月 8日	
セツ	設備と管理	オーム社	月刊	③							ク-1	毎月 11日	
セフ	SEVENTEEN	集英社	不定期	①							エ-1	毎月 1日	
セン	選択	選択出版	月刊	⑤							ア-2	毎月 1日	
セン	宣伝会議	宣伝会議	月刊						③			毎月 1日	
ソウ	装苑	文化出版局	隔月刊	③		①					ア-5	奇月 28日	
ソウ	壮快	ブティック社	隔月刊	①							イ-1	毎月 16日	
ソト	ソトコト	sotokoto online	年刊	⑤							ア-4	奇月 5日	24年5月号で購入中止
ソフ	Software Design	技術評論社	月刊	①							キ-2	毎月 18日	
タイ	大法輪	大法輪閣	月刊	◎							エ-3	毎月 8日	20年7月号で休刊
タイ	DIME	小学館	月刊	①		①					ア-4	毎月 16日	
タイ	TIME アジア版[英語]	販売元:富士山マガジンサービス	週刊	③		①					イ-5	毎週火曜日	
タイ	ダイヤモンド ZAi	ダイヤモンド社	月刊	①		①			②		カ-2	毎月 21日	
タウ	ダ・ヴィンチ	KADOKAWA	月刊	◎	①			①			ア-1	毎月 6日	
タウ	たくさんのふしぎ	福音館書店	月刊	◎		⑤					子供	毎月 3日	
タサ	Tarzan	マガジンハウス	月2回	①							イ-4	第2・4木曜日	
タツ	卓球王国	卓球王国	月刊	③							イ-4	毎月 21日	
タチ	旅の手帖	交通新聞社	月刊	①	①	①			①		ウ-1	毎月 10日	
タチ	短歌	角川文化振興財団	月刊	◎							エ-3	毎月 25日	
タン	DANCE MAGAZINE	新書館	月刊	③							イ-2	毎月 27日	
タン	dancyu	プレジデント社	月刊	③		①					ア-5	毎月 6日	
チ	ちいさい・おおきい・よわい・つよい	ジャパンマシニスト社	年2回	◎		⑤					イ-1	1・7月25日	20年128号で購入中止
チ	ちいさなかがくのとも	福音館書店	月刊	◎		⑤			⑤		子供	毎月 3日	
チク	ちくま	筑摩書房	月刊	◎							ア-1	毎月 29日	
チハ	Chiba Walker(千葉ウォーカー)	KADOKAWA	隔週刊	◎							ア-3	隔週火曜日	09年4月号で休刊
チホ	地方史研究	岩田書院	隔月刊	③							オ-2	偶月下旬	21年2月号で購入中止
チホ	地方自治	ぎょうせい	月刊	◎							オ-3	毎月 5日	
チャ	チャイルドヘルス	診断と治療社	月刊						⑤			毎月 1日	21年3月号で購入中止
チャ	CHANTO	主婦と生活社	月刊			①					ア-3	毎月 7日	20年4月号で休刊
チュ	中央公論	中央公論新社	月刊	◎		③					ア-2	毎月 10日	
チリ	地理	古今書院	月刊	⑤							オ-2	毎月 25日	
チリ	治療	南山堂	月刊	⑤							ク-3	毎月 1日	
チル	チルチンびと	風土社	季刊	⑤							ア-5	3・6・9・12月11日	
ツク	創	創出版	月刊	◎							ア-2	毎月 7日	
ツリ	つり人	つり人社	月刊	①		①					ウ-2	毎月 25日	
テ	テアトロ	カモミール社	月刊	◎							イ-2	毎月 13日	
ティ	DVD&動画配信で一た	ムービーウォーカー/KADOKAWA(発売)	月刊	①							ウ-3	毎月 20日	
ティ	ディテール	彰国社	季刊	③							ク-1	3・6・9・12月15日	
テツ	鉄道ジャーナル	鉄道ジャーナル社	月刊	①							ウ-1	毎月 21日	
テツ	鉄道ピクトリアル	電気車研究会	月刊			①						毎月 20日	
テツ	鉄道ファン	交友社	月刊	③							子供	毎月 21日	
テニ	Tennis Magazine	ベースボール・マガジン社	季刊	③							イ-4	毎月 21日	22年8月号で休刊
テレ	TVガイド 関東版	東京ニュース通信社	週刊	①							ウ-3	毎週水曜日	
テン	点字ジャーナル	東京ヘレン・ケラー協会	月刊	①							障害	毎月 25日	
テン	天然生活	扶桑社	月刊		①	③	①					毎月 20日	
テン	天文ガイド	誠文堂新光社	月刊	③							ク-2	毎月 5日	
トウ	東京カレンダー	東京カレンダー	月刊						②			毎月 21日	
トウ	東京人	都市出版	月刊	③							ア-2	毎月 3日	
トウ	陶磁郎	双葉社	季刊	◎							イ-2	不定期	06年48号で休刊
トウ	ドゥーパ!	学研マーケティング	隔月刊						③			奇月 8日	
トウ	陶遊	新企画出版局	隔月刊	◎							イ-2	奇月 25日	12年2月号で休刊
トク	特別支援教育研究	東洋館出版社	月刊	◎							オ-1	毎月 28日	
トク	図書館界	日本図書館研究会	隔月刊	◎							ア-1	奇月 17日	
トク	図書館雑誌	日本図書館協会	月刊	◎							ア-1	毎月 22日	

ヨミ	雑誌タイトル	出版社名	刊行頻度	中央	平田	行徳	信篤	南行	駅南	ウイズ	配架	発売日	備考(年は西暦下2桁)
トホ	土木技術	土木技術社	月刊	③							ク-1	毎月 28日	22年11月号で休刊
トラ	ドライバー	八重洲出版	月刊		①							毎月 20日	
トラ	トランジスタ技術	CQ出版社	月刊	③							キ-2	毎月 10日	
ナシ	NATIONAL GEOGRAPHIC [英語]	輸入元:OCS	月刊	③							イ-5	毎月 下旬	
ナシ	NATIONAL GEOGRAPHIC 日本版	日経ナショナルジオグラフィック	月刊	③							ク-2	毎月 30日	
ナシ	NURSING	学研メディカル秀潤社	季刊	③							ク-3	3.6.9.12月20日	
ニコ	nicola(ニコラ)	新潮社	月刊	①							エ-1	毎月 1日	
ニッ	日経アーキテクチュア	日経BP社	月2回	⑤							ク-1	毎月10・25日	
ニッ	日経WOMAN	日経BP社	月刊	①		①		①			ア-3	毎月 7日	
ニッ	日経エンタテインメント!	日経BP社	月刊			①						毎月 4日	
ニッ	日経コンピュータ	日経BP社	隔週刊	①							キ-2	隔週木曜日	
ニッ	日経サイエンス	日経サイエンス	月刊	③		③					ク-2	毎月 25日	
ニッ	日経ソフトウェア	日経BP社	隔月刊	①							キ-2	奇月 24日	
ニッ	日経デザイン	日経BP社	月刊	③							キ-1	毎月 24日	
ニッ	日経トップリーダー	日経BP社	月刊	①							カ-1	毎月 1日	
ニッ	日経TRENDY	日経BP社	月刊	①		①	①				カ-1	毎月 4日	
ニッ	日経パソコン	日経BP社	月2回	①							キ-2	第2・4月曜日	
ニッ	日経PC21	日経BP社	月刊	①		①	①	①	①		キ-2	毎月 24日	
ニッ	日経ビジネス	日経BP社	週刊	①		①			①		カ-1	毎週月曜日	
ニッ	日経マネー	日経BP社	月刊	①	①	①	①				カ-1	毎月 21日	
ニッ	日経メディカル	日経BP社	月刊						③			毎月 10日	21年4月号で休刊
ニホ	日本古書通信	日本古書通信社	月刊	③							ア-1	毎月 15日	21年3月号で購入中止
ニホ	日本児童文学	日本児童文学者協会/小峰書店(発売)	隔月刊	◎							子供	奇月 9日	
ニホ	日本の参考図書:四季版	日本図書館協会	季刊	◎							図書	1・4・7・10月	
ニホ	日本の美術	ぎょうせい	月刊	◎							イ-2	毎月 12日	11年10月号で休刊
ニホ	日本歴史	吉川弘文館	月刊	⑤							オ-2	毎月 25日	
ニユ	Newsweek 日本版	CCCメディアハウス	週刊	③		①					ア-2	毎週火曜日	
ニユ	月刊Newsがわかる	毎日新聞出版	月刊	◎		③					エ-1	毎月 15日	
ニユ	Newtype	KADOKAWA	月刊			③						毎月 10日	
ニユ	Newton	ニュートンプレス	月刊	◎		①					ク-2	毎月 26日	
ネコ	猫びより	辰巳出版	季刊	①							ウ-4	3・6・9・12月12日	
ネハ	ネバーランド	てらいんく	不定期	◎							子供	2・5・8・11月5日	10年Vol.14で購入中止
ノジ	ノジュール(nodule)	JTBパブリッシング	月刊			③						毎月 28日	
ノシ	non・no	集英社	月刊	①		①					ア-4	毎月 20日	行徳21年5月号で購入中止
ハイ	俳句	角川文化振興財団	月刊	◎		③					エ-3	毎月 25日	
ハイ	BiCYCLE CLUB	ピークス/マイナビ出版発売	隔月刊	①		①					ウ-4	奇月 20日	
ハウ	Harvard Business Review	ダイヤモンド社	月刊	③							カ-1	毎月 10日	
ハウ	HOUSING	リクルート	隔月刊	⑤							ア-5	偶月 21日	24年8月号にて休刊
ハス	バスケットボール	日本文化出版	月刊	③							イ-4	毎月 25日	
ハッ	B=PASS	シンコミュージック・エンタテイメント	月刊	①							エ-1	毎月 27日	
ハト	鳩よ!	マガジンハウス	月刊	◎							エ-3		02年5月号で休刊
ハド	Badminton MAGAZINE	ベースボール・マガジン社	月刊	③							イ-4	毎月 22日	
ハナ	Hanako	マガジンハウス	月刊	①				①			ア-3	毎月 28日	
ハハ	母の友	福音館書店	月刊	◎		①	①				子供	毎月 3日	25年3月号で休刊
ハヤ	ハヤカワミステリマガジン	早川書房	隔月刊	◎		①					ウ-6	奇月 25日	
ハル	ハルメク	ハルメク	月刊	①							ア-3	毎月 10日	
ハレ	月刊バレーボール	日本文化出版	月刊	③							イ-4	毎月 15日	
ハン	判例時報	判例時報社	月2回	◎							オ-3	毎月1・15日	
ハン	判例タイムズ	判例タイムズ社	月刊	◎							オ-3	毎月 25日	
ハン	バンドジャーナル	音楽之友社	月刊	①							ウ-5	毎月 10日	
ビシ	ビジネスチャンス	ビジネスチャンス	隔月刊						③			偶月 22日	
ビシ	ビジネス法務	中央経済社	月刊						⑤			毎月 21日	21年5月号で購入中止
ビシ	美術手帖	美術出版社	季刊	◎							イ-2	奇月 7日	
ビテ	ビデオSALON	玄光社	月刊	①							ウ-2	毎月 20日	
ビハ	BE-PAL	小学館	月刊	③		①					イ-3	毎月 10日	
ビフ	Pee Boo	ブックローン社	季刊	◎							子供		98年30号で休刊
ヒラ	ひらがなタイムズ [英語]	ひらがなタイムズ	月刊	③							イ-5	毎月 20日	
フォ	Forbes Japan	リンクタイズ	月刊	①							カ-1	毎月 25日	
フク	月刊福祉	全国社会福祉協議会	月刊	③							ク-3	毎月 9日	
フシ	婦人画報	ハースト婦人画報社/講談社(発売)	月刊	①							ア-3	毎月 1日	
フシ	婦人公論	中央公論新社	月刊	③	①	①	①	①			ウ-6	毎月 15日	
フシ	婦人之友	婦人之友社	月刊	③							ウ-6	毎月 12日	
フラ	プラス1リビング	主婦の友社	季刊	⑤	①						ア-5	3・6・9・12月7日	19年6月107号で休刊

ヨミ	雑誌タイトル	出版社名	刊行頻度	中央	平田	行徳	信篤	南行	駅南	ウイズ	配架	発売日	備考(年は西暦下2桁)
ブル	BRUTUS	マガジンハウス	月2回			①						毎月1・15日	
ブル	プレジデント	プレジデント社	月2回	①			①		①		カ-1	第2・4月曜日	
ブル	PRESIDENT WOMAN Premier	プレジデント社	季刊	②					②		ア-3	3・6・9・12月7日	22年秋号で購入中止
ブル	プレジデント Family	プレジデント社	季刊	③			②		②		イ-1	3・6・9・12月5日	
ブル	プレーン	宣伝会議	月刊	③							キ-1	毎月 1日	
フロ	フローリスト	誠文堂新光社	隔月刊	③							ウ-2	奇月 8日	
フン	文学	岩波書店	隔月刊	◎							エ-3	奇月 25日	16年11・12月号で休刊
フン	文学界	文藝春秋	月刊	◎							エ-3	毎月 7日	
フン	文藝	河出書房新社	季刊	◎							ウ-6	1・4・7・10月7日	
フン	文藝春秋	文藝春秋	月刊	◎	①	③	①	①	①		ア-2	毎月 10日	
フン	別冊文藝春秋	文藝春秋	隔月刊	◎							ウ-6	偶月 8日	15年3月号で休刊
ベース	Baseball Clinic	ベースボール・マガジン社	月刊	③							エ-1	毎月 17日	
ベビ	Baby-mo	主婦の友社	季刊			①		①				3・6・9・12月15日	24年No.173で休刊
ペン	pen	CCCメディアハウス	月刊	③							ア-4	毎月 28日	
ホウ	法学教室	有斐閣	月刊	◎							オ-3	毎月 28日	
ホウ	法学セミナー	日本評論社	月刊	◎							オ-3	毎月 12日	
ホウ	訪問看護と介護	医学書院	隔月刊	⑤							ク-3	不定期	
ホウ	法律時報	日本評論社	月刊	◎							オ-3	毎月 27日	
ホク	ボクシングマガジン	ベースボール・マガジン社	月刊	③							イ-4	毎月 15日	22年8月号で休刊
ホス	月刊BOSS	経営塾	月刊						③			毎月 22日	19年7月号で休刊
ホビ	Hobby JAPAN	ホビージャパン	月刊	①							ウ-3	毎月 25日	
ホーム	HOMES & GARDENS [英語]	輸入元:紀伊國屋書店	月刊	③							イ-5	毎月 10日	
ホン	本 読書人の雑誌	講談社	月刊	◎							ア-1	毎月 25日	16年5月号から寄贈へ
ホン	本の雑誌	本の雑誌社	月刊	③		①					ア-1	毎月 10日	
マイ	毎日が発見	KADOKAWA	月刊	①							ア-3	毎月 28日	24年4月号で休刊
マッ	Mac Fan	マイナビ	隔月刊	①							キ-2	奇月 29日	
マト	Mart	光文社	季刊	①				①	③		ア-4	3・6・9・12月28日	24春号で休刊
マリ	Marine Diving	水中造形センター	月刊	③							イ-3	毎月 10日	21年8月号で休刊
ミセ	ミセスのスタイルブック	文化出版局	季刊	③							ア-5	2・4・6・10月12日	
ミタ	三田文学	三田文学会	季刊	◎							エ-3	1.4.7.10月の11日	
ミミ	MIMI	全日本ろうあ連盟	季刊	③							ク-3	3・6・9・12月15日	
ミュ	ミュージカル	ミュージカル社	隔月刊	①							イ-2	奇月 5日	
ミヨ	Myojo	集英社	月刊	①							エ-1	毎月 23日	
ミン	みんなの図書館	教育史料出版会	月刊	◎							ア-1	毎月 10日	
ムジ	MUSICA	FACT	月刊	①							ウ-5	毎月 15日	
メ	目の眼	目の眼	隔月刊	◎							イ-2	奇月 15日	
メフ	メフィスト(小説現代別冊)	講談社	年3回	◎							ウ-6	不定期	16年Vol.1で休刊
メン	MEN'S EX	世界文化社	月刊			①						毎月 6日	
メン	MEN'S CLUB	ハースト婦人画報社/講談社(発売)	不定期	①							ア-4	不定期	24年11月号で休刊
メン	MEN'S NON・NO	集英社	月刊	①							ア-4	毎月 10日	
モア	MORE	集英社	季刊	①		①					ア-4	毎月 28日	中央23年11月号-行徳21年5月号で購入中止
モエ	MOE	白泉社	月刊	③		①					エ-1	毎月 3日	
モタ	Motorcyclist	八重洲出版	月刊	③							ウ-4	毎月 1日	
モタ	Motor Magazine	モーターマガジン社	月刊	③		③					ウ-4	毎月 1日	
モタ	モダンリビング	ハースト婦人画報社/講談社(発売)	隔月刊	⑤							ア-5	偶月 7日	
モノ	monoマガジン	ワールドフォトプレス	月2回	①							ア-4	毎月2・16日	
ヤサ	NHKやさいの時間	NHK出版	隔月刊	③	①						ウ-2	奇月 21日	
ヤサ	やさい畑	家の光協会	隔月刊	③							ウ-2	奇月 3日	
ヤマ	山と溪谷	山と溪谷社	月刊	③		①					イ-3	毎月 15日	
ユウ	ゆうゆう	主婦の友社	月刊	①					①		ア-3	毎月 1日	
ユホ	ゆほびか	マキノ出版	月刊	①							イ-1	毎月 16日	23年5月号で購入中止
ユリ	ユリイカ	青土社	月刊	◎							エ-3	毎月 27日	
ヨウ	幼稚園	小学館	隔月刊	①							子供	奇月 1日	
ヨム	yomyom	新潮社	季刊	◎							ウ-6	2・5・8・11月1日	17年冬号で休刊
ライ	light&life	東京ヘレン・ケラー協会	月2回	①							障害	毎月1・15日	
ラグ	ラグビーマガジン	ベースボール・マガジン社	月刊	③							イ-4	毎月 25日	
ラン	ランナーズ	アールピーズ	月刊	③		①					イ-3	毎月 22日	
ラン	ランニングマガジン・クリール	ベースボール・マガジン社	月刊						③			毎月 22日	
リー	LEE	集英社	月刊			①	①	①			ア-3	毎月 7日	
リク	月刊陸上競技	講談社	月刊	③							イ-4	毎月 14日	
リタ	READER'S DIGEST[英語]	輸入元:OCS	月刊	③							イ-5	毎月 5日	
リュ	留学ジャーナル	留学ジャーナル	季刊	③							エ-2	3・6・9・12月の10日	
リョ	旅行読売	旅行読売出版社	月刊	①							ウ-1	毎月 28日	

ヨミ	雑誌タイトル	出版社名	刊行頻度	中央	平田	行徳	信篤	南行	駅南	ウイズ	配架	発売日	備考(年は西暦下2桁)
レキ	歴史街道	PHP研究所	月刊		①	①						毎月 6日	
レキ	歴史人	ベストセラーズ	月刊	③							オ-2	毎月 6日	
レコ	レコード芸術	音楽之友社	月刊	③					②		ウ-5	毎月 20日	23年7月号で休刊
レタ	レタスクラブ	KADOKAWA	月刊	③			①				ア-5	毎月 25日	
ロッ	Rockin' on	ロッキング・オン	月刊			①						毎月 1日	
ロッ	ROCKIN' ON JAPAN	ロッキング・オン	月刊	①							エ-1	毎月 30日	
ワラ	和楽	小学館	隔月刊	③		③					ア-3	奇月 1日	

購入タイトル数	313	275	29	89	29	28	34	0
----------------	------------	-----	----	----	----	----	----	---

注1:所蔵館名欄○数字は、保存年限を示す。◎は永年保存。

注2:配架欄は中央図書館の分野別雑誌架を示す。

注3:網掛けはタイトル変更、休刊、購入中止等になったもの。

ヨミ	雑誌タイトル	出版社名	刊行頻度	中央	平田	行徳	信篤	南行	駅南	ウイズ	配架	備考(年は西暦下2桁)
ト	都道府県展望	全国知事会	月刊	◎							ア-2	11年3月号で休刊
ナミ	波	新潮社	月刊	◎登							ア-1	
ニチ	にちぎん	日本銀行	季刊	②							カ-2	
ノ	のんびる	パルシステム生活協同組合連合会	月刊	①登							ア-4	
ハイ	俳句四季	東京四季出版	月刊	③							エ-3	
ハウ	ハウジング・トリビューン(Housing Tribune)	創樹社	月2回	①登							ク-1	
ハッ	はっぴーママ	明光企画	隔月刊			◎登					イ-1	13年9・10月より「ママともぶらす」へ変更
ファ	ファイナンス	財務省	月刊	①							カ-2	
フト	武道	日本武道館	月刊	①登							イ-4	
ホウ	法苑	新日本法規出版	年3回	②							オ-3	23年9月号で休刊
ホウ	ぼうさい	内閣府(防災担当)	季刊	②							オ-2	
ホウ	ほうてらす	日本司法支援センター(法テラス)本部	季刊	②							オ-3	
ホス	Hostelling Magazine	日本ユースホステル協会	季刊	②登							ウ-1	
ホン	本 読書人の雑誌	講談社	月刊	◎登							ア-1	20年12月号で休刊
ホン	本が好き!	光文社	月刊	◎							ア-1	10年1月号で休刊
ホン	本郷	吉川弘文館	隔月刊	◎登		①					ア-1	
ホン	本の旅人	KADOKAWA	月刊	◎登							ア-1	19年7月号で休刊
ホン	本の話	文藝春秋	月刊	◎							ア-1	11年10月号で休刊
ママ	ママともぶらす	明光企画	季刊			◎登					イ-1	21年Springで休刊
マモ	MAMOR	扶桑社	月刊	②登							オ-2	
マン	マンション管理センター通信	公益財団法人マンション管理センター	月刊	①登							ク-1	
ミス	みすず	みすず書房	月刊	◎登							ア-1	23年8月号で休刊
ミス	水とともに	水資源機構	月刊	①							ク-1	
ミラ	未来	未来社	季刊	◎登							ア-1	
ミラ	未来へげんき	日本原子力研究開発機構	季刊	②							キ-3	
ミル	ミルククラブ	中央酪農会議	季刊	②							キ-1	
ミン	みんてつ	日本民営鉄道協会	季刊	②登							キ-1	
ユウ	優駿	日本中央競馬会	月刊	①							ウ-4	
ユビ	UP	東京大学出版会	月刊	◎登							ア-1	
リハ	リベラルタイム	リベラルタイム出版社	月刊	②登							カ-1	
レキ	歴史研究	歴研	月刊	①登							オ-2	23年6月号で寄贈中止
レキ	歴史の旅人	歴史街道倶楽部事務局	季刊	③登							オ-2	
ロウ	労働判例	産労総合研究所	月2回	◎登							オ-3	

寄贈雑誌タイトル数	66	64	0	4	3	0	0	2
-----------	----	----	---	---	---	---	---	---

注1: 所蔵館名○数字は、保存年限を示す。◎は永年保存。「登」は所蔵登録あり。

注2: 配架欄は中央図書館の分野別雑誌架を示す。

注3: 網掛けは休刊、中止を示す。

(3) 中央図書館収集地域雑誌・定期刊行物一覧

令和7年4月1日現在

	タイトル	発行機関	配架・分類※
1	AELDE(アエルデ)行徳・妙典	スターツ出版	BOX(AELDE行徳・妙典)
2	あいねすと通信	市川市行徳野鳥観察会あいねすと	緑ファイル
3	あれこれふぁ 参考業務年報	市川市中央図書館	ファイル(I/R1)
4	eパートナーちば	ちば県民共生センター	青ファイル
5	いちかわ 商工会議所会報	市川商工会議所	緑ファイル
6	市川浦安よみうり	市川よみうり新聞社	BOX(市川浦安よみうり)
7	市川市医師会会報	市川市医師会	図書登録(I/P5)
8	いちかわ市議会だより	市川市議会	BOX(いちかわ市議会だより)
9	市川図書館だより	市川市中央図書館	緑ファイル
10	市景 瓦版	まち並み景観整備課	緑ファイル
11	いちぼ:いちかわのボランティアNPO情報誌	市川市市民部ボランティア・NPO課	ファイル(I/N0)
12	Event Guide: 市川市文化振興財団の催し物案内	市川市文化振興財団	緑ファイル
13	ウィズレター	市川市総務部多様性社会推進課	緑ファイル
14	West Library(千葉県立西部図書館だより)	千葉県立西部図書館	青ファイル
15	浦安市障がい者就労支援センター通信	浦安市障がい者就労支援センター	ピンクファイル
16	沖	沖発行所	BOX(沖)
17	思いやり交通千葉	千葉県交通安全対策推進委員会	青ファイル
18	ガーデニング通信	市川市まちなみ景観整備課	緑ファイル
19	かいつか	市川市博物館友の会	緑ファイル
20	科学館ニュース(千葉県立現代産業科学館)	千葉県立現代産業科学館	青ファイル
21	かずさDNA研究所ニュースレター	かずさDNA研究所	BOX(かずさDNA研究ニュースレター)
22	学校図書館支援センター通信	市川市学校図書館支援センター	ファイル(I/Q4)
23	鎌ヶ谷市郷土資料館だより	鎌ヶ谷市郷土資料館	ピンクファイル
24	監査結果	千葉県監査委員	ファイル(C10/F7)
25	監査結果の公表について	市川市監査委員会	ファイル(I/F7)
26	北千葉道路だより	北千葉道路広報ワーキンググループ	ファイル(I/S2)
27	教育いちかわ	市川市教育委員会	ファイル(I/Q1)
28	教育広報夢気球	千葉県教育委員会	青ファイル
29	行政関係資料(新着案内)	千葉県文書館行政資料室	青ファイル
30	行政監査の結果に基づく措置結果	千葉県監査委員	ファイル(C10/F7)
31	行徳文化ホールI&I イベントカレンダー	行徳文化ホールI&I	緑ファイル
32	クオリティライフいちかわ	市川市消費生活センター	緑ファイル
33	Green Port Report	成田国際空港株式会社	BOX(Green Port Repor
34	京成らいん	京成電鉄	BOX(京成らいん)
35	芸文協ちば	千葉県芸術文化団体協議会	青ファイル
36	研究紀要	千葉市立郷土博物館	図書登録(C21.1/R3)
37	県警からのお知らせ	千葉県読売防犯協力会	青ファイル
38	県水だより: 千葉県営水道広報誌	千葉県企業局	BOX(県水だより)
39	考古・歴史博物館だより	市川考古博物館/市川歴史博物館	緑ファイル
40	国府台経済研究	千葉商科大学経済研究所	図書登録(I/Q3)
41	広報いちかわ	市川市	専用ファイル(I/F5)
42	国際交流つうしん	ちば国際コンベンションビューロー	青ファイル
43	子どもの読書活動推進センター通信	千葉県立図書館	青ファイル
44	コミュニティペーパーいちかわ新聞	明光企画	BOX(コミュニティペーパーいちかわ新聞)
45	コミュニティペーパー行徳新聞	明光企画	BOX(コミュニティペーパー行徳新聞)
46	探蓮: 千葉市美術館研究紀要	千葉市美術館	図書登録(C21.1/R4)
47	THE CHIBA OIJ 放送大学千葉学習センター機関紙	放送大学千葉学習センター	黄ファイル
48	三番瀬署名ニュース	三番瀬を守る署名ネットワーク	クリアファイル(I/T0)
49	しいむじな: 房総の山のフィールド・ミュージアムニュースレター	房総の山のフィールド・ミュージアム	青ファイル
50	CUC: View & Vision	千葉商科大学経済研究所	図書登録(I/Q3)
51	JICAシニアボランティア千葉	千葉県JICAシニアボランティアの会	黄ファイル
52	JW・Jの会(勉強会)	JW・Jの会	ファイル(Z/W5)
53	市史研究いちかわ	市川市文化スポーツ部文化振興課	図書登録(I/B0)
54	社会的連帯経済	ちば社会的連帯経済研究所	黄ファイル
55	淑徳大学アーカイブズ・ニュース	淑徳大学アーカイブズ	黄ファイル
56	生涯学習研究所だより 聖徳大学生涯学習研究所	聖徳大学生涯学習研究所	黄ファイル
57	昭和学院短期大学紀要	昭和学院短期大学	図書登録(I/Q3)
58	市立いちかわ自然博物館だより	市立市川自然博物館	緑ファイル
59	知るぼると	千葉県金融広報委員会	青ファイル
60	すずがも通信: 認定NPO行徳自然ほごらぶ会報	行徳自然ほごらぶ	緑ファイル
61	聖徳大学生涯学習研究所紀要	聖徳大学	図書登録(C22.8/Q3)
62	生命のにぎわいとつながり: 生物多様性ちばニュースレター	千葉県生物多様性センター	青ファイル
63	清和大学短期大学部紀要	清和大学短期大学部	図書登録(C35.1/Q3)
64	赤十字NOW 千葉	日本赤十字社千葉県支部	黄ファイル
65	袖ヶ浦市史研究	袖ヶ浦市郷土博物館	図書登録(C35.3/B0)

	タイトル	発行機関	配架・分類※
66	たかっぼ通信:大利根 川のフィールドミュージアムレター	千葉県立中央博物館大利根分館	青ファイル
67	ちいき新聞 八幡版	地域新聞船橋支社	BOX(ちいき新聞)
68	ちいき新聞 市川版	地域新聞船橋支社	BOX(ちいき新聞)
69	知識は旅をする(千葉県立東部図書館だより)	千葉県立東部図書館	青ファイル
70	ちば:教育と文化	千葉県教育文化研究センター	図書登録(C10/Q0)
71	千葉教育	千葉県総合教育センター	図書登録(C10/Q0)
72	ちば経済季報	千葉経済センター	図書登録(C10/K0)
73	千葉県環境研究センター・環境だより	千葉県環境研究センター	青ファイル
74	千葉県議会時報	千葉県議会事務局	図書登録(C10/H5)
75	ちば県議会だより	千葉県議会	BOX(ちば県議会だより)
76	千葉県財政事情	千葉県総務部財政課	ファイル(C10/G2)
77	千葉県職員措置請求の監査結果の公表	千葉県監査委員	ファイル(C10/F7)
78	千葉県新聞組合市川支部だより	千葉県新聞組合市川支部	黄ファイル
79	ちば県民だより	千葉県総合企画部	BOX(ちば県民だより)
80	千葉県立中央博物館自然誌研究報告	千葉県立中央博物館	図書登録(C10/R3)
81	ちば市史編さんだより	千葉市立郷土博物館	ピンクファイル
82	千葉生物誌	千葉県生物学会	図書登録(C10/U6)
83	ちばの統計	千葉県総合企画部統計課	ファイル(C10/M1)
84	千葉文化(千葉県立中央図書館報)	千葉県立中央図書館	青ファイル
85	CHI~BA Magazine チーマガ	サンケイ・アド・インクワイアリ	図書登録(C10/A5)
86	ちばまなびの森:千葉市生涯学習情報誌	千葉市生涯学習センター	ピンクファイル
87	千防協NEWS	千葉県建設防水工事業協同組合	黄ファイル
88	中央学院大学社会システム研究所紀要	中央学院大学社会システム研究所	図書登録(C22.1/Q3)
89	中央学院大学商経論叢	中央学院大学商学部	図書登録(C22.1/Q3)
90	中央学院大学人間・自然論叢	中央学院大学商学部・法学部・現代教養学部	図書登録(C22.1/Q3)
91	定年時代:千葉版	朝日新聞編集センター	BOX(定年時代)
92	とかがね(東金市文化団体協議会会報)	東金市教育委員会生涯学習課文化学習振興係	ピンクファイル
93	図書館だよりぼーれぼーれ	千葉県立保健医療大学図書館	青ファイル
94	利根川文化研究	利根川文化研究会	図書登録(C20.05/B0)
95	友の会のお知らせ/市川博物館友の会	市川博物館友の会	緑ファイル
96	なかやま	中山法華経寺	黄ファイル
97	流山市史研究	流山市教育委員会	図書登録(C22.5/B0)
98	なのほな通信	アイビ二千葉	BOX(なのほな通信)
99	成田山仏教研究所紀要	成田山仏教研究所	図書登録(C23.2/X2)
100	成田市史研究	成田市教育委員会	図書登録(C23.2/B0)
101	NEWS LETTER 中央学院大学社会システム研究所	中央学院大学システム研究所	黄ファイル
102	Net Work通信	千葉市図書館情報ネットワーク協議会	ピンクファイル
103	野田市史研究	野田市	図書登録(C22.6/B0)
104	干潟を守る	千葉の干潟を守る会	ファイル(I/T0)
105	ひまわり倶楽部	ちばぎん総合研究所	BOX(ひまわり倶楽部)
106	FIL通信	市川市図書館友の会	緑ファイル
107	フォルオ 和洋女子大学司書課程・司書教諭課程年報	和洋女子大学司書課程・司書教諭課程	図書登録(I/Q3)
108	福祉ちば	千葉県社会福祉協議会	青ファイル
109	ふみくら	千葉市文庫連絡協議会	黄ファイル
110	ふれあい毎日	東葛毎日新聞社	BOX(ふれあい毎日)
111	房総の文化財	千葉県教育振興財団	青ファイル
112	ほくそう	北総鉄道	BOX(ほくそう)
113	Hokso Smile ほくそうまいる	北総鉄道	BOX(ほくそう)
114	楨:文学同人誌	文学グループ楨の会	図書登録(C34.1/W0)
115	真木(千葉県俳句作家協会会報)	千葉県俳句作家協会事務局	青ファイル
116	松戸史談	松戸史談会	図書登録(C22.8/A6)
117	松戸市立博物館紀要	松戸市立博物館	図書登録(C22.8/R3)
118	ミーティアムガイド:市川市公民館講座情報紙	市川市教育委員会社会教育課	BOX(ミーティアムガイド)
119	みどりのふぉーらむ:市川緑の市民フォーラム会報	市川緑の市民フォーラム	黄ファイル
120	ミュージアムレター(市川市文学ミュージアム)	市川市文学ミュージアム	緑ファイル
121	みる かたる つくる.千葉県立美術館報	千葉県立美術館	青ファイル
122	Mille feuilles(ちば文化だよりミルフィーユ)	千葉県文化振興財団	青ファイル
123	ミレニアム	千葉県医師会	BOX(ミレニアム)
124	UNESCOいちかわ	市川市ユネスコ協会	黄ファイル
125	ようちえんのひろば:市川市私立幼稚園協会広報	市川市私立幼稚園協会	黄ファイル
126	読売地域防犯ニュース	読売新聞	黄ファイル
127	LOUNGE ラウンジ	千葉銀行広報室	BOX(LOUNGE)
128	LINK:千葉学園広報誌	千葉学園	BOX(LINK)
129	例月出納検査結果報告	市川市監査委員	ファイル(I/F7)
130	REKIHAKU	人間文化研究機構国立歴史民俗博物館	図書登録(C23.1/R3)

※ 配架・分類欄の色は分類しているファイルの色を示す。(緑:市川市 青:千葉県 ピンク:県内他市町村 黄:団体・民間施設)

(4) 新聞ほか一覧

令和7年4月1日現在

ミ	タイトル	中央	平田	行徳	信篤	南行徳	駅南
アサ	Asahi Weekly[英語]	○					
アサ	朝日新聞	◎	○	◎	○	○	○
アサ	朝日中高生新聞	○					
オヤ	おやばと(寄贈) ~令和6年6月	○					
カン	官報	⑤		⑤			
キャ	Campus Scope(寄贈)	○					
コウ	公明新聞	○					
サン	産経新聞	○		○			
サン	サンケイスポーツ			○			
シャ	社会新報	○					
シャ	The Japan Times[英語]	○		○			
シャ	JAXA's(寄贈)	○					
シュ	週刊読書人	○					
シュ	自由民主(寄贈)	○					
シン	新婦人しんぶん(寄贈) 令和7年1月~	○					
シン	しんぶん赤旗	○					
シン	人民日報 海外版[中国語]	○					
スポ	スポーツニッポン	○					
セイ	政府刊行物新聞(寄贈)	○					
チハ	千葉県報(寄贈)~令和7年3月	⑤		①	①	①	①
チハ	千葉日報	◎		○			○
テン	点字毎日	○					
トウ	東亜日報 日本版[韓国語]	○					
トウ	東京新聞	○		○			
ニッ	日刊工業新聞	○					
ニッ	日刊スポーツ	○	○	○	○	○	
ニッ	日経ヴェリタス ~令和7年3月	○					○
ニッ	日経MJ(流通新聞)	○					
ニホ	日本経済新聞	◎	○	○	○	○	○
ニュ	The New York Times[英語]	○		○			
フク	福島民報(寄贈)	○					○
フク	福島民友(寄贈)	○					○
マイ	毎日小学生新聞	○					
マイ	毎日新聞	◎		○			
ヨミ	読売新聞	◎	○	○	○	○	○
リツ	立憲民主(寄贈)	○					

注1: 所蔵館名欄 ◎縮刷版あり ○所蔵あり ①1年保存 ⑤5年保存

注2: 網掛けはタイトル変更、休刊、購入中止等になったもの。

保存状況

新聞原紙

中央(原則として1年)

平田・行徳・信篤・南行徳(6ヶ月)、駅南(3ヶ月)

※朝日、読売、毎日新聞の地方版のみ新聞原紙

中央: 平成22年1月~所蔵

「萬朝報」明治25年11月~大正9年12月

「日本」明治22年2月~明治39年6月

「朝日新聞縮刷版」

「朝日新聞縮刷版復刻版」

中央: 明治21年7月~

以下、欠号

昭和13年1~2月、昭和14年9月

昭和15年5月、昭和17年2月

昭和27年11月、昭和29年4月

昭和30年12月

昭和31年3月、5~12月

昭和34年11月、昭和35年11月

昭和39年10月

昭和41年8月、昭和45年11月

昭和49年6月、8月

昭和50年2月

行徳: 昭和57年3月~

「読売新聞縮刷版」

昭和33年9月~

欠号: 昭和41年8月

「読売新聞縮刷版復刻版」

昭和20年1月~昭和23年12月

「毎日新聞縮刷版」

昭和32年11月~12月

昭和56年3月~昭和59年12月

平成20年1月~

「日本経済新聞縮刷版」

昭和52年1月~昭和54年12月

昭和55年4月~

「千葉日報縮刷版」(平成16年4月~CD-ROM化)

昭和52年4月~平成16年3月

以下欠号

昭和60年7月、61年7月、62年7月

昭和63年7月、平成元年7月

「千葉日報製本版」

平成16年4月~12月

「千葉日報原紙」

平成17年1月~

マイクロフィルム * 現在閲覧休止

「千葉日報」昭和32年~平成7年

「市川市民新聞」昭和27年~昭和42年

「京葉新聞」昭和43年~平成13年

「京葉子ども新聞」昭和40年~昭和56年

資料編 目次

13. 関連法規（条例・規則等）

○ 市川市立図書館の設置及び管理に関する条例	… 89
○ 市川市立図書館の設置及び管理に関する条例施行規則	… 93
○ 市川市生涯学習センターの設置及び管理に関する条例	… 96
○ 市川市中央図書館の管理に関する規則	…103
○ 市川市生涯学習センター自動車駐車場管理規則	…106
○ 市川市立図書館の蔵書の構築に関する指針	…107
○ 図書館法	…110
○ 子どもの読書活動の推進に関する法律	…113

14. 計画

(1) 市川市教育振興基本計画 ※図書館記載部分抜粋	…115
(2) 市川市立図書館運営基本計画	…119
(3) 令和5年度 市川市立図書館評価報告書	…137
「市川市立図書館運営基本計画」に基づく図書館評価結果	…138
(4) 市川市子どもの読書活動推進計画第二次（令和5～7年度）	…144
※第2章までと施策体系図を抜粋	

15. アンケート・市民要望

(1) 令和6年度市川市立図書館アンケート（eモニ）	…153
図書館の利用や子どもの読書活動の推進に関するアンケート報告書	
(2) 令和6年度市川市立図書館来館者アンケート報告書	…157
(3) 市民要望	…167

13. 関連法規（条例・規則等）

○市川市立図書館の設置及び管理に関する条例

平成20年12月12日 条例第39号

改正 平成23年12月7日 条例第45号

市川市立図書館設置条例（昭和39年条例第47号）の全部を改正する。

（設置）

第1条 本市は、図書、記録その他必要な資料を収集し、整理し、保存して、一般公衆の利用に供し、その教養、調査研究、レクリエーション等に資するため、図書館法（昭和25年法律第118号。以下「法」という。）第10条の規定に基づき、図書館を設置する。

（名称及び位置等）

第2条 図書館の名称及び位置は、次の表のとおりとする。

名称	位置
市川市行徳図書館	市川市末広1丁目1番31号
市川市信篤図書館	市川市高谷1丁目8番1号
市川市南行徳図書館	市川市相之川1丁目2番4号
市川市市川駅南口図書館	市川市市川南1丁目10番1号

2 前項に定めるもののほか、本市に市川市生涯学習センターの設置及び管理に関する条例（平成6年条例第22号。以下「生涯学習センター条例」という。）に基づき、市川市中央図書館を設置する。

（平23条例45・一部改正）

（事業）

第3条 図書館においては、法第3条各号に掲げる事項を実施する。

（館外貸出しを受けられるもの）

第4条 法第3条第1号に規定する図書館資料（以下「図書館資料」という。）の館外貸出し（以下「館外貸出し」という。）を受けられるものは、本市に住所を有し、勤務し、又は通学する者及びこれらの者で構成される団体であって読書会等を主催するものとする。ただし、教育委員会が適当と認めるものは、この限りでない。

（館外貸出しの登録）

第5条 館外貸出しを受けようとするものは、あらかじめ教育委員会の登録を受けなければならない。ただし、生涯学習センター条例第10条第1項本文の登録を受けているものは、この限りでない。

2 前項本文の登録（以下「登録」という。）の有効期間は、次の各号に掲げるものの区分に応じ、当該各号に定めるとおりとする。

- (1) 個人 登録の日から起算して3年
- (2) 団体 登録の日からその日の属する年度の末日まで

3 有効期間の満了後、引き続き館外貸出しを受けようとするものは、教育委員会規則で定めるところにより、教育委員会に登録の更新の申請をしなければならない。

4 前項の登録の更新がされたときは、その登録の有効期間は、次の各号に掲げるものの区分に応じ、当該各号に定めるとおりとする。

- (1) 個人 従前の登録の有効期間の満了の日の翌日から起算して3年
- (2) 団体 従前の登録の有効期間の満了の日の翌日から起算して1年

（平23条例45・一部改正）

（登録の申請等）

第6条 登録を受けようとするものは、教育委員会規則で定めるところにより、教育委員会に登録の申請をしなければならない。

2 教育委員会は、前項の規定による申請をしたものが第4条に規定するものであるときは、その登録をするものとする。

3 教育委員会は、登録をしたときは、第1項の規定による申請をしたものに対し、図書館利用券を交付するものとする。ただし、その者が市川市住民基本台帳カードの利用に関する条例（平成16年条例第37号）第4条第3項又は第4項の規定により同条例第2条第2項に規定する多目的サービスに係る情報の記録がされた住民基本台帳カード（第9条第1項において「館外貸出対応住基カード」という。）の返還を受ける者であるときは、この限りでない。

4 図書館利用券の交付を受けたものは、当該図書館利用券を壊し、汚し、又は失ったときは、教育委員会規則で定めるところにより、教育委員会に申請して、その再交付を受けることができる。

5 図書館利用券は、他に譲渡し、又は転貸してはならない。

（変更の届出）

第7条 登録を受けたものは、前条第1項の規定による申請をした事項に変更があったときは、速やかに、その旨を教育委員会に届け出なければならない。

（登録の取消し）

第8条 教育委員会は、登録を受けたものが次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、その登録を取り消すことができる。

(1) 第4条に規定するものでなくなったとき。

(2) 不正の手段により登録（第5条第3項の登録の更新を含む。）を受けたとき。

（館外貸出しの承認等）

第9条 館外貸出しを受けようとするものは、図書館利用券（生涯学習センター条例第11条第3項本文の規定により交付されている図書館利用券を含む。）又は館外貸出対応住基カードを提示して、教育委員会の承認を受けなければならない。

2 教育委員会は、館外貸出しを受けようとするものが次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、前項の承認をしないことができる。

(1) 図書館資料を壊し、汚し、又は失わせるおそれがあるとき。

(2) 次条に規定する期間を経過してもなお館外貸出しを受けた図書館資料を返還しないとき。

(3) 生涯学習センター条例第14条第2項第2号に該当するとき。

（平23条例45・一部改正）

（館外貸出しを受けることができる図書館資料等）

第10条 館外貸出しを受けることができる図書館資料及びその数量並びに期間は、次の表のとおりとする。ただし、教育委員会が必要と認めるときは、これらを変更することができる。

区分	館外貸出しを受けることができる図書館資料	館外貸出しを受けることができる図書館資料の数量（現に館外貸出しを受けている図書館資料及び生涯学習センター条例に基づく館外貸出しを受けている図書館資料の数量を含む。）	館外貸出しを受けることができる期間
個人	図書	20	前条第1項の承認を受けた日から起算して15日
	コンパクトディスク	3	
	ビデオテープ	2	
	ビデオディスク	1	
団体	図書	無制限	前条第1項の承認を受けた日から起算して31日
	コンパクトディスク	3	前条第1項の承認を受けた日から起算して15日

（平23条例45・一部改正）

（館外貸出しの制限）

第11条 図書館資料のうち貴重図書その他教育委員会が指定するものは、館外貸出しは行わない。

2 館外貸出しを受けた図書館資料は、他に譲渡し、又は転貸してはならない。

（開館時間）

第12条 図書館の開館時間は、次の表の左欄に掲げる図書館の区分に応じ、同表の右欄に定めるとおりとする。ただし、教育委員会が必要と認めるときは、これを変更することができる。

区分	開館時間
市川市行徳図書館	午前10時から午後7時30分（日曜日、土曜日及び国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号。以下「祝日法」という。）に規定する休日にあつては、午後5時）まで
市川市信篤図書館及び市川市南行徳図書館	午前9時30分から午後5時まで
市川市市川駅南口図書館	午前9時30分から午後9時（日曜日、土曜日及び祝日法に規定する休日にあつては、午後6時）まで

（休館日）

第13条 図書館の休館日は、次の表の左欄に掲げる図書館の区分に応じ、同表の右欄に定めるとおりとする。ただし、教育委員会が必要と認めるときは、これを変更し、又は臨時に休館日を設けることができる。

区分	休館日
市川市行徳図書館及び市川市市川駅南口図書館	1 月曜日（その日が祝日法に規定する休日に当たるときは、その日後においてその日に最も近い祝日法に規定する休日以外の日） 2 毎月末日（その日が1に掲げる日、日曜日、土曜日又は祝日法に規定する休日に当たるときは、その日前においてその日に最も近い1に掲げる日、日曜日、土曜日及び祝日法に規定する休日以外の日） 3 1月1日から同月4日まで 4 12月28日から同月31日まで
市川市信篤図書館及び市川市南行徳図書館	1 月曜日 2 祝日法に規定する休日（その日が月曜日に当たるときは、その翌日） 3 毎月末日（その日が1若しくは2に掲げる日、日曜日又は土曜日に当たるときは、その日前においてその日に最も近い1及び2に掲げる日、日曜日並びに土曜日以外の日） 4 1月2日から同月4日まで 5 12月28日から同月31日まで

（入館の制限等）

第14条 教育委員会は、次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、図書館を利用するもの（第1号及び第2号において「利用者」という。）に対し、入館を禁じ、又は退館を命ずることができる。

- (1) 利用者が公の秩序又は善良の風俗を害するおそれがあるとき。
- (2) 利用者が図書館の施設、附属設備又は図書館資料（以下「施設等」という。）を壊し、汚し、又は失わせるおそれがあるとき。
- (3) その他図書館の管理運営上支障を生ずるおそれがあるとき。

（損害賠償）

第15条 施設等を壊し、汚し、又は失わせたものは、速やかに、原状に回復し、又はその損害を賠償しなければならない。ただし、市長がやむを得ない事情があると認めるときは、この限りでない。

（指定管理者による管理）

第16条 教育委員会は、市川市市川駅南口図書館の管理を指定管理者（地方自治法（昭和22年法律第67号）第244条の2第3項に規定する指定管理者をいう。以下同じ。）に行わせるものとする。

2 指定管理者が行う業務の範囲は、次のとおりとする。

- (1) 法第3条各号（第5号を除く。）に掲げる事項を行うこと。
- (2) 図書館利用券を交付し、及び再交付すること。
- (3) 館外貸出しの承認を行うこと。
- (4) 入館を禁じ、及び退館を命ずること。
- (5) 施設等の維持管理（軽微なものに限る。）を行うこと。
- (6) その他前各号に掲げる業務を行うに当たり必要な行為をすること。

3 指定管理者が行う市川市市川駅南口図書館の管理の基準は、市川市公の施設の指定管理者の指定の手続等に関する条例（平成16年条例第2号）に定めるもののほか、第4条、第6条第3項及び第4項並びに第9条から第14条までに定めるところによる。この場合において、これらの規定の適用については、第4条ただし書中「教育委員会」とあるのは「指定管理者」と、第6条第3項本文中「教育委員会は、登録」とあるのは「指定管理者は、教育委員会が登録」と、同条第4項中「教育委員会に」とあるのは「指定管理者に」と、第9条及び第10条ただし書中「教育委員会」とあるのは「指定管理者」と、第12条ただし書及び第13条ただし書中「教育委員会が必要と認める」とあるのは「指定管理者が教育委員会の承認を得た」と、第14条中「教育委員会」とあるのは「指定管理者」とする。

（委任）

第17条 この条例の施行に関し必要な事項は、教育委員会規則で定める。

附 則

（施行期日）

1 この条例は、平成21年4月1日から施行する。ただし、改正後の市川市立図書館の設置及び管理に関する条例（以下「新条例」という。）第2条第1項、第12条及び第13条の規定（市川市市川駅南口図書館に係る部分に限る。）並びに第16条の規定は、同月30日から施行する。

（経過措置）

2 この条例の施行の際現に改正前の市川市立図書館設置条例（次項において「旧条例」という。）に基づく教育委員会規則の規定により図書館利用券の交付を受けているものは、この条例の施行の日において、新条例第5条第1項本文の登録を受けたものとみなす。この場合において、当該登録の有効期間は、同条第2項の規定にかかわらず、教育委員会が別に定める。

3 この条例の施行の際現に旧条例に基づく教育委員会規則の規定により交付されている図書館利用券は、新条例第6条第3項本文の規定により交付された図書館利用券とみなす。

附 則（平成23年12月7日条例第45号）

（施行期日）

1 この条例は、平成24年4月1日から施行する。

（経過措置）

2 この条例の施行の際現に第1条の規定による改正前の市川市生涯学習センターの設置及び管理に関する条例又は第2条の規定による改正前の市川市立図書館の設置及び管理に関する条例に基づき20以上の数量の図書の館外貸出しを受けている個人は、その数量が20未満となるまでの間は、新たに第1条の規定による改正後の市川市生涯学習センターの設置及び管理に関する条例及び第2条の規定による改正後の市川市立図書館の設置及び管理に関する条例に基づく図書の館外貸出しを受けることができない。

〇市川市立図書館の設置及び管理に関する条例施行規則

平成21年3月31日 教育委員会規則第6号
改正 平成23年3月25日 教委規則第2号
平成24年3月14日 教委規則第2号
平成28年3月31日 教委規則第5号
令和6年11月13日 教委規則第9号

市川市立図書館規則（平成6年教育委員会規則第11号）の全部を改正する。

（趣旨）

第1条 この規則は、市川市立図書館の設置及び管理に関する条例（平成20年条例第39号。以下「条例」という。）の施行に関し必要な事項を定めるものとする。

（運営状況の評価等）

第1条の2 教育委員会は、図書館の運営の改善を図るため、その運営の状況について評価を行い、これを公開するものとする。

（平24教委規則2・追加）

（蔵書の構築）

第2条 教育委員会は、図書館の蔵書の構築に関する指針を定め、これに基づき当該蔵書の構築を行うものとする。

2 教育委員会は、市民等から資料の寄贈又は寄託の申出があったときは、前項の指針に適合するか否かを調査し、適合すると認めるときは、当該資料を図書館資料として収蔵することができる。

3 教育委員会は、公の刊行物その他の資料を収集するため、国、県、県内の市町村その他の団体に当該資料の提供を依頼するものとする。

（平24教委規則2・一部改正）

（館内利用）

第2条の2 教育委員会は、図書館の適正な利用環境を維持するため、館内の利用方法を定める等の必要な措置を講ずるものとする。

2 図書館を利用するものは、前項の規定により講じられた措置に基づき、図書館資料を閲覧し、又は視聴するものとする。

（平24教委規則2・追加）

（レファレンスサービス）

第3条 教育委員会は、図書館を利用するものに対し、レファレンスサービス（そのものの求めに応じ、図書館資料及び情報の提供、紹介等を行うことをいう。次項において同じ。）を提供するものとする。

2 前項の規定にかかわらず、教育委員会は、レファレンスサービスに係る事項が次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、レファレンスサービスを提供しないものとする。

- (1) 法令等の規定により公表を禁じられている事項
- (2) 古文書、美術品等の鑑定及び価格に関する事項
- (3) 身上、医療又は法律の相談に関する事項
- (4) 学習課題、卒業論文その他これらに類する事項
- (5) その他教育委員会がレファレンスサービスの提供を不相当と認める事項

3 教育委員会は、レファレンスサービスを提供するために必要があると認めるときは、公立図書館等にレファレンスサービスに係る情報の提供を依頼するものとする。

4 教育委員会は、公立図書館等からレファレンスサービスに係る情報の提供の依頼を受けたときは、図書館が保有する情報を提供することができる。ただし、当該依頼に係る情報が第2項各号のいずれかに該当すると認めるときは、この限りでない。

（平24教委規則2・一部改正）

（登録の申請等）

第4条 条例第6条第1項の規定による登録の申請は、次に掲げるものの区分に応じ、当該各号に掲げる書類を教育委員会に提出して行うものとする。

- (1) 個人 市川市立図書館館外貸出個人登録・更新申請書（様式第1号）

- (2) 団体 市川市立図書館館外貸出団体登録・更新申請書（様式第2号）及び団体構成員名簿（様式第3号）
- 2 前項の場合において、当該申請をするもの（団体にあつては、その代表者）は、運転免許証その他の住所及び氏名を確認するため教育委員会が適当と認める書類（本市に勤務し、又は通学する者にあつては、当該書類及び身分証明書、学生証その他の本市に勤務し、又は通学する者であることを確認するため教育委員会が適当と認める書類）を提示しなければならない。
- 3 前2項の規定は、条例第5条第3項の規定による登録の更新の申請について準用する。この場合において、第1項中「条例第6条第1項の規定による登録」とあるのは「条例第5条第3項の規定による登録の更新」と、「書類」とあるのは「書類及び図書館利用券又は条例第6条第3項ただし書に規定する館外貸出対応住基カード」と読み替えるものとする。
- 4 前項の規定により読み替えて適用される第1項の書類及び図書館利用券又は条例第6条第3項ただし書に規定する館外貸出対応住基カードの提出期間は、条例第5条第2項の登録の有効期間の満了する日の前日の1月前の日から当該登録の有効期間の満了する日までとする。ただし、教育委員会が必要と認めるときは、この限りでない。

（平23教委規則2・一部改正）

（登録の実施）

第5条 条例第6条第2項の規定による登録は、市川市立図書館館外貸出登録簿（様式第4号）に次に掲げる事項を記載することにより行うものとする。

- (1) 住所及び氏名（団体にあつては、その名称及び代表者の氏名）
- (2) 登録年月日及び登録番号

（図書館利用券）

第6条 条例第6条第3項本文に規定する図書館利用券は、図書館利用券（様式第5号）とする。

（図書館利用券の再交付の申請）

第7条 条例第6条第4項の規定による図書館利用券の再交付の申請は、次に掲げるものの区分に応じ、当該各号に掲げる申請書を教育委員会に提出して行うものとする。この場合において、第4条第2項の規定は、当該申請について準用する。

- (1) 個人 市川市立図書館利用券再交付申請書（個人用）（様式第6号）
- (2) 団体 市川市立図書館利用券再交付申請書（団体用）（様式第7号）

（変更の届出）

第8条 条例第7条の規定による登録の申請事項の変更の届出は、次に掲げるものの区分に応じ、当該各号に掲げる届出書を教育委員会に提出して行うものとする。この場合において、当該届出書を提出するものは、当該変更を証する書類を当該職員に提示しなければならない。

- (1) 個人 市川市立図書館館外貸出個人登録申請事項変更届出書（様式第8号）
- (2) 団体 市川市立図書館館外貸出団体登録申請事項変更届出書（様式第9号）

（図書館資料の貸出しの予約等）

第9条 条例第6条第3項本文に規定する図書館利用券又は同項ただし書に規定する館外貸出対応住基カードの交付を受けたもの（本市に住所を有し、勤務し、又は通学する者及びこれらの者で構成される団体であつて読書会等を主催するものに限る。）は、貸出しを希望する図書館資料について、教育委員会に対し、当該図書館資料の貸出しの予約、他の市川市立図書館からの取寄せの申出等を行うことができる。

2 教育委員会は、前項の規定による予約、申出等を受けた場合において、公立図書館等に当該図書館資料（コンパクトディスクその他の視聴覚資料を除く。）が所蔵されていることを確認したときは、当該公立図書館等に対し、当該図書館資料の借受けを申し出ることができる。

（平24教委規則2・追加）

（図書館資料の複製等）

第10条 教育委員会は、著作権法（昭和45年法律第48号）第31条の規定に基づき、図書館資料の複製を行うものとする。

- 2 図書館資料の複製を依頼しようとするものは、市川市立図書館資料複製申込書（様式第10号）を教育委員会に提出しなければならない。
- 3 教育委員会は、図書館資料の複製を行うことにより当該図書館資料が壊れ、又は汚れるおそれがあると認めるときは、前項の規定による依頼を拒否することができる。

4 第2項の規定による依頼に基づき行う図書館資料の複製に要する費用は、当該依頼をしたものの負担とする。

(平24教委規則2・旧第9条繰下)

(障害者サービス)

第11条 条例第6条第2項の規定による登録を受けた者のうち、身体障害、高齢、傷病等により図書館を利用することが困難な者に対する図書館資料の貸出し等に関し必要な事項は、教育委員会が別に定める。

(平24教委規則2・追加)

(指定管理者による管理)

第12条 指定管理者が市川市市川駅南口図書館の管理を行う場合におけるこの規則の規定の適用については、第2条の2、第3条、第7条、第9条及び第10条第1項から第3項までの規定中「教育委員会」とあるのは、「指定管理者」とする。

(平24教委規則2・旧第10条繰下・一部改正)

(補則)

第13条 この規則に定めるもののほか、市川市立図書館の管理に関し必要な事項は、教育委員会が別に定める。

(平24教委規則2・追加)

附 則 (平成28年3月31日教育委員会規則第5号)

(施行期日)

1 この規則は、平成28年4月1日から施行する。

(経過措置)

2 この規則の施行の際現に交付されている第1条の規定による改正前の市川市中央図書館の管理に関する規則様式第5号による図書館利用券及び第2条の規定による改正前の市川市立図書館の設置及び管理に関する条例施行規則様式第5号による図書館利用券は、それぞれ第1条の規定による改正後の市川市中央図書館の管理に関する規則様式第5号による図書館利用券及び第2条の規定による改正後の市川市立図書館の設置及び管理に関する条例施行規則様式第5号による図書館利用券とみなして使用することができる。

〇市川市生涯学習センターの設置及び管理に関する条例

	平成6年9月28日	条例第22号
改正	平成15年6月25日	条例第42号
	平成17年9月22日	条例第38号
	平成19年12月20日	条例第44号
	平成20年12月12日	条例第40号
	平成23年12月7日	条例第45号
	平成25年3月25日	条例第20号
	平成28年9月28日	条例第40号

(設置)

第1条 本市は、市民が生涯にわたって学習する機会を広く提供することにより、市民の生涯学習の振興及び普及を図るため、生涯学習センターを設置する。

(名称及び位置)

第2条 生涯学習センターの名称及び位置は、次のとおりとする。

名称 市川市生涯学習センター

位置 市川市鬼高1丁目1番4号

(事業)

第3条 生涯学習センターは、次に掲げる事業を行う。

- (1) 生涯学習情報の提供に関すること。
- (2) 生涯学習支援体制の整備充実に関すること。
- (3) 生涯学習のための指導者及び助言者の養成及び研修に関すること。
- (4) その他生涯学習の振興及び普及を図るために必要な事項に関すること。

(施設等)

第4条 前条の事業を行うため、生涯学習センターに次の表の左欄に掲げる施設を置き、各施設の主な業務は、同表の右欄に定めるとおりとする。

施設名	業務
市川市中央図書館	図書館法（昭和25年法律第118号）第3条各号に掲げる事項に関すること。
市川市文学ミュージアム	<ol style="list-style-type: none"> (1) 文学、映像等に関する資料の収集、保管、展示及び利用に関すること。 (2) 文学、映像等の調査研究に関すること。 (3) 文学、映像等に係る講座、講演会等の開催に関すること。 (4) 施設及び附属設備の利用に関すること。
市川市教育センター	<ol style="list-style-type: none"> (1) 教育課程の調査研究に関すること。 (2) 教育関係職員の研修に関すること。 (3) 教育関係資料及び情報の収集、作成及び提供に関すること。 (4) 教育相談に関すること。
市川市中央こども館	<ol style="list-style-type: none"> (1) 児童の健全な遊びの指導に関すること。 (2) 児童の健康増進の指導に関すること。 (3) 児童の生活相談に関すること。 (4) 子育てを支援するものと児童との交流を図ることその他児童の健全な育成に関すること。 (5) 児童厚生員及び遊びの指導者等の養成に関すること。

2 市川市文学ミュージアム（以下「文学ミュージアム」という。）は、次に掲げるもので構成する。

- (1) 通常展示フロア
- (2) 企画展示室
- (3) グリーンスタジオ（控室を含む。）
- (4) ベルホール
- (5) 文学研修室

- (6) 映像メディア編集室
- (7) アナウンスブース
- (8) 音楽スタジオ
- (9) 資料室

3 市川市教育センター（以下「教育センター」という。）に所長その他の必要な職員を置く。

（平17条例38・平20条例40・平25条例20・一部改正）

（運営）

第5条 生涯学習センターは、生涯学習センターを構成する各施設相互の連携を図ることにより、生涯学習に関する総合施設として有機的に運営されなければならない。

（使用することができるもの）

第6条 市川市中央こども館（以下「中央こども館」という。）を使用することができるものは、本市に住所を有する18歳未満の者及びその保護者並びにこれらの者で構成される団体とする。ただし、市長が適当と認めるものは、この限りでない。

（平17条例38・平20条例40・平25条例20・平28条例40・一部改正）

（使用の許可等）

第7条 文学ミュージアム（第4条第2項第2号から第8号までに掲げるものに限る。以下この条、次条第1項、第20条及び第21条第1項において同じ。）を使用しようとするものは、市長の許可を受けなければならない。

2 市長は、次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、前項の許可をしないことができる。

- (1) 文学ミュージアムを使用しようとするものが公の秩序又は善良の風俗を害するおそれがあるとき。
- (2) 文学ミュージアムを使用しようとするものがその施設、附属設備等を壊し、汚し、又は失わせるおそれがあるとき。
- (3) 文学ミュージアムを使用しようとするものが営利を目的として使用するおそれがあるとき。
- (4) 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第2条第2号に規定する暴力団（第21条第1項第6号において「暴力団」という。）の利益になるとき。
- (5) その他文学ミュージアムの管理運営上支障を生ずるおそれがあるとき。

3 中央こども館を使用しようとするものは、規則で定める名簿に住所、氏名その他規則で定める事項を記入しなければならない。

4 市長は、次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、中央こども館を使用させないことができる。

- (1) 中央こども館を使用しようとするものがその事業に係る目的に適合しない目的で中央こども館を使用しようとするとき。
- (2) 中央こども館を使用しようとするものが前条第2項に規定するものに該当しないとき。
- (3) 中央こども館を使用しようとするものが公の秩序又は善良の風俗を害するおそれがあるとき。
- (4) 中央こども館を使用しようとするものがその施設、附属設備等を壊し、汚し、又は失わせるおそれがあるとき。
- (5) その他中央こども館の管理運営上支障を生ずるおそれがあるとき。

5 市長は、文学ミュージアムの管理運営上必要があると認めるときは、第1項の許可について条件を付けることができる。

（平17条例38・全改、平19条例44・平20条例40・平25条例20・平28条例40・一部改正）

（使用料）

第8条 前条第1項の許可を受け、文学ミュージアムを使用するもの及び市が行う特別の企画による展示を観覧する者は、市川市使用料条例（平成11年条例第39号）に定める使用料を納めなければならない。

2 中央こども館の使用料は、無料とする。

3 生涯学習センターの自動車駐車場（以下「駐車場」という。）を使用するものは、市川市使用料条例に定める使用料を納めなければならない。ただし、次に掲げる自動車を駐車する場合については、この限りでない。

- (1) 道路交通法（昭和35年法律第105号）第39条第1項に規定する緊急自動車
- (2) 身体障害者、知的障害者又は精神障害者が乗車している自動車
- (3) 市が主催する講座、講演会、研修会等において講師を務める者が乗車している自動車
- (4) 市川市中央図書館（以下「中央図書館」という。）、中央こども館等においてボランティア活動を行う者が乗車している自動車

(5) その他使用料を徴収する必要がないものとして市長が特に認める自動車

4 前項の使用料は、自動車が駐車場から出場する際に、駐車場を使用したものから徴収する。

(平15条例42・平20条例40・平25条例20・平28条例40・一部改正)

(館外貸出しを受けることができるもの)

第9条 中央図書館の図書館法第3条第1号に規定する図書館資料(以下「図書館資料」という。)の館外貸出し(以下「館外貸出し」という。)を受けることができるものは、本市に住所を有し、勤務し、又は通学する者及びこれらの者で構成される団体であつて読書会等を主催するものとする。ただし、教育委員会(以下「委員会」という。)が適当と認めるものは、この限りでない。

(平20条例40・追加、平25条例20・一部改正)

(館外貸出しの登録)

第10条 館外貸出しを受けようとするものは、あらかじめ委員会の登録を受けなければならない。ただし、市川市立図書館の設置及び管理に関する条例(平成20年条例第39号。以下「図書館条例」という。)第5条第1項本文の登録を受けているものは、この限りでない。

2 前項本文の登録(以下「登録」という。)の有効期間は、次の各号に掲げるものの区分に応じ、当該各号に定めるとおりとする。

(1) 個人 登録の日から起算して3年

(2) 団体 登録の日からその日の属する年度の末日まで

3 有効期間の満了後、引き続き館外貸出しを受けようとするものは、教育委員会規則で定めるところにより、委員会に登録の更新の申請をしなければならない。

4 前項の登録の更新がされたときは、その登録の有効期間は、次の各号に掲げるものの区分に応じ、当該各号に定めるとおりとする。

(1) 個人 従前の登録の有効期間の満了の日の翌日から起算して3年

(2) 団体 従前の登録の有効期間の満了の日の翌日から起算して1年

(平20条例40・追加、平23条例45・一部改正)

(登録の申請等)

第11条 登録を受けようとするものは、教育委員会規則で定めるところにより、委員会に登録の申請をしなければならない。

2 委員会は、前項の規定による申請をしたものが第9条に規定するものであるときは、その登録をするものとする。

3 委員会は、登録をしたときは、第1項の規定による申請をしたものに対し、図書館利用券を交付するものとする。ただし、その者が市川市住民基本台帳カードの利用に関する条例(平成16年条例第37号)第4条第3項又は第4項の規定により同条例第2条第2項に規定する多目的サービスに係る情報の記録がされた住民基本台帳カード(第14条第1項において「館外貸出対応住基カード」という。)の返還を受ける者であるときは、この限りでない。

4 図書館利用券の交付を受けたものは、当該図書館利用券を壊し、汚し、又は失ったときは、教育委員会規則で定めるところにより、委員会に申請して、その再交付を受けることができる。

5 図書館利用券は、他に譲渡し、又は転貸してはならない。

(平20条例40・追加)

(変更の届出)

第12条 登録を受けたものは、前条第1項の規定による申請をした事項に変更があったときは、速やかに、その旨を委員会に届け出なければならない。

(平20条例40・追加)

(登録の取消し)

第13条 委員会は、登録を受けたものが次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、その登録を取り消すことができる。

(1) 第9条に規定するものでなくなったとき。

(2) 不正の手段により登録(第10条第3項の登録の更新を含む。)を受けたとき。

(平20条例40・追加)

(館外貸出しの承認等)

第14条 館外貸出しを受けようとするものは、図書館利用券（図書館条例第6条第3項本文の規定により交付されている図書館利用券を含む。）又は館外貸出対応住基カードを提示して、委員会の承認を受けなければならない。

2 委員会は、館外貸出しを受けようとするものが次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、前項の承認をしないことができる。

- (1) 図書館資料を壊し、汚し、又は失わせるおそれがあるとき。
- (2) 次条に規定する期間を経過してもなお館外貸出しを受けた図書館資料を返還しないとき。
- (3) 図書館条例第9条第2項第2号に該当するとき。

（平20条例40・追加、平23条例45・一部改正）

（館外貸出しを受けることができる図書館資料等）

第15条 館外貸出しを受けることができる図書館資料及びその数量並びに期間は、次の表のとおりとする。ただし、委員会が必要と認めるときは、これらを変更することができる。

区分	館外貸出しを受けることができる図書館資料	館外貸出しを受けることができる図書館資料の数量（現に館外貸出しを受けている図書館資料及び図書館条例に基づく館外貸出しを受けている図書館資料の数量を含む。）	館外貸出しを受けることができる期間
個人	図書	20	前条第1項の承認を受けた日から起算して15日
	コンパクトディスク	3	
	ビデオテープ	2	
	ビデオディスク	1	
団体	図書	無制限	前条第1項の承認を受けた日から起算して31日
	コンパクトディスク	3	前条第1項の承認を受けた日から起算して15日

（平20条例40・追加、平23条例45・一部改正）

（館外貸出しの制限）

第16条 図書館資料のうち貴重図書その他委員会が指定するものは、館外貸出しは行わない。

2 館外貸出しを受けた図書館資料は、他に譲渡し、又は転貸してはならない。

（平20条例40・追加）

（開館時間）

第17条 生涯学習センターを構成する各施設の開館時間は、次の表の左欄に掲げる施設の区分に応じ、同表の右欄に定めるとおりとする。ただし、委員会（文学ミュージアム及び中央こども館にあっては、市長）が必要と認めるときは、これを変更することができる。

区分	開館時間
中央図書館	午前10時から午後7時30分（日曜日、土曜日及び国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号。以下「祝日法」という。）に規定する休日にあつては、午後6時）まで
文学ミュージアム	午前10時から午後7時30分（日曜日、土曜日及び祝日法に規定する休日にあつては、午後6時）まで。ただし、第4条第2項第9号に掲げるものにあつては、午前10時から午後5時までとする。
教育センター	午前10時から午後5時まで
中央こども館	午前10時から午後6時（日曜日、土曜日及び祝日法に規定する休日にあつては、午後5時）まで

（平20条例40・追加、平25条例20・一部改正）

（休館日）

第18条 生涯学習センターを構成する各施設の休館日は、次の表の左欄に掲げる施設の区分に応じ、同表の右欄に定めるとおりとする。ただし、委員会（文学ミュージアム及び中央こども館にあっては、市長）が必要と認める

ときは、これを変更し、又は臨時に休館日を設けることができる。

区分	休館日
中央図書館、文学ミュージアム及び中央こども館	(1) 月曜日（その日が祝日法に規定する休日に当たるときは、その日後においてその日に最も近い祝日法に規定する休日以外の日） (2) 毎月末日（その日が前号に掲げる日、日曜日、土曜日又は祝日法に規定する休日に当たるときは、その日前においてその日に最も近い前号に掲げる日、日曜日、土曜日及び祝日法に規定する休日以外の日） (3) 1月1日から同月4日まで (4) 12月28日から同月31日まで
教育センター	(1) 月曜日 (2) 祝日法に規定する休日（その日が月曜日に当たるときは、その翌日） (3) 毎月末日（その日が前2号に掲げる日、日曜日又は土曜日に当たるときは、その日前においてその日に最も近い前2号に掲げる日、日曜日及び土曜日以外の日） (4) 1月2日から同月4日まで (5) 12月28日から同月31日まで

(平20条例40・追加、平25条例20・一部改正)

(駐車場の供用日等)

第19条 駐車場の供用日は、前条の規定により生涯学習センターを構成する各施設のすべてが休館する日以外の日とする。

2 駐車場の供用時間は、午前9時45分から午後7時40分（日曜日、土曜日及び祝日法に規定する休日にあつては、午後6時10分）までとする。

3 前2項の規定にかかわらず、市長が必要と認めるときは、これらに規定する駐車場の供用日又は供用時間を変更することができる。

(平20条例40・追加)

(使用権の譲渡等の禁止)

第20条 第7条第1項の許可を受け、文学ミュージアムを使用するものは、その使用する権利を他に譲渡し、又は転貸してはならない。

(平17条例38・一部改正、平20条例40・旧第9条繰下、平25条例20・一部改正)

(使用の停止等)

第21条 市長は、次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、文学ミュージアムの使用を停止し、使用の許可を取り消し、又は退館を命ずることができる。

- (1) 文学ミュージアムを使用するものが公の秩序又は善良の風俗を害するおそれがあるとき。
- (2) 文学ミュージアムを使用するものがその施設、附属設備等を壊し、汚し、又は失わせるおそれがあるとき。
- (3) 文学ミュージアムを使用するものが使用の目的に違反したとき。
- (4) 文学ミュージアムを使用するものが使用の許可に際して付された条件に違反したとき。
- (5) 文学ミュージアムを使用するものがこの条例又はこれに基づく規則に違反したとき。
- (6) 暴力団の利益になるとき。
- (7) その他文学ミュージアムの管理運営上支障があるとき。

2 市長は、次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、中央こども館の使用を停止し、又は退館を命ずることができる。

- (1) 中央こども館を使用するものが公の秩序又は善良の風俗を害するおそれがあるとき。
- (2) 中央こども館を使用するものがその施設、附属設備等を壊し、汚し、又は失わせるおそれがあるとき。
- (3) 中央こども館を使用するものが使用の目的に違反したとき。
- (4) 中央こども館を使用するものが使用の際に指示された事項に違反したとき。
- (5) 中央こども館を使用するものがこの条例又はこれに基づく規則に違反したとき。
- (6) その他中央こども館の管理運営上支障があるとき。

(平15条例42・平17条例38・平19条例44・一部改正、平20条例40・旧第10条繰下・一部改正、平25条例20・一部改正)

(入館の制限等)

第22条 委員会又は市長は、次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、生涯学習センターを利用する者（第1号及び第2号において「利用者」という。）に対し、入館を禁じ、又は退館を命ずることができる。

- (1) 利用者が公の秩序又は善良の風俗を害するおそれがあるとき。
- (2) 利用者が生涯学習センターの施設、附属設備等を壊し、汚し、又は失わせるおそれがあるとき。
- (3) その他生涯学習センターの管理運営上支障を生ずるおそれがあるとき。

(平15条例42・平17条例38・一部改正、平20条例40・旧第11条繰下・一部改正)

(駐車の拒否等)

第23条 市長は、次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、駐車場における自動車の駐車を拒否することができる。

- (1) 駐車しようとする自動車に発火性又は引火性を有する物品その他危険な物品が積載されているとき。
- (2) 駐車しようとする自動車が増設、設備等を壊し、汚し、又は失わせるおそれがあるとき。
- (3) その他駐車場の管理上支障があるとき。

2 駐車場を使用するものは、第19条に規定する駐車場の供用日及び供用時間以外に自動車を駐車してはならない。ただし、市長が適当と認めるものについては、この限りでない。

(平20条例40・追加)

(意見聴取)

第24条 市長は、必要があると認めるときは、第7条第2項第4号又は第21条第1項第6号に該当するかどうかについて、千葉県市川警察署長の意見を聴くことができる。

(平19条例44・追加、平20条例40・旧第12条繰下・一部改正、平25条例20・一部改正)

(損害賠償)

第25条 生涯学習センターの施設、附属設備等を壊し、汚し、又は失わせたものは、速やかに、原状に回復し、又はその損害を賠償しなければならない。ただし、市長がやむを得ない事情があると認めるときは、この限りでない。

(平15条例42・平17条例38・一部改正、平19条例44・旧第12条繰下、平20条例40・旧第13条繰下・一部改正)

(中央図書館の分館の設置等)

第26条 中央図書館の奉仕機能を充実させるため、中央図書館に分館を設置し、その名称及び位置は、次のとおりとする。

名称 市川市中央図書館平田図書室

位置 市川市平田1丁目20番16号

2 市川市中央図書館平田図書室（以下「平田図書室」という。）の開室時間は、午前9時30分から午後5時までとする。ただし、委員会が必要と認めるときは、これを変更することができる。

3 平田図書室の休室日は、次のとおりとする。ただし、委員会が必要と認めるときは、これを変更し、又は臨時に休室日を設けることができる。

- (1) 月曜日
- (2) 祝日法に規定する休日（その日が月曜日に当たるときは、その翌日）
- (3) 毎月末日（その日が前2号に掲げる日、日曜日又は土曜日に当たるときは、その日前においてその日に最も近い前2号に掲げる日、日曜日及び土曜日以外の日）
- (4) 1月2日から同月4日まで
- (5) 12月28日から同月31日まで

4 第22条の規定は平田図書室における入室の制限等について、前条の規定は平田図書室における損害賠償について、それぞれ準用する。この場合において、第22条中「委員会又は市長」とあるのは「委員会」と、「生涯学習センター」とあるのは「市川市中央図書館平田図書室」と、「入館」とあるのは「入室」と、「退館」とあるのは「退室」と、前条中「生涯学習センター」とあるのは「市川市中央図書館平田図書室」と読み替えるものとする。

(平19条例44・旧第13条繰下、平20条例40・旧第14条繰下・一部改正)

(委任)

第27条 この条例の施行に関し必要な事項は、教育委員会規則（文学ミュージアム、中央こども館及び駐車場にあっては、規則）で定める。

(平19条例44・旧第14条繰下、平20条例40・旧第15条繰下・一部改正、平25条例20・一部改正)

附 則 (抄)

(施行期日)

- 1 この条例は、平成6年11月1日から施行する。ただし、附則第4項の規定は、公布の日から施行する。

(市川市教育センター設置条例の廃止)

- 3 市川市教育センター設置条例(昭和36年条例第9号)は、廃止する。

(市川市立中央図書館建設基金の設置、管理及び処分に関する条例の廃止)

- 4 市川市立中央図書館建設基金の設置、管理及び処分に関する条例(昭和63年条例第20号)は、廃止する。

附 則 (平成15年6月25日条例第42号)

この条例は、平成15年10月1日から施行する。

附 則 (平成17年9月22日条例第38号抄)

(施行期日)

- 1 この条例は、平成17年11月15日から施行する。

附 則 (平成19年12月20日条例第44号)

この条例は、公布の日から施行する。

附 則 (平成20年12月12日条例第40号)

(施行期日)

- 1 この条例は、平成21年4月1日から施行する。

(経過措置)

- 2 この条例の施行の際現に改正前の市川市生涯学習センターの設置及び管理に関する条例(次項において「旧条例」という。)に基づく教育委員会規則の規定により図書館利用券の交付を受けているものは、この条例の施行の日において、改正後の第10条第1項本文の登録を受けたものとみなす。この場合において、当該登録の有効期間は、同条第2項の規定にかかわらず、教育委員会が別に定める。

- 3 この条例の施行の際現に旧条例に基づく教育委員会規則の規定により交付されている図書館利用券は、改正後の第11条第3項本文の規定により交付された図書館利用券とみなす。

附 則 (平成23年12月7日条例第45号)

(施行期日)

- 1 この条例は、平成24年4月1日から施行する。

(経過措置)

- 2 この条例の施行の際現に第1条の規定による改正前の市川市生涯学習センターの設置及び管理に関する条例又は第2条の規定による改正前の市川市立図書館の設置及び管理に関する条例に基づき20以上の数量の図書の館外貸出しを受けている個人は、その数量が20未満となるまでの間は、新たに第1条の規定による改正後の市川市生涯学習センターの設置及び管理に関する条例及び第2条の規定による改正後の市川市立図書館の設置及び管理に関する条例に基づく図書の館外貸出しを受けることができない。

附 則 (平成25年3月25日条例第20号)

(施行期日)

- 1 この条例は、公布の日から起算して5月を超えない範囲内において規則で定める日から施行する。(平成25年7月規則第41号で、同25年7月20日から施行)

(経過措置)

- 2 この条例の施行の際現に改正前の第7条第1項の規定により教育委員会から使用の許可を受けているものは、この条例の施行の日において、改正後の第7条第1項の規定により市長から使用の許可を受けたものとみなす。

附 則 (平成28年9月28日条例第40号)

(施行期日)

- 1 この条例は、平成29年4月1日から施行する。ただし、次項の規定は、平成28年10月1日から施行する。

(準備行為)

- 2 平成29年4月1日以降に改正後の第4条第2項第2号に規定する企画展示室、同項第5号に規定する文学研修室、同項第6号に規定する映像メディア編集室、同項第7号に規程するアナウンスブース及び同項8号に規定する音楽スタジオを使用しようとするものに係る使用の許可及びこれに関し必要な手続その他の行為は、この条例の施行前においても、改正後の第7条第1項、第2項及び第5項、第8条第1項、第21条第1項並びに第24条の規定の例により行うことができる。

○市川市中央図書館の管理に関する規則

	平成6年10月18日	教育委員会規則第9号
改正	平成8年2月7日	教委規則第1号
	平成10年6月10日	教委規則第7号
	平成15年8月13日	教委規則第11号
	平成17年2月16日	教委規則第3号
	平成18年3月22日	教委規則第1号
	平成19年10月24日	教委規則第14号
	平成19年12月20日	教委規則第18号
	平成21年3月19日	教委規則第4号
		〔題名改正〕
	平成23年3月25日	教委規則第2号
	平成24年3月14日	教委規則第1号
	平成25年7月12日	教委規則第5号
		〔題名改正〕
	平成28年3月31日	教委規則第5号
	令和6年11月13日	教委規則第9号

(趣旨)

第1条 この規則は、市川市生涯学習センターの設置及び管理に関する条例（平成6年条例第22号。以下「条例」という。）第27条の規定に基づき、市川市中央図書館（分館を含む。以下同じ。）の管理に関し必要な事項を定めるものとする。

(平21教委規則4・平25教委規則5・一部改正)

(運営状況の評価等)

第2条 教育委員会（以下「委員会」という。）は、市川市中央図書館の運営の改善を図るため、その運営の状況について評価を行い、これを公開するものとする。

(平24教委規則1・追加)

(蔵書の構築)

第2条の2 委員会は、市川市中央図書館の蔵書の構築に関する指針を定め、これに基づき当該蔵書の構築を行うものとする。

2 委員会は、市民等から資料の寄贈又は寄託の申出があったときは、前項の指針に適合するか否かを調査し、適合すると認めるときは、当該資料を図書館資料として収蔵することができる。

3 委員会は、公の刊行物その他の資料を収集するため、国、県、県内の市町村その他の団体に当該資料の提供を依頼するものとする。

(平21教委規則4・全改、平24教委規則1・旧第2条繰下・一部改正)

(館内利用)

第2条の3 委員会は、市川市中央図書館の適正な利用環境を維持するため、館内の利用方法を定める等の必要な措置を講ずるものとする。

2 市川市中央図書館を利用するものは、前項の規定により講じられた措置に基づき、図書館資料を閲覧し、又は視聴するものとする。

(平24教委規則1・追加)

(レファレンスサービス)

第3条 委員会は、市川市中央図書館を利用するものに対し、レファレンスサービス（そのものの求めに応じ、図書館資料及び情報の提供、紹介等を行うことをいう。次項において同じ。）を提供するものとする。

2 前項の規定にかかわらず、委員会は、レファレンスサービスに係る事項が次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、レファレンスサービスを提供しないものとする。

- (1) 法令等の規定により公表を禁じられている事項
- (2) 古文書、美術品等の鑑定及び価格に関する事項
- (3) 身上、医療又は法律の相談に関する事項

- (4) 学習課題、卒業論文その他これらに類する事項
- (5) その他委員会がレファレンスサービスの提供を不相当と認める事項

- 3 委員会は、レファレンスサービスを提供するために必要があると認めるときは、公立図書館等にレファレンスサービスに係る情報の提供を依頼するものとする。
- 4 委員会は、公立図書館等からレファレンスサービスに係る情報の提供の依頼を受けたときは、市川市中央図書館が保有する情報を提供することができる。ただし、当該依頼に係る情報が第2項各号のいずれかに該当すると認めるときは、この限りでない。

(平21教委規則4・全改、平24教委規則1・一部改正)

(登録の申請等)

第4条 条例第11条第1項の規定による登録の申請は、次に掲げるものの区分に応じ、当該各号に掲げる書類を委員会に提出して行うものとする。

- (1) 個人 市川市立図書館館外貸出個人登録・更新申請書(様式第1号)
 - (2) 団体 市川市立図書館館外貸出団体登録・更新申請書(様式第2号)及び団体構成員名簿(様式第3号)
- 2 前項の場合において、当該申請をするもの(団体にあつては、その代表者)は、運転免許証その他の住所及び氏名を確認するため委員会が適当と認める書類(本市に勤務し、又は通学する者にあつては、当該書類及び身分証明書、学生証その他の本市に勤務し、又は通学する者であることを確認するため委員会が適当と認める書類)を提示しなければならない。
- 3 前2項の規定は、条例第10条第3項の規定による登録の更新の申請について準用する。この場合において、第1項中「条例第11条第1項の規定による登録」とあるのは「条例第10条第3項の規定による登録の更新」と、「書類」とあるのは「書類及び図書館利用券又は条例第11条第3項ただし書に規定する館外貸出対応住基カード」と読み替えるものとする。
- 4 前項の規定により読み替えて適用される第1項の書類及び図書館利用券又は条例第11条第3項ただし書に規定する館外貸出対応住基カードの提出期間は、条例第10条第2項の登録の有効期間の満了する日の前日の1月前の日から当該登録の有効期間の満了する日までとする。ただし、委員会が必要と認めるときは、この限りでない。

(平21教委規則4・全改、平成23教委規則2・一部改正)

(登録の実施)

第5条 条例第11条第2項の規定による登録は、市川市立図書館館外貸出登録簿(様式第4号)に次に掲げる事項を記載することにより行うものとする。

- (1) 住所及び氏名(団体にあつては、その名称及び代表者の氏名)
- (2) 登録年月日及び登録番号

(平21教委規則4・全改)

(図書館利用券)

第6条 条例第11条第3項本文に規定する図書館利用券は、図書館利用券(様式第5号)とする。

(平21教委規則4・全改)

(図書館利用券の再交付の申請)

第7条 条例第11条第4項の規定による図書館利用券の再交付の申請は、次に掲げるものの区分に応じ、当該各号に掲げる申請書を委員会に提出して行うものとする。この場合において、第4条第2項の規定は、当該申請について準用する。

- (1) 個人 市川市立図書館利用券再交付申請書(個人用)(様式第6号)
- (2) 団体 市川市立図書館利用券再交付申請書(団体用)(様式第7号)

(平21教委規則4・全改)

(変更の届出)

第8条 条例第12条の規定による登録の申請事項の変更の届出は、次に掲げるものの区分に応じ、当該各号に掲げる届出書を委員会に提出して行うものとする。この場合において、当該届出書を提出するものは、当該変更を証する書類を当該職員に提示しなければならない。

- (1) 個人 市川市立図書館館外貸出個人登録申請事項変更届出書(様式第8号)
- (2) 団体 市川市立図書館館外貸出団体登録申請事項変更届出書(様式第9号)

(平21教委規則4・全改)

(図書館資料の貸出しの予約等)

第8条の2 条例第11条第3項本文に規定する図書館利用券又は同項ただし書に規定する館外貸出対応住基カードの交付を受けたもの（本市に住所を有し、勤務し、又は通学する者及びこれらの者で構成される団体であって読書会等を主催するものに限る。）は、貸出しを希望する図書館資料について、委員会に対し、当該図書館資料の貸出しの予約、他の市川市立図書館からの取寄せの申出等を行うことができる。

2 委員会は、前項の規定による予約、申出等を受けた場合において、公立図書館等に当該図書館資料（コンパクトディスクその他の視聴覚資料を除く。）が所蔵されていることを確認したときは、当該公立図書館等に対し、当該図書館資料の借受けを申し出ることができる。

（平24教委規則1・追加）

（図書館資料の複製等）

第9条 委員会は、著作権法（昭和45年法律第48号）第31条の規定に基づき、図書館資料の複製を行うものとする。

2 図書館資料の複製を依頼しようとするものは、市川市立図書館資料複製申込書（様式第10号）を委員会に提出しなければならない。

3 委員会は、図書館資料の複製を行うことにより当該図書館資料が壊れ、又は汚れるおそれがあると認めるときは、前項の規定による依頼を拒否することができる。

4 第2項の規定による依頼に基づき行う図書館資料の複製に要する費用は、当該依頼をしたものの負担とする。

（平21教委規則4・追加）

（障害者サービス）

第9条の2 条例第11条第2項の規定による登録を受けた者のうち、身体障害、高齢、傷病等により市川市中央図書館を利用することが困難な者に対する図書館資料の貸出し等に関し必要な事項は、委員会が別に定める。

（平24教委規則1・追加）

（自動車図書館）

第9条の3 委員会は、図書館資料を広く市民の利用に供するため、市内を巡回する自動車図書館により図書館資料の貸出し等を行うものとする。

2 自動車図書館が巡回する場所、貸し出す図書館資料その他自動車図書館の運営に関し必要な事項は、委員会が別に定める。

（平24教委規則1・追加）

（補則）

第10条 この規則に定めるもののほか、市川市中央図書館の管理に関し必要な事項は、委員会が別に定める。

（平24教委規則1・追加）

附則（平成28年3月31日教育委員会規則第5号）

（施行期日）

1 この規則は、平成28年4月1日から施行する。

（経過措置）

2 この規則の施行の際現に交付されている第1条の規定による改正前の市川市中央図書館の管理に関する規則様式第5号による図書館利用券及び第2条の規定による改正前の市川市立図書館の設置及び管理に関する条例施行規則様式第5号による図書館利用券は、それぞれ第1条の規定による改正後の市川市中央図書館の管理に関する規則様式第5号による図書館利用券及び第2条の規定による改正後の市川市立図書館の設置及び管理に関する条例施行規則様式第5号による図書館利用券とみなして使用することができる。

〇市川市生涯学習センター自動車駐車場管理規則

平成15年 9月10日教育委員会規則第12号
改正 平成21年 3月19日 教委規則第 5号

(趣旨)

第1条 この規則は、市川市生涯学習センターの設置及び管理に関する条例（平成6年条例第22号。以下「条例」という。）第27条及び市川市教育委員会に対する委任に関する規則（昭和42年規則第20号）第1項第8号の規定に基づき、生涯学習センター自動車駐車場（以下「駐車場」という。）の管理に関し必要な事項を定めるものとする。

(平21教委規則5・一部改正)

(駐車することのできる自動車)

第2条 駐車場に駐車することのできる自動車は、市川市生涯学習センターを利用する者が乗車している自動車とし、かつ、道路運送車両法施行規則（昭和26年運輸省令第74号）別表第1に掲げる普通自動車、小型自動車及び軽自動車であつて、その大きさが、長さ5メートル、幅1.9メートル、高さ2.1メートルをそれぞれ超えないものとする。ただし、教育委員会（以下「委員会」という。）がやむを得ない理由があると認めるときは、この限りでない。

(供用の中止)

第3条 委員会は、駐車場の維持管理その他の事由により特に必要があると認めるときは、駐車場の全部又は一部の供用を中止することができる。

(平21教委規則5・一部改正)

(利用の手続)

第4条 委員会は、駐車場に自動車を駐車するもの（以下「使用者」という。）に対し、その入場の際、駐車券を交付するものとする。

2 条例第8条第3項ただし書に掲げる自動車を駐車した使用者は、当該自動車を出場させるときまでに、駐車券を提示して、当該自動車を駐車した旨を委員会に申し出るものとする。

3 使用者は、自動車を駐車場から出場させるときは、駐車券を提出して使用料を納付しなければならない。

(平21教委規則5・一部改正)

(駐車券の紛失)

第5条 使用者は、駐車券を紛失したときは、駐車券紛失届（別記様式）により委員会に届け出なければならない。

(平21教委規則5・一部改正)

(使用料の算出基礎)

第6条 条例第8条第3項に規定する使用料の額は、駐車場に入場した時から駐車場を出場した時までの駐車時間を基礎として算出するものとする。ただし、使用者が駐車券を紛失した場合については、当該使用者が駐車場に入場した時として委員会が決定したその入場の時から駐車場を出場した時までの駐車時間を基礎として算出するものとする。

(平21教委規則5・一部改正)

附 則

この規則は、平成15年10月1日から施行する。

附 則（平成21年 3月19日教育委員会規則第5号）

この規則は、平成21年 4月1日から施行する。

〇市川市立図書館の蔵書の構築に関する指針

平成21年 3 月 30 日

改正 平成25年12月20日

平成26年 8 月 26 日

(趣旨)

第1条 この指針は、市川市立図書館の設置及び管理に関する条例施行規則（平成21年教育委員会規則第6号）第2条及び市川市中央図書館の管理に関する規則（平成6年教育委員会規則第9号）第2条の2の規定に基づき、市川市立図書館の資料収集、保存及び除籍等について必要な事項を定める。

(蔵書構築の基本)

第2条 市川市の図書館（以下、「図書館」という。）は、すべての市民が、教養、調査研究及びレクリエーションのために、各自の自由な意思に基づいて利用する生涯学習の場であるとともに、地域文化の発展を支え、住みよい地域社会の形成に寄与する教育機関であるという公共図書館の基本的役割を果たすために、ユネスコ公共図書館宣言（1994年採択）の精神に則り、蔵書の構築を行うものとする。

(収集にあたっての基本的姿勢)

第3条 図書館は、図書館の自由に関する宣言（1979年改訂 社団法人日本図書館協会総会決議）前文の本旨に基づき、市民のニーズを総合的に勘案して収集に努める。

- 2 対立する意見のある問題については、バランスを考慮し、できるだけ客観的な立場で書かれている資料を幅広く収集する。
- 3 著者の思想的、宗教的又は党派的立場にとらわれて、その著作を排除することはしない。
- 4 図書館に置かれる専門的職員（以下、「図書館員」という。）の個人的関心や好みによって選択しない。
- 5 個人、組織又は団体からの圧力や干渉によって収集の自由を放棄したり紛糾をおそれて自己規制したりしない。
- 6 図書館の収集した資料がどのような思想や主張をもっていようと、それを図書館又は図書館員が支持することを意味しない。

(収集資料の範囲)

第4条 収集する資料の範囲は、国内で刊行される資料を中心とし、幅広く多様な形態のものを収集する。ただし、書き込むこと、切り取ること若しくは組み立てることを目的として作られた資料又は著しく破損しやすい資料は原則として収集しない。

(収集資料の種類)

第5条 収集する資料の種類は、次の各号のとおりとする。

- (1) 図書（一般図書、参考図書、児童図書及び外国語図書）
- (2) 逐次刊行物
- (3) 地域資料
- (4) 視聴覚資料
- (5) 障害者用資料
- (6) 電磁的記録
- (7) その他

(資料別収集方針)

第6条 資料の種類別収集方針は、次の各号のとおりとする。

(1) 図書

- ア 一般図書については、市民の教養、調査研究及びレクリエーション等に資する資料を収集する。ただし、学習参考書、受験参考書及び各種試験問題集は原則として収集しない。
- イ 参考図書については、市民の調査研究に必要な辞典、事典、便覧、統計、目録、索引及び書誌等を幅広く収集する。
- ウ 児童図書については、子どもの読書活動を推進するため、子どもの発達に応じて豊かな読書体験ができるような資料を収集する。
- エ ヤングアダルト図書については、児童図書又は一般図書の枠にとらわれず、中学生及び高校生を対象とした資料を幅広く収集する。
- オ 外国語図書については、多文化サービスを展開させるため、各種言語で書かれた資料を収集する。

(2) 逐次刊行物

- ア 新聞については、主要な全国紙を中心に収集する。
- イ 雑誌については、各分野における最新の動向が提供できるように、各分野の主要なものを幅広く収集する。
- ウ 年鑑、年報及び白書については、(1)ア及びイの規定を準用する。
- エ 法規集及び判例集については、最新の情報を提供できるように、加除式資料を収集する。

(3) 地域資料

- ア 地域資料は、市川市及び千葉県に関する資料とし、これらのうち市川市に関する資料については、文化的、地理的特性に立脚した特色ある資料を、図書を中心に、パンフレット、地図等形態にとらわれず、幅広く積極的に収集する。ただし、古文書は収集しない。
- イ 地域資料の逐次刊行物については、系統的に収集する。
- ウ 市民文庫は市民の著作、伝記及び評論について収集する。
- エ 市川市の行政資料については、積極的に収集する。
- オ 特別コレクション（永井荷風、東山魁夷、星野道夫及び渡邊二郎）については、網羅的に収集する。ただし、直筆原稿及びオリジナル作品は原則として収集しない。

(4) 視聴覚資料

- ア 録音資料については、市民の趣味、教養及びレクリエーション等に資するため、クラシック音楽、ポピュラー音楽、児童音楽、演芸及び文学作品等の基本的作品及び代表的演者による作品を中心に収集する。
- イ 映像資料については、活字ではなく音と映像によって情報を得るという視聴覚資料の特性を生かせるような、映画、記録及び演芸等の基本的作品を中心に、図書館での貸出許諾が得られているものの中から収集する。

- (5) 障害者用資料 障害者用資料については、図書館利用が困難な市民の要求に応えるため、点字資料、録音図書、大活字本、布の絵本及び字幕・手話入りビデオ等を収集する。

- (6) 電磁的記録 電磁的記録については、必要に応じて収集する。

(中央図書館及び地域図書館の収集方針)

第7条 図書館は、各々の館の規模、機能及び地域性に応じ、概ね次の各号に掲げる方針に基づいて資料収集を計画的に行い、体系的な蔵書の構築を図るものとする。

- (1) 中央図書館においては、図書館の中心館として、地域図書館、分室及び図書館関連施設等への協力及び支援を行うため、以下に掲げる資料を幅広く収集する。

ア 市民の生活、趣味及びレクリエーション等に資する資料。

イ 調査研究に役立つ、基本的、入門的乃至専門的資料。ただし、細分化された個別の高度な専門的資料を除く。

(2) 地域図書館及び分室においては、市民の身近な図書館として、地域性を考慮し、資料を収集する。

(収集計画)

第8条 前条の規定を実施するために、各々の館の資料収集計画を別に定める。

(収集資料の選定)

第9条 収集資料の選定にあたっては、この指針に基づいて図書館員の合議によって行い、中央図書館長が決定する。

(寄贈資料等の収集)

第10条 寄贈資料及び寄託資料等の受入れについては、前条の規定を準用する。

(資料の保存)

第11条 各資料の利用方法、利用度又は利用年限を考慮し保存する。

2 図書館として体系的な資料構成を図るため、中央図書館又は各地域図書館で保存する資料を選択し、効率的な保存を行う。

3 市川市に関する資料については、地域の歴史を後世に伝えるため保存する。

4 逐次刊行物の保存年限については、別に定める。

(除籍の目的)

第12条 常に適正な資料構成を維持し、また資料を更新し、活力ある蔵書の充実を図るために除籍を行う。

(除籍の対象資料)

第13条 除籍の対象となる資料及び基準は次の各号のとおりとする。

(1) 汚損・破損

ア 汚損・破損が甚だしく、修理不可能又は修理する価値がないと認めたもの。

イ 一部汚破損が甚だしく全体が利用に耐えないもの。

(2) 不用

ア 時間の経過によって、内容が古くなり、保存価値がなくなったもの。

イ 時間の経過によって、利用の可能性が低下したもの。

ウ 新版・改訂版又は同種資料の入手によって、代替可能となったもの。

(3) 数量更正 すでに受入れの済んでいる資料を分冊若しくは合冊しようとするもの。

(4) 移管 市川市の内部において所属換えをするもの。

(5) 亡失

ア 3回の資料点検を経て、調査してもなお所在不明なもの。

イ 貸出資料のうち督促等の努力にもかかわらず、10年以上回収不能なもの。

ウ 利用者が汚損・破損又は紛失した資料で、やむを得ない事情により現品での弁償が不可能なもの。

エ 不可抗力による災害その他の事故により汚損・破損又は紛失した資料で、その発生事実が証明されたもの。

(除籍資料の選定)

第14条 除籍資料の選定にあたっては、この指針に基づいて図書館員の合議によって行い、中央図書館長が決定する。

(補則)

第15条 前各条に定めるもののほか、必要な事項は、別に定める

附 則 この指針は、平成21年4月1日から施行する。

○図書館法

昭和25年4月30日

法律第118号

最終改正 令和5年12月13日法律第86号

第一章 総則

(この法律の目的)

第一条 この法律は、社会教育法（昭和二十四年法律第二百七号）の精神に基き、図書館の設置及び運営に関して必要な事項を定め、その健全な発達を図り、もつて国民の教育と文化の発展に寄与することを目的とする。

(定義)

第二条 この法律において「図書館」とは、図書、記録その他必要な資料を収集し、整理し、保存して、一般公衆の利用に供し、その教養、調査研究、レクリエーション等に資することを目的とする施設で、地方公共団体、日本赤十字社又は一般社団法人若しくは一般財団法人が設置するもの（学校に附属する図書館又は図書室を除く。）をいう。

2 前項の図書館のうち、地方公共団体の設置する図書館を公立図書館といい、日本赤十字社又は一般社団法人若しくは一般財団法人の設置する図書館を私立図書館という。

(図書館奉仕)

第三条 図書館は、図書館奉仕のため、土地の事情及び一般公衆の希望に沿い、更に学校教育を援助し、及び家庭教育の向上に資することとなるように留意し、おおむね次に掲げる事項の実施に努めなければならない。

一 郷土資料、地方行政資料、美術品、レコード及びフィルムの収集にも十分留意して、図書、記録、視聴覚教育の資料その他必要な資料（電磁的記録（電子的方式、磁気的方式その他人の知覚によつては認識することができない方式で作られた記録をいう。）を含む。以下「図書館資料」という。）を収集し、一般公衆の利用に供すること。

二 図書館資料の分類排列を適切にし、及びその目録を整備すること。

三 図書館の職員が図書館資料について十分な知識を持ち、その利用のための相談に応ずるようにすること。

四 他の図書館、国立国会図書館、地方公共団体の議会に附置する図書室及び学校に附属する図書館又は図書室と緊密に連絡し、協力し、図書館資料の相互貸借を行うこと。

五 分館、閲覧所、配本所等を設置し、及び自動車文庫、貸出文庫の巡回を行うこと。

六 読書会、研究会、鑑賞会、映写会、資料展示会等を主催し、及びこれらの開催を奨励すること。

七 時事に関する情報及び参考資料を紹介し、及び提供すること。

八 社会教育における学習の機会を利用して行つた学習の成果を活用して行う教育活動その他の活動の機会を提供し、及びその提供を奨励すること。

九 学校、博物館、公民館、研究所等と緊密に連絡し、協力すること。

(司書及び司書補)

第四条 図書館に置かれる専門的職員を司書及び司書補と称する。

2 司書は、図書館の専門的事務に従事する。

3 司書補は、司書の職務を助ける。

(司書及び司書補の資格)

第五条 次の各号のいずれかに該当する者は、司書となる資格を有する。

一 大学を卒業した者（専門職大学の前期課程を修了した者を含む。次号において同じ。）で大学において文部科学省令で定める図書館に関する科目を履修したもの

二 大学又は高等専門学校を卒業した者で次条の規定による司書の講習を修了したもの

三 次に掲げる職にあつた期間が通算して三年以上になる者で次条の規定による司書の講習を修了したもの

イ 司書補の職

ロ 国立国会図書館又は大学若しくは高等専門学校の附属図書館における職で司書補の職に相当するもの

ハ ロに掲げるもののほか、官公署、学校又は社会教育施設における職で社会教育主事、学芸員その他の司書補の職と同等以上の職として文部科学大臣が指定するもの

2 次の各号のいずれかに該当する者は、司書補となる資格を有する。

一 司書の資格を有する者

二 学校教育法（昭和二十二年法律第二十六号）第九十条第一項の規定により大学に入学することのできる者で次条の規定による司書補の講習を修了したもの

（司書及び司書補の講習）

第六条 司書及び司書補の講習は、大学が、文部科学大臣の委嘱を受けて行う。

2 司書及び司書補の講習に関し、履修すべき科目、単位その他必要な事項は、文部科学省令で定める。ただし、その履修すべき単位数は、十五単位を下ることができない。

（司書及び司書補の研修）

第七条 文部科学大臣及び都道府県の教育委員会は、司書及び司書補に対し、その資質の向上のために必要な研修を行うよう努めるものとする。

（設置及び運営上望ましい基準）

第七条の二 文部科学大臣は、図書館の健全な発達を図るために、図書館の設置及び運営上望ましい基準を定め、これを公表するものとする。

（運営の状況に関する評価等）

第七条の三 図書館は、当該図書館の運営の状況について評価を行うとともに、その結果に基づき図書館の運営の改善を図るため必要な措置を講ずるよう努めなければならない。

（運営の状況に関する情報の提供）

第七条の四 図書館は、当該図書館の図書館奉仕に関する地域住民その他の関係者の理解を深めるとともに、これらの者との連携及び協力の推進に資するため、当該図書館の運営の状況に関する情報を積極的に提供するよう努めなければならない。

（協力の依頼）

第八条 都道府県の教育委員会は、当該都道府県内の図書館奉仕を促進するために、市（特別区を含む。以下同じ。）町村の教育委員会（地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和三十一年法律第百六十二号）第二十三条第一項の条例の定めるところによりその長が図書館の設置、管理及び廃止に関する事務を管理し、及び執行することとされた地方公共団体（第十三条第一項において「特定地方公共団体」という。）である市町村にあつては、その長又は教育委員会）に対し、総合目録の作製、貸出文庫の巡回、図書館資料の相互貸借等に関して協力を求めることができる。

（公の出版物の収集）

第九条 政府は、都道府県の設置する図書館に対し、官報その他一般公衆に対する広報の用に供せられる独立行政法人国立印刷局の刊行物を二部提供するものとする。

2 国及び地方公共団体の機関は、公立図書館の求めに応じ、これに対して、それぞれの発行する刊行物その他の資料を無償で提供することができる。

第二章 公立図書館

（設置）

第十条 公立図書館の設置に関する事項は、当該図書館を設置する地方公共団体の条例で定めなければならない。

第十一条 削除

第十二条 削除

（職員）

第十三条 公立図書館に館長並びに当該図書館を設置する地方公共団体の教育委員会（特定地方公共団体の長がその設置、管理及び廃止に関する事務を管理し、及び執行することとされた図書館（第十五条において「特定図書館」という。）にあつては、当該特定地方公共団体の長）が必要と認める専門的職員、事務職員及び技術職員を置く。

2 館長は、館務を掌理し、所属職員を監督して、図書館奉仕の機能の達成に努めなければならない。

（図書館協議会）

第十四条 公立図書館に図書館協議会を置くことができる。

2 図書館協議会は、図書館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、図書館の行う図書館奉仕につき、館長に対して意見を述べる機関とする。

第十五条 図書館協議会の委員は、当該図書館を設置する地方公共団体の教育委員会（特定図書館に置く図書館協

議会の委員にあつては、当該地方公共団体の長)が任命する。

第十六条 図書館協議会の設置、その委員の任命の基準、定数及び任期その他図書館協議会に関し必要な事項については、当該図書館を設置する地方公共団体の条例で定めなければならない。この場合において、委員の任命の基準については、文部科学省令で定める基準を参酌するものとする。

(入館料等)

第十七条 公立図書館は、入館料その他図書館資料の利用に対するいかなる対価をも徴収してはならない。

第十八条 削除

第十九条 削除

(図書館の補助)

第二十条 国は、図書館を設置する地方公共団体に対し、予算の範囲内において、図書館の施設、設備に要する経費その他必要な経費の一部を補助することができる。

2 前項の補助金の交付に関し必要な事項は、政令で定める。

第二十一条 削除

第二十二条 削除

第二十三条 国は、第二十条の規定による補助金の交付をした場合において、左の各号の一に該当するときは、当該年度におけるその後の補助金の交付をやめるとともに、既に交付した当該年度の補助金を返還させなければならない。

一 図書館がこの法律の規定に違反したとき。

二 地方公共団体が補助金の交付の条件に違反したとき。

三 地方公共団体が虚偽の方法で補助金の交付を受けたとき。

第三章 私立図書館

第二十四条 削除

(都道府県の教育委員会との関係)

第二十五条 都道府県の教育委員会は、私立図書館に対し、指導資料の作製及び調査研究のために必要な報告を求めることができる。

2 都道府県の教育委員会は、私立図書館に対し、その求めに応じて、私立図書館の設置及び運営に関して、専門的、技術的の指導又は助言を与えることができる。

(国及び地方公共団体との関係)

第二十六条 国及び地方公共団体は、私立図書館の事業に干渉を加え、又は図書館を設置する法人に対し、補助金を交付してはならない。

第二十七条 国及び地方公共団体は、私立図書館に対し、その求めに応じて、必要な物資の確保につき、援助を与えることができる。

(入館料等)

第二十八条 私立図書館は、入館料その他図書館資料の利用に対する対価を徴収することができる。

(図書館同種施設)

第二十九条 図書館と同種の施設は、何人もこれを設置することができる。

2 第二十五条第二項の規定は、前項の施設について準用する。

○子どもの読書活動の推進に関する法律

平成13年12月12日
法律第154号

(目的)

第一条 この法律は、子どもの読書活動の推進に関し、基本理念を定め、並びに国及び地方公共団体の責務等を明らかにするとともに、子どもの読書活動の推進に関する必要な事項を定めることにより、子どもの読書活動の推進に関する施策を総合的かつ計画的に推進し、もって子どもの健やかな成長に資することを目的とする。

(基本理念)

第二条 子ども（おおむね十八歳以下の者をいう。以下同じ。）の読書活動は、子どもが、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことのできないものであることにかんがみ、すべての子どもがあらゆる機会とあらゆる場所において自主的に読書活動を行うことができるよう、積極的にそのための環境の整備が推進されなければならない。

(国の責務)

第三条 国は、前条の基本理念（以下「基本理念」という。）にのっとり、子どもの読書活動の推進に関する施策を総合的に策定し、及び実施する責務を有する。

(地方公共団体の責務)

第四条 地方公共団体は、基本理念にのっとり、国との連携を図りつつ、その地域の実情を踏まえ、子どもの読書活動の推進に関する施策を策定し、及び実施する責務を有する。

(事業者の努力)

第五条 事業者は、その事業活動を行うに当たっては、基本理念にのっとり、子どもの読書活動が推進されるよう、子どもの健やかな成長に資する書籍等の提供に努めるものとする。

(保護者の役割)

第六条 父母そのほかの保護者は、子どもの読書活動の機会の充実及び読書活動の習慣化に積極的な役割を果たすものとする。

(関係機関等との連携強化)

第七条 国及び地方公共団体は、子どもの読書活動の推進に関する施策が円滑に実施されるよう、学校、図書館その他の関係機関及び民間団体との連携の強化その他必要な体制の整備に努めるものとする。

(子ども読書活動推進基本計画)

第八条 政府は、子どもの読書活動の推進に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るため、子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画（以下「子ども読書活動推進基本計画」という。）を策定しなければならない。

2 政府は、子ども読書活動推進基本計画を策定したときは、遅滞なく、これを国会に報告するとともに、公表しなければならない。

3 前項の規定は、子ども読書活動推進基本計画の変更について準用する。

(都道府県子ども読書活動推進計画等)

第九条 都道府県は、子ども読書活動推進基本計画を基本とするとともに、当該都道府県における子どもの読書活動の推進の状況等を踏まえ、当該都道府県における子どもの読書活動の推進に関する施策についての計画（以下「都道府県子ども読書活動推進計画」という。）を策定するよう努めなければならない。

2 市町村は、子ども読書活動推進基本計画（都道府県子ども読書活動推進計画が策定されているときは、子ども読書活動推進基本計画及び都道府県子ども読書活動推進計画）を基本とするとともに、当該市町村における子どもの読書活動の推進の状況等を踏まえ、当該市町村における子どもの読書活動の推進に関する施策についての計画（以下「市町村子ども読書活動推進計画」という。）を策定するよう努めなければならない。

3 都道府県又は市町村は、都道府県子ども読書活動推進計画又は市町村子ども読書活動推進計画を策定したときは、これを公表しなければならない。

4 前項の規定は、都道府県子ども読書活動推進計画又は市町村子ども読書活動推進計画の変更について準用する。

(子ども読書の日)

第十条 国民の間に広く子どもの読書活動についての関心と理解を深めるとともに、子どもが積極的に読書活動

を行う意欲を高めるため、子ども読書の日を設ける。

2 子ども読書の日は、四月二十三日とする。

3 国及び地方公共団体は、子ども読書の日趣旨にふさわしい事業を実施するよう努めなければならない。

(財政上の措置等)

第十一条 国及び地方公共団体は、子どもの読書活動の推進に関する施策を実施するため必要な財政上の措置その他の措置を講ずるよう努めるものとする。

附 則

この法律は、公布の日から施行する。

14. 計画(1)

参考：図書館記載部分を抜粋

市川市教育振興基本計画

【第4期】

人をつなぐ 未来へつなぐ 市川の教育



令和6年1月

市川市教育委員会



1 計画の体系

◆市川の教育の目指す姿は、次の2つとします。

- 互いに認め合い、自分の思いを実現できる子ども
- 誰もが幸せを感じ、ともに学び支え合う、家庭・学校・地域

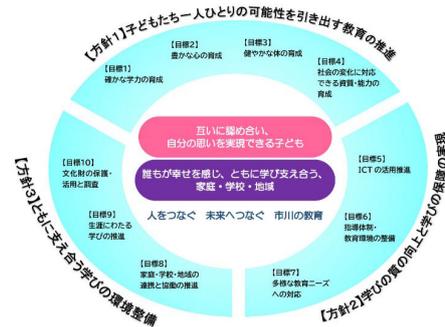
◆市川の教育の目指す姿を実現するため、基本理念を定めます。

「人をつなぐ 未来へつなぐ 市川の教育」

◆各施策の実現にあたり重視する、基本的な3つの考え方を定めます。

- 1 すべての人の可能性を引き出す教育
- 2 家庭・学校・地域の連携
- 3 学びの環境整備(教育DX)

【目指す姿と基本理念、基本方針及び目標の関係イメージ図】



◆基本方針、目標、施策の一覧です。

基本方針	目標	施策
〈方針1〉 子どもたち一人ひとりの可能性を引き出す教育の推進	1 確かな学力の育成	1 幼児期における教育の推進
		2 児童生徒の確かな学力を育成する取組の推進 (「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善)
		3 学校段階間の接続の推進
		4 道徳教育・人権教育の充実
	2 豊かな心の育成	5 読書活動の充実
		6 体験活動・交流活動の充実
		7 望ましい生活習慣を身に付ける取組の推進
		8 食育の推進
		9 運動やスポーツに親しむ機会の充実
	4 社会の変化に対応できる資質・能力の育成	10 社会的・職業的自立
		11 社会参画意識の醸成
		12 グローバル人材育成
〈方針2〉 学びの質の向上と学びの保障の実現	5 ICTの活用推進	13 児童生徒の情報活用能力の向上
		14 教育のICT環境整備の充実
		15 教職員のICT活用指導力の向上
	6 指導体制・教育環境の整備	16 働き方改革の推進
		17 教職員の指導力の向上
		18 安全・安心で質の高い教育環境の整備
		19 特別支援教育の推進
		20 不登校児童生徒への対応
		21 夜間中学の教育的支援と教育活動の充実
		22 教育費負担の軽減に向けた経済的支援
7 多様な教育コースへの対応	23 教育的支援が必要な子どもへの対応と相談体制の強化	
	24 放課後の子どもの居場所づくりの推進	
	25 家庭の教育力の向上	
〈方針3〉 ともに支え合う学びの環境整備	8 家庭・学校・地域の連携と協働の推進	26 地域の教育力の向上と地域の教育資源の活用の推進
		27 生涯学び、活躍できる環境の整備
	9 生涯にわたる学びの推進	28 図書館機能を活用した学習活動の充実
		29 博物館などの活用を通じた学習活動の推進
		30 公民館の活用の推進
	10 文化財の保護・活用と調査	31 文化財の保護・活用と調査の推進

6 方針

第4期計画では、市川の教育に関わるすべての人が、同じ目標に向かって教育政策を進めることができるよう、目指す子ども像や家庭・学校・地域の姿を示しました。基本理念と基本的な考え方を踏まえ、目指す姿に向かって、家庭・学校・地域の連携・協働のもと、今後5年間を通して市川市が取り組む教育政策の方針を、次の3つに整理しました。

方針1 子どもたち一人ひとりの可能性を引き出す教育の推進

方針2 学びの質の向上と学びの保障の実現

方針3 ともに支え合う学びの環境整備

第4期計画の推進にあたっては、教育委員会だけではなく、子ども・保健・福祉部門などの市長部局や、保護者や地域の方々、関係機関や大学・企業など、多様な主体がそれぞれ役割を適切に分担しながら、社会全体が協働して教育の向上に取り組むことを目指し、連携・協働しながら効果的に施策を実施していきます。第4期計画では、3つの方針のもと、目標と施策を示し、目標の達成状況を確認するための「成果指標」と、その背景等を確認するための「参考指標」を設定しました。

ともに支え合う学びの環境整備

すべての人が生きがいや幸福感を感じられるようにするためには、子どもから大人まで、一人ひとりがそれぞれのライフステージに応じて主体的に学び、活動できるよう、多様な教育的ニーズに応えられる体制づくりが必要です。

また、豊かな地域社会をつくるためには、家庭・学校・地域が連携・協働することが必要です。

そのために、地域コミュニティを核としたあたたかい人と人との関わりの中で、誰もが生涯を通して学び続け、学んだ成果を地域社会に還元することのできる環境を整備します。

そして、夢や希望を持ち、自らの個性を伸ばし可能性を広げられるよう、家庭・地域の教育力の向上を図るとともに、地域の多様な教育資源の活用を進めます。

豊かで幸福感に溢れた人生を送るためには、生涯にわたり主体的に学び続けることが重要です。

社会の変化が加速化する時代にあって、その変化に対応するためには、新しい知識や技術について絶え間なく学習することが求められています。

また、学習の成果を地域で発揮することは、その人の豊かで幸福度の高い人生を実現するだけでなく、社会全体の健全な発展にもつながります。

教育委員会では、誰もが、人とのつながりの中で主体的に学び、活動を循環できる環境整備や、自らの可能性を最大限伸ばせるような支援を充実させることにより、生涯学習を進めます。

▶施策

27 生涯学び、活躍できる環境の整備

より多くの人が集い、活力ある地域のコミュニティ形成にも寄与できるよう、公民館についての在り方を検討するとともに、「学びの場」である学校や社会教育施設を核とし、生涯学習の推進を図ります。

あわせて、ボランティアや指導者の発掘・育成を進めます。

【主な事業・取組】

- 公民館主催講座活動事業
- いちかわ市民アカデミー講座
- 図書館運営事業
- 博物館展示・教育普及事業
- 特別支援学校との連携
- 公民館の活用
- 青少年指導者育成事業(コースリーダー講習会)
- コミュニティクラブ事業

28 図書館機能を活用した学習活動の充実

図書館の持つ資料や情報を、居住地や障がいの有無などに関わらず容易に入手でき、学習に生かせる、誰もが利用しやすい図書館を推進するため、デジタルを含む資料の収集強化、貸出や返却の利便性向上、レファレンス機能の拡充、読書バリアフリーの推進など各種サービスの充実を図るとともに、図書館ネットワークのさらなる構築を進めます。

また、地元市川について学び、市川への理解と愛着を深める機会の拡充を図るため、積極的な地域資料の収集と、地域情報の発信を進めます。

【主な事業・取組】

- 図書等整備事業
- 図書館運営事業

29 博物館などの活用を通じた学習活動の推進

博物館の持つ様々な機能を活用し、体験活動の充実や、講師派遣などの教育普及サービスを生かした学習活動を進めます。

また、子どもから高齢者までの学習活動を支援するため、博物館以外の社会教育施設や学校との連携を図ります。

【主な事業・取組】

- 博物館保管研究事業
- 博物館展示・教育普及事業
- 博物館の体験学習を支援するボランティアの養成
- 博物館企画展事業

30 公民館の活用の推進

地域の身近な学習拠点として、公民館に対する各地域のニーズや実態を把握し、公民館の持つ機能の有効活用を図るとともに、学校や地域の人材を活用し連携することにより、地域に密着した公民館運営を進めます。

【主な事業・取組】

- 公民館主催講座活動事業
- 公民館の活用

▶指標

	成果指標	関連施策 (目標・施策)
58	「地域には学ぶ場と機会(文化活動やスポーツ活動を含む)が十分にあり」と回答する人の割合	9-27
59	「生涯学習に関する情報提供がある」と回答する障がいの割合	9-27
60	「探していた情報や知識を得ることができた」と回答する図書館利用者の割合	9-28
61	「本の探し方や、知識・情報の調べ方が分かった」と回答する図書館利用者の割合	9-28
62	博物館の講座参加率	9-29
63	博物館の講座参加者の満足度	9-29
64	公民館主催講座のうち、「学校・地域との連携」を念頭に実施されたものの割合	9-30
65	公民館(部屋)の利用率	9-30
66	公民館主催講座の受講者の満足度	9-30

点検・評価報告書

人をつなぐ 未来へつなぐ 市川の教育



令和6年9月
市川市教育委員会

iii いつも新しい流れがある 市川

方針2 “自分らしく輝くための学び”の環境の実現と学びのセーフティネットを構築する

目標6 人生100年時代を見据えた“自分らしく輝くための学び”を推進する

人生100年時代の到来を見据え、誰もが、主体的に学び、これまで以上に知識や能力を身に付けることや、人とつながり学びや活動を循環させることにより、人生を豊かにしていくことができるよう、“自分らしく輝くための学び”を推進します。

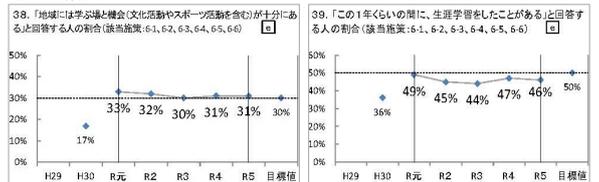
教育に支援が必要な幼児児童生徒に対し、その時点で最も教育的ニーズに応じた指導が提供できるよう、市川市では、特別支援学級などの教育の場を設置していますが、障がいのある方々が自らの可能性を最大限に伸ばし、自立と社会参画に必要な力を培うためには、学校卒業後における学びの支援も重要です。家庭・学校・地域の連携・協働の下、誰もが“自分らしく輝くための学び”により、自らの可能性を最大限伸ばせるよう支援します。

○目標6に属する施策とその評価

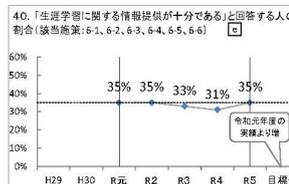
施策	評価
施策1 “自分らしく輝くための学び”の機会の充実	○
施策2 学校卒業後における障がい者の学びの支援	○
施策3 図書館機能を活用した学習活動の充実	○
施策4 博物館などの活用を通じた学習活動の推進	○
施策5 公民館を活用した地域の学習拠点づくり	○
施策6 文化財の保護と活用	○

施策1 “自分らしく輝くための学び”の機会の充実
一人一人が生涯にわたり、さまざまな場や機会において、個性を伸ばし、可能性を広げていくことができる学びを充実させるとともに、学習情報の発信を積極的にを行います。
【主な事業・取組の実績】
<ul style="list-style-type: none"> 対面型の講座とオンライン講座を実施した。 対面型講座 208講座 448回 延べ受講者数 6,456人 オンライン講座 市公式YouTubeチャンネルによる動画配信 1講座 2本 再生総回数 557回 講師と受講者との対話や実習を通じた学び合いにより学習効果が高められることを意図し、新型コロナウイルスの感染リスクへの移行を踏まえ、対面型の講座に重点を置き実施した。 コロナ禍により対面型講座で制限していた、市外への館外学習を再開した。 図書館ネットワークの活用については、自動車図書館の運行、また公民館図書室や市民図書室等との連携により、市民が図書館に触れる機会を提供した。西部・柏井・若宮公民館に新たに返却ポストを設置した。 令和5年7月から大野公民館図書室の火曜日の昼休み(12:00~13:00)を開室した。 県内公共図書館ネットワーク相互協力による図書の提供を行った。 考古博物館では、市内3つの国指定文化財について、多言語による音声ガイドなどを活用した紹介情報を発信した。
評価
○
評価の理由
成果指標38は目標値を達成しており、39、40は、概ね目標値付近で推移している。県内公共図書館のネットワーク相互協力による図書の提供、大野公民館図書室にて週1回昼休み時間に開室するなど学習の充実を図りつつ、公民館では対面型及びオンライン型の講座の実施等、学習機会提供に努めていることから、施策の実現が概ね図られてきている。
【今後の方向性】
<ul style="list-style-type: none"> 今後は高齢者の基礎的なデジタルスキルの向上に寄与する講座を全公民館で実施するとともに、市民の学習ニーズや生活課題に係る学びの機会の提供に努め、充実を図っていく。(社会教育課) オンライン講座においては、受講者の都合に合わせて学べること、何度でも再生が可能といったメリットがあるが、講師との対話ができないといったデメリットもあるため、今後も動画配信の性質に合った学習テーマを中心に展開を検討していく。(社会教育課) 北部地域を中心とした、サービス拠点を増設できた。引き続き市民の利便性の向上のためにサービスの拡大について検討していく。(中央図書館) 市内の貴重な文化財の魅力を、市民に留まらず、本市を訪れた方々にも広く伝えていくために事業の継続を行っていく。(考古博物館)

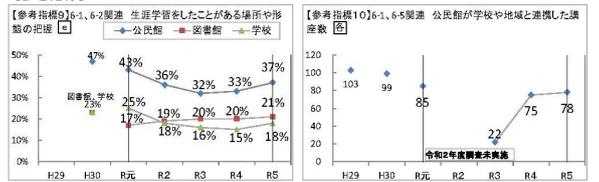
【成果指標】



※平成30年度から成果指標の選択肢の一部を変更したため単純比較はできない。
第3期計画策定時から選択肢を一部変更。
策定時:「ない」「わからない」
変更後:「十分である」「どちらかといえば十分である」「どちらかといえば不十分である」「不十分である」



【参考指標】



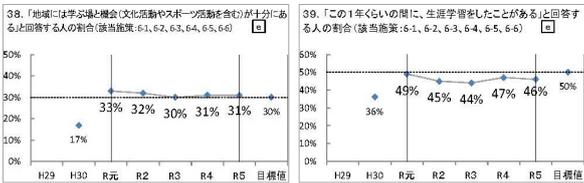
※コロナ禍により、主催講座を実施しなかったことから、令和2年度の数値算定不能

▶施策3 図書館機能を活用した学習活動の充実	
<p>誰もが利用しやすい図書館サービスを提供するため、社会情勢や生活の変化に応じた市民のニーズを把握することに努め、資料の収集やレファレンスサービス^{※1}の充実、図書館ネットワーク^{※2}の一層の活用を図ります。また、郷土市川について学ぶ機会の拡充を図るため、行政資料や地域資料の積極的な収集を進めます。</p>	
<p>【主な事業・取組の実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年間の収集方針に基づき、計画的な資料の収集と更新を実施した。 ・IC関連機器を使った蔵書管理を実施し、効率的、効果的な図書館運営を進め、蔵書管理業務の合理化と市民サービスの向上を図れた。 ・引き続き、読み聞かせの会や図書館ツアーなどの行事を実施し、読み聞かせ動画の配信も行い、子どもの読書活動推進のための取組を行った。 	
評価	評価の理由
○	<p>成果指標38は目標値を達成し、39は概ね目標値付近で推移、40、74はともに上昇している。IC関連機器を使った蔵書管理の実施により効率的、効果的な運営を進めるとともに、読み聞かせなど子どもの読書活動推進のために継続的な取組を行っていること等から施策の実現が概ね図られてきている。</p>

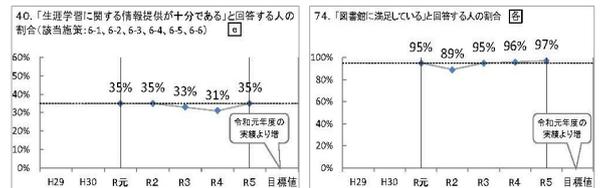
【今後の方向性】	
<ul style="list-style-type: none"> ・次回のIC機器更新に向けて更なる合理化を図っていく。(中央図書館) ・今後も、地域の情報拠点として市民の学びを支えていくよう努めていく。また、子どもの読書活動推進のため、様々な取組を継続して行い、子どもの成長のサポートができるよう努めていく。(中央図書館) 	

※1 レファレンスサービス…事実情報や文献資料を求めている利用者に対して、図書館員が図書館資料を使って答えたり、回答に含まれる情報源を提示・照会したりする人的サービス。
 ※2 図書館ネットワーク…図書館と関連施設を結び、図書館資料の予約・取り寄せ・返却などができるシステム。

【成果指標】



※平成30年度から成果指標の選択肢の一部を変更したため単純比較はできない。
 第3期計画策定時から選択肢を一部変更。
 策定時:「ある」「ない」「わからない」
 変更後:「十分である」「どちらかといえば十分である」「どちらかといえば不十分である」「不十分である」「どちらともいえない」



※図書館来館者を対象に調査を実施したが、令和2年度のみモニター制度での調査としたため、単純比較はできない。



市川市教育委員会 生涯学習部 中央図書館

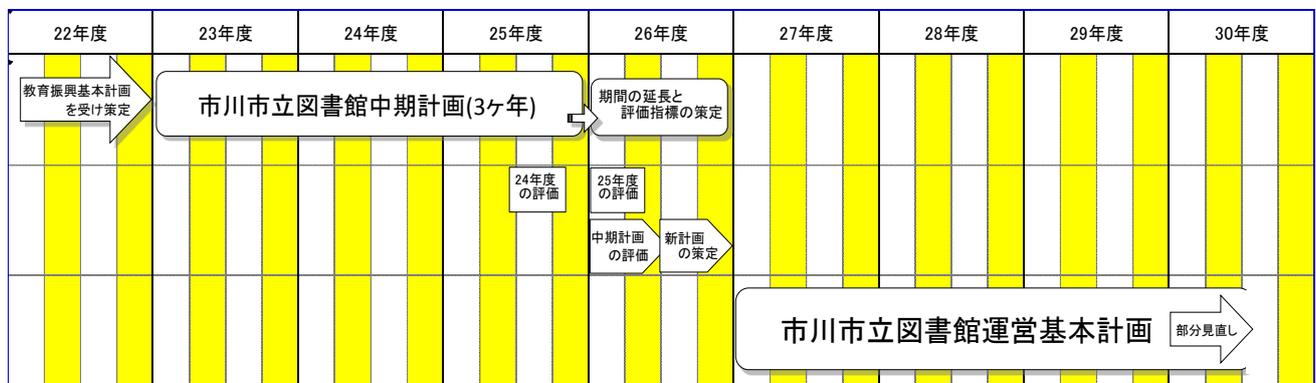
平成 27 年 3 月

第 1 章 計画の策定にあたって

1. 計画期間

本計画は、「市川市立図書館中期計画」(平成 23 年度～平成 25 年度)を見直し、平成 27 年度に新たに「市川市立図書館運営基本計画」として策定するものです。

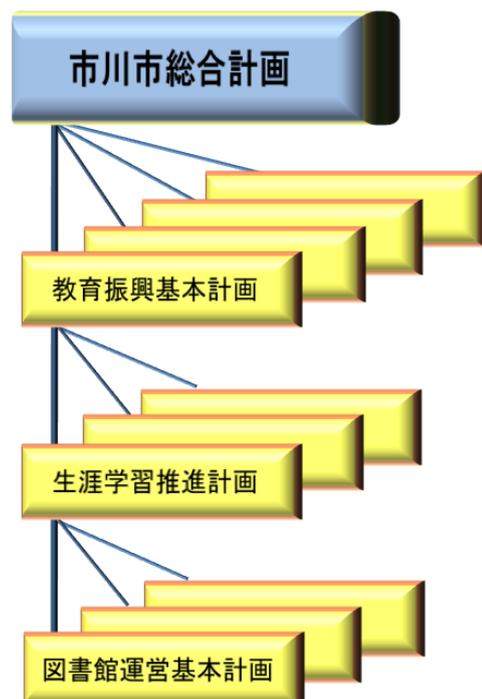
本計画の第 2 章は、これからの本市図書館のあるべき姿を示すものですが、社会情勢や市民ニーズの変化に応じ、概ね 3 年ごとに見直しを図るものとしします。また、第 3 章の実施計画では、3 年ごとの期間で実施していく具体的事業を掲げていますが、その実施結果についての評価に基づき、次の 3 年には改めて実施事業を計画するものとしします。



* 計画作成期間に当たる平成 26 年度についても、計画に基づいた図書館評価を行うため、市川市立図書館中期計画の一年間の延長を行っています。

2. 計画の位置付け

本計画は、「市川市基本構想」(平成 12 (2000) 年)、「市川市総合計画第二次基本計画」(平成 23 (2011) 年)の下、教育に関する部門計画の「市川市教育振興基本計画」(平成 26 (2014) 年から第 2 期)、さらに、生涯学習部門の個別計画である「市川市生涯学習推進計画」(平成 27 (2015) 年から第 4 次)の下に策定するものです。



3. 計画の成り立ち

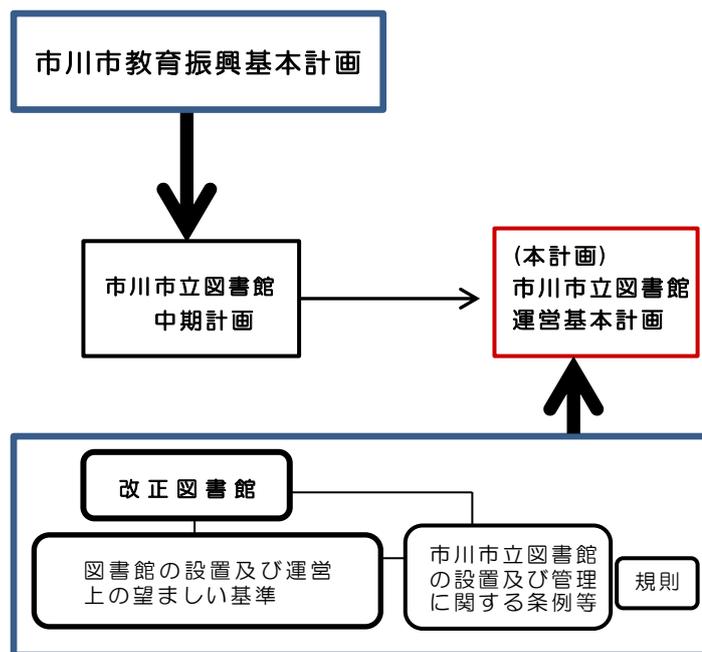
「図書館法」(昭和25年法律第118号 平成23年12月最終改正)の平成20年(2008)の改正にともない、公共図書館の運営状況についての自己評価と公表が努力義務となりました。

また、「図書館の設置及び運営上の望ましい基準」が平成24年(2012)に告示されましたが、図書館は図書館事業の基本的運営方針を策定し、運営の状況について自ら点検及び評価・公開するよう努めるものとされています。

指定管理者の運営である市川駅南口図書館では、年2回のモニタリングを行い、うち1回は外部有識者を交えてモニタリングを実施しているものの、市直営の図書館については、定期的な評価の実施はありませんでした。

これらのことから、平成24(2012)年に「市川市立図書館の設置及び管理に関する条例施行規則」を改正し、図書館の評価とその公開を実施することとしました。

これまでの評価は、市川市教育振興基本計画に基づき策定された「市川市立図書館中期計画」を拠り所としてきましたが、同計画期間終了に伴い、新たに将来のあるべき姿を示す図書館運営計画を策定する必要から「市川市立図書館運営基本計画」を策定するものです。



「図書館法」

(運営の状況に関する評価等)

第七条の三 図書館は、当該図書館の運営の状況について評価を行うとともに、その結果に基づき図書館の運営の改善を図るため必要な措置を講ずるよう努めなければならない。

(運営の状況に関する情報の提供)

第七条の四 図書館は、当該図書館の図書館奉仕に関する地域住民その他の関係者の理解を深めるとともに、これらの者との連携及び協力の推進に資するため、当該図書館の運営の状況に関する情報を積極的に提供するよう努めなければならない。

「図書館の設置及び運営上の望ましい基準」

第二 公立図書館

一 市町村立図書館

1 管理運営

(一) 基本的運営方針及び事業計画

- 1 市町村立図書館は、その設置の目的を踏まえ、社会の変化や地域の実情に応じ、当該図書館の事業の実施等に関する基本的な運営の方針（以下「基本的運営方針」という。）を策定し、公表するよう努めるものとする。
- 2 市町村立図書館は、基本的運営方針を踏まえ、図書館サービスその他図書館の運営に関する適切な指標を選定し、これらに係る目標を設定するとともに、事業年度ごとに、当該事業年度の事業計画を策定し、公表するように努めるものとする。
- 3 市町村立図書館は、基本的運営方針並びに前項の指標、目標及び事業計画の策定に当たっては、利用者及び住民の要望並びに社会の要請に十分留意するものとする。

(二) 運営の状況に関する点検及び評価等

- 1 市町村立図書館は、基本的運営方針に基づいた運営がなされることを確保し、その事業の水準の向上を図るため、各年度の図書館サービスその他図書館の運営の状況について、(一)の2の目標及び事業計画の達成状況等に関し自ら点検及び評価を行うよう努めなければならない。
- 2 市町村立図書館は、前項の点検及び評価のほか、当該図書館の運営体制の整備の状況に応じ、図書館協議会（法第十四条第一項に規定する図書館協議会をいう。以下同じ。）の活用その他の方法により、学校教育又は社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者、図書館の事業に関して学識経験のある者、図書館の利用者、住民その他の関係者・第三者による評価を行うよう努めるものとする。
- 3 市町村立図書館は、前二項の点検及び評価の結果に基づき、当該図書館の運営の改善を図るため必要な措置を講ずるよう努めなければならない。
- 4 市町村立図書館は、第一項及び第二項の点検及び評価の結果並びに前項の措置の内容について、インターネットその他の高度情報通信ネットワーク（以下「インターネット等」という。）をはじめとした多様な媒体を活用すること等により、積極的に公表するよう努めなければならない。

「市川市立図書館の設置及び管理に関する条例施行規則」

（運営状況の評価等）

第1条の2 教育委員会は、図書館の運営の改善を図るため、その運営の状況について評価を行い、これを公開するものとする。

4. 計画の策定経過

計画の策定に当たり、社会教育委員会議、e-モニター制度、パブリックコメント等により、様々な市民意見を聴取し計画案を作成し、市川市教育委員会議に諮りました。

策定経過

時 期	内 容
平成26年	2月13日 策定方針についての意見聴取 (市川市社会教育委員会議)
	4月3日 策定方針について(議決) (定例教育委員会議)
	4月23日 策定方針についての意見聴取 (関係各課)
	9月26日 ～10月6日 e-モニターの実施
	10月25日 計画(素案)についての意見聴取 (図書館ボランティア)
	11月15日 ～12月14日 計画(素案)についての意見聴取 (パブリックコメント)
	11月20日 計画(素案)についての意見聴取 (市川市社会教育委員会議)
平成27年	2月5日 ～3月6日 パブリックコメント実施結果公表
	2月5日 計画(案)について (定例教育委員会議)
	2月12日 計画について(報告) (市川市社会教育委員会議)
	4月 「市川市立図書館運営基本計画」の施行

5. 現状と課題

(1) 図書館サービスの現状

日本の公共図書館は、1960年代後半から貸出しを中心としたサービスを展開し、市民の支持を広げながら、現在では高度情報化、少子・高齢化や国際化社会への急激な進展の中で、地域における身近な問題解決のための機関として、また芸術や文化に気軽に触れることのできる「市民の書齋」として、生涯学習の拠点となる重要な役割を担うよう変化してきました。

本市では5館1室（直営による中央・行徳・信篤・南行徳・平田図書室、及び指定管理による市川駅南口図書館）及び自動車図書館による体制で図書館サービスを実施し、市民図書室、公民館図書室、男女共同参画センター情報資料室、情報プラザ（委託）等の市の施設や、千葉商科大学付属図書館と連携して図書館ネットワークの整備と拡充を進めてきました。

また平成21年に蔵書構築に関する基準を設け、資料面での充実を図るとともに、多様な市民要望に対応できるよう、千葉県立図書館、国立国会図書館、和洋女子大学メディアセンター等の各種図書館と相互貸借による連携を強化し、幅広い情報の提供を行ってきました。また、子ども読書活動の推進、学校とのネットワーク事業の実施、情報技術の積極的な活用等々、多彩な事業を展開することでも図書館としての役割を遂行できるよう努めてまいりました。

(2) 図書館計画の実施状況

市川市教育振興基本計画に基づいて、平成23年度に「市川市立図書館中期計画」（以下「中期計画」という）を策定し、3カ年の計画期間の中で具体的施策として掲げた全ての事業に取り組みことができました。特に電算システムでは、市民要望を取り入れた新着図書検索お知らせメール（SDI）サービスの開始やログイン機能の改善等を行い市民が資料や情報を入力するための利便性の向上を図り、児童サービスでは初めて参加する子どものためのえほんの会など、年齢に応じた様々なイベントを実施しました。他にも、特別コレクションの充実など市川に関する資料の収集や、ICタグの地域図書館への導入計画の策定及び予算化を進めました。一方、視聴覚資料の購入等、予算として割り当てられなかったため、目標達成が一部困難なものがありましたが、実施計画の目標は概ね達成できたといえます。

中期計画が示す方向は、本市図書館のサービスの基本であるため、新たな課題に対応した目標も加えながら今後も継続し、充実させていく必要があります。中期計画の6つの柱は、相互に関連する部分も多いため、整理を行い、目指す目標を明確にしていきます。また、中期計画では年度ごとの目標をできる限り数値によるものとしていましたが、本計画においては、数値・取り組み内容・満足度等から、より適切な評価を行い、次の事業展開に繋げてまいります。

(3) 今後の課題と方向性

計画で掲げた施策を確実に進め、市川市立図書館のあるべき姿を実現させるためには、組織や施設といったサービス基盤の整備を進める必要があります。また、限られた資源を有効に活用するためには、業務プロセスの見直しやコスト削減などの効率性の向上も重要です。人的なリソースシフトについては、市川版 ABC 分析等を通じて中央図書館を中心に進めてきたところですが、今後も長期的視点に立って、正規職員・非正規職員等の配置について点検するとともに、業務委託や指定管理者制度についての検証を通じて、各事業（サービス）の最適な担い手について検討していきます。また地域の課題に対する取り組みへの支援については、図書館だけで行うのではなく、地域における産学官民の多様な主体との連携・協力を通じて実現していきます。

施設面では、施設管理についての全庁的な方向性に沿って、老朽化する施設の修繕を計画的に進め、また市内各地域へのバランスのとれた図書館サービスを展開できるよう、地理的な分布や事業効果等も踏まえ、図書館だけでなく関連施設やその空間の有効活用も含め、関係各方面と調整を図り、将来的なサービスポイントの再配置についても検討を進めます。

物流については、市内連絡便の運行ルートや運行頻度を見直し、効率的・効果的な資料の流通体制の実現に努めます。また、関連施設等との連携が進む中、自動車図書館についても利用実態の検証を通じて、巡回地域や巡回頻度だけでなく、利用対象や巡回施設などについても見直していきます。

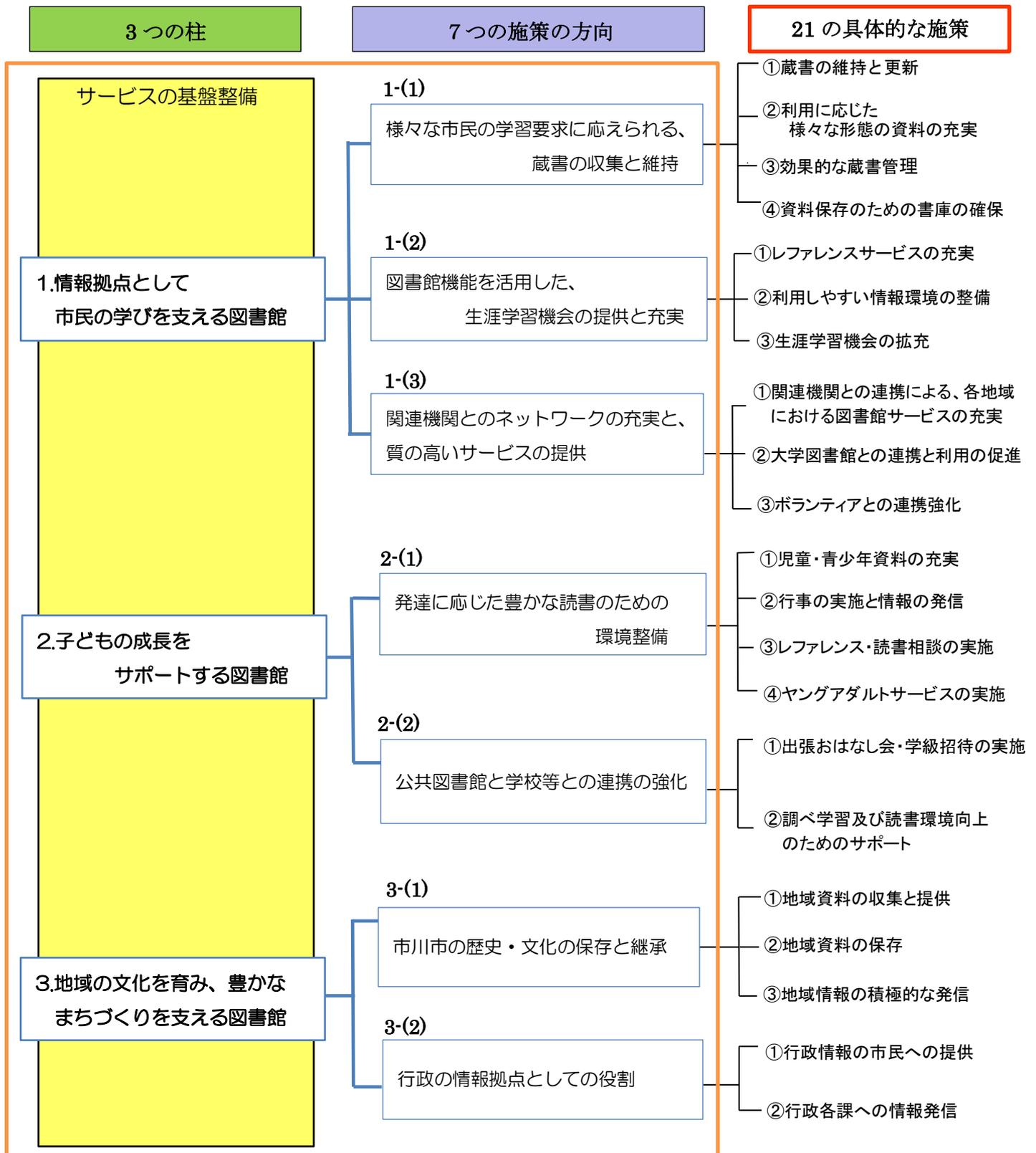
今後の時代の変化を見据え、それに対応できる図書館であり続けるために、全てのサービスを支える基盤としての職員の資質の向上を図り、多様で高度な図書館サービスの実現をめざします。



6. 本計画の構成

本計画は3つの柱の下に、7つの「施策の方向」を置き、それぞれに具体的な施策を位置付けます。これらを確実に実施していくために、3ヶ年ごとに具体的な施策に基づく実施計画を策定します。

市川市立図書館運営基本計画 体系図



第2章 市川市の図書館サービスの目指すもの

公立図書館は、図書館法に基づいて地方公共団体が設置する公の施設であると同時に、教育委員会が管理運営する教育機関でもあり、教育や文化、生活や仕事、精神的自由などに深い関わりを持っています。「知識基盤社会」において知識や情報の重要性が増すなか、地域の知識・情報・文化の拠点としての公立図書館の存在意義は高まっています。本市図書館ではこのような状況を踏まえ、効果的な図書館サービスのための施設や組織の基盤整備を進めるとともに、本市の実情に即した事業展開を行っていきます。

今後の目指すべき方向性を本市図書館の使命と位置付け、3つの柱を設定します。この使命に基づき、図書館の果たすべき役割を明確にしながら多様な事業を展開し、市民の期待に応えられるよう努めてまいります。

1. 情報拠点として市民の学びを支える図書館

現代の図書館には、趣味や教養を深める役割だけでなく、市民のもつ様々な課題の解決のための資料を迅速かつ的確に提供することが求められています。

このため、市川市の図書館は、身近な図書館として市民の興味やニーズに対応するとともに、社会情勢や生活の変化に応じ、必要とされる情報の収集及び提供や調査・研究の支援を行い、市民の学びを支えていきます。

また、すべての市民がより高質なサービスを等しく享受できるよう、ICTを活用したサービスを展開するほか、図書館資源を利用するに当たっての、居住地域や心身の障害等による利用しにくさを解消できるような工夫を行うとともに、職員の能力の向上や関係機関との連携によるサービスの充実を目指します。

(1) 「様々な市民の学習要求に応えられる、蔵書の収集と維持」

① 蔵書の維持と更新

日常生活の疑問や仕事上の疑問等、各種課題解決に対応できるよう資料の充実に努め、利用に応じた適正な蔵書の維持と更新を図ります。

② 利用に応じた様々な形態の資料の充実

市民の趣味、教養等に資するため、図書・雑誌や視聴覚資料の充実を図ります。図書館を利用する上でハンデキャップがある方が、それぞれの状況に応じた資料が利用できるよう、障害者向け資料の収集に努めます。また、電子資料等、新しい形態での資料の収集・提供についての調査と、導入についての検討を進めます。

③ 効果的な蔵書管理

ICタグ等による効果的な蔵書管理や、自動貸出機等の導入による貸出・返却業務等の効率化を進め、職員の人的な能力を、案内・調査相談など、より質の高いサービスへと集中させます。

④資料保存のための書庫の確保

市川市として必要な資料を適正に保存していくため、書庫の増設に努めます。また、ICTの進展等に合わせた資料の収集や保存についても検討していきます。

(2)「図書館機能を活用した、生涯学習機会の提供と充実」

①レファレンスサービスの充実

市民の調査研究活動を積極的に支援します。的確に資料を探せるよう、案内・回答機能の一層の充実を図ります。そのため、印刷資料とインターネット等による電子媒体を組み合わせた高度な情報提供といった、図書館のハイブリッド化の進展に対応できるよう継続的に職員研修を行い、司書のレファレンス技量の向上に努め、国立国会図書館・千葉県立図書館・その他専門機関との連携体制を強化しレファレンスの充実を図ります。また、地域館においても市民が専門的な調査支援等のサービスが受けられるよう中央図書館がバックアップします。

②利用しやすい情報環境の整備

電磁的記録も含め多様な情報源を用意し、誰もが資料や情報にたどり着けるような環境の整備を進めます。また、図書館ホームページの機能の向上を図り、ICTによる各種図書館サービスへのアクセスの拡大を目指します。

③生涯学習機会の拡充

大学、企業、NPO、行政等の多様な主体との連携を促進することにより、地域の抱えるそれぞれの課題に対応し、実情に即した生涯学習機会を提供していきます。また、子育てや起業など地域の活性化に繋がるような情報の提供に努めます。

(3)「関連機関とのネットワークの充実と、質の高いサービスの提供」

①関連機関との連携による、各地域における図書館サービスの充実

公民館等、関連施設との連携や活用等について調整を行い、各サービスポイントにおけるサービス内容の変更・整理を進め、市全域で質の高い図書館サービスが提供できるよう努めます。

②大学図書館との連携と利用の促進

市民が公共図書館のサービスを通じて大学図書館の持つ専門的な資料を利用できるよう、大学図書館と連携するとともに、利用促進のための市民へのPRを行います。

③ボランティアとの連携強化

図書館ボランティアとの連携を強化し、その活動を応援します。また、障害者サービスに関するボランティアとの連携を充実させていきます。

2. 子どもの成長をサポートする図書館

地域社会が子どもの読書環境を整えていくことは、子どもが言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにしていく上で大変重要です。そのため図書館では、子どもたちが幼い頃から本に親しみ多種多様な興味を見出せるように、資料を充実させるとともに、レファレンスや読書相談などにきめ細かく対応していきます。また、読み聞かせやブックリストの発行、子ども向けのイベントの開催などを関連機関と連携を図りながら継続的にを行い、子どもと本を結びつける活動を積極的に展開していきます。

(1)「発達に応じた豊かな読書のための環境整備」

①児童・青少年資料の充実

子どもの読書活動を推進するため、子どもの発達に応じて豊かな読書体験ができるような、資料の収集・更新に努めます。

②行事の実施と情報の発信

子どもと本を結びつけるために、年齢に応じて読み聞かせやストーリーテリング、ブックトークなどのイベントを開催し、子どもが読書に親しむ機会の提供に努めます。更に、年齢別のブックリストの作成と配布を行い、子どもの読書活動を支援します。また、子どもに関わる様々な部署との連携を深め、子どもの読書活動に関する情報発信に努めます。

③レファレンス・読書相談の実施

子どもたちの興味や関心を本に結びつけ、読書の楽しみを知ることができるよう、読書相談を行います。また、調べ学習に対応し適切な資料や情報にたどり着けるよう、レファレンスサービスを充実させます。子どもを取り巻く大人に対しても、的確な読書相談に努め、読み聞かせ講座などを開催します。

④ヤングアダルトサービスの実施

本離れが著しい中学生・高校生のヤングアダルト世代に向けて、進路や就職、生き方、多文化や国際化社会等への理解を深められるような資料の充実と提供に努めます。また、参加型イベント等の実施により、図書館の利用促進を図ります。

(2)「公共図書館と学校等との連携の強化」

①出張おはなし会・学級招待の実施

学校等への出張おはなし会や、図書館への学級招待などを通じて、子どもが図書館や本に親しむきっかけを提供し、図書館利用の促進を行うとともに、「自ら学ぶ力」を養い、生涯にわたって学び続ける力の育成をサポートします。

②調べ学習及び読書環境向上のためのサポート

学校図書館支援センター事業を通じて調べ学習をサポートし、学校図書館だけでは対応しきれないレファレンスにも応じていきます。学習指導要領に沿って計画的な学校向け貸出図書を更新を図り、学習活動に役立つ資料の充実をめめます。また、児童生徒のキャリア教育をサポートするため、図書館での職場体験の受け入れを継続的に行います。

図書館だけでなく、子育て支援にかかわる部署や施設とも連携及び協力をし、子どもたちの読書活動を充実させるよう努めます。



3. 地域の文化を育み、豊かなまちづくりを支える図書館

市川の歴史や文化についての郷土資料は、市川への理解と愛着を深め、地域の魅力を高める大切な市民の財産です。また、市川市の行政資料は、市民と行政が環境、教育、福祉など様々な分野において、市川のまちづくりに協働して取り組み、地域の課題解決へと導くための重要な手がかりとなります。これら地域資料を収集し、体系的に整理し保存することは、図書館が責任を持って行うべき重要な任務です。

本市図書館は、市民誰もが地域の情報にアクセスできるように環境を整え、行政の情報拠点としての役割を果たします。また、市川の魅力を発信し、豊かなまちづくりに貢献できるよう努めていきます。

(1) 「市川市の歴史・文化の保存と継承」

① 地域資料の収集と提供

地域社会の歴史、文化、行政などに関する資料、並びに地域または地域に関わりが深い個人や団体が作成、発行した資料の積極的な収集を進めます。また、刊行物として発行されないインターネット上の地域情報の取得に努めます。利便性の向上を図るため、資料や情報を体系的に整理し、提供していきます。

② 地域資料の保存

地域の歴史や文化、行政の記録を後世に継承していくために、地域の資料や情報を蓄積し、保存に努めます。また、貴重な資料の劣化防止のための電子化を進めます。

③ 地域情報の積極的な発信

市民が地域について学ぶ機会を拡げるため、地域資料の電子化を図り、広く利用できる環境を整備し、ホームページ等を活用した地域情報の発信を行っていきます。

(2) 「行政の情報拠点としての役割」

① 行政情報の市民への提供

行政の情報窓口として、行政各部署と連携し、市民生活に必要な情報を収集、整理し、提供に努めます。また、行政への市民参加を促し、市川のまちづくりにおいて、市民と行政が協働して地域の課題解決に取り組めるよう支援します。

② 行政各課への情報発信

市の行政各部署の政策決定、行政事務に必要な情報を収集、整理し、提供に努めます。関係各課の課題解決のためのレファレンス機能を強化し、積極的に情報を発信していきます。

第3章 実施計画編（令和6年度～令和7年度）

市川市立図書館運営基本計画（平成27年策定）で掲げた3つの柱の下、7つの「施策の方向」と21の「具体的な施策」に基づき、令和6年度～令和7年度の実施事業を定めます。また、事業の計画、評価指標設定を通じた計画的事業の展開を点検・評価し運営や事業の改善へとつなげるPDCA（PLAN（計画）－DO（実施）－CHECK（評価）－ACT（調整・改善））のマネジメント・サイクルに沿った運営を行うため、各事業の実施状況、指標の達成度及び満足度等から、総合的に毎年の評価を行い公表していきます。

一つめの柱 情報拠点として市民の学びを支える図書館

施策の方向 1-(1) 「様々な市民の学習要求に応えられる、蔵書の収集と維持」

◇具体的な施策① 「蔵書の維持と更新」

実施事業 1 新規資料の受入れと劣化資料の買い替えによる蔵書の適正な維持

数値目標等	継続的な資料の更新（購入と寄贈の合計冊数）	
	令和6年度	令和7年度
	50,000冊	50,000冊

◇具体的な施策② 「利用に応じた様々な形態の資料の充実」

実施事業 1 利用しやすい電子資料等の収集についての調査及び導入の検討

実施事業 2 障がいの特性に応じた資料の収集と目録の整備

数値目標等	読書バリアフリー計画の策定	
	令和6年度	令和7年度
	策定	

◇具体的な施策③ 「効果的な蔵書管理」

実施事業 1 全館的なICタグによる蔵書管理の効率化と業務の改善

◇具体的な施策④ 「資料保存のための書庫の確保」

実施事業 1 中央図書館の書庫への可動式集密書架の設置と活用

施策の方向 1-(2) 「図書館機能を活用した、生涯学習機会の提供と充実」

◇具体的な施策①「レファレンスサービスの充実」

実施事業 1 レファレンスツール及び事例集の提供

数値目標等	レファレンス事例集及びレファレンスツール (パスファインダー等)の発行	
	令和6年度	令和7年度
	15点	15点

実施事業 2 市内外の図書館等との連携の強化

数値目標等	レファレンス協同データベースの事例提供	
	令和6年度	令和7年度
	100件	100件

実施事業 3 市民の学習要求や調査研究に応えるデータベース等の提供及び利活用の促進

◇具体的な施策②「利用しやすい情報環境の整備」

実施事業 1 図書館ホームページ、デジタルコンテンツ等の情報環境の整備

実施事業 2 非来館型サービスについての調査及び導入の検討

◇具体的な施策③「生涯学習機会の拡充」

実施事業 1 中央図書館及び地域図書館、自動車図書館の特性を活かしたサービスの拡充
とPRによる利用の促進

数値目標等	図書館有効登録者数の拡大	
	令和6年度	令和7年度
	87,000人	88,000人

実施事業 2 イベントの開催や地域イベントへの参加・協力

施策の方向 1-(3) 「関連機関とのネットワークの充実と、
質の高いサービスの提供」

◇具体的な施策①「関連機関との連携による、各地域における図書館サービスの充実」

実施事業 1 関連施設との連携及び北部地域の図書館サービスの充実

◇具体的な施策②「大学図書館との連携と利用の促進」

実施事業 1 市民の大学図書館利用のための紹介状の発行

実施事業 2 市内大学及び大学図書館と市立図書館の各種行事等の相互PRと利用の促進

実施事業 3 大学生の図書館実習、インターンシップ等の受入れ

◇具体的な施策③「ボランティアとの連携強化」

実施事業 1 図書館友の会等と連携した行事等の実施とボランティア活動の支援

実施事業 2 障がい者サービス関連のボランティアと連携した、障がい者向け資料の作製と収集

二つめの柱 子どもの成長をサポートする図書館

施策の方向 2-(1) 「発達に応じた豊かな読書のための環境整備」

◇具体的な施策①「児童・青少年資料の充実」

実施事業 1 子どもの発達段階に応じて豊かな読書体験ができるような資料の収集と更新

※数値目標については、施策の方向 1-(1) 具体的な施策① 「蔵書の維持と更新」に含まれる

◇具体的な施策②「行事の実施と情報の発信」

実施事業 1 子どもの読書活動の推進のための行事の実施

数値目標等	読み聞かせの会の参加人数	
	令和 6 年度	令和 7 年度
	1,000 人	1,000 人

実施事業 2 推薦図書を紹介や読書に関わる情報の発信

数値目標等	推薦図書リストの新規作成数 (ヤングアダルトサービス含む)	
	令和 6 年度	令和 7 年度
	4 件	4 件

◇具体的な施策③ 「レファレンス・読書相談の実施」

実施事業 1 調べ物に役立つ資料の充実や探し方についてのレファレンスツールの整備

数値目標等	子ども向け調べ方案内 (パスファインダー) の新規作成数	
	令和 6 年度	令和 7 年度
	2 件	2 件

実施事業 2 子どもの本についての読書相談等の実施

数値目標等	児童書に関する相談件数	
	令和 6 年度	令和 7 年度
	6,400 件	6,500 件

◇具体的な施策④ 「ヤングアダルトサービスの実施」

実施事業 1 中高生の学習、生活、進路等の課題解決を支援するための図書や情報の提供

実施事業 2 図書館と中高生を結びつける行事の実施や刊行物の発行とその PR

施策の方向 2-(2) 「公共図書館と学校等との連携の強化」

◇具体的な施策① 「出張おはなし会・学級招待の実施」

実施事業 1 出張サービスの実施

数値目標等	出張サービスの実施回数	
	令和 6 年度	令和 7 年度
	15 回	20 回

◇具体的な施策② 「調べ学習及び読書環境向上のためのサポート」

実施事業 1 教育センターが所管する「学校図書館支援センター事業」への参加と協力

数値目標等	「公共図書館と学校とを結ぶネットワーク事業」 配送図書冊数	
	令和 6 年度	令和 7 年度
	37,000 冊	37,000 冊

実施事業 2 外部機関等と連携した児童・青少年サービスの実施・充実

施策の方向 3-(1) 「市川市の歴史・文化の保存と継承」

◇具体的な施策① 「地域資料の収集と提供」

実施事業 1 地域行政資料の収集と整理

数値目標等	地域行政資料の蔵書冊数	
	令和6年度	令和7年度
	63,000冊	64,000冊

◇具体的な施策② 「地域資料の保存」

実施事業 1 地域行政資料の電子化

◇具体的な施策③ 「地域情報の積極的な発信」

実施事業 1 図書館ホームページの地域情報の追加及び更新

施策の方向 3-(2) 「行政の情報拠点としての役割」

◇具体的な施策① 「行政情報の市民への提供」

実施事業 1 行政各部署や関連団体と連携した行事や展示等の実施

数値目標等	行政各部署や関連団体と連携した行事や展示等の実施回数	
	令和6年度	令和7年度
	10回	10回

実施事業 2 市の刊行物等の販売及び行政情報リーフレット等の配布

数値目標等	市の刊行物・作成物等の掲示及び配布件数	
	令和6年度	令和7年度
	50件	50件

◇具体的な施策② 「行政各課への情報発信」

実施事業 1 図書館で利用できるデータベース等、レファレンスツール情報の市の行政各部署への発信

数値目標等	図書館刊行物の庁内掲示板への掲載件数	
	令和6年度	令和7年度
	15件	15件

14. 計画（3）

令和5年度 市川市立図書館評価報告書

令和7年3月

1. 趣旨

この報告書は、「図書館法」(昭和25年法律第118号)第7条の3、「図書館の設置及び運営上の望ましい基準」(平成24年文部科学省告示第172号)、「市川市立図書館の設置及び管理に関する条例施行規則」(平成21年教育委員会規則第6号)第1条の2及び「市川市中央図書館の管理に関する規則」(平成6年教育委員会規則第9号)第2条に基づき、令和5年度の市川市立図書館の運営状況について評価・分析を行いサービス向上に資するものである。

2. 評価内容

「市川市立図書館運営基本計画」第3章 実施計画編(令和3年度～令和5年度)の具体的な施策に沿って行った取り組み内容と、目標値等の達成度に基づき、令和5年度の市川市立図書館の評価を行った。

3. 評価の基準について

市川市立図書館の「7つの施策の方向」の各項目について、取り組み内容と目標値の達成度を総合してA～Dの4段階評価を行った。これに基づき、総合結果として「3つの柱」についての取り組みを4段階評価で表した。(3つの柱と7つの施策については市川市立図書館運営基本計画 p.7を参照)

実施内容	評価
十分達成できた。(目標どおり取り組みを実施し、目標を上回る成果があった。)	A
概ね達成できた。(目標どおり取り組みを実施し、一定の成果をあげた。)	B
やや不十分だった。(実施したが、十分な成果をあげることができなかった。)	C
不十分だった。(実施できていない。課題の整理、計画の見直しが必要である。)	D

4. 自己評価結果

令和5年度は、「市川市立図書館運営基本計画」の3つの柱のうち「子どもの成長をサポートする図書館」、「地域の文化を育み、豊かなまちづくりを支える図書館」の2つについては、目標を達成することができA評価となった。子どもへのサービスについては、5年度より施行された「市川市子どもの読書活動推進計画」の第二次計画に基づき、子どもの発達段階に応じて豊かな読書体験ができるような取り組みを行った。また、地域行政資料については引き続き積極的な収集を行ったことにあわせて、行事や展示の実施等で行政各部署との継続的な連携を図ることができた。

「情報拠点として市民の学びを支える図書館」については、返却ポストの新たな設置等北部地域の利便性を高めることができたが、資料費の減額や購入平均単価の上昇により蔵書の受け入れ冊数が目標値未満であったことからB評価となった。

全体としては、昨年度と同様に7つの施策の方向のうち4つがA評価、3つがB評価であったが、令和5年度の目標は概ね達成でき、一定の成果をあげたと評価できる。

5. 令和5年度市川市立図書館評価に対する外部有識者からの意見 …詳細は別紙

外部有識者2名(図書館情報学)から、令和5年度の市川市立図書館評価についてご意見をいただき、自己評価は概ね適切であると認められた。また、実施結果や評価方法に対していただいた課題やアドバイスについては、今後の図書館運営に活かしていく。

令和5年度「市川市立図書館運営基本計画」に基づく図書館評価結果

総合結果

1. 情報拠点として市民の学びを支える図書館

評価	<input type="checkbox"/> A [十分達成できた]	<input checked="" type="checkbox"/> B [概ね達成できた]	<input type="checkbox"/> C [やや不十分だった]	<input type="checkbox"/> D [不十分だった]
----	--------------------------------------	---	---------------------------------------	-------------------------------------

5月には新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、図書館もほぼ通常通りの開館運営となり、コロナ禍で休止となっていたボランティア活動や市内大学との連携も徐々に再開した。返却ポストの新たな設置や、関連施設の開館時間の拡大などにより北部地域の利便性を高めることができた。

令和5年度は、4年度同様資料費減が続いたため、蔵書の更新は目標値に達しなかったが、閉館した施設からの寄贈資料も活用し、蔵書のバランスを考慮した資料収集を行うことができた。今後も必要な図書費の確保に努めていく。

2. 子どもの成長をサポートする図書館

評価	<input checked="" type="checkbox"/> A [十分達成できた]	<input type="checkbox"/> B [概ね達成できた]	<input type="checkbox"/> C [やや不十分だった]	<input type="checkbox"/> D [不十分だった]
----	---	--------------------------------------	---------------------------------------	-------------------------------------

令和5年度より施行された「市川市子どもの読書活動推進計画」の第二次計画に基づき、子どもの発達段階に応じて豊かな読書体験ができるように、推薦図書リストの継続的な作成や本に親しむイベント等を開催した。教育センターやこども館、学校等と連携し、読み聞かせ講座の実施や休止していた出張おはなし会を再開する等、子どもの読書活動を推進した。今後も、より多くの本に出会う機会を創出し、興味や好奇心を持たせるような読書体験をさらに広げる取組に努めていく。

3. 地域の文化を育み、豊かなまちづくりを支える図書館

評価	<input checked="" type="checkbox"/> A [十分達成できた]	<input type="checkbox"/> B [概ね達成できた]	<input type="checkbox"/> C [やや不十分だった]	<input type="checkbox"/> D [不十分だった]
----	---	--------------------------------------	---------------------------------------	-------------------------------------

地域行政資料の積極的な収集により、蔵書冊数は目標値を達成することができた。また、継続的に行政各部署と連携した行事や展示を行い、必要な行政情報を市民に提供することができた。隣接する施設との連携事業が再開され、地域教育活動の拠点として相互にイベントや関連展示を行うことができた。

引き続き地域行政資料の整理を行い、パスファインダーの作成やホームページの活用等、広く市民が利用できるような環境を整備していく。

令和5年度の取り組み内容

一つめの柱 情報拠点として市民の学びを支える図書館

施策の方向 1-(1)「様々な市民の学習要求に応えられる、蔵書の収集と維持」

具体的な施策	実施事業	目標値等	結果	評価
①蔵書の維持と更新	・新規資料の受入れと劣化資料の買い替えによる蔵書の適正な維持(購入と寄贈の合計冊数)	50,000冊	34,040冊	B
②利用に応じた様々な形態の資料の充実	・利用しやすい電子資料等の収集についての調査及び導入の検討	検討・導入	調査・検討	
	・障がいの特性に応じた資料の収集と目録の整備	点字図書の統合目録の作成	点字図書の統合目録の作成	
③効果的な蔵書管理	・全館的なICタグによる蔵書管理の発展的な実施の検討	IC機器の活用及び追加導入検討	IC機器の安定稼働と問題解決	
④資料保存のための書庫の確保	・中央図書館の書庫への可動式集密書架の設置と活用	可動式書庫の活用	可動式書庫の活用	

実績と評価

5月には新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、図書館もほぼ通常通りの開館運営となった。導入から4年が経過し、セルフ貸出機の利用も市民にほぼ浸透した。資料の受入れ冊数は、資料費の減額や購入平均単価が上昇したことから、目標値の68.1%に留まったが、閉館した施設「市本」からの寄贈資料なども活用し、寄贈の受入冊数は前年度より200冊増となった。資料予算については、コロナ禍以前に戻るよう、利用状況等を調査の上予算要求を行い、次年度の予算増額が決定した。点字図書の所蔵目録は前年度の墨字版に続き、点字版を作成提供した。電子書籍については前年3月から市川駅南口図書館で貸出を開始したが、中央図書館では導入には至らなかった。

課題

令和6年度の資料費の増加は決まったが、まだコロナ禍以前には戻っていないため、市民のニーズに応えられるように十分な資料予算の確保が必要である。電子書籍については一部市川駅南口図書館で導入したが、全館導入の際には、その特性を活かした利用ができるよう、分野を限定した導入等について検討しておく必要がある。

方向性

限りある予算を有効に活用し、市全体としての蔵書のバランスを考慮して、市民要望に応じた的確な資料選定を行う。また図書館の蔵書を維持していくために、資料予算の確保に努めていく。

施策の方向 1-(2)「図書館機能を活用した、生涯学習機会の提供と充実」

具体的な施策	実施事業	目標値等	結果	評価
①レファレンスサービスの充実	・レファレンスツールおよび事例集の提供	継続発行、発展	継続発行、発展 (発行数 17)	A
	・市内外の図書館等との連携の強化 (レファレンス協同データベースへの事例提供)	実施 (200 点以上)	実施 (252 点)	
	・市民の学習要求や調査研究に応えるデータベース等の提供及び利活用の促進	実施	実施	
②利用しやすい情報環境の整備	・図書館ホームページ、デジタルコンテンツ等の情報環境の整備	整備・実施	実施	
	・非来館型サービスについての調査及び導入の検討	実施	検討・実施	
③生涯学習機会の拡充	・中央図書館及び地域図書館、自動車図書館の特性を活かしたサービスの拡充と PR による利用の促進 (図書館利用登録者数の拡大)	前年度比増 (前年度 30,596 人)	24,400 人	
	・北部地域の図書館サービスの拡充	実施・周知	実施・周知	
	・イベントの開催や地域イベントへの参加・協力	実施	実施	

実績と評価

レファレンスサービスは、全体で 42,793 件と、前年度の 47,910 件より減少したが、各館で異なっていた電話レファレンスのカウントを統一したことで減少となった館があったことも要因の一つと考えられる。事例集である「あれこれふあ」を 11 回、パスファインダーを 6 号発行し、レファレンスツールおよび事例の提供数については前年度と同数となった。それらの事例等をレファレンス協同データベースに提供した結果、データ登録数が全国の基準を上回り、国立国会図書館から 15 回目の感謝状を受け取った。また、駅前などに市が設置している電子看板、公共デジタルサイネージに、読書週間やこどもとしょかんの案内など 7 件の掲示を行った。

図書館利用登録者数は、前年度比 79.7%に留まったが、実利用者数は前年度比 99.6%となっており、前年度同様の利用があった。返却ポストを新たに 3 か所に設置し、北部地域の利便性を高めた。イベントについては、市民協働の取り組みとして、「市民提案型推し活企画」の提案公募で 10 件を採択し実施された。

課題

レファレンスサービスや、予約資料の受取施設・返却ポストなどのサービスポイントの周知を図るとともに、図書館機能とその活用について SNS 等も利用した PR を行い、新規登録者等の拡大に繋げていく必要がある。

方向性

レファレンスの対応等、司書として専門性の高い業務に携われる時間を確保していく。図書館未設置地域においては、関連施設や自動車図書館を活用し、機能的・機動的なサービスを提供できるよう努める。また、誰もが利用しやすい環境を目指し、来館型・非来館型サービスのバランスのよい実施を心がけていく。

施策の方向 1-(3)「関連機関とのネットワークの充実と、質の高いサービスの提供」

具体的な施策	実施事業	目標値等	結果	評価
①関係機関との連携による、各地域における図書館サービスの充実	・関連施設との連携による図書館サービスの充実	実施	実施	B
②大学図書館との連携と利用の促進	・市民の大学図書館利用のための紹介状の発行	実施	実施(0 件)	
	・市内大学及び大学図書館と市立図書館の各種行事等の相互 PR と利用の促進	実施	中止	
	・大学生の図書館実習、インターンシップ等の受入れ	実施	実施	
③ボランティアとの連携強化	・図書館友の会と連携した行事等の実施とボランティア活動の支援	連携行事の実施	連携行事の実施(3 回)	
	・障がい者サービス関連のボランティアと連携した、障がい者向け資料の作製と収集	実施(20 点)	実施(24 点)	

実績と評価

北部地域の拠点として利用の多い大野公民館図書室は、平日の昼休み時間を休室としていたが、火曜日を開室とし、利便性を高めた。大学の図書館実習は、前年度に引き続き実習期間を短縮して 1 名で実施、インターンシップは和洋女子大学から 2 名の受入れを行った。市内大学との協働については、コロナ禍による学外者の入構制限が一部解除されたため、千葉商科大学では、8 月より返却ポストの利用、3 月から商大受取の予約の受付を再開した。また、和洋女子大学の学生有志により子ども向けワークショップがこどもとしょかんで開催された。図書館友の会は、コロナ禍で休止していた活動を再開し、共催行事としてリサイクルブック市を実施することができた。また、障がい者サービス関連のボランティアからは、点字資料や DAISY 図書などの成果物 24 点を受取り、目標値を上回ることができた。

課題

休止となっていたボランティア活動や大学図書館との連携等順次再開されていくことになるが、関係機関と協議を進め、連携事業の拡大を検討していく必要がある。

方向性

大野公民館図書室は平日の水曜日から金曜日の昼休み時間の休室の廃止に向けた調整をすすめ、北部地域の図書館サービスの充実を目指す。また、ボランティアとの協力体制を維持していけるよう努めていく。

二つめの柱 子どもの成長をサポートする図書館

施策の方向 2-(1)「発達に応じた豊かな読書のための環境整備」

具体的な施策	実施事業	目標値等	結果	評価
①児童・青少年資料の充実	・子どもの発達段階に応じて豊かな読書体験ができるような資料の収集と更新(購入と寄贈の合計冊数)	9,000冊	7,152冊	B
②行事の実施と情報の発信	・子どもの読書活動の推進のための行事の実施と情報の発信	継続実施 及び充実	継続実施 及び充実	
③レファレンス・読書相談の実施	・調べ物に役立つ資料の充実や探し方についてのレファレンスツールの整備	レファレンス ツールの作成	レファレンス ツールの作成	
	・大人に対しての子どもの本についての読書相談等の実施	実施	実施	
④ヤングアダルトサービスの実施	・中学・高校生のもつ課題の解決(学習、生活、進路等)を支援するための資料の提供	実施	実施	
	・図書館と中学・高校生を結びつける行事の実施や刊行物の発行	継続実施	継続実施 (38回)	
	・中学・高校生へのヤングアダルトサービスのPR	継続実施	実施	

実績と評価

資料の充実については、前年度に引き続き本の単価が上昇し、購入冊数は減少した。児童書については、寄贈書の受入も減少したため、受入れ冊数の達成率は目標値の約79.5%と昨年度より低下した。

行事の実施については、定例の読み聞かせ会のほかに、本に親しみを持ち、新たな本との出会いを創出するイベントも順次再開した。新たに2本のYouTube動画を作成し、情報の発信に努めた。小学生向けおすすめ本リスト「本のぽけっと2023」を発行し、パスファインダーは、防災とお金・経済について取り上げた。大人への読書相談等として、乳幼児の保護者対象の講座「はじめまして赤ちゃん絵本」を実施、また富貴島幼稚園、東部公民館等で乳幼児への読み聞かせについての講座の講師を職員がとめた。

ヤングアダルトサービスでは、夏休み期間に「YA“夏季”氷本」、冬に「YA“めで”たいやき本」を引き続き実施した。また県立市川東高等学校の図書委員会による「マイブックシェルフ by イチヒガ!」を実施し、図書館内におすすめの本を集めた棚を作成した。「YA通信」等の刊行物は継続的に発行・改訂した。また、図書館やYAコーナーをPRするボランティア「YAサポーター」活動は、21回実施し、延べ29名が参加した。

課題

乳幼児サービスの展開や、子どもの保護者に向けたPRを実施することが引き続き課題である。また、子どもの発達段階に応じて豊かな読書体験ができるような資料を充実させる必要がある。

方向性

「市川市子どもの読書活動推進計画」の第二次計画に基づき、引き続き子どもの発達段階に応じた様々な取り組みを実現していく。

施策の方向 2-(2)「公共図書館と学校等との連携の強化」

具体的な施策	実施事業	目標値等	結果	評価
①出張おはなし会・学級招待の実施	・「出張おはなし会」「学級招待」の対象学年の拡大とプログラムの充実	実施充実	実施充実	A
②調べ学習及び読書環境向上のためのサポート	・教育センターが所管する「学校図書館支援センター事業」への参加と協力	継続実施	継続実施 (資料依頼435件)	
	・学校図書館向け貸出資料の更新	前年度比増 (65冊)	189冊	
	・外部機関等と連携した児童・青少年サービスの実施・充実	継続実施・充実	継続実施 ・充実	

実績と評価

再開した「出張おはなし会」は、保育園、幼稚園、小学校で計8回実施し、「まちたんけん」等の地域学習を4回実施した。学校図書館向け貸出用資料は、幅広い利用に対応するため購入数を増やした。ヤングアダルト特集展示用のポスター募集や学校から借用したPOP等の館内展示は継続し、広く利用された。他機関との連携イベントとして、現代産業科学館の企画展にあわせた展示や読み聞かせ、考古博物館の企画ナイトミュージアムでの読み聞かせを実施した。市との包括協定を締結している明治安田生命保険相互会社に依頼し「親子で学ぶ!こども航空教室」を開催した。行徳図書館では、臨海整備課との連携イベント「海苔ってどうやってつくるのかな?」、野鳥観察舎との連携イベント「行徳の野鳥とともだちになろう」など地域性を活かし実施した。

課題

学校図書館向け貸出用資料を計画的に更新し充実していくことが課題である。また、こどもとしゃかん利用の促進のために他機関との効果的な連携実施が必要である。

方向性

「市川市子どもの読書活動推進計画」の第二次計画に基づき、学校のほか、市内の子ども子育て施設等の外部機関を通して、子どもと保護者に向けて読書の大切さをPRし、積極的に読書支援、図書館利用の促進を図る。

三つめの柱 地域の文化を育み、豊かなまちづくりを支える図書館

施策の方向 3-1 「市川市の歴史・文化の保存と継承」

具体的な施策	実施事業	目標値等	結果	評価
①地域資料の収集と提供	・地域行政資料の収集と整理 (地域行政資料の蔵書冊数)	前年度比増 (62,973 冊)	64,472 冊	A
②地域資料の保存	・地域行政資料の電子化	継続実施	実施	
③地域情報の積極的な発信	・図書館ホームページの地域情報の追加及び更新	実施	実施	

実績と評価

地域行政資料は、寄贈を中心に、新刊書から古書まで積極的に収集した結果、蔵書冊数は目標値を上回ることができた。以前から準備を進めていた『大柏川第一調整池緑地だより』のデータを、館内Web-OPACのデジタルアーカイブ・システムで公開した。また、地域資料のパスファインダー「市川市ってどんな街？7 市川と相撲」を発行し、ホームページで公開した。ガラスケース展示では「南総里見八犬伝と市川」と題して、市川を描いた場面の浮世絵を中心に掲載図書を展示し、この展示に関連して、4月から発信を開始した X(旧 Twitter)で地域資料のパスファインダー「市川市ってどんな街？3 市川市に関する浮世絵」を紹介したところ、リツイートされ約 9,000 件のアクセス数があった。

課題

劣化対策として資料の電子化を計画的に進めていくことが重要だが、全てを電子化することは困難なので、地域行政資料を物理的に永く保存していくために十分なスペースの確保が必要である。また、電子化した資料のインターネット公開を進めるため、個人情報や転載記事の扱い等利用許諾についての注意点をまとめ、マニュアル化していく必要がある。

方向性

引き続き、地域行政資料の積極的な収集と受入れに努めるとともに、地域資料の整理を行い、パスファインダーの作成やホームページの活用等、広く市民が利用できるような環境を整備する。また、地域行政資料の保存のためのスペースを確保する。著作権保護期間満了資料の電子化を計画的に進め、館内で公開するデジタルアーカイブの活用を図っていく。

施策の方向 3-2 「行政の情報拠点としての役割」

具体的な施策	実施事業	目標値等	結果	評価
①行政情報の市民への提供	・行政各部署や関連団体と連携した行事や展示等の実施	実施充実	実施充実 (16 回)	A
	・市の刊行物等の販売及び行政情報リーフレット等の配布	継続実施	継続実施	
②行政各課への情報発信	・図書館で利用できるデータベース等、レファレンスツール情報の市の行政各部署への発信	実施	実施	

実績と評価

行政各部署や関連団体と連携した展示は、地域包括支援課、健康支援課、地域連携課や市内学校等と実施した。千葉県立現代産業科学館、ニッケコルトンプラザと生涯学習センターの三者間で、新たに地域教育活動の拠点として連携する事業「おにたかどらい」が再開され、相互にイベントや関連展示を行った。市との包括協定を締結している明治安田生命保険相互会社に依頼した講座を実施、また株式会社千葉ジェッツふなばしの選手の紹介写真パネルや愛読書などを展示した。

図書館からの情報発信としては、レファレンスの月報をまとめた「あれこれふぁ(参考業務年報)」を庁内各部に配布し、庁内情報にも掲載した。また、市の行政各課からの調査依頼にも随時対応し、図書館機能を紹介するなど PR に努めた。

課題

行政各部署に向けて、行政資料・行政情報の収集・整理に努めていること、また図書館機能についても周知させていく必要がある。

市民に向けては、図書館が集約した幅広い行政情報を、誰でも使えるように整理し、わかりやすい形で迅速に情報提供していくことが課題となる。

方向性

行政各部署に対しては、図書館で利用できるデータベース等、役立つツールの効果的な活用法をわかりやすく PR し、図書館のレファレンス機能を地域の課題解決や各部署の事業運営に役立ててもらえるよう継続的に情報発信をしていく。

行政各部署や関連団体等と連携して、図書館利用につながるような魅力的な展示やイベントを企画するとともに、身近な行政情報や市川の魅力を市民に積極的に提供していく。

3つの柱に対する、図書館の自己評価、今後の課題等について、外部有識者(図書館情報学)2名から意見をいただいた。

1. 情報拠点として市民の学びを支える図書館

・通常の運営に戻つつあるなか、種々のサービスの再開と拡大が図られ、図書館の努力を認めることができる。資料の受入冊数が令和3年度からは大幅に減少し、令和5年度も当初目標の7割に達しなかったが、資料費の減額が主な理由であるだけに、寄贈資料の受入増加に努めたことでもあり、やむを得ないことと理解する。令和6年度は増額されたので、購入資料の質のよい選定により、図書館に対する市民の満足度がさらに高まることが期待される。

全国的にも高いレベルにあるレファレンスサービスはもとより、これまで良好な関係を維持してきた関連機関やボランティアとの連携も復しており、図書館がもつ本来の力量が従前のように発揮されつつある。北部地域のサービス向上も図られており、自動車図書館の運行とともに、市民の誰もが図書館を利用できる全域サービスをいっそう進めてほしい。また、本のある場所であることが図書館の基本であるが、市川駅南口図書館で導入された電子書籍も、市民の情報アクセス向上の点から、分野や紙メディアの特性に応じて、市川市全体への拡大を望みたい。

・蔵書受入れ冊数は、購入単価が上昇したことを踏まえると、目標値の7割程度でもやむを得ない。単価上昇は続くと思われることから、予算(資料購入費)の確保をめざすとともに、資料収集・選択にあたっては、市全体としてのバランスを考慮しつつも、市あるいは各館において、収集方針に基づきながら、より現実的・実地的な「優先順位」を設定することが求められよう。

レファレンスサービスの件数が減少したことは、必ずしもマイナスに評価すべきではない。パスファインダー発行などの取組みによって、「質問なくても自身で解決することができた」ケースが増えたため、相談が減少した場合もあると思われるためである。レファレンス質問の中身をさらに分析してみたいかがだろうか。非来館型サービスを含めて、バランスの取れたサービスを展開するために、より専門性の高い相談に人員を重点的に充てていくためにも、分析に基づいたサービス計画の立案を期待したい。

関係機関とのネットワークについては、積極的な取組みが再開・展開されている。もちろん図書館として必要なサービスは強化すべきであるが、持続可能な仕組みとすることも重要であるから、拡大自体が目的にならないように、いわゆる協働の観点から、連携先にも利点があるかたちを、引き続き模索・構築されたい。

2. 子どもの成長をサポートする図書館

・「市川市子どもの読書活動推進計画」に拠ることから、児童・青少年資料の購入が控えられたわけではないとしても、受入冊数が当初目標の8割ほどにとどまったことからすれば、児童書の単価上昇や寄贈図書減少があるにせよ、資料費の減額が子どもの本の購入に影響が及んだのではないかと憂慮する。資料費が増額された令和6年度に期待するところであるが、市川市が持続可能な自治体であるためには、子どもたちへの投資は惜しんではならないと考える。

児童サービスやヤングアダルトサービスでは、さまざまな行事や活動、情報発信を継続的かつ地道に実施し、高いパフォーマンスを発揮しているが、乳幼児の保護者に対する啓発なども良い取り組みである。また、学校との連携では、全国的に知られる実績を有しているだけに、多くの様々な事業の実施は、図書館の面目躍如というところであって、学校に出向いたり、外部機関と連携したりすることで、多面的な読書推進活動を引き続き展開するとともに、特にブックトークとビブリオバトルは重点的に取り上げてよいように感じる。

・児童・青少年資料については、購入単価を考えると、受入れ冊数が目標を下回るのはやむを得ない。むしろ資料をどのように活用していくか、すなわち子どもたちが「適切な」資料に出会うための取組みが求められている。その意味では、行事、広報・PR(情報発信)、レファレンスサービス・読書相談などが着実に展開されている点は望ましいと受け止められる。今後は、子どもたちのニーズにより合致するかたちで、量(のみ)でなく質の向上をめざしてほしい。

出張おはなし会などが再開できたことは好ましい。一方で、とくに学習の支援という観点から見ると、子どもたちが必要な資料を手軽に利用できるためには、学校図書館の充実が欠かせない。課題として認識されているところであるが、学校図書館向け貸出用資料の更新・充実を期待したい。

3. 地域の文化を育み、豊かなまちづくりを支える図書館

・地域資料は図書館の最も重要な資料群の一つであり、入手しにくい古い資料や一般に知られていない資料が多だけに、収集と提供、保存、発信に特段の配慮が必要となるが、市民の誇りとなる資料群が着実に形成されつつあると確認できる。劣化対策と市民への公開から、資料の電子化やデジタルアーカイブの構築は必須のことながら、そのための費用が多額となることから、現物保存にとどめるものとの仕分けなど、長期的な計画の策定が望まれる。

地域の情報を蓄積する拠点として、行政各部署と連携した地域教育事業は、図書館の企画力、調整力、実行力が試される重要な活動の一つである。これまでも特色ある展示や講座が実施されてきたが、市内で最も集客力のある施設として、市民から面白い、役に立った、と思ってもらえるような斬新なイベントに挑戦してほしい。また、行政各部署や関連団体からの調査依頼に応じられる図書館として、データベースなどの紹介を通じて、レファレンスサービスにつなげていくことを目標としたい。

・地域の文化について、資料(情報)の観点から、保存・継承に資することは、公共図書館ならではの重要な役割である。行政資料の収集・整理も順調であり、また、デジタル化と公開や、展示などによって、地域資料を市民(あるいは国民)に届ける取組みも着実に実施されている。ただし、図書館がすべてを担うのではなく、市内他機関や市民・団体などの協力・連携を進め、図書館が優先して対応すべき分野・ジャンルなどを見極めながら、市全体としての地域文化(のための資料)の保存・継承において、図書館がイニシアティブを果たしていくことを期待したい。

行政各部署・関連団体との連携も有効に進められている。今後は、各部署・団体において、図書館機能に対する理解を拡大していくとともに、利用を促進していくための工夫をさらに期待したい。

総評

・行政は手続きと結果がすべてであるから、図書館の評価においても「市川市立図書館運営基本計画」に基づく限り、控えめな自己評価は理解できるところではある。しかしながら、資料費の減額など所与の条件が変わったことからすれば、図書館の取り組みはすべての項目において A 評価であってもよいと考える。全国的にトップクラスのサービスを実践してきただけに、その高いレベルを維持するだけでも大変なことであるが、現状にとどまることを良しとせず、職員の皆さんには使命感と誇りをもって、市民のための図書館をさらに充実させていただきたいと願っている。

・自己評価はいずれも妥当であると考え。全国的に見て市川市立図書館が高水準のサービス・活動を展開していることは間違いのないので、不足しているところだけに目を向けるのではなく、成果の出ているところをさらに伸ばし、広げるという姿勢が、職員の負担強化を回避し、予算を含めた資源を適切に投入・配分する持続可能な運営には必要であろう。3つの柱に対する個別のコメントでも触れたが、図書館がすべてを担うのではなく、いわゆる利用者協働の考え方を積極的に進めていくことがポイントとなる。なお、ここでいう利用者は、個人だけでなく、団体・学校・企業なども対象であり、また、議会・行政各部門なども含まれる。

市川市子どもの読書活動推進計画
第二次(令和 5～7 年度) ※一部抜粋

2023年3月
市川市教育委員会

第1章 計画の概要

1. 子どもの読書活動の意義

子どもにとっての読書は、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことのできないものです。

子どもたちが、読書活動で得た知識や適切な情報等を基にして、直面するさまざまな課題を克服し、人生をより主体的に、より豊かに生きていく力を確実に身につけるために、国や地方公共団体が積極的にそのための環境整備を推進していくことは極めて重要です。

2. 計画の背景

(1) 国

平成13(2001)年12月に「子どもの読書活動の推進に関する法律」が施行され、この法律に基づき、平成14(2002)年8月に「子供の読書活動の推進に関する基本的な計画」(第一次)を策定し、平成20(2008)年3月には第二次基本計画、平成25(2013)年5月には第三次基本計画、平成30(2018)年4月には第四次基本計画を策定し、概ね5年間にわたる施策の基本方針と具体的な方策が示されました。

この間、平成17(2005)年7月には、読書活動に関わりの深い「文字・活字文化振興法」が施行され、文字・活字文化の振興に関する施策の総合的な推進が図られるとともに、平成20(2008)年6月の国会において、平成22(2010)年を「国民読書年」とし、読書への国民の気運をさらに高めるため、「政官民が協力し、国をあげて、あらゆる努力を重ねること」が決議されました。

(2) 千葉県

千葉県は、国の推進計画に基づいて、平成15(2003)年3月に「千葉県子どもの読書活動推進計画」の第一次計画を策定し、その後の国の動向や計画の成果と課題を踏まえ、平成22(2010)年3月に第二次計画、平成27(2015)年3月には第三次計画、令和2(2020)年2月には第四次計画を策定しました。

(3) 市川市

本市では、「子どもの読書活動の推進に関する法律」の施行を受け、平成16(2004)年12月に「市川市子どもの読書活動推進計画」を策定し、子どもが読書に親しむ機会の提供と充実に努めるとともに、子どもの読書環境の整備を進めてきました。

中央図書館では、子どもが落ち着いて読書を楽しめるよう平成6(1994)年に中央図書館の中に「こどもとしょかん」を独立させ、子どもの読書活動の中心をなす機関として多くの役割を担ってきました。こどもとしょかんは、平成17(2005)年に「子どもの読書活動優秀実践図書館文部科学大臣表彰」を受賞しています。

また、平成14(2002)年11月に開始したブックスタート事業「たのしく絵本！はじめの一步」は、子育てに関わる人の負担感を軽減し、子育ての楽しさを感じてもらうこと、また乳幼児には、本を通して保護者のぬくもりを肌と心で感じてもらうとともに本の楽しさを知ってもらうことを目的として、乳幼児の絵本環境の整備や保護者に向けた啓発活動を行っています。

一方、本市の学校図書館では、「生きる力・夢や希望を育む学校図書館」を目指す学校図書館像として掲げ、「公共図書館と学校とを結ぶネットワーク事業」を平成元(1989)年より実施しています。公共図書館と学校図書館、さらに学校図書館相互を、人・物(図書)・情報の面でつなげるネットワーク体制を構築することにより、学校図書館を中心とした学校の教育機能を高め、児童生徒の「豊かな心」と「自ら学ぶ力」を育み、生涯にわたって学び続ける市民の育成を目指しています。平成12(2000)年には、富貴島小学校が「子どもの読書活動優秀実践校文部科学大臣表彰」を受賞し、以降、鬼高小学校、稲越小学校、塩焼小学校、中国分小学校、福栄小学校、南行徳中学校、第七中学校、菅野小学校、第一中学校が同賞を受賞しています。

令和元(2019)年度策定の「第3期市川市教育振興基本計画」では、「自分を大切にし、他人を思いやる気持ちなど、豊かな心を育む」ための施策として「読書教育の推進」を掲げ、幼児期からの読書教育の一層の充実に努めています。

3. 計画策定の目的

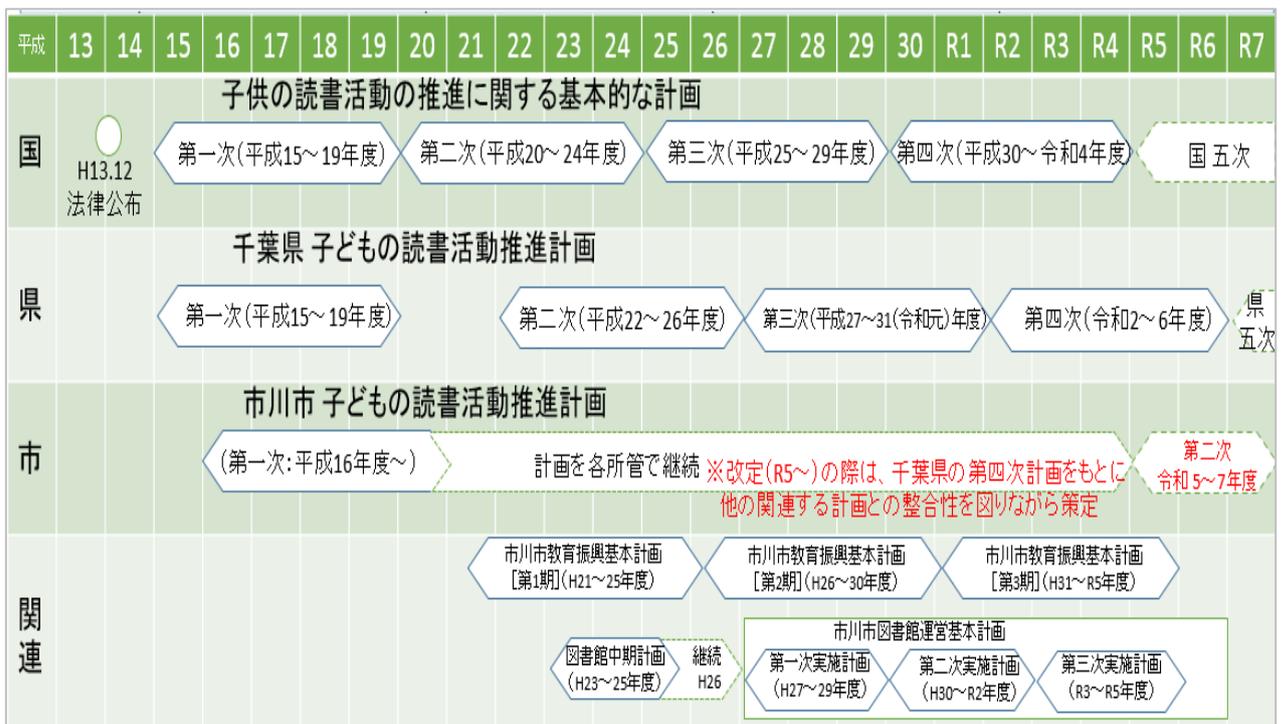
「市川市子どもの読書活動推進計画」策定から約18年が経過し、情報通信手段の普及・多様化等子どもを取り巻く状況も変化してきています。本市では、すべての子どもが自主的に読書活動に親しめるよう社会の変化に対応した読書環境を整備し、かつ子どもの読書活動をより一層推進するために、令和5(2023)年度から「市川市子どもの読書活動推進計画 第二次計画」を策定するものです。

4. 計画の位置づけ

本計画は、「子どもの読書活動の推進に関する法律」に基づく、国の「子供の読書活動の推進に関する基本的な計画(第四次)」及び、「千葉県子どもの読書活動推進計画(第四次)」を基本とし、本市における子どもの読書活動を推進するための計画です。

「市川市総合計画」をはじめ、「市川市教育振興基本計画」、「市川市図書館運営基本計画」などの本市の教育に関する計画との整合性を図りながら、子どもの読書活動を推進していきます。

(表:子どもの読書活動に関する計画)



5. 計画の対象

本計画の対象は、おおむね18歳以下の子どもとします。また、保護者をはじめ、子どもと子どもの読書活動に関わるすべての大人や地域、学校、行政、関係機関も対象とします。

6. 計画の期間

本計画の期間は、令和5(2023)年度～令和7(2025)年度までの3年間とします。なお、子どもの読書を取り巻く社会情勢等に変化があった場合、必要に応じて見直しを行います。

7. 計画の策定経過

計画の策定にあたり、市の関係部局において担当者策定作業部会を開催し、意見の集約を行い、素案の作成を行いました。また、社会教育委員会議、パブリックコメント等により専門家や地域住民より様々な意見を聴取し、計画案をとりまとめ、市川市教育委員会の議決により策定されました。

時期	内容
令和4年6月	「市川市子どもの読書活動推進計画」の改定方針 (定例教育委員会)
令和4年8～9月	策定作業部会(3回)により素案作成
令和4年10月6日	「市川市子どもの読書活動推進計画(第二次)」(素案)の中間報告 (定例教育委員会)
令和4年10月27日	素案についての意見聴取(社会教育委員会議)
令和4年10～12月	素案についての意見聴取(子どもの読書に関係する団体等)
令和4年11月19日 ～12月20日	素案についての意見聴取(パブリックコメント)
令和5年1月	パブリックコメント実施結果公表
令和5年3月	計画案について(定例教育委員会)
令和5年4月	「市川市子どもの読書活動推進計画(第二次)」の施行

第2章 基本的な方針

1. 基本的な理念

豊かな心を^{はぐく}育む、本でつながるまち、いちかわ

読書の楽しさを味わい、読書により充実感や満足感を得たという経験が、子どもの意欲の向上、ひいてはウェルビーイング¹につながります。

子どもがあらゆる機会とあらゆる場所において、自主的に読書活動ができるようになるために、子どもが生活を過ごす家庭・学校・地域等がそれぞれの読書環境を整備するとともに、そこにいる大人が子どもの読書活動への理解を深め、子ども一人ひとりの発達や読書経験に応じた取組を進めることが重要です。

子どもの読書活動の充実と推進を図るために、家庭・地域・学校が手を携え、行政がバックアップし、様々な読書活動を展開していきます。

豊かな心を育む… 子どもは、読書により、多くの知識や情報を身につけ心を成長させていきます。また、心に深く残る読書の経験は心の栄養となり、豊かな情緒や感性を育みます。

本でつながる… 社会全体が連携して、読書への関心を高め、読書を通じた子どもの健やかな成長を願う、そのような環境づくりを進めていくことが肝要です。

2. 基本方針

本市のこれまでの取組と課題等を踏まえつつ、県の第四次計画を参考に、次の4つを基本方針として、子どもの読書活動を推進します。

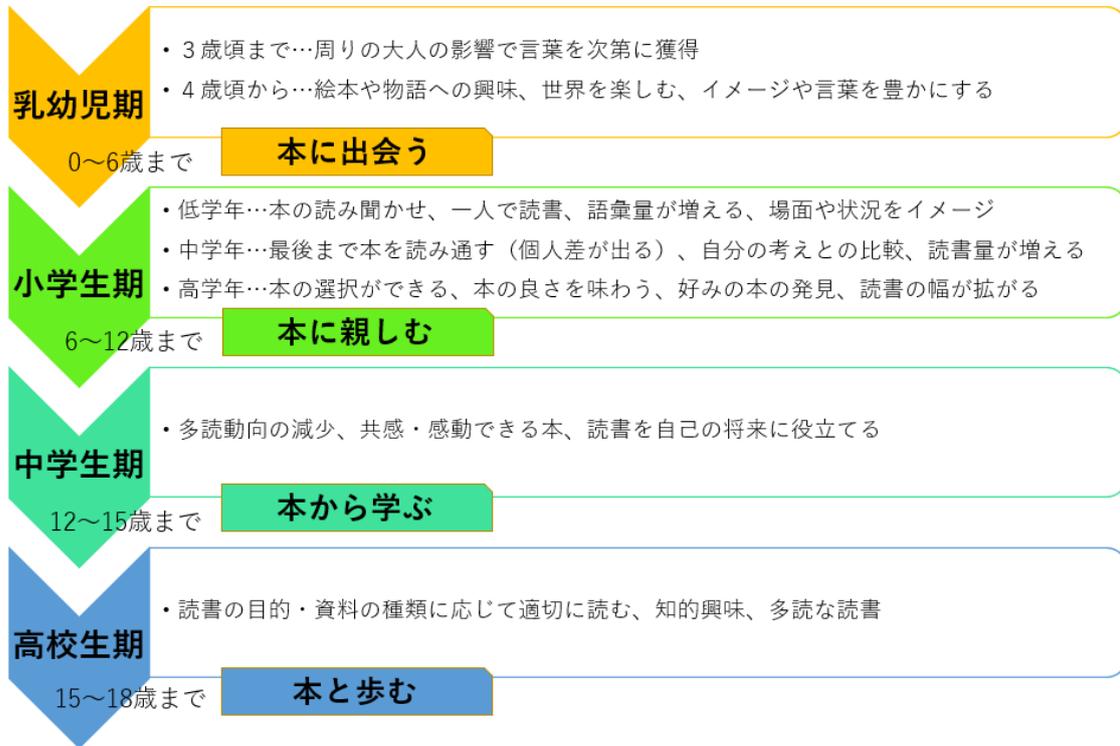
(1) 子どもの読書への関心を高める取組の推進

家庭・地域・学校等²が、それぞれの役割を自覚し、社会全体で子どもの読書への関心を高める取組を実施し、本に親しむ習慣の定着を図ることで子どもの読書活動を支援していきま

¹ ウェルビーイング(Well-being)・・・心身と社会的な健康を意味する概念。満足した生活を送ることができている状態、幸福な状態、充実した状態などの多面的な幸せを意味する

² 学校等・・・幼稚園・保育園・認定こども園を含む

す。このため、子どもの発達段階に応じて、本とつながるきっかけを積極的につくることを推進します。



読書をしていない高校生の中には、中学校までに読書習慣が形成されていない実態も見受けられることから、生涯にわたって読書に親しみ、読書を楽しむ習慣を形成するためには、乳幼児期からの発達段階に応じた読書活動が行われることが重要です。

(2) 読書環境の整備

子どもが、好きな本を手にとったり、必要な資料を調べたりすることのできる、望ましい読書環境づくりを推進します。いつでも、どこでも、すべての子どもたちが本に親しむことができるようになるためには、市全体において、家庭・地域・学校等、それぞれが子どもの読書環境を整備します。

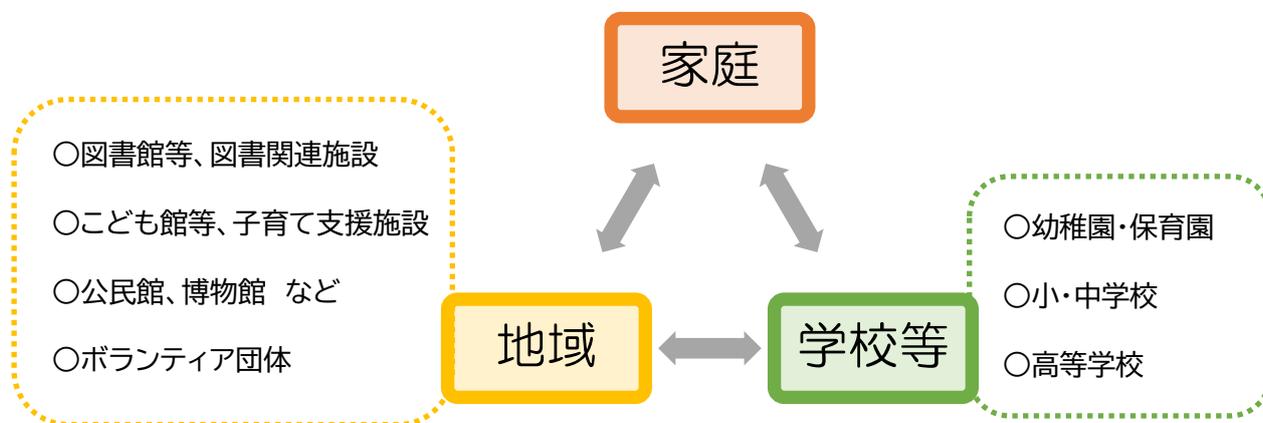
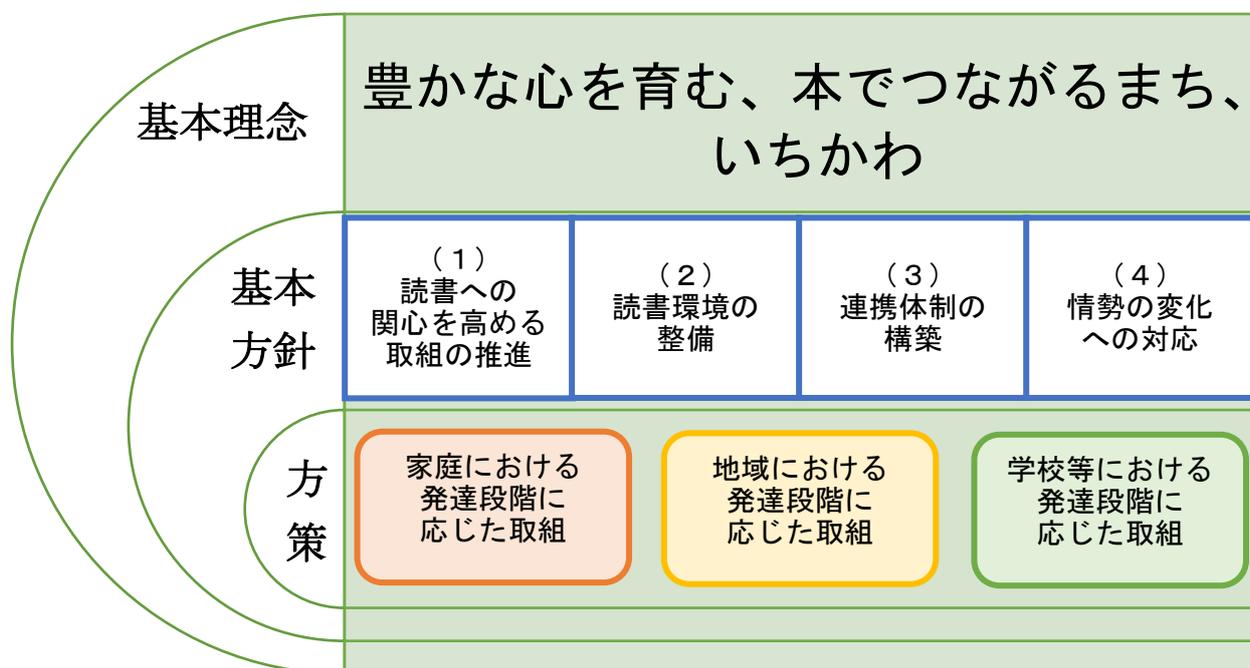
(3) 連携体制の構築

家庭・地域・学校等、それぞれが連携を図り、子どもが読書に親しむ機会を充実できるように努めます。また、「子どもの読書活動推進センター」としての役割を、中央図書館、教育センター、中央こども館が集約された複合施設である生涯学習センターが果たします。

(4) 情勢変化への対応

情報通信手段の普及・多様化により、子どもの読書活動にも影響が表れています。児童生徒のスマートフォンの利用率が年々増加傾向にあることや SNS 等、情報通信手段の多様化が進んでいる実態を踏まえて、これからの読書活動推進の手立てを講じていく必要があります。

このため、情報リテラシーの重要性及び情報モラル教育の充実に立脚したうえで、情報社会において普及しているツールを利用し、非来館サービス、読書バリアフリーに配慮した取組をも実施していきます。



資料3 施策体系図(第二次 市川市子どもの読書活動推進計画:令和5年度~7年度)

基本理念
豊かな心を育む、本でつながるまち、いちかわ

方針1. 読書への関心を高める取組の推進

乳幼児期・小学生期・中学高校生期…
発達段階に応じたさまざまな取組の推進

ブックスタート

(1) 家庭	1-(1)-1.本の読み聞かせ 1-(1)-2.家庭読書=「家読」(うちどく)の推進 1-(2)-1.こども館での乳幼児向けイベント 《ブックスタート「たのしく絵本!はじめの一步」》	1-(3)-1.幼稚園・保育園等での読み聞かせ 1-(3)-2.学校での様々な交流による読み聞かせ 1-(3)-3.児童生徒の読書習慣の確立・ 読書指導の充実 1-(3)-4.児童生徒が相互に図書を紹介する 活動や様々な読書活動の工夫 1-(3)-5.図書館資料を活用した授業の展開 1-(3)-6.作家の講演 《絵本作家の原画展》
(2) 地域	1-(2)-2.図書館での読み聞かせの会と本に親しむイベントの実施 1-(2)-3.推薦図書リストなど情報の発信	
(3) 学校等	1-(2)-4.本の紹介展示と読書の啓発 1-(2)-5.読書に関する相談、案内、レファレンス 《子ども向け調べ案内(パスファインダー)》 1-(2)-6.職場体験の受入れ	

方針2. 読書環境の整備

施設、資料、職員、そして情報化
計画のハードウェアとなる部分

ボランティア 活動の推進

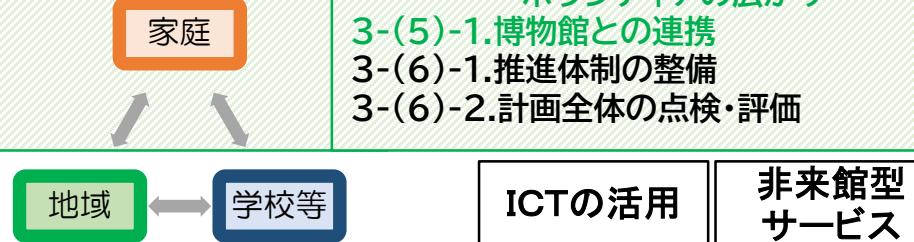
読書バリアフリー

(1) 家庭	2-(2)-1.図書館等の整備 《乳幼児向け図書館利用券の発行》《お通いバッグの作成・配布》 2-(2)-2.子どもの利用のためのスペースの確保 《大柏川ビジターセンターえほんコーナー》	2-(3)-1.幼稚園・保育園等における環境整備 2-(3)-2.魅力ある学校図書館づくり 《「学校図書館支援センター通信」の発行》 2-(3)-3.「人のいる学校図書館」の推進、 人的体制の整備 2-(3)-4.情報化の推進 《学校図書館の蔵書データベースの集約化》 2-(3)-5.読書バリアフリーの推進 2-(3)-6.教職員研修 2-(3)-7.推薦図書コーナーの設置 2-(3)-8.ボランティア活動の推進と連携
(2) 地域	2-(2)-3.図書室等、関連施設での読書環境の整備 2-(2)-4.こども館等、子育て支援施設での読書環境の整備 2-(2)-5.そのほか、子どもを対象にした地域文庫、民間施設等との連携 2-(2)-6.すべての子どもが本に親しむための環境整備(読書バリアフリーの整備) 《障がい者資料の充実と利活用》《洋書絵本、洋児童書の充実》	
(3) 学校等	2-(2)-7.児童資料の充実 《大型絵本・大型紙芝居の充実と PR》 2-(2)-8.情報化の推進 2-(2)-9.児童図書館員の資質の向上と研修 2-(2)-10.ボランティア活動の推進《読み聞かせボランティアの育成》	

方針3. 連携体制の構築

公共図書館と 学校とを結ぶ ネットワーク事業

(1)家庭と学校等 (2)地域と学校等 (3)学校間 (4)家庭と地域 (5)地域施設間 (6)推進体制	3-(1)-1.読書の意義や大切さの共有 3-(1)-2.保護者・地域の読書活動ボランティアの連携・協力体制の確立 3-(2)-1.公共図書館と学校とを結ぶネットワークの活用 《市民図書室のボランティア活動》《学級文庫の貸出》《出張サービス》 3-(2)-2.地域と学校等との効果的な連携 3-(3)-1.学校図書館同士の連携・協力 3-(3)-2.異学年交流 3-(3)-3.読書活動や学習活動の共有化	3-(4)-1.ブックスタートの連携・拡大 3-(4)-2.公民館等の集会事業の施設 3-(4)-3.家庭文庫・地域文庫等、 ボランティアの広がり 3-(5)-1.博物館との連携 3-(6)-1.推進体制の整備 3-(6)-2.計画全体の点検・評価
---	---	--



方針4. 情勢の変化への対応

ICTの活用

非来館型 サービス

(1)基本的な考え方 (2)情報の利活用(情報リテラシーの重要性) (3)情報モラル教育の充実 (4)情報ツールの利用	4-A.《電子図書館の推進》 4-B.《YouTube 読み聞かせ動画の配信》 4-C.《読書記録アプリの利用推進》
--	--

具体的な施策の主な指標

方針1.	1-(1)-1	ブックスタート参加人数
	1-(1)-2	リーフレットの配布数
	1-(2)-2	読み聞かせの会参加人数 イベント開催回数
	1-(2)-3	推薦図書リストの新規作成数
	1-(2)-4	本の紹介展示の実施回数
	1-(2)-5	子ども向け調べ案内の作成数 児童書に関する相談件数
	1-(3)-3	「朝の読書」や「読書週間行事」の 実施校数
	1-(3)-4	POP づくりやビブリオバトル等、 読書意欲を高める取り組みの実施校数
	1-(3)-5	授業で図書を活用した時間数
方針2.	2-(2)-1A	図書館の有効登録者数(児童)
	2-(2)-4-5	子ども関連施設への貸出冊数
	2-(2)-6A	子ども向け 障がい者資料の蔵書冊数
	2-(2)-6B	洋書(絵本・児童書)の蔵書冊数
	2-(2)-7	大型絵本・大型紙芝居の貸出冊数
	2-(2)-10	読み聞かせボランティアの把握
	2-(3)-1	絵本のコーナー設置園数
	2-(3)-3	学校図書館全体計画策定校数
	2-(3)-6	司書教諭、学校司書の研修参加回数
	2-(3)-7	推薦図書コーナー設置校数
	2-(3)-8	ボランティア団体活動校数
方針3.	3-(2)-1A	「公共図書館と学校とを結ぶネット ワーク事業」配送図書冊数
	3-(2)-1C	学級文庫の貸出冊数
	3-(2)-1D	出張サービスの実施回数
方針4.	4-(3)	情報モラル教育の授業実施校数
	4-B	YouTube 図書館公式チャンネル等 登録動画数

15.アンケート・市民要望(1)

令和6年度市川市立図書館アンケート(eモニ)
図書館の利用や子どもの読書活動の推進に関するアンケート



令和7年4月 市川市立図書館

1. 実施について

(1) 調査の目的

eモニター制度を利用して、今後の図書館サービスの充実、読書活動の推進に向け参考とするために、利用状況や環境・サービス面でのニーズ、子どもの読書活動の推進について設問を設けた。

市川市eモニター制度(愛称:eモニ)・・・パソコンやスマホ、携帯電話等、インターネットを活用して意見を広く集めて市政に反映する、事前登録制のアンケート制度。

(2) 調査実施期間: 令和7年2月19日(水)～令和7年3月4日(火)

(3) 集計・分析にあたって 有効回答数 1,464名 但し、一部の設問により有効回答数は異なる

今回のアンケートは、今後の図書館サービスの充実、子どもの読書活動の推進に向け参考とすることを目的として実施しました。

【図書館の利用について】

「図書館に関する情報をどのような媒体で目にしてているか」については、「広報いちかわ」がもっとも多く54%、次いで「市公式Webサイト・市川市立図書館Webサイト」が39%でした。一方、「見たことがない」という回答も28%あり、より効果的なPR方法の検討が必要であることが分かる。

「1年以内に図書館を利用したことがあるか」では「ある」が56.1%で、約半数の方が「1年以上利用していない」という回答で、利用していない理由としては、「行く時間がない」が最も多く、「自分で本を購入している」、「アクセスが悪い」が続く結果となった。

「図書館をより魅力的な施設になるために望むこと」については、「蔵書(全般)の充実」がもっとも多く、「閲覧スペースの充実」「館内の快適性の向上」が続きました。蔵書の充実とともに館内の快適な空間で読書を楽しみたいという要望が多いことが分かる。

なお、前問で「(図書館に)行く時間がない」と答えた方の27.5%、「アクセスが悪い」と答えた方の30.6%が「電子図書の提供」を望んでおり、電子図書の導入が時間もしくは距離の面で来館に制約がある方にとって読書の機会を増やす一助となると思われる。

「今後充実を希望するサービス」については、「趣味や健康等、生活に関連する情報の提供」が31.3%、電子図書の貸出しなどの「非来館サービス」が25.3%、「レファレンスや読書相談、調べ学習に関するサービス」が16.4%となり、生活に関連した情報の発信が求められている。

【子どもの読書推進について】

「絵本の読み聞かせ等のイベントに参加したことがあるか」については、「ある」という回答が20.5%であった。

読み聞かせのイベントに参加したことがある方の「参加した施設」としては、「図書館」が68.3%、次いで「こども館等」が53.3%、「デパート・ショッピングセンター」が15.0%という結果になった。

「子どもたちが本に慣れ親しむためにどんな環境が必要だと思うか」では、「家族での読み聞かせ」が56.9%、次いで「家族が読書をする姿を見せる」が53.1%、「学校での読書の時間(授業・指導)を増やす」が44.9%となり、学校等での活動以上に家庭での読み聞かせや読書が必要だと認識されているということが示されている。図書館でも家庭での読書体験をさらに広げるため、本との出会いの機会となるイベント等の実施に取り組み、子どもたちに読書の楽しさや大切さを伝えていく。

アンケート結果

基本情報

問1: 居住地について

選択項目	回答者数	割合
市川市内	1382	94.4%
市川市外	82	5.6%

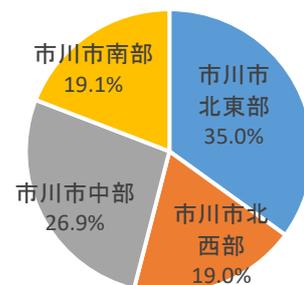
有効回答者数 1464



問2: 市川市内の居住地区について

選択項目	回答者数	割合
市川市北東部	484	35.0%
市川市北西部	262	19.0%
市川市中部	372	26.9%
市川市南部	264	19.1%

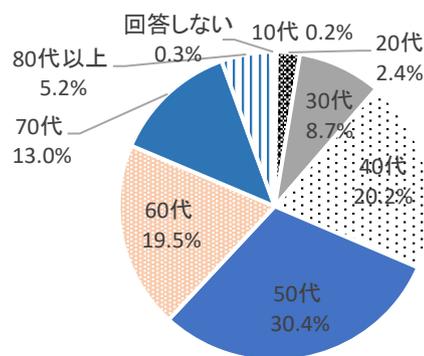
有効回答者数 1382



問3:年代について

選択項目	回答者数	割合
10代	3	0.2%
20代	35	2.4%
30代	127	8.7%
40代	296	20.2%
50代	445	30.4%
60代	286	19.5%
70代	191	13.0%
80代以上	76	5.2%
回答しない	5	0.3%

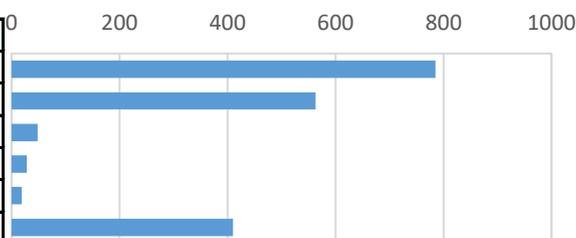
有効回答者数 1464



問4:図書館の施設以外で市川市立図書館に関する情報をご覧になったことがありますか。(複数回答可)

選択項目	回答者数	割合
「広報いちかわ」で見たことがある	785	53.6%
市公式・市川市立図書館Webサイトで見たことがある	563	38.5%
その他Webサイトで見たことがある	48	3.3%
新聞で見たことがある	28	1.9%
その他	19	1.3%
見たことがない	410	28.0%

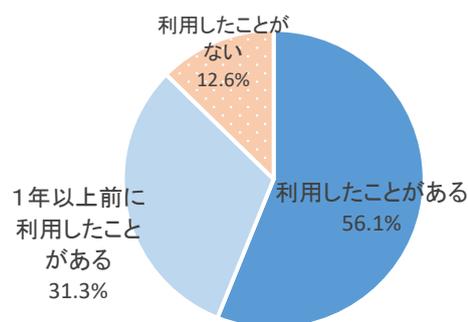
有効回答者数 1464



問5:この1年以内に市内の図書館を利用したことはありますか。

選択項目	回答者数	割合
利用したことがある	821	56.1%
この1年は利用していないが、1年以上前に利用したことがある	458	31.3%
一度も利用したことがない	185	12.6%

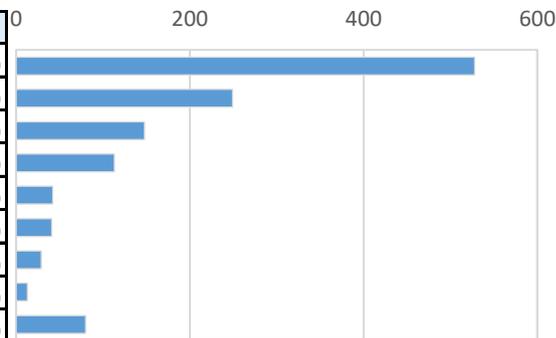
有効回答者数 1464



問6:[問5で市川市の図書館を「利用したことがある」と回答した方にお尋ねします。] 日常的にご利用になる市川市内の図書館はどこですか。(複数回答可)

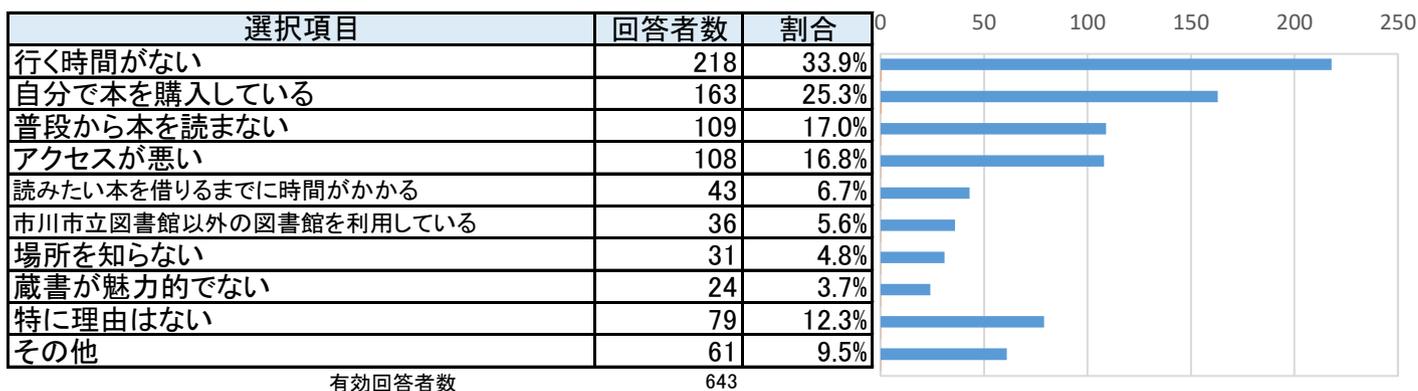
選択項目	回答者数	割合
中央図書館	528	64.3%
市川駅南口図書館	249	30.3%
行徳図書館	148	18.0%
こどもとしょかん	113	13.8%
信篤図書館	42	5.1%
平田図書室	41	5.0%
南行徳図書館	29	3.5%
自動車図書館「みどり号」	13	1.6%
その他の図書室等	80	9.7%

有効回答者数 821

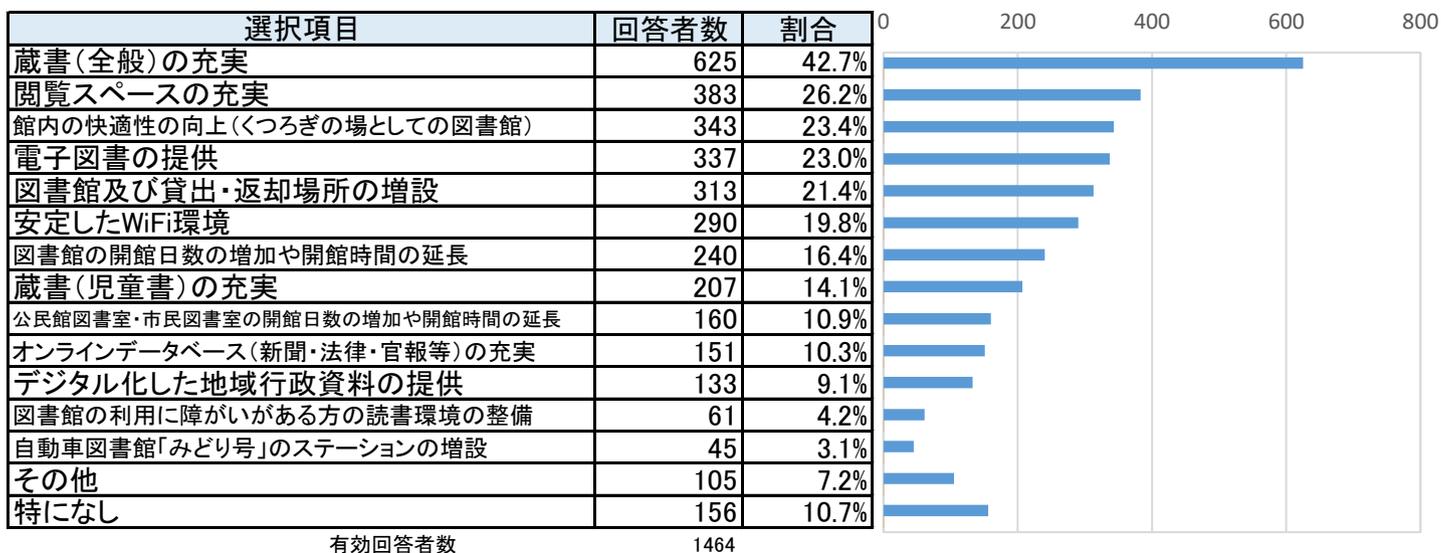


問7:[問5で市川市の図書館を「この1年は利用していないが、1年以上前に利用したことがある」「一度も利用したことがない」と回答した方にお尋ねします。]

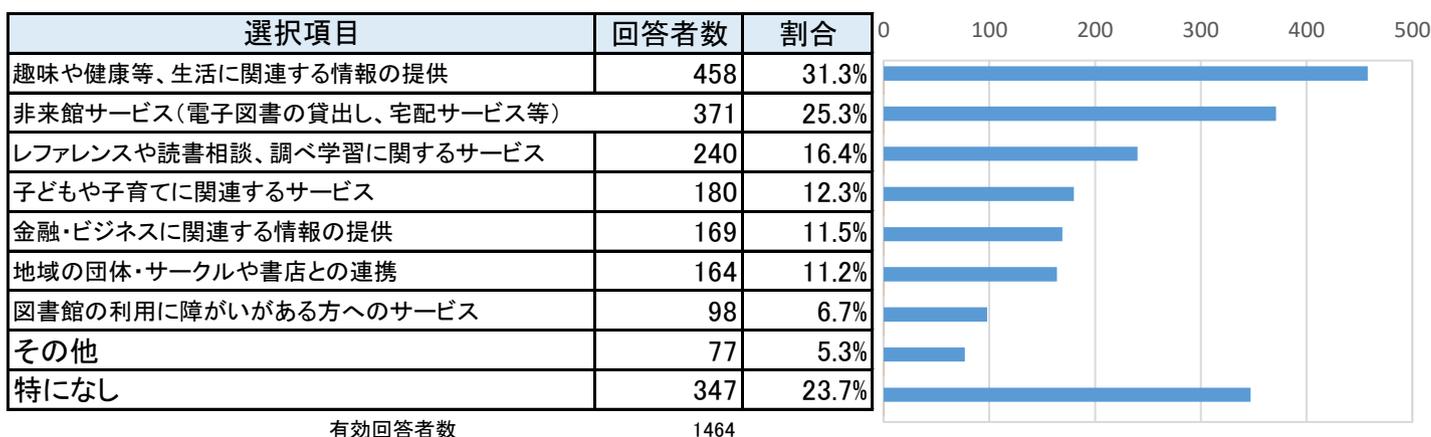
利用しない理由をお聞かせください。(複数回答可)



問8: 市川市立図書館でどのような環境があれば、より魅力的な施設になると思いますか。(複数回答可)



問9: 市川市立図書館で今後充実させてほしいサービス(イベントも含む)はどれですか。(複数回答可)

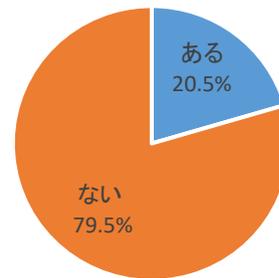


市川市では「子どもの読書活動推進計画」を策定し、18歳以下の子どもの読書に親しむ機会の提供と読書環境の整備に努めています。

問10: 図書館や様々な施設で、絵本の読み聞かせ等のイベントをおこなっていますが、参加されたことがありますか。(ご自身の子も時代の参加・保護者としての参加を含む)

選択項目	回答者数	割合
ある	300	20.5%
ない	1164	79.5%

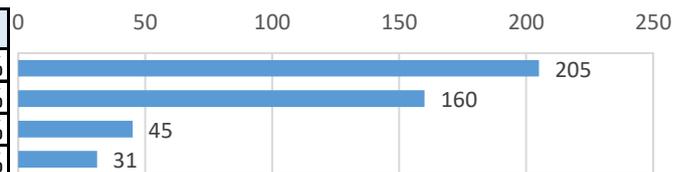
有効回答者数 1464



問11: [問10で「参加したことがある」と回答した方に、お尋ねします。] どのような施設で参加しましたか。(複数回答可)

選択項目	回答者数	割合
図書館	205	68.3%
こども館等	160	53.3%
デパート・ショッピングセンター	45	15.0%
その他	31	10.3%

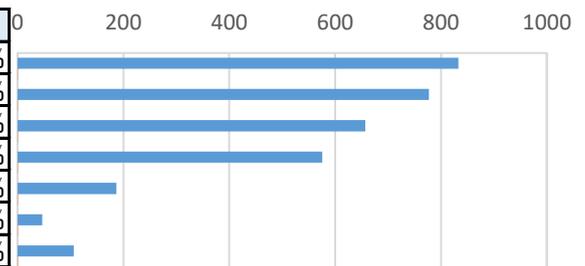
有効回答者数 300



問12: 子どもたちが本に慣れ親しむためにどんな環境が必要だと思いますか。(複数回答可)

選択項目	回答者数	割合
家族での読み聞かせ	833	56.9%
家族が読書する姿を見せる	777	53.1%
学校での読書の時間(授業・指導)を増やす	657	44.9%
図書館等での読み聞かせ等の会・イベントに参加する	576	39.3%
ブックスタート事業・読書推進事業を市が行う	187	12.8%
その他	47	3.2%
特になし	106	7.2%

有効回答者数 1464



15. アンケート・市民要望（2）

令和6年度市川市立図書館来館者アンケート報告書

令和7年3月28日
市川市立図書館

1. 実施について

(1) 調査の目的

市川市中央図書館と地域図書館(4館)における利用の実態や満足度を把握し、今後の図書館運営に活かすため、来館者アンケート調査（「図書館の利用に関するアンケート」）を実施した。

(2) 調査概要 実施日：令和7年2月7日(金)～2月13日(木)（6開館日）

※信徳図書館・南行徳図書館・平田図書室（同期間のうち5開館日）

実施時間：各館開館時間中

実施場所：中央図書館（こどもとしょかんを含む）

地域図書館（行徳図書館・南行徳図書館・信篤図書館・平田図書室）

対象者：上記施設の利用者で、原則として中学生以上の者

(3) 調査実施状況

実施場所	実施期間	目標数	配布数	回収数	回収率 (%)	総合的満足度 (%)
中央図書館(紙)	2/7(金)～13(木)	400	257	236	91.8	98.3
中央図書館(Web)				227		
行徳図書館		170	215	212	98.6	97.3
信篤図書館		50	83	75	90.4	89.9
南行徳図書館		50	81	81	100	98.5
平田図書室		50	79	67	84.8	98.3
合計			720	715	671	93.8
※参考：駅南口図書館	2/4(火)～9(日)	200	340	309	90.9	97.4

(4) 集計・分析にあたって

無回答の場合はカウントしていないため、設問ごとに回答者数は異なる。

アンケート結果概説

図書館を利用しての満足度を設問5と6で尋ねた。「総合的な満足度」は中央図書館98.3%、行徳図書館97.3%、信篤図書館89.9%、南行徳図書館98.5%、平田図書室98.3%、全体としては97.4%と高い結果となった。（※参考：駅南口図書館97.4%）

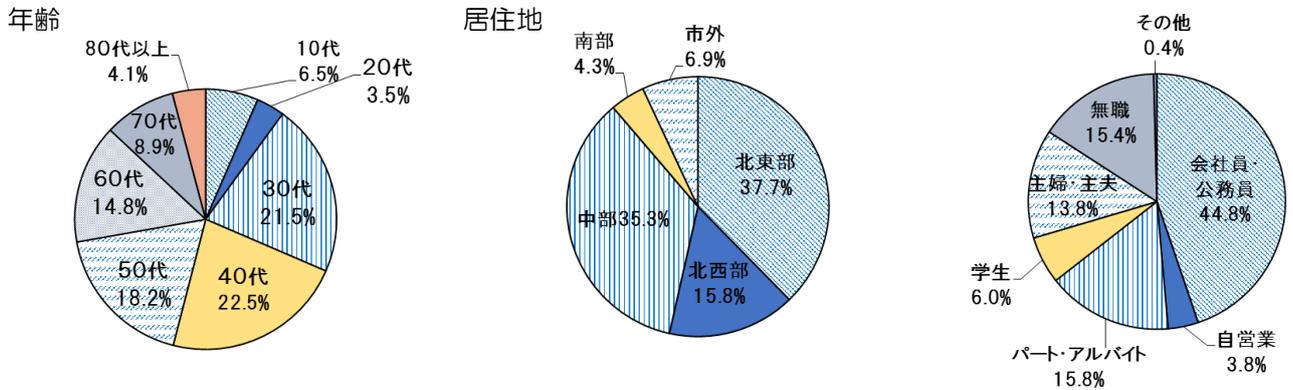
項目別にみて満足度が高かったのは、「職員の対応」で、この項目については、すべての館で95%を超える高評価を得ることができた。また、中央・行徳で導入している「窓口のセルフ化」も98%以上となっている。今後も職員のスキルの底上げに取り組むとともに、図書館システムの更新等による利便性の向上に努めていきたい。一方、これらに比べると、全館で共通して「本の充実」の満足度が低くなっている。また、一部の図書館では「開館時間」「施設・設備」の満足度が低い傾向にある。

今回のアンケートの結果を参考に、社会情勢の変化や地域の実情に合わせた計画的な資料の更新を図りながら、図書館サービスの拡充に努めたい。

中央図書館 アンケート結果

年齢・居住地・職業について

回答者の年齢別では、40代が22.5%と最も多く、次に30代が21.5%、50代が18.2%、60代が14.8%となった。昨年に比べ10代、20代の回答率が下がり、年齢層が高くなったことが今年の特徴である。居住地別では、市内北東部が37.7%、北西部が15.8%、中部が35.3%となった。職業別では、会社員・公務員が44.8%、次いでパート・アルバイトが15.8%、主婦・主夫が13.8%となった。



	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	計
回答者数	30	16	99	104	84	68	41	19	461
割合	6.5%	3.5%	21.5%	22.5%	18.2%	14.8%	8.9%	4.1%	100%

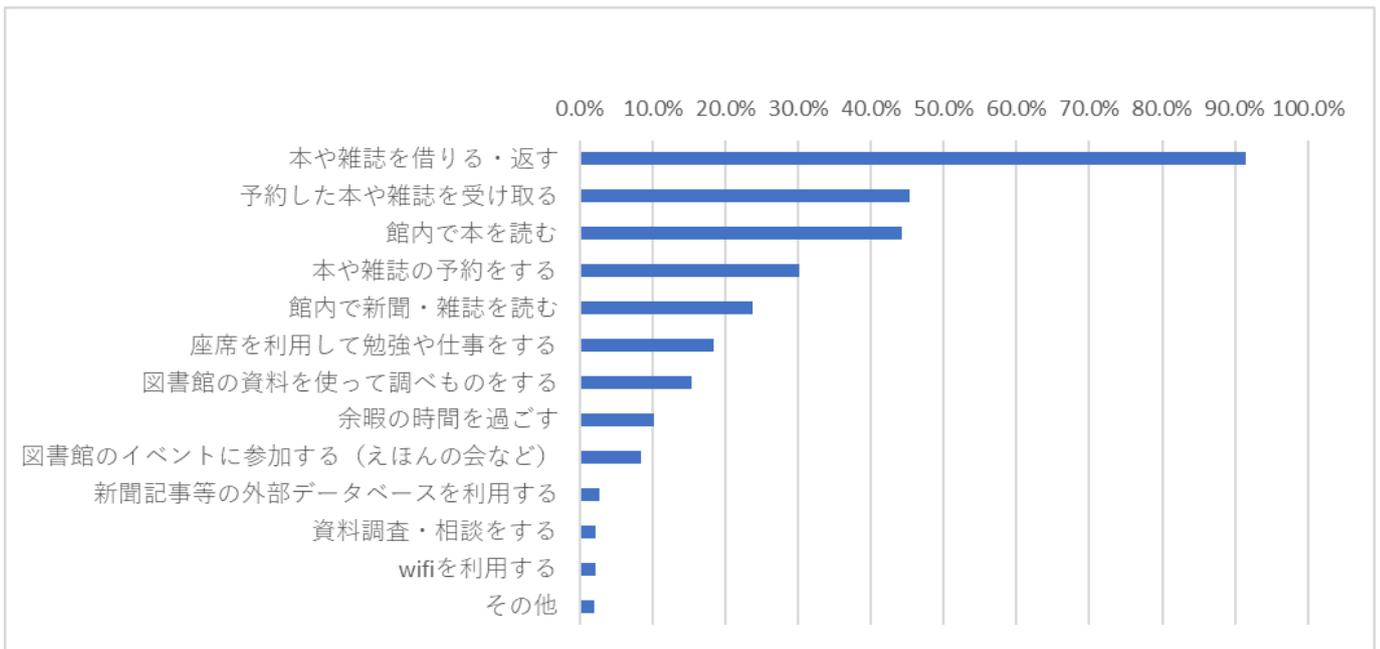
	北東部	北西部	中部	南部	市外	計
回答者数	174	73	163	20	32	462
割合	37.7%	15.8%	35.3%	4.3%	6.9%	100%

	会社員・公務員	自営業	パート・アルバイト	学生	主婦・主夫	無職	その他	計
回答者数	200	17	71	27	62	69	2	448
割合	44.8%	3.8%	15.8%	6.0%	13.8%	15.4%	0.4%	100%

問1. 中央図書館を利用する目的

問1では中央図書館の利用目的について尋ねた。(回答者数461人。複数回答可)

最も多かったのは、「本や雑誌を借りる・返す」で91.5%となり、次に「予約した本や雑誌を受け取る」が45.3%となった。本を借りることを主目的としている利用者が多数である。

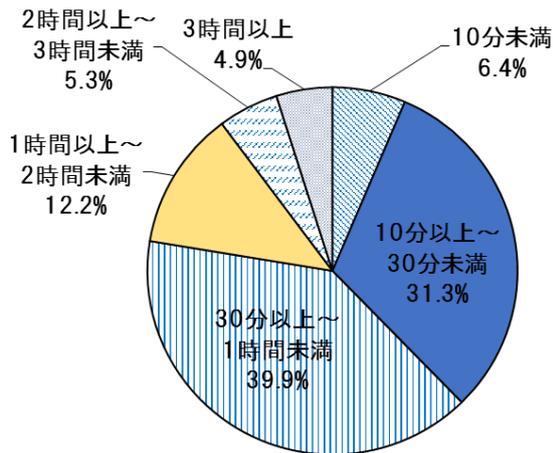


質問	選択数	割合
本や雑誌を借りる・返す	422	91.5%
予約した本や雑誌を受け取る	209	45.3%
館内で本を読む	204	44.3%
本や雑誌の予約をする	139	30.2%
館内で新聞・雑誌を読む	109	23.6%
座席を利用して勉強や仕事をする	85	18.4%
図書館の資料を使って調べものをする	71	15.4%
余暇の時間を過ごす	47	10.2%
図書館のイベントに参加する（えほんの会など）	39	8.5%
新聞記事等の外部データベースを利用する	12	2.6%
wifiを利用する	10	2.2%
資料調査・相談をする	10	2.2%
その他	9	2.0%

問 2. 滞在時間

問 2 では、中央図書館の滞在時間について尋ねた。（回答者数 469 人）

「30分以上～1時間未満」が 39.9%、次に「10分以上～30分未満」が 31.3%となり、30分前後の滞在時間の利用が多い結果となった。

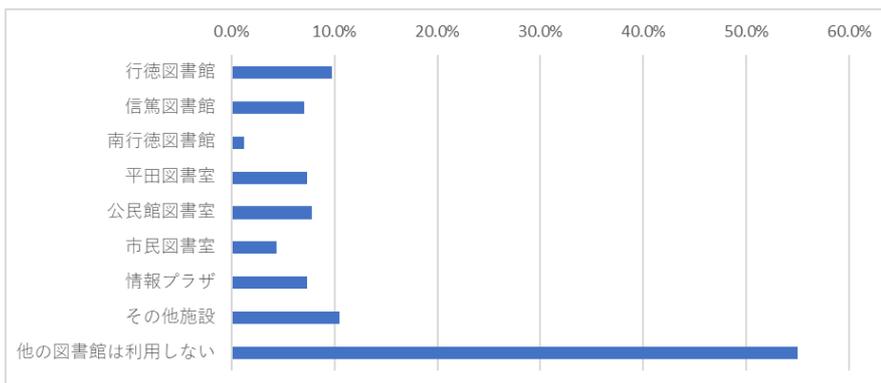


10分未満	30	6.4%
10分以上～30分未満	147	31.3%
30分以上～1時間未満	187	39.9%
1時間以上～2時間未満	57	12.2%
2時間以上～3時間未満	25	5.3%
3時間以上	23	4.9%
計	469	100%

問 3. 他に利用する図書館・関連施設

問 3 では、他に利用する図書館・関連施設について尋ねた。（回答者数 469 人。複数回答可）

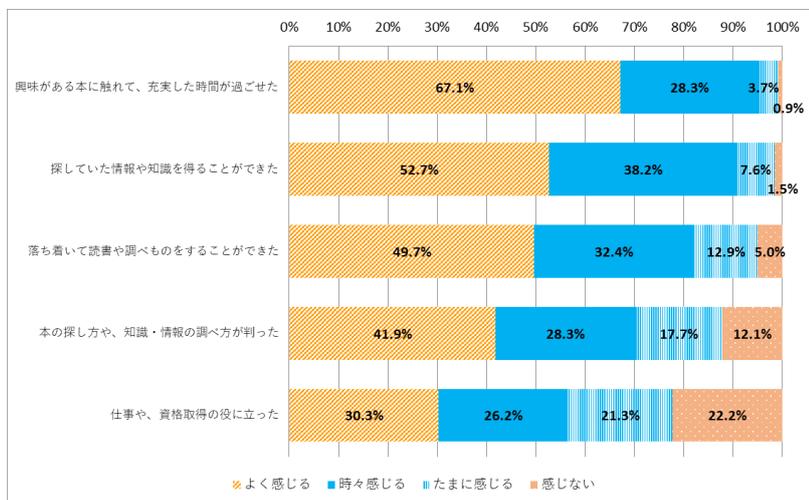
「他の図書館は利用しない」との回答が 55.0%と最も多く、各地域館等への回答がそれぞれ 10%前後で分布しているため、中央図書館と並行して利用している様子が見受けられる。



行徳図書館	9.8%
信篤図書館	7.1%
南行徳図書館	1.2%
平田図書室	7.3%
公民館図書室	7.8%
市民図書室	4.4%
情報プラザ	7.3%
その他施設	10.5%
他の図書館は利用しない	55.0%

問4. 図書館を利用した成果

回答者のほぼ全員が「興味がある本に触れて、充実した時間が過ごせた」と感じている。続いて 98.5%が「探していた情報や知識を得ることができた」、95%が「落ち着いて読書や調べものをする事ができた」と図書館を利用した成果を感じていることが分かった。また、「本の探し方や、知識・情報の調べ方が判った」と感じた回答者が昨年と比較して 3 ポイント下がった点を踏まえ、図書館を活用して読書や調べものに役立ててもらえるよう、サービスの向上に努めたい。



	よく感じる	時々感じる	たまに感じる	感じない	計
興味がある本に触れて、充実した時間が過ごせた	308	130	17	4	459
探していた情報や知識を得ることができた	241	175	35	7	458
落ち着いて読書や調べものをする事ができた	220	143	57	22	442
本の探し方や、知識・情報の調べ方が判った	187	126	79	54	446
仕事や、資格取得の役に立った	130	112	91	95	428

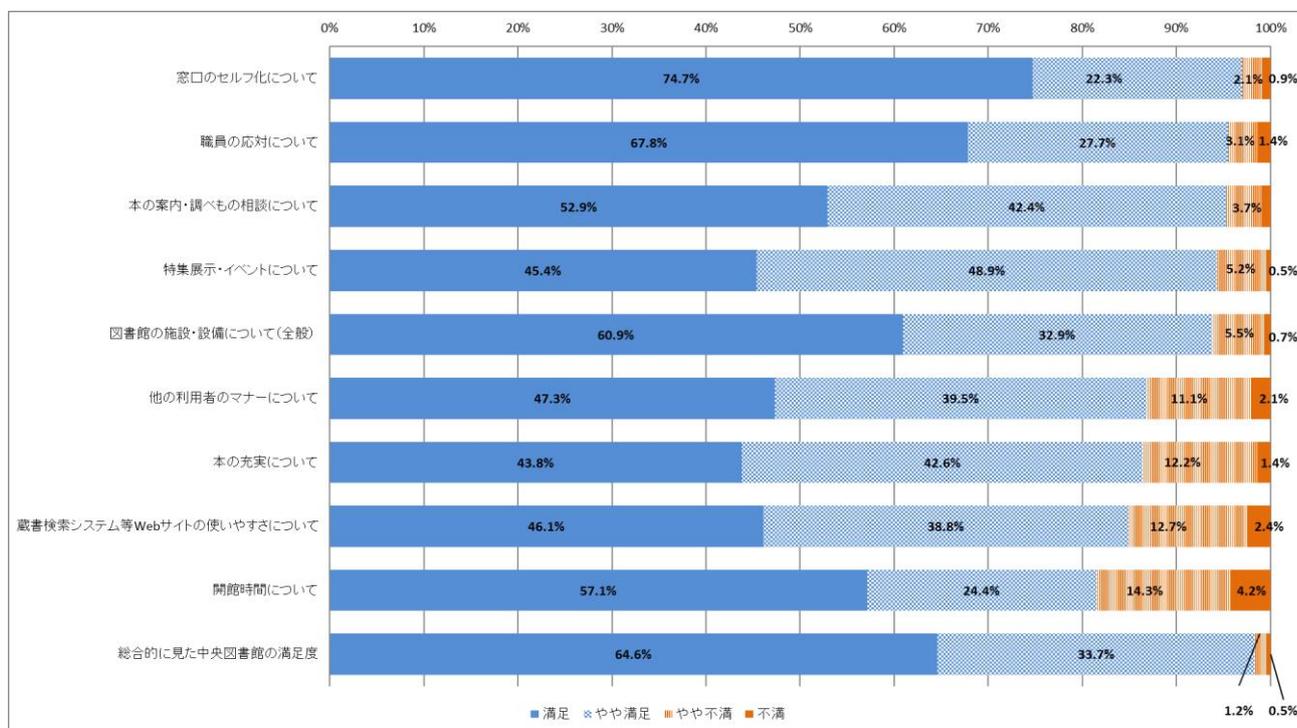
問5・6. 中央図書館の満足度

問5と問6では中央図書館の満足度を尋ねた。

「満足」と「やや満足」を合わせた満足度は、「窓口のセルフ化」が 99.1%と最も高く、次いで「職員の対応について」は 95.5%、「本の案内・調べもの相談について」は 95.3%、「特集展示・イベントについて」は 94.4%、「図書館の施設・設備について(全般)」は 93.8%と9割を超えた高い数値となっている。「本の案内・調べもの相談について」は前回と比較して 0.6 ポイント上昇しているため、引き続きより良いサービスが提供できるよう心掛けていきたい。「他の利用者のマナーについて」はアンケート調査期間と利用マナー啓発月間と重なったこともあり 86.8%と前回より 0.7 ポイント上昇したが、引き続きマナーの向上を啓発していく。

一方、「本の充実について」は前回より 1.6 ポイント下がっているため、今後も計画的に各分野の資料の更新を進めるとともに、蔵書の充実に努めたい。なお、「蔵書検索システム等Webサイトの使いやすさについて」は 84.9%となっており、システムの更新による新たなサービスを検討していく。「開館時間については81.5%となっており、土日祝の閉館時間延長や、開館時間を早めるなど、一定の要望が例年どおりあることがわかる。

総合的な満足度は、前回より 0.4 ポイント上がって 98.3%であった。引き続きサービスの充実に努めたい。



	満足	やや満足	やや不満	不満	計
窓口のセルフ化について	315	94	9	4	422
職員の対応について	287	117	13	6	423
本の案内・調べもの相談について	216	173	15	4	408
特集展示・イベントについて	184	198	21	2	405
図書館の施設・設備について(全般)	255	138	23	3	419
他の利用者のマナーについて	200	167	47	9	423
本の充実について	186	181	52	6	425
蔵書検索システム等Webサイトの使いやすさについて	189	159	52	10	410
開館時間について	243	104	61	18	426
総合的に見た中央図書館の満足度	272	142	5	2	421

問 7. 魅力的な図書館にするために必要なサービス（自由記入）

調査票 463 記入者 156 未記入 307（記入率 33.7%） ※複数記入あり

集計を行うにあたり、サービスを下記の 7 分類により編集した。

- (1) 電子図書・資料 (2) イベントの開催・資料展示 (3) レファレンス
 (4) 児童関連 (5) 貸出・返却・検索・予約 (6) 施設・運営
 (7) その他

	サービスの分類	意見数	主な内容
1	電子図書・資料	4 5	電子図書・資料の導入など
2	イベント開催・資料展示	2 3	イベントの充実・企画展示、ポップアップなど
3	レファレンス	0	特になし
4	児童関連	1 5	児童の利用促進、児童向けイベントの開催など
5	貸出・返却・検索・予約	2 3	未所蔵資料の予約、再々延長のWeb化など
6	施設・運営	4 3	開館時間・開館日数の要望、座席の拡充など
7	その他	1 4	マナーの向上など

問8. 自由記入

調査票 463 記入者 144 未記入 319 (記入率 3.11%) ※複数記入あり
集計を行うにあたり、下記の10分類により編集した。

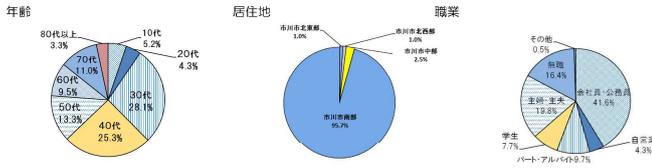
- (1) 資料に関する記入 (2) AV資料に関する記入 (3) 施設に関する記入
(4) 座席に関する記入 (5) ITに関する記入 (6) マナーに関する記入
(7) 職員に関する記入 (8) 運営に関する記入 (9) 感想 (10) その他の記入

	分類	意見数	主な内容
1	資料に関する記入	27	予約の多い資料の複本購入希望、シリーズ中抜け巻の補充希望などリクエストに関する要望が多い。また改訂された場合、最新版を希望する意見もあった。
2	AV資料に関する記入	6	CD充実の要望など。
3	施設に関する記入	15	館内の照度を上げる、冷暖房の適温化の要望など。
4	座席に関する記入	4	座席の拡充など。荷物を入れるカゴ等の設置を希望する意見もあった。
5	ITに関する記入	11	Webでの未所蔵リクエストに関する意見が多い。
6	マナーに関する記入	4	寝ている利用者への声掛け要望など。
7	職員に関する記入	6	レファレンスサービスに対する好意的意見など。
8	運営に関する記入	28	開館時間の延長や休館日を減らすなどの意見が多い。他に図書館運営に係る予算要求など。
9	感想	32	いつも利用している、楽しい時間を過ごしているなど、好意的な意見が多い。
10	その他の記入	18	地域館に関する要望など。

行徳図書館 アンケート結果

年齢・居住地・職業について

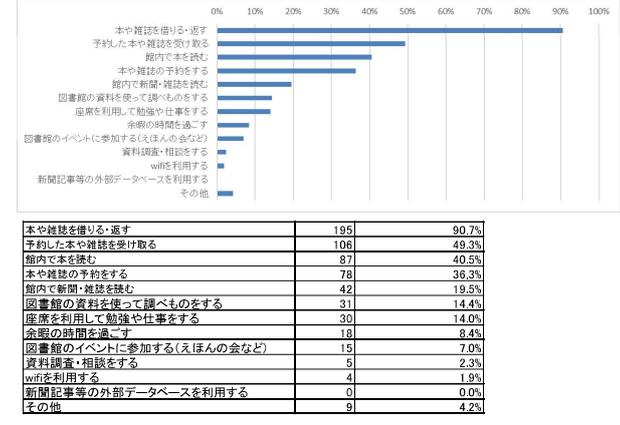
回答者の年齢別では、30代が28.1%と最も多く、続いて40代が25.3%、50代が13.3%の順となっている。昨年最も多かった70代が昨年の21.0%より10ポイント、60代が昨年の18.7%より9.2ポイント下がっている。居住地別では回答者の100%が市内在住者であり、うち95.7%が市川市南部区在住であった。市川市外の住居者からの回答は無かった。職業別では会社員・公務員が最も多く41.6%で、昨年より15.4ポイント上がった。次いで主婦・主夫が19.8%、無職が16.4%の順となった。



性別	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	計
男性	11	9	59	63	28	20	23	7	210
女性	2	4	28	25	12	8	11	3	103
計	13	13	87	88	40	28	34	10	313

問1. 行徳図書館を利用する目的

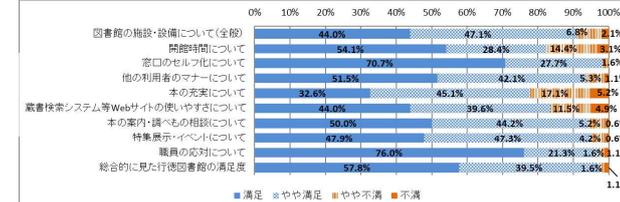
行徳図書館を利用する目的について尋ねた。(回答者数 215人、複数回答可)
最も多かったのが「本や雑誌を借り・返す」で90.7%となり、次に「予約した本や雑誌を受け取る」で49.3%、以下「館内で本を読む」が40.5%、「本や雑誌の予約をする」36.3%、「館内で新聞・雑誌を読む」が19.5%となっている。



興味がある本に触れて、充実した時間が過ごせた	よく感じる	時々感じる	たまに感じる	感じない	計
	118 (59.3%)	65 (32.7%)	11 (5.5%)	5 (2.5%)	199
探していた情報や知識を得ることができた	94 (48.7%)	76 (39.4%)	16 (8.3%)	7 (3.6%)	193
落ち着いて読書や調べものをする事ができた	88 (46.8%)	53 (28.2%)	32 (17.0%)	15 (8.0%)	188
本の探し方や、知識・情報の調べ方が判った	58 (31.5%)	65 (35.3%)	34 (18.5%)	27 (14.7%)	184
仕事や、資格取得の役に立った	45 (25.6%)	42 (23.9%)	36 (20.5%)	53 (30.0%)	176

問5・6. 行徳図書館の満足度

問5と問6では行徳図書館の満足度を尋ねた。
「満足」と「やや満足」を合わせた満足度は、「窓口のセルフ化」が98.4%となり、「職員の対応」が97.3%、「特集展示・イベントについて」が95.2%、「本の案内・調べもの相談について」「他の利用者のマナーについて」「図書館の施設・整備について(全般)」が90%以上と高い評価を得られた。
総合的な満足度は97.3%で昨年の93.7%より3.6ポイント上がった。
今後も魅力ある施設運営や本の収集、サービス向上に努めていきたい。



項目	満足	やや満足	やや不満	不満	計
図書館の施設・整備について(全般)	84 (44.0%)	90 (47.1%)	13 (6.8%)	4 (2.1%)	191
開館時間について	105 (54.1%)	55 (28.4%)	28 (14.6%)	6 (3.1%)	194
窓口のセルフ化について	135 (70.7%)	53 (27.7%)	3 (1.6%)	0 (0.0%)	191
他の利用者のマナーについて	98 (51.5%)	80 (42.1%)	10 (5.3%)	2 (1.1%)	190
本の充実について	63 (32.6%)	87 (45.1%)	33 (17.1%)	10 (5.2%)	193
蔵書検索システム等Webサイトの使いやすさについて	80 (44.0%)	72 (39.6%)	21 (11.5%)	9 (4.9%)	182
本の案内・調べもの相談について	86 (50.2%)	76 (44.2%)	9 (5.2%)	1 (0.6%)	172
特集展示・イベントについて	79 (47.9%)	78 (47.3%)	7 (4.2%)	1 (0.6%)	165
職員の対応について	143 (76.0%)	40 (21.3%)	3 (1.6%)	2 (1.1%)	188
総合的に見た行徳図書館の満足度	110 (57.8%)	75 (39.5%)	3 (1.6%)	2 (1.1%)	191

問7. 魅力的な図書館にするために必要なサービス(自由記入)

調査票 212 記入者 66 未記入 146 (記入率 31.1%) ※複数記入あり
集計を行うにあたり、サービスを下記の7分類により編集した。
(1) 電子図書・資料 (2) イベントの開催・資料展示 (3) レファレンス
(4) 児童関連 (5) 貸出・返却・検索・予約 (6) 施設・運営
(7) その他

サービスの分類	意見数	主な内容
1 電子図書・資料	20	電子図書の導入、蔵書・雑誌の増加、DVDの購入 電子図書は不要との意見もあり。

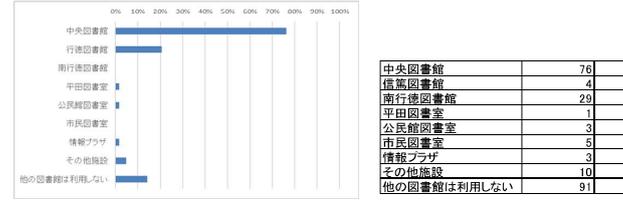
問2. 滞在時間

行徳図書館の滞在時間について尋ねた。(回答者数 217人)
滞在時間については、「10分以上～30分未満」が42.8%と最も多く、次に「30分以上～1時間未満」が31.8%、「10分未満」が9.7%と8割強の利用者が1時間未満の利用となっている。



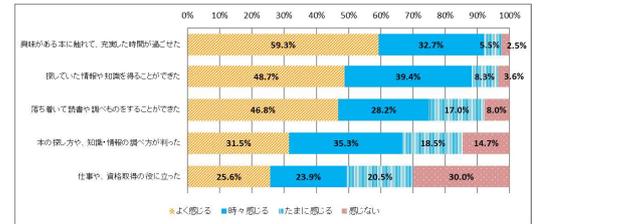
問3. 他に利用する図書館・関連施設

行徳図書館の他に利用する図書館・関連施設について尋ねた。(回答者数 222人、複数回答可)
「中央図書館」が34.2%、続いて「南行徳図書館」が13.1%、「他の図書館は利用しない」が41.0%でこの3つで9割近くとなっている。



問4. 行徳図書館を利用した成果

「興味がある本に触れて、充実した時間が過ごせた」が97.5%、「探していた情報や知識を得ることができた」も96.4%であった。さらに「落ち着いて読書や調べものをする事ができた」も92%と高い数値をあげている。「本の探し方や、知識・情報の調べ方が判った」も85.3%、「仕事や、資格取得の役に立った」では、70%となった。今後も年齢や職業にかかわらず、どなたに対しても図書館を活用した読書や調べもの等に役立てていくよう、さらなるサービスの向上に努めたい。



2	イベント開催・資料展示	14	おとな向けイベントの開催、おすすめ本の紹介、サービス・イベントがわからないという意見もあった。
3	レファレンス	0	
4	児童関連	14	子どもの本の増加、子ども向けのイベントの増加、おすすめ本の増加
5	貸出・返却・検索・予約	20	予約件数の増加、Web機能を使いやすく・わかりやすく
6	施設・運営	20	土日を含め開館時間の延長、学習スペースの増加、ミニイスを増やすという意見もあった。
7	その他	6	特になし、現状維持、大満足

問8. 自由記入

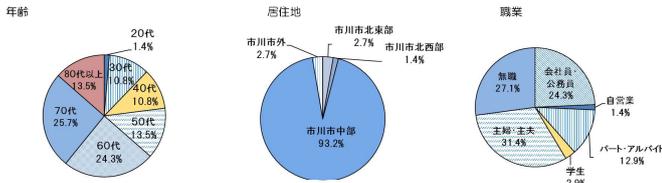
調査票 212 記入者 70 未記入 142 (記入率 33%) ※複数記入あり
集計を行うにあたり、下記の10分類により編集した。
(1) 資料に関する記入 (2) A V資料に関する記入 (3) 施設に関する記入
(4) 座席に関する記入 (5) ITに関する記入 (6) マナーに関する記入
(7) 職員に関する記入 (8) 運営に関する記入 (9) 感想 (10) その他の記入

分類	意見数	主な内容
1 資料に関する記入	20	図書館でさまざまな本に触れさせ、お気に入りのものを購入している。絵本の数が多くてありがたい。廃棄本の機会が増えてほしい。
2 A V資料に関する記入	2	CDの購入
3 施設に関する記入	6	座席数の増加を求める意見が多い、ワンフロアの要望もあった。
4 座席に関する記入	1	机の高さが低いとの意見があった。
5 ITに関する記入	2	セルフ化は助かるとの意見があった。
6 マナーに関する記入	1	閲覧室でのマナーについての注意喚起の意見があった。
7 職員に関する記入	2	職員の対応に親として助かるという意見の一方で職員の態度のお叱りの意見があった。
8 運営に関する記入	20	司書のおすすめ本や図書リサイクルに対して好意的な意見があるが、開館時間の延長を希望する意見もあった。
9 感想	37	本を読んで充実した時間が過ごせている、近所に図書館があると生活の満足度が上がる、職員の対応が全員親切など図書館・職員に対して肯定的な意見が多かった。
10 その他の記入	8	特になし。

信篤図書館 アンケート結果

年齢・居住地・職業について

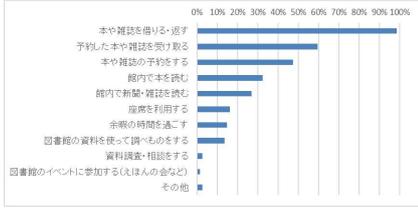
回答者の年齢別では、70代が25.7%と最も多く、次に60代が24.3%と、その年代で半数を占める。続いて50代と80代の利用が13.5%と同率で、昨年より年齢層が高くなったことが今年の特徴である。居住地別では、市内在住者が97.3%で、市外在住者が2.7%と隣接している地域性であるが、2.7%と昨年より低かった。職業別では、主婦・主夫が31.4%と最も多く、次いで無職、会社員・公務員の順となった。



性別	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	計
男性	0	1	8	8	10	18	19	10	74
女性	0%	1.4%	10.8%	10.8%	13.5%	24.3%	25.7%	13.5%	100%

問1. 図書館を利用する目的

問1では信篤図書館の利用目的について尋ねた。(回答者数74人、複数回答可)
最も多かったのは、「本や雑誌を借りる・返す」で98.6%となり、次に「予約した本や雑誌を受け取る」が59.5%となった。本を借りることを主目的としている利用者が多数である。



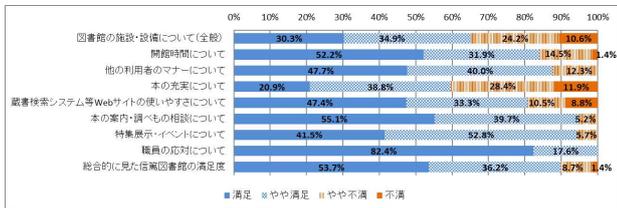
質問	選択数	割合
本や雑誌を借りる・返す	73	98.6%
予約した本や雑誌を受け取る	44	59.5%
本や雑誌の予約をする	35	47.3%
館内で本を読む	24	32.4%
館内で新聞・雑誌を読む	20	27.0%
座席を利用する	12	16.2%
余暇の時間を過ごす	11	14.9%
図書館の資料を使って調べものをする	10	13.5%
資料調査・相談をする	2	2.7%
図書館のイベントに参加する(えほんの会など)	1	1.4%
その他	2	2.7%

	よく感じる	時々感じる	たまに感じる	感じない	計				
興味がある本に触れて、充実した時間が過ごせた	36	51.4%	20	28.6%	12	17.1%	2	2.8%	70
探していた情報や知識を得ることができた	28	41.7%	20	29.9%	16	23.9%	3	4.5%	67
落ち着いて読書や調べものをする事ができた	27	42.9%	15	23.8%	13	20.8%	8	12.7%	63
本の探り方や、調べ方がわかった	19	29.0%	19	30.7%	15	24.2%	10	16.1%	62
仕事や、資格取得の役に立った	13	21.3%	11	18.0%	16	26.2%	21	34.5%	61

問5・6. 信篤図書館の満足度

問5と問6では信篤図書館の満足度を尋ねた。
「満足」と「やや満足」を合わせた満足度は、「職員の対応」が昨年より4.3ポイント上がり、100%を得ることができた。「本の案内・調べもの相談について」も94.8%と高い傾向となっている。一方、「本の充実について」の満足度は59.7%と11.4ポイント減、「図書館の施設・設備(全般)について」は65.2%と5.8ポイント減となった。

総合的な満足度は89.9%で4.4ポイント減となった。施設の老朽化はやむを得ないが、本の充実については今後も資料の更新を図るなど、なお一層サービスの充実に努めたい。



	満足	やや満足	やや不満足	不満足	計				
図書館の施設・設備について(全般)	20	30.3%	23	34.9%	16	24.2%	7	10.8%	66
開館時間について	26	52.2%	22	31.9%	10	14.5%	1	1.4%	69
他の利用者のマナーについて	31	47.7%	26	40.0%	8	12.3%	0	0%	65
本の充実について	14	20.9%	26	38.8%	19	28.4%	8	11.9%	67
蔵書検索システム等Webサイトの使いやすさについて	27	47.4%	19	33.3%	6	10.5%	5	8.8%	57
本の案内・調べもの相談について	32	55.1%	23	39.7%	3	5.2%	0	0%	58
特集展示・イベントについて	22	41.3%	28	52.8%	3	5.7%	0	0%	53
職員の対応について	58	92.4%	12	17.8%	0	0%	0	0%	62
総合的に見た信篤図書館の満足度	37	53.7%	25	36.2%	6	8.7%	1	1.4%	69

問7. 魅力的な図書館にするために必要なサービス(自由記入)

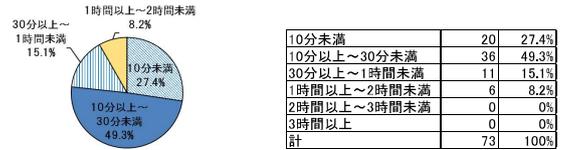
調査票 75 記入者 22 未記入 53 (記入率 29.3%) ※複数記入あり
集計を行うにあたり、サービスを下記の7分類により編集した。

- (1) 電子図書・資料 (2) イベントの開催・資料展示 (3) レファレンス
- (4) 児童関連 (5) 貸出・返却・検索・予約 (6) 施設・運営
- (7) その他

サービスの分類	意見数	主な内容
1 電子図書・資料	8	電子図書の導入、蔵書数を増やすなど。
2 イベント開催・資料展示	0	

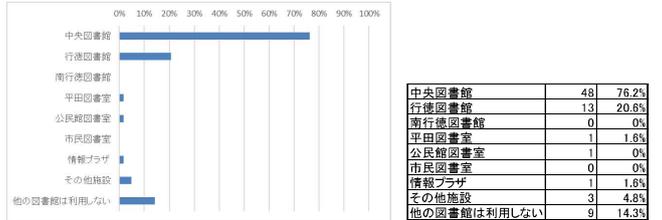
問2. 滞在時間

問2では、信篤図書館の滞在時間について尋ねた。(回答者数73人)
「10分以上30分未満」が49.3%、次に「10分未満」が27.4%となり、短時間の滞在時間での利用が多い結果となった。「2時間以上」の回答はなかった。



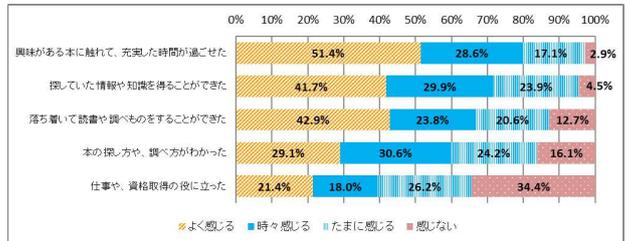
問3. 他に利用する図書館・関連施設

問3では、他に利用する図書館・関連施設について尋ねた。(回答者数63人、複数回答可)
信篤図書館の他に中央図書館も利用するとの回答が76.2%、行徳図書館も利用するは20.6%であったが、他の図書館は利用しないとの回答も14.3%となった。



問4. 図書館を利用した成果

「興味がある本に触れて、充実した時間が過ごせた」が昨年より2.9ポイント下がり97.1%だった。次に「探していた情報や知識を得ることができた」も昨年より3ポイント下がり95.5%となった。昨年よりは下がったが、9割以上が図書館を利用した成果を感じていることが分かった。対して「仕事や、資格取得の役に立った」の割合は、65.6%だった。今後も地域の方に様々な情報を提供できるよう、サービスの向上に努めたい。



3	レファレンス	0	
4	児童関連	2	子ども本の種類をふやしてほしい、児童コーナーを明るく開放的な感じにしてほしいなど。
5	貸出・返却・検索・予約	5	検索システムの充実、有料チケット購入で早期予約が可能なサービスなど。
6	施設・運営	6	開館時間の延長、職員の研修、建物の建て替えなど。
7	その他	3	今のままでよい。

問8. 自由記入

調査票 75 記入者 20 未記入 55 (記入率 26.7%) ※複数記入あり
集計を行うにあたり、下記の10分類により編集した。

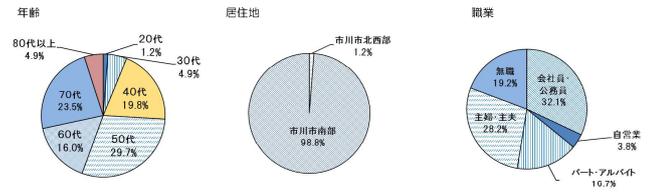
- (1) 資料に関する記入 (2) AV資料に関する記入 (3) 施設に関する記入
- (4) 座席に関する記入 (5) ITに関する記入 (6) マナーに関する記入
- (7) 職員に関する記入 (8) 運営に関する記入 (9) 感想 (10) その他の記入

分類	意見数	主な内容
1 資料に関する記入	3	基本的には充実しててありがたい、県立図書館や国会図書館からの本の取り寄せをしてほしいなどの意見があった。
2 AV資料に関する記入	0	
3 施設に関する記入	3	建物の建て替えの要望のほか、トイレを綺麗にしてほしいなどトイレに関連する要望も多い。
4 座席に関する記入	1	学習スペースをもう少し広くしてほしいとの意見があった。
5 ITに関する記入	1	インターネットと同じように本の予約ができるようにしてほしい。また、予約する際の本のサイズを解りやすく表示してほしいなど、OPACの使い勝手の要望があった。
6 マナーに関する記入	0	
7 職員に関する記入	3	温かい対応がありがたい、人の対応で質借できるのは素晴らしいなど。
8 運営に関する記入	4	原木地区の図書館をなくさないでほしい、開館日を増やしてほしいなどの要望があった。
9 感想	3	家族全員で楽しく活用している、ストレスを解消させてもらっているなどの好意的な意見が多かった。
10 その他の記入	4	特になし。

南行徳図書館 アンケート結果

年齢・居住地・職業について

回答者の年齢別では、50代が29.7%と最も多く、次に70代が23.5%、40代が19.8%、60代が16.0%となった。居住地別ではすべて市内在住者である。職業別では、会社員・公務員が32.1%と最も多く、次いで主婦・主夫が28.2%、無職が19.2%、パート・アルバイトが16.7%となった。



性別	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	計
回答者数	0	1	4	16	24	13	19	4	81
割合	0%	1.2%	4.9%	19.8%	29.7%	16.0%	23.5%	4.9%	100%

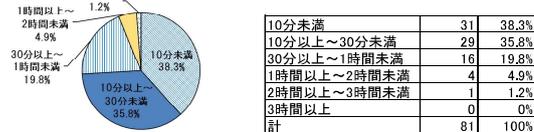
問1. 図書館を利用する目的

問1では南行徳図書館の利用目的について尋ねた。(回答者数81人。複数回答可)
最も多かったのは、「本や雑誌を借り・返す」で97.5%となり、次に「予約した本や雑誌を受け取る」が64.2%となった。本を借りることを主目的としている利用者が多数である。



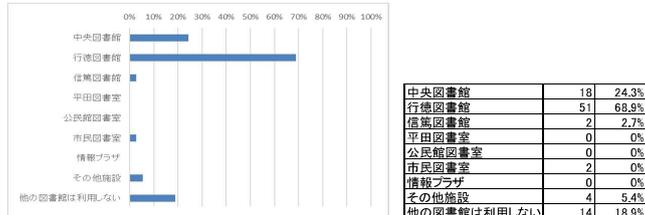
問2. 滞在時間

問2では、南行徳図書館の滞在時間について尋ねた。(回答者数81人)
「10分未満」が38.3%と最も多く、次に「10分以上30分未満」が35.8%となり、短時間の滞在時間での利用が多い結果となった。



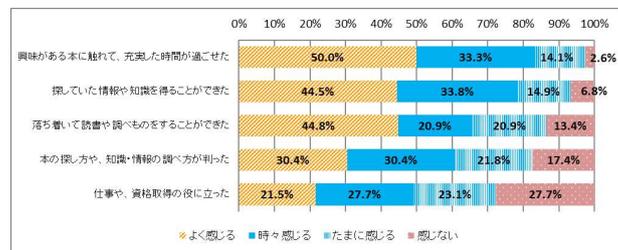
問3. 他に利用する図書館・関連施設

問3では、他に利用する図書館・関連施設について尋ねた。(回答者数74人。複数回答可)
南行徳図書館の他に行徳図書館も利用するとの回答が68.9%、中央図書館も利用するは24.3%であったが、他の図書館は利用しないとの回答も18.9%となった。



問4. 図書館を利用した成果

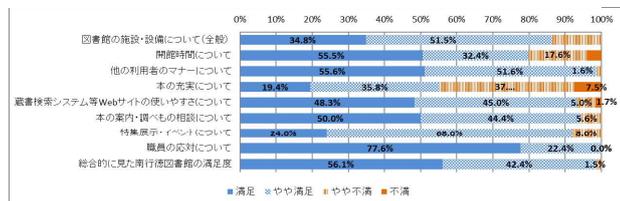
「興味がある本に触れて、充実した時間が過ごせた」が昨年より2.6ポイント下がり97.4%だった。また、「探していた情報や知識を得ることができた」も昨年より5.3ポイント下がり93.2%となった。昨年よりは下がっているが、9割以上が図書館を利用した成果を感じていることが分かった。対して「仕事や資格取得の役に立った」では、72.3%と低かった。引き続き、地域の方に様々な情報を提供できるように、サービスの向上に努めたい。



	よく感じる	時々感じる	たまに感じる	感じない	計				
興味がある本に触れて、充実した時間が過ごせた	39	50.0%	26	33.3%	11	14.1%	2	2.6%	78
探していた情報や知識を得ることができた	33	44.5%	25	33.8%	11	14.9%	5	6.8%	74
落ち着いて読書や調べものをするのができた	30	44.8%	14	20.9%	14	20.9%	9	13.4%	67
本の探し方や、知識・情報の調べ方が判った	21	30.4%	21	30.4%	15	21.8%	12	17.4%	69
仕事や、資格取得の役に立った	14	21.5%	18	27.7%	15	23.1%	18	27.7%	65

問5・6. 南行徳図書館の満足度

問5と問6では南行徳図書館の満足度を尋ねた。
「満足」と「やや満足」を合わせた満足度は、「職員への対応について」が昨年同様100%を得られた。「他の利用者のマナーについて」「蔵書検索システム等Webサイトの使いやすさについて」「本の案内・調べもの相談について」「特集展示・イベントについて」も約9割以上と高い傾向となっている。一方、「本の充実(全般)」の満足度は、55.2%で昨年度より4.1ポイント下がり、満足度が低くなっている。また、「図書館の施設・設備について」「開館時間についても満足度が低くなっている。
総合的な満足度は98.5%で昨年度から0.8ポイントの増となった。施設の老朽化はやむを得ないが、今後も資料の更新を図るなど、より一層サービスの充実にも努めたい。



	満足	やや満足	やや不満	不満	計				
回書館の施設・設備について(全般)	23	34.8%	34	51.6%	9	13.8%	0	0%	66
開館時間について	31	45.6%	22	32.4%	12	17.6%	3	4.4%	66
他の利用者のマナーについて	35	55.5%	27	42.9%	1	1.8%	0	0%	63
本の充実について	13	19.4%	24	35.8%	25	37.3%	5	7.5%	67
蔵書検索システム等Webサイトの使いやすさについて	29	48.3%	27	45.0%	3	5.0%	1	1.7%	60
本の案内・調べもの相談について	27	50.0%	24	44.4%	4	8.0%	0	0%	54
特集展示・イベントについて	12	24.0%	34	68.0%	4	8.0%	0	0%	50
職員の対応について	52	77.6%	15	22.4%	0	0%	0	0%	57
総合的に見た南行徳図書館の満足度	37	56.1%	28	42.4%	1	1.5%	0	0%	66

問7. 魅力的な図書館にするために必要なサービス(自由記入)

調査票 81 記入者 20 未記入 61 (記入率 24.7%) ※複数記入あり
集計を行うにあたり、サービスを下記の7分類により編集した。

- (1) 電子図書・資料 (2) イベントの開催・資料展示 (3) レファレンス
- (4) 児童関連 (5) 貸出・返却・検索・予約 (6) 施設・運営
- (7) その他

サービスの分類	意見数	主な内容
1 電子図書・資料	5	電子図書の導入、蔵書の充実など。

問8. 自由記入

調査票 81 記入者 19 未記入 62 (記入率 30.6%)
集計を行うにあたり、下記の10分類により編集した。

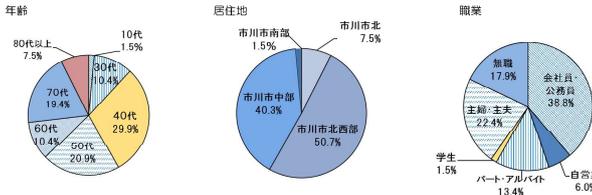
- (1) 資料に関する記入 (2) AV資料に関する記入 (3) 施設に関する記入
- (4) 座席に関する記入 (5) ITに関する記入 (6) マナーに関する記入
- (7) 職員に関する記入 (8) 運営に関する記入 (9) 感想 (10) その他の記入

分類	意見数	主な内容
1 資料に関する記入	5	蔵書冊数を増やしてほしい、専門分野の本をもっと少し増やしてほしい、新しく入れる本の希望を取って所蔵している本のバランスをとってほしいなどの要望がある。
2 AV資料に関する記入	0	
3 施設に関する記入	3	施設面積からしたら充分という好意的な意見がある一方、中央図書館と比べると貧弱に感じられる、建かえの予算をとってほしいなどの要望がある。
4 座席に関する記入	1	冷暖房の風が強いなどの要望があった。
5 ITに関する記入	1	予約の順番がわかる様にしてほしいという要望があった。
6 マナーに関する記入	0	
7 職員に関する記入	1	丁寧な対応に感謝するという声があった。
8 運営に関する記入	2	開館が早いなどの意見があった。
9 感想	3	身近に図書館がありとても満足している、応援しているなど、好意的な意見があった。
10 その他の記入	3	特になし。

平田図書館 アンケート結果

年齢・居住地・職業について

回答者の年齢別では、40代が29.9%と最も多く、次に50代が20.9%とその年代で半数を占めた。居住地別ではすべて市内に在住者である。職業別では、会社員・公務員が38.8%で、主婦・主夫が22.4%、次いで無職、パート・アルバイトの順となった。



年齢	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	計
回答者数	1	0	7	20	14	7	13	5	67
割合	1.5%	0.0%	10.4%	29.9%	20.9%	10.4%	19.4%	7.5%	100%

居住地	市内市北	市内市東	市内市西	市内市南	計
回答者数	5	34	27	1	67
割合	7.5%	50.7%	40.3%	1.5%	100%

職業	会社員・公務員	主婦・主夫	無職	パート・アルバイト	学生	自営業	計
回答者数	26	4	9	1	15	12	67
割合	38.8%	6.0%	13.4%	1.5%	22.4%	17.9%	100%

問1. 平田図書館の利用目的について

問1では平田図書館の利用目的について尋ねた。(回答者数74人。複数回答可)
最も多かったのは、「本や雑誌を借り・返す」で87.8%となり、次に「予約した本や雑誌を受け取る」が45.9%となった。本を借りることを主目的としている利用者が多数である。

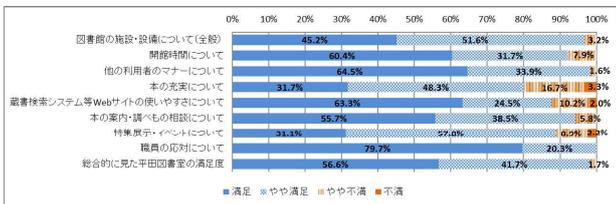


質問	選択数	割合
本や雑誌を借り・返す	65	87.8%
予約した本や雑誌を受け取る	34	45.9%
本や雑誌の予約をする	16	21.6%
館内で本を読む	16	21.6%
館内で新聞・雑誌を読む	16	21.6%
図書館の資料を使って調べものをする	9	12.2%
座席を利用する	4	5.4%
余暇の時間を過ごす	4	5.4%
資料調査・相談をする	0	0%
図書館のイベントに参加する(えほんの会など)	0	0%
その他	0	0%

	よく感じる	時々感じる	たまに感じる	感じない	計				
興味がある本に触れて、充実した時間が過ごせた	22	54.2%	20	33.9%	61	10.2%	1	1.7%	59
探していた情報や知識を得ることができた	20	41.7%	28	46.7%	7	11.7%	5	8.3%	60
落ち着いて読書や調べものをするのができた	30	52.6%	17	29.8%	7	12.3%	3	5.3%	57
本の探し方や、調べ方がわかった	13	23.2%	15	30.7%	13	23.2%	15	26.8%	56
仕事や、資格取得の役に立った	10	19.2%	9	17.3%	12	23.1%	21	34.5%	52

問5・6. 平田図書館の満足度

問5と問6では平田図書館の満足度を尋ねた。
「満足」と「やや満足」を合わせた満足度は、「職員の応対」が前回より3ポイント上がり100%を得られた。「他の利用者のマナーについて」「図書館の施設・設備について」「本の案内・調べもの相談について」「開館時間について」も約9割以上と高い傾向となっている。他の項目に比べ「本の充実について」は昨年より0.6ポイント上がったが80.0%と満足度が低い。総合的な満足度は昨年より2.6ポイント上がり98.3%となった。
規模の小さい図書館ではあるが、今後も職員の丁寧な応対により、気軽に相談できる地域の図書館としてサービスの充実に努めていく。



	満足	やや満足	やや不満	不満	計			
図書館の施設・設備について(全般)	20	45.2%	31	51.6%	51	3.2%		
開館時間について	38	60.4%	20	31.7%	58	7.9%		
他の利用者のマナーについて	40	64.5%	21	33.9%	61	1.6%		
本の充実について	19	31.7%	29	46.3%	48	16.7%	3.5%	
蔵書検索システム等Webサイトの使いやすさについて	31	63.3%	12	24.5%	43	10.2%	2.0%	
本の案内・調べもの相談について	29	55.7%	20	38.5%	49	5.8%		
特殊展示・イベントについて	14	31.1%	28	57.8%	42	8.9%	1	2.3%
職員の応対について	47	79.7%	12	20.3%	59	0%	0%	
総合的に見た平田図書館の満足度	34	56.6%	25	41.7%	59	1.7%		

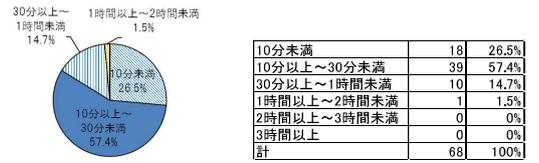
問7. 魅力的な図書館にするために必要なサービス(自由記入)

調査票 67 記入者 22 未記入 45 (記入率 32.8%) ※複数記入あり
集計を行うにあたり、サービスを下記の7分類により編集した。
(1) 電子図書・資料 (2) イベントの開催・資料展示 (3) レファレンス
(4) 児童関連 (5) 貸出・返却・検索・予約 (6) 施設・運営
(7) その他

サービスの分類	意見数	主な内容
1 電子図書・資料	8	図書の数を増やしてほしい、専門書や新書・文庫本の充実、電子図書の導入など。

問2. 滞在時間

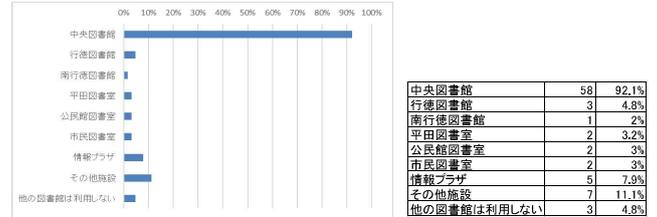
問2では、平田図書館の滞在時間について尋ねた。(回答者数68人)
「10分以上30分未満」が57.4%、次に「10分未満」が26.5%となり、短時間の滞在時間での利用が多い結果となった。「2時間以上」の回答はなかった。



滞在時間	回答者数	割合
10分未満	18	26.5%
10分以上～30分未満	39	57.4%
30分以上～1時間未満	10	14.7%
1時間以上～2時間未満	1	1.5%
2時間以上～3時間未満	0	0%
3時間以上	0	0%
計	68	100%

問3. 他に利用する図書館・関連施設

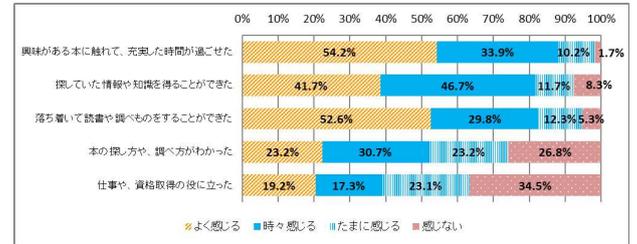
問3では、他に利用する図書館・関連施設について尋ねた。(回答者数63人。複数回答可)
平田図書館の他に中央図書館も利用するとの回答が92.1%と最も多かった。平田図書館は中央図書館と同じ本八幡南エリアにあるため、使い分けしている利用者が多い。



図書館名	回答者数	割合
中央図書館	58	92.1%
行徳図書館	3	4.8%
南行徳図書館	1	2%
平田図書館	2	3.2%
公民館図書室	2	3%
市民図書館	2	3%
情報プラザ	5	7.9%
その他施設	7	11.1%
他の図書館は利用しない	3	4.8%

問4. 図書館を利用した成果

「興味がある本に触れて、充実した時間が過ごせた」が昨年より1.2ポイント上がり98.3%だった。次に「落ち着いて読書や調べものをするのができた」は昨年より3.8ポイント上がり94.7%となった。「探していた情報や知識を得ることができた」も昨年より0.7ポイント上がり91.7%となった。9割以上が図書館を利用した成果を感じていることが分かった。今後も地域の方に様々な情報を提供できるよう、サービスの向上に努めたい。



項目	回数	内容
2 イベント開催・資料展示	2	作家を招いてのリーディング会など。
3 レファレンス	0	
4 児童関連	0	
5 貸出・返却・検索・予約	4	ネットや電話での新刊のリクエスト、検索システムの改善など。
6 施設・運営	1	オムツ替えスペースの設置、寄付金制度、開室日や開室時間の変更など。
7 その他	4	親子でよく来る、今まで通りで良いなど。

問8. 自由記入

調査票 67 記入者 22 未記入 45 (記入率 32.8%) ※複数記入あり
集計を行うにあたり、下記の10分類により編集した。

- (1) 資料に関する記入 (2) A V資料に関する記入 (3) 施設に関する記入
- (4) 座席に関する記入 (5) ITに関する記入 (6) マナーに関する記入
- (7) 職員に関する記入 (8) 運営に関する記入 (9) 感想 (10) その他の記入

分類	意見数	主な内容
1 資料に関する記入	8	ジャンルが充実している、児童書の季節に合った特集が助かるという意見がある一方、本や雑誌の充実を望む意見がある。
2 A V資料に関する記入	0	
3 施設に関する記入	1	3Dプリンタの導入を検討してほしい。
4 座席に関する記入	0	
5 ITに関する記入	1	オンラインで購入希望図書を申請できるようにしてほしい。
6 マナーに関する記入	1	休憩のみの目的の人達は遠慮してほしい。
7 職員に関する記入	3	司書の方に的確に資料を見つけてもらい感謝している。女性の方が相談しやすいなど。
8 運営に関する記入	1	中央図書館のような親子で利用しやすい図書館を増やしてほしい。
9 感想	9	落ち着いて本を読んだりできる、静かでスペースも広すぎずとても落ち着くなどの好意的な意見があった。
10 その他の記入	1	特になし。

15. アンケート・市民要望（3）

市民要望

図書館に寄せられる要望は、主に、市の公式Webサイトの「市民の意見箱 投稿フォーム」、及び図書館Webサイトの各ページ最下部にある「各課問い合わせフォーム」に寄せられた要望を、広報広聴課が「市民の声システム」にデータ登録している。

そのほか、図書館の館内に「利用者の声」投稿箱を設け、電話と同様に直接図書館で要望を受けている。

市民要望・手段別		件数
Webサイト	各課問い合わせフォーム	87
	市民の意見箱 投稿フォーム	7
館内ポスト「利用者の声」等、直接来館 ※		33
合計		127

※市川駅南口図書館受付分 は除く

令和6年度は、5年度に比べて、市民ニーズの件数は減ったが、運営や資料に関しては、要望内容は多岐に渡った。

Webサイトであらかじめ蔵書を検索・予約して来館するスタイルが、ほぼ浸透しているが、それらの使い勝手や見易さについてのご意見が増え、また、求めている利用案内にたどり着けずに電話で問い合わせをする方が多い。これらは、Webサイトの記載内容のわかりやすさ、Web-OPACやマイページ活用の総合的な案内作成で改善されるが、対応する職員にも業務全般に精通した知識が求められる。

今後は、図書館システムの更新や市Webサイトのリニューアルにあわせて集約し、Webアクセシビリティの向上に努めていく。

運営については、連絡便の運行ルート改善や返却ポスト、自動車図書館（BM）ステーションの適切な配置などの改善が求められている。

内容詳細ごとの主な要望

ア. 運営に関すること

- 閲覧席での迷惑行為等、マナーの啓発について
⇒マナー啓発キャンペーンで対応

- 市内連絡便の運行について

イ. 資料に関すること

- 予約待ち資料の問い合わせ
- 相互貸借で取り寄せた雑誌の複写等について
- 新刊図書、雑誌最新号の予約について
- 蔵書構成のバランスについて
地域図書館での心理学関係・ビジネス書、大活字本、絵本など
- 展示テーマの希望
- 自著本の寄贈申し出

ウ. システムに関すること

- 開館カレンダーの見易さについて
- パスワード忘れ
- 蔵書検索の使い勝手、見易さについて
ブラウザの「戻る」ボタンが使用不可等
- 所蔵予約の煩雑さ（予約かご）について
- 閲覧席でのWi-Fi環境の安定化について

エ. 施設に関すること

- 飲食スペースについて
- 冷暖房について
- 災害対応、防犯対応について

オ. 職員に関すること

- 接遇について
- 手続きミスが多い

市民要望・内容詳細別	件数
ア. 運営に関すること	30
イ. 資料に関すること（寄贈・レファレンスを含む）	35
ウ. システムに関すること（Webサイト含む）	18
エ. 施設に関すること（備品を含む）	9
オ. 職員に関すること（接遇・手続きミスを含む）	14
カ. その他	21
合計	127